

阿山小学校北校舎大規模改造工事

阿山小学校北校舎大規模改造工事 図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	特記仕様書 (1)	A-41	展開図7 (現況)	E-01	電気設備 特記仕様書	M-01	特記仕様書
A-02	特記仕様書 (2)	A-42	展開図7 (改修後)	E-02	電気設備 配置図	M-02	凡例・衛生設備・器具表
A-03	特記仕様書 (3)	A-43	展開図8 (現況)	E-03	電気設備 (現況) 1階 動力設備図	M-03	給排水衛生設備 1階平面図 (改修後)
A-04	特記仕様書 (4)	A-44	展開図8 (改修後)	E-04	電気設備 (現況) 2階 動力設備図	M-04	給排水衛生設備 2階平面図 (改修後)
A-05	特記仕様書 (5)	A-45	展開図9 (現況)	E-05	電気設備 (現況) 3階 動力設備図	M-05	給排水衛生設備 3階平面図 (改修後)
A-06	特記仕様書 (6)	A-46	展開図9 (改修後)	E-06	電気設備 (現況) R階 動力設備図	M-06	給排水衛生設備 1階便所平面詳細図 (現況・改修後)
A-07	特記仕様書 (7)	A-47	展開図10 (現況)	E-07	電気設備 (改修後) 1階 動力設備図	M-07	給排水衛生設備 2階便所平面詳細図 (現況・改修後)
A-08	付近見取図・配置図・仮設計画図	A-48	展開図10 (改修後)	E-08	電気設備 (改修後) 2階 動力設備図	M-08	給排水衛生設備 3階便所平面詳細図 (現況・改修後)
A-09	設計概要・仕上表1	A-49	1階天井伏図 (現況)	E-09	電気設備 (改修後) 3階 動力設備図	M-09	給排水衛生設備 1階平面図 (現況)
A-10	仕上表2	A-50	1階天井伏図 (改修後)	E-10	電気設備 (現況) 1階 電灯設備図	M-10	給排水衛生設備 2階平面図 (現況)
A-11	1階平面図 (現況)	A-51	2階天井伏図 (現況)	E-11	電気設備 (現況) 2階 電灯設備図	M-11	給排水衛生設備 3階平面図 (現況)
A-12	1階平面図 (改修後)	A-52	2階天井伏図 (改修後)	E-12	電気設備 (現況) 3階 電灯設備図	M-12	給排水衛生設備 屋根伏図 (現況)
A-13	2階平面図 (現況)	A-53	3階天井伏図 (現況)	E-13	電気設備 (改修後) 1階 電灯設備図	M-13	空調換気設備 凡例・機器表
A-14	2階平面図 (改修後)	A-54	3階天井伏図 (改修後)	E-14	電気設備 (改修後) 2階 電灯設備図	M-14	空調換気設備 1階平面図 (改修後)
A-15	3階平面図 (現況)	A-55	建具表	E-15	電気設備 (改修後) 3階 電灯設備図	M-15	空調換気設備 2階平面図 (改修後)
A-16	3階平面図 (改修後)	A-56	家具詳細図1	E-16	電気設備 (改修後) 1階 弱電設備図	M-16	空調換気設備 3階平面図 (改修後)
A-17	屋根伏図 (現況)	A-57	家具詳細図2	E-17	電気設備 (改修後) 2階 弱電設備図	M-17	空調換気設備 1階平面図 (現況)
A-18	屋根伏図 (改修後)	A-58	渡り廊下改修図 (現況・改修後)	E-18	電気設備 (改修後) 3階 弱電設備図	M-18	空調換気設備 2階平面図 (現況)
A-19	立面図 (現況)	A-59	床伏図			M-19	空調換気設備 3階平面図 (現況)
A-20	立面図 (改修後)	A-60	黒板・掲示板詳細図			M-20	空調換気設備 屋根伏図 (現況)
A-21	断面図 (現況・改修後)	A-61	小荷物専用昇降機詳細図1				
A-22	矩計図1 (現況)	A-62	小荷物専用昇降機詳細図2				
A-23	矩計図1 (改修後)						
A-24	矩計図2 (現況)						
A-25	矩計図2 (改修後)						
A-26	1階便所平面詳細図 (現況・改修後)						
A-27	2階便所平面詳細図 (現況・改修後)						
A-28	3階便所平面詳細図 (現況・改修後)						
A-29	展開図1 (現況)						
A-30	展開図1 (改修後)						
A-31	展開図2 (現況)						
A-32	展開図2 (改修後)						
A-33	展開図3 (現況)						
A-34	展開図3 (改修後)						
A-35	展開図4 (現況)						
A-36	展開図4 (改修後)						
A-37	展開図5 (現況)						
A-38	展開図5 (改修後)						
A-39	展開図6 (現況)						
A-40	展開図6 (改修後)						

特記仕様書		章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																																																																					
<p>1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。</p> <p>2. 本特記仕様書における採用事項</p> <p>①. 項目欄は番号等に○印を付したものを適用する。</p> <p>②. 項目欄に○印を付し特記事項欄に○印を付していない場合は標準仕様書による。</p> <p>③. 特記事項は○印を付したものを適用する。但し○印の付かない場合は※印の付した事項を採用する。 ○印と※印を付した場合は共に適用する。</p> <p>3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。</p> <p>○国土交通省大臣官房長官営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版</p> <p>・国土交通省大臣官房長官営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版</p> <p>・国土交通省大臣官房長官営繕部監修 建築物解体工事共通仕様書 平成24年版</p> <p>・「改正建築基準法に対応した建築物のシックハウス対策マニュアル」（編集：国土交通省住宅局建築指導課他）</p> <p>4. その他事項</p> <p>・各項目欄の番号(例：1.4 ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に照合する</p> <p>・各項目欄の番号(例：1.* ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に該当しない項目とする</p> <p>・各項目欄の番号(例：●公○章***、公***、●公***)は公共建築工事標準仕様書の各項目に相当する</p>		<p>1章 一般共通事項</p> <p>① 完成時の提出図書</p> <p>② 完成図</p> <p>8.3 保全に関する資料</p>	<p>提出部数： ※2部 ・部</p> <p>種類： ※表1.8.1 ・一般図 ・実施設計図一式 ○竣工図</p> <p>記入内容： ※表1.8.1 ・図示 ○図面リスト全て</p> <p>提出要領： ○A2原稿2つ折り製本 ・A3版原図(○CAD作図による) ○CADデータ ・</p> <p>施工計画書： ・監督員の承諾を受けたもの ・</p> <p>施工図： ・A3原稿2つ折り製本 ・A3拡張版第2原図 ・CADデータ ・監督員の承諾を受けたもの ・</p> <p>・保全に関する資料 提出部数： ※各2部 ・部</p>	<p>3章 防水改修工事</p> <p>① 改修工法の種類 及び工程</p> <p>② ルーフの廻りの処理</p> <p>③ 既存下地の補修 及び処置</p>	<p>◎シーリング改修工法の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法の種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○外壁コンクリート打継目地</td> <td>シーリング 再充填工法</td> <td>PU-2</td> </tr> <tr> <td>○外壁コンクリート誘発目地</td> <td>シーリング 再充填工法</td> <td>PU-2</td> </tr> <tr> <td>○外壁開口部建具廻り目地</td> <td>シーリング 再充填工法</td> <td>MS-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 既存防水層の処理</p> <p>2重ドレンの設置： ・行わない ○行う(施工箇所)；屋上 補修箇所の形状、長さ、数量等： ・下表による ○図示 ・</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>形状・長さ数量等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・脆弱部の補修</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・既存目地の欠損部補修</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・欠損部の補修</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水層表面の仕上げ塗装の除去</td> <td>m</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>既存防水層表面の仕上げ塗装の除去： ・行わない ・行う 設備架台等防水層取り合い部の処置： ・協議による ・図示 ・ 立上り防水層の処置： ○撤去する ・撤去しない【補修方法： ・標準仕様書3.2.6(d)による】 ・図示】</p> <p>3. アスファルト防水 ○図示</p> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ： ※標準仕様書3.2(c)(6)による ・メーカー仕様による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種別・厚さ： ※標準仕様書3.2(c)(7)による ・メーカー仕様による 保護防水断熱工法の断熱材の材質： ※標準仕様書3.2(h)による ・メーカー仕様による 保護防水断熱工法の断熱材の厚さ： ・図示 ・ 露出防水断熱工法の断熱材の材質： ※標準仕様書3.2(i)による ・メーカー仕様による 露出防水断熱工法の断熱材の厚さ： ・図示 ・ 絶縁シートの材料の指定： ※標準仕様書3.2(j)による ・メーカー仕様による 保護コンクリートの設計基準強度： ※18N/mm² ・21N/mm² ・ 保護コンクリートのスランプ： ※18cm ・15cm ・ 防水立上がり部の保護： ・湿式 ・乾式 ・ 立上り部の保護レンガの材料： ※標準仕様書3.2(o)による ・</p> <p>◎屋根保護防水</p> <p>防水立上りの保護コンクリートの適用： ・適用しない ・適用する 防水立上りの保護コンクリートの工法： ・図示 ・</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法／種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PHR階屋上</td> <td>・PIB／・B-1 ※B-2 ・B-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・R階屋上</td> <td>・PIBI／・BI-1 ※BI-2 ・BI-3</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・TIBI／・BI-1 ※BI-2 ・BI-3</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・P2AI／・AI-1 ※AI-2 ・AI-3</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・P2A／・A-1 ※A-2 ・A-3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎屋根露出防水</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法／種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PHR階屋上</td> <td>・M4C／・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> <tr> <td>○R階屋上</td> <td>・M4D／○D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・POD／・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇M4D工法及びPOD工法の脱気装置</p> <p>脱気装置の種類： ※製造メーカー仕様による ○図示 ・ 脱気装置の設置数量： ※製造メーカー仕様による ○図示 ・</p> <p>◎屋根露出防水絶縁断熱工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法／種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PHR階屋上</td> <td>・POD1／・DI-1 ※DI-2</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> <tr> <td>・R階屋上</td> <td>・M3D1／・DI-1 ※DI-2</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・M4D1／・DI-1 ※DI-2</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> </tbody> </table> <p>脱気装置の種類： ※製造メーカー仕様による ・図示 ・ 脱気装置の設置数量： ※製造メーカー仕様による ・図示 ・</p>	施工部位	工法の種類	備考	○外壁コンクリート打継目地	シーリング 再充填工法	PU-2	○外壁コンクリート誘発目地	シーリング 再充填工法	PU-2	○外壁開口部建具廻り目地	シーリング 再充填工法	MS-2	施工部位	形状・長さ数量等	備考	・脆弱部の補修	m		・既存目地の欠損部補修	m		・欠損部の補修	m		・防水層表面の仕上げ塗装の除去	m		施工部位	工法／種別	備考	・PHR階屋上	・PIB／・B-1 ※B-2 ・B-3		・R階屋上	・PIBI／・BI-1 ※BI-2 ・BI-3	断熱材：t=		・TIBI／・BI-1 ※BI-2 ・BI-3	断熱材：t=		・P2AI／・AI-1 ※AI-2 ・AI-3	断熱材：t=		・P2A／・A-1 ※A-2 ・A-3		施工部位	工法／種別	備考	・PHR階屋上	・M4C／・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	仕上塗料；	○R階屋上	・M4D／○D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4	仕上塗料；		・POD／・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4	仕上塗料；	施工部位	工法／種別	備考	・PHR階屋上	・POD1／・DI-1 ※DI-2	仕上塗料；	・R階屋上	・M3D1／・DI-1 ※DI-2	仕上塗料；		・M4D1／・DI-1 ※DI-2	仕上塗料；
施工部位	工法の種類	備考																																																																								
○外壁コンクリート打継目地	シーリング 再充填工法	PU-2																																																																								
○外壁コンクリート誘発目地	シーリング 再充填工法	PU-2																																																																								
○外壁開口部建具廻り目地	シーリング 再充填工法	MS-2																																																																								
施工部位	形状・長さ数量等	備考																																																																								
・脆弱部の補修	m																																																																									
・既存目地の欠損部補修	m																																																																									
・欠損部の補修	m																																																																									
・防水層表面の仕上げ塗装の除去	m																																																																									
施工部位	工法／種別	備考																																																																								
・PHR階屋上	・PIB／・B-1 ※B-2 ・B-3																																																																									
・R階屋上	・PIBI／・BI-1 ※BI-2 ・BI-3	断熱材：t=																																																																								
	・TIBI／・BI-1 ※BI-2 ・BI-3	断熱材：t=																																																																								
	・P2AI／・AI-1 ※AI-2 ・AI-3	断熱材：t=																																																																								
	・P2A／・A-1 ※A-2 ・A-3																																																																									
施工部位	工法／種別	備考																																																																								
・PHR階屋上	・M4C／・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	仕上塗料；																																																																								
○R階屋上	・M4D／○D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4	仕上塗料；																																																																								
	・POD／・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4	仕上塗料；																																																																								
施工部位	工法／種別	備考																																																																								
・PHR階屋上	・POD1／・DI-1 ※DI-2	仕上塗料；																																																																								
・R階屋上	・M3D1／・DI-1 ※DI-2	仕上塗料；																																																																								
	・M4D1／・DI-1 ※DI-2	仕上塗料；																																																																								
<p>1章 一般共通事項</p> <p>① 工事実績情報登録</p> <p>1.* 建築基準法の風圧 ・積雪に関する規定</p> <p>② 電気保安技術者</p> <p>③ 施工条件</p> <p>3.12 発生材の処理等</p> <p>④ 使用材料</p> <p>⑤ 施工数量調査</p> <p>5.3 調査のための 破壊部分の補修</p> <p>6.5 施工の検査等</p> <p>⑥ 化学物質の濃度測定</p> <p>⑦ 完成時の提出図書</p>	<p>登録： ○適用 ・不適用</p> <p>基準風速： ・V₀=3.4 (m/s) 平成12年建告第1454号第2</p> <p>地表面粗度区分： ・I ・II ・III ・IV</p> <p>積雪区分： ・区域=(32)／α=0.0009／β=0.00／γ=0.21／R=0 平成12年建告第1445号 別表</p> <p>技術者の適用： ○適用 ・不適用</p> <p>施工順序等の制約： ○無し ・有り【・現場説明書による ・図示 ・】</p> <p>工事車両の駐車場所： ○図示 ・現場説明書による ○学校運営に支障が無い様検討の事。</p> <p>資材、機材置場： ○図示 ・現場説明書による ・</p> <p>発生土仮置場： ・図示 ・現場説明書による ・</p> <p>その他の施工条件： ・図示 ・現場説明書による ・</p> <p>・発注者への引渡発生材； ・特別管理産業廃棄物； ・リサイクル発生材；</p> <p>ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理： ・製造業者回収委託処理 ・管理型最終処分場埋立処理</p> <p>標準仕様書1.3.8(b)(5)(i)及び(ii)以外のせっこうボードの処理： ・管理型最終処分場埋立処理 ・再資源化</p> <p>PCB含有シーリングの調査方法： ・図示 ・</p> <p>PCB含有シーリングの撤去方法： ・図示 ・</p> <p>○仮設材以外の全ての建築材料(仕上材、下地材、副資材)のホルムアルデヒド放散量はJIS等の材料規格において放散量が規定されている場合は原則としてF☆☆☆☆とする。但し使用予定材料にF☆☆☆☆が存在しない場合は監督員と協議のうえ決定する。</p> <p>調査範囲： ・図示 ○ 外壁クラック、タイル</p> <p>調査方法： ・非破壊検査 ・破壊検査 ・</p> <p>補修方法： ・破壊検査後の復旧に関しては監督員と協議の上決定する ・図示 ・</p> <p>見本施工の実施： ・実施しない ・実施する【実施箇所等： ・図示 ・】</p> <p>濃度測定： ・未実施 ○実施</p> <p>化学物質濃度を下記のとおり測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し報告すること。</p> <p>測定対象物質： ○ホルムアルデヒド ○トルエン ○キシレン ○エチルベンゼン ○ステレン ○パラジクロロベンゼン</p> <p>測定方法： ・簡易法 ○パッシブ型採取機器 ・測定バッジ；</p> <p>測定対象室： ○3階 普通教室(東) ・</p> <p>測定箇所数： ・図示 ○2箇所</p> <p>・厚生労働省の標準的測定方法による場合の測定者は、環境計量証明事業所として登録を行っている者、又は作業環境測定事業所の有機溶剤の登録を行っている者とする。</p> <p>完成図： ○必要 ・不要</p> <p>保全に関する資料： ・必要 ○不要</p>	<p>2章 仮設工事</p> <p>① 既存部分の養生</p> <p>② 仮設間仕切り</p> <p>③ 監督員事務所、 受注者事務所等</p> <p>④ 工事用水及び電力</p>	<p>内部足場の種別： ○脚立 ○足場板 ・ローリングタワー ・</p> <p>外部足場の設置、種別： ・設置しない ○設置する【○枠組足場 ・単管足場 ・】 手摺先行足場</p> <p>保護シートの設置： ○設置する ・設置しない 防火シート</p> <p>材料等の運搬方法： ・A種 ・B種 ・C種 ○D種 ○E種</p> <p>既存部分養生材料： ○ビニールシート ・その他：施工者にて適材適所を選択する</p> <p>既存家具養生材料： ○ビニールシート ・その他：施工者にて適材適所を選択する</p> <p>既存ブラインド、カーテンの養生方法： ・指定場所に保管し再設置 ○学校と協議の上保管し清掃の上再設置 ・</p> <p>仮設間仕切り： ○無し ・有り</p> <p>設置箇所： ・図示 ・</p> <p>種別： ・A種 ・B種 ・C種</p> <p>仮設扉： ・不要 ・必要【設置箇所： ・図示 ・任意の場所 ・】</p> <p>仮設扉の種別： ・鋼製 ・木製 ・図示 ・</p> <p>監督員事務所の設置： ・必要 ○不要</p> <p>◎監督員事務所の規模、設備、備品等</p> <p>・()号(会議室()m²を含む)</p> <p>・()号に会議室()m²を加えた規模</p> <p>・専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚 ・検査用具 ・その他；</p> <p>受注者事務所の設置： ○必要 ・不要</p> <p>◎受注者事務所の規模、設備、備品等</p> <p>・()号(会議室()m²を含む)</p> <p>・()号に会議室()m²を加えた規模</p> <p>・専用電話 ・兼用FAX ・冷暖房機 ・机 ・椅子 ・書棚 ・検査用具 ・その他；</p> <p>構内既存の用水施設： ・利用できない ○利用できる ○有償 ・無償)</p> <p>構内既存の電力施設： ・利用できない ○利用できる ○有償 ・無償) ・動力以外利用できる ○有償 ・無償)</p>	<p>① 材料</p> <p>② 種別及び工程</p>																																																																						
<p>※屋内消火栓が無くなる為、伊賀市消防本部予防課へ届出書提出の事。</p>					<p>阿山小学校北校舎大規模改修工事</p> <p>特記仕様書(1) A2 S=NS A3 S=NS</p> <p>図面番号 A-01</p>																																																																					

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																					
3章 防水改修工事	3.3 種別及び工程	◎屋内防水	3章 防水改修工事	施工部位	工法／種別	3章 防水改修工事	9.2 材 料	9. アルミニウム製笠木																																					
		施工部位		工法／種別	備 考			施工部位	工法／種別	備 考																																			
		・浴室		・P1E／・E-1 ※E-2	保護層：普通コンクリート				・250形	・300形	・350形																																		
	・機械室	・P2E／・E-1 ※E-2	保護層：普通コンクリート																																										
			保護層：軽量コンクリート																																										
			保護層：モルタル=30																																										
	3.5 保護層等の施工	保護層のコンクリートの厚さ： ・100mm ※80mm ※60mm ・図示 ・ 防水立上がり部の保護： ・露出 ・コンクリート ・レガ押し ・乾式保護材： 屋上排水溝： ・設置する ・設置しない	5.4 施 工		脱気装置： ・設置 断熱材の種類： ・ 押出法 ^ホ リステルフォーム3種B(スキ付) ・ 図示 ・ 断熱工法の断熱材の厚さ： ・ 25mm ・ 35mm ・ 50mm ・ 目地処理（防水種別S-C1の場合）： PCコンクリート下地の場合： ・ 図示 ・ ALC ^ハ 祊下地の場合： ・ 図示 ・ 入隅部の増張り（防水種別S-C1の場合）： PCコンクリート下地の場合： ・ 図示 ・ ALC ^ハ 祊下地の場合： ・ 図示 ・ 機械的固定工法の場合の風圧力に対応した工法： ・ メカ仕様による ・ 保護層の施行（防水種別S-C1の場合）： 平場のモルタル塗り工法： ※標準仕様書6.15.6(b)(2,3)による ・ 図示 ・ 平場のモルタル塗り厚さ： ・ 30mm ・ 平場のコンクリートの厚さ： ・ 60mm ・ 80mm ・ 立上りのモルタル塗りの厚さ： ※7mm以下 ・		9.3 工 法	アルミニウム製笠木の厚み： ※2.0mm ・ 笠木本体の表面処理： ・ A-1 ・ B-1 ・ 新規笠木の下地及び撤去後の補修： ・ 板材折曲げ型笠木の取付方法： ・ 図示 ・																																					
	4.2 材 料	4. 改質アスファルトシート防水 改質アスファルトシートの種別・厚さ： ※標準仕様書表3.4.1～3.4.3による ・メカ仕様による 粘着層付改質アスファルトシートの種別・厚さ： ※標準仕様書表3.4.1～3.4.3による ・メカ仕様による 露出防水断熱工法の断熱材の材質・厚さ： ※標準仕様書3.4.2(c)による ・メカ仕様による	◎3 種別及び工程 ◎7 材 料 7.3 目地寸法 ◎8 シーリング材の試験 7.* 保証年限 8.2 材 料 8.3 工 法	◎6 塗膜防水 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法／種別</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・POX／※X-1 ・ X-2</td> <td>脱気装置： ・ 設置</td> </tr> <tr> <td>バルコニー</td> <td>◎L4X／・X-1 ※X-2</td> <td>脱気装置： ・ 設置</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 仕上塗装の種類： ◎製造メカ標準仕様による ・ 遮熱塗料 ・ 仕上塗装の使用量： ・ 7. シーリング 種類及び施工箇所： ・ 種類は標準仕様書表3.7.1により施工箇所は下表による ・ ノンブリードタイプシーリング材の適用： ※使用する ・ 使用しない 施工箇所： ・ ^ホ リウレタン系シーリングで仕上げありの部位 ・ <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類</th> <th>目地寸法(mm)</th> <th>保証年限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎各階打継部分</td> <td>PU-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・タイル伸縮目地</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎ガラス止め付け</td> <td>SR-1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎サッシ廻り</td> <td>MS-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 シーリング保証書： ・ 提出する ・ 提出しない ・ 保証書（請負人、材料製造所、シーリング 施工者連帯保証）は各2通提出すること。 8. とい 軒どいの材質： ・ アスファルト被覆銅板 ・ 耐候性被覆銅板 ・ 縦どいの材質： ・ 配管用鋼管 ・ 塩化ビニル管【・カーVP ・カーVU ・ VP ・ 】 掃除口： ・ 有 ・ 無 飾り柵： ・ 塩ビ製 ・ 銅板製 ・ とい受け金物： ・ ステンレス製 ・ 亜鉛めっき銅板製 ・ ルーフトレイン： ・ ステンレス製 ・ 鋳鉄製 ・ アルミ製 既存といの撤去及び降雨時の養生： ・ 仮設のといを設置する ・ 図示 ・ 銅管製といの防露： ・ 行う ・ 行わない 施工箇所： ※標準仕様書表3.8.5による ・ たてとい受金物の取付： ・ 図示 ・ @2,000内外 ・ @1,800内外 ルーフトレインの取替え： ・ 行わない ・ 行う【・ 標準仕様書3.8.3(h)による ・ 】	施工部位	工法／種別	備 考		・POX／※X-1 ・ X-2	脱気装置： ・ 設置	バルコニー	◎L4X／・X-1 ※X-2	脱気装置： ・ 設置							施工箇所	シーリング材の種類	目地寸法(mm)	保証年限	◎各階打継部分	PU-2			・タイル伸縮目地				◎ガラス止め付け	SR-1			◎サッシ廻り	MS-2							4章 外壁改修工事	1. 一般事項 ◎コンクリート打放し仕上げ外壁 ひび割れ部改修工法の種類： ※樹脂注入工法 ・ ウォットシール材充填工法 ・ シール工法 欠損部改修工法の種類： ※充填工法 ・ ◎モルタル塗り仕上げ外壁 ひび割れ部改修工法の種類： ※樹脂注入工法 ・ ウォットシール材充填工法 ・ シール工法 欠損部改修工法の種類： ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 浮き部改修工法の種類： ・ アンカピンニング ^ホ 部分 ^ホ 樹脂注入工法 ・ アンカピンニング ^ホ 全面 ^ホ 樹脂注入工法 ・ アンカピンニング ^ホ 全面 ^ホ リマセメントスラリー樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカピンニング ^ホ 部分 ^ホ 樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカピンニング ^ホ 全面 ^ホ 樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカピンニング ^ホ 全面 ^ホ リマセメントスラリー樹脂注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗り替え工法 ◎タイル張り仕上げ外壁 ひび割れ部改修工法の種類： ・ 樹脂注入工法 ・ ウォットシール材充填工法 欠損部改修工法の種類： ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル貼り替え工法 浮き部改修工法の種類： ・ アンカピンニング ^ホ 部分 ^ホ 樹脂注入工法 ・ アンカピンニング ^ホ 全面 ^ホ 樹脂注入工法 ・ アンカピンニング ^ホ 全面 ^ホ リマセメントスラリー樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカピンニング ^ホ 部分 ^ホ 樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカピンニング ^ホ 全面 ^ホ 樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカピンニング ^ホ 全面 ^ホ リマセメントスラリー樹脂注入工法 ・ 充填工法 ・ タイル貼り替え工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル貼り替え工法 目地改修工法の種類： ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法 ◎塗り仕上げ外壁 新規仕上げの種類： ・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ◎可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り
	施工部位	工法／種別			備 考																																								
		・POX／※X-1 ・ X-2			脱気装置： ・ 設置																																								
	バルコニー	◎L4X／・X-1 ※X-2			脱気装置： ・ 設置																																								
	施工箇所	シーリング材の種類			目地寸法(mm)	保証年限																																							
	◎各階打継部分	PU-2																																											
・タイル伸縮目地																																													
◎ガラス止め付け	SR-1																																												
◎サッシ廻り	MS-2																																												
4.3 種別及び工法	◎屋根露出防水密着工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法／種別</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PHR階屋上</td> <td>・M4AS／・AS-T1・AS-T2・AS-J2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・R階屋上</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ◎屋根露出防水絶縁工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法／種別</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PHR階屋上</td> <td>・M3AS／・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3</td> <td>脱気装置： ・ 設置</td> </tr> <tr> <td>・R階屋上</td> <td>・POAS／・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3</td> <td>脱気装置： ・ 設置</td> </tr> </tbody> </table> ◎屋根露出防水絶縁断熱工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法／種別</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PHR階屋上</td> <td>・M3ASI／・ASI-T1 ・ ASI-J1</td> <td>防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置</td> </tr> <tr> <td>・R階屋上</td> <td>・M4ASI／・ASI-T1 ・ ASI-J1</td> <td>防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・POASI／・ASI-T1 ・ ASI-J1</td> <td>防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置</td> </tr> </tbody> </table>	施工部位			工法／種別	備 考	・PHR階屋上	・M4AS／・AS-T1・AS-T2・AS-J2		・R階屋上			施工部位	工法／種別	備 考	・PHR階屋上	・M3AS／・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3	脱気装置： ・ 設置	・R階屋上	・POAS／・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3	脱気装置： ・ 設置	施工部位	工法／種別	備 考	・PHR階屋上	・M3ASI／・ASI-T1 ・ ASI-J1	防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置	・R階屋上	・M4ASI／・ASI-T1 ・ ASI-J1	防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置		・POASI／・ASI-T1 ・ ASI-J1	防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置		1.4 外壁改修工法の種類	◎9 外壁改修塗り仕上げの種類	◎2 工法別仕様材料 ○								
施工部位	工法／種別	備 考																																											
・PHR階屋上	・M4AS／・AS-T1・AS-T2・AS-J2																																												
・R階屋上																																													
施工部位	工法／種別	備 考																																											
・PHR階屋上	・M3AS／・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3	脱気装置： ・ 設置																																											
・R階屋上	・POAS／・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3	脱気装置： ・ 設置																																											
施工部位	工法／種別	備 考																																											
・PHR階屋上	・M3ASI／・ASI-T1 ・ ASI-J1	防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置																																											
・R階屋上	・M4ASI／・ASI-T1 ・ ASI-J1	防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置																																											
	・POASI／・ASI-T1 ・ ASI-J1	防湿層： ・ 設置 脱気装置： ・ 設置																																											
5.2 材 料	5. 合成高分子系ルーフィングシート防水 ルーフィングシートの種類・厚さ： ※標準仕様書表3.5.1～3.5.3による ・ 絶縁用シート： ※発泡 ^ホ リフェンシート ・ 図示 ・ 断熱工法に用いる断熱材： ※標準仕様書3.5.2(c)(3)による ・ 図示 ・ <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法種別</th> <th>種類／種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S-F1(SI-F1)</td> <td>・ 加硫ゴム系／・均質シート・複合シート</td> <td>※1.2 ・ 1.5 ・ 2.0</td> </tr> <tr> <td>S-F2(SI-F2)</td> <td>・ エレン酢酸ビニル樹脂系／・均質シート</td> <td>・ 1.2 ・ 1.5 ※2.0</td> </tr> <tr> <td>S-M1(SI-M1)</td> <td>・ 加硫ゴム系／・均質シート・複合シート</td> <td>・ 1.2 ※1.5 ・ 2.0</td> </tr> <tr> <td>S-M2(SI-M2)</td> <td>・ エレン酢酸ビニル樹脂系／・均質シート</td> <td>・ 1.2 ※1.5 ・ 2.0</td> </tr> <tr> <td>S-M3(SI-M3)</td> <td>・ 塩化ビニル樹脂系／・均質シート・複合シート</td> <td>※1.2 ・ 1.5 ・ 2.0</td> </tr> </tbody> </table>	工法種別	種類／種別	厚さ(mm)	S-F1(SI-F1)	・ 加硫ゴム系／・均質シート・複合シート	※1.2 ・ 1.5 ・ 2.0	S-F2(SI-F2)	・ エレン酢酸ビニル樹脂系／・均質シート	・ 1.2 ・ 1.5 ※2.0	S-M1(SI-M1)	・ 加硫ゴム系／・均質シート・複合シート	・ 1.2 ※1.5 ・ 2.0	S-M2(SI-M2)	・ エレン酢酸ビニル樹脂系／・均質シート	・ 1.2 ※1.5 ・ 2.0	S-M3(SI-M3)	・ 塩化ビニル樹脂系／・均質シート・複合シート	※1.2 ・ 1.5 ・ 2.0				2. 材 料 樹脂注入工法のエポキシ樹脂： ・ 低粘度形 ・ 中粘度形 Uカットシール材充填工法用材料： ・ シーリング材【※1成分 ^ホ リウレタン系 ※2成分 ^ホ リウレタン系 ・ 】 ◎ ・ 可とう性 ^ホ 樹脂 ・ ^ホ リマセメントモルタル シール工法用材料： ・ パテ状 ^ホ 樹脂 ・ 可とう性 ^ホ 樹脂 充填工法用材料： ・ ^ホ 樹脂モルタル ・ ^ホ リマセメントモルタル アンカーピンニング（注入口付アンカーピンニング）注入工法用材料： ポリマーセメントスラリー： ・ 図示 ・ アンカーピンの材質： ※ステンレス鋼(SUS304・φ4mm・全長 ^ホ) ・ 図示 ・ 注入口付アンカーピンの材質： ※ステンレス鋼(SUS304・φ6mm) ・ 図示 ・ モルタル塗替え工法の既設目地材の適用： ・ 適用しない ・ 適用する： タイル貼替え、及びタイル部分貼替え工法用接着剤： ・ ^ホ リマセメントモルタル ・ ^ホ 樹脂 ・ 変成シリコン樹脂 ・ ^ホ リウレタン樹脂 ・ シリコン樹脂																						
工法種別	種類／種別	厚さ(mm)																																											
S-F1(SI-F1)	・ 加硫ゴム系／・均質シート・複合シート	※1.2 ・ 1.5 ・ 2.0																																											
S-F2(SI-F2)	・ エレン酢酸ビニル樹脂系／・均質シート	・ 1.2 ・ 1.5 ※2.0																																											
S-M1(SI-M1)	・ 加硫ゴム系／・均質シート・複合シート	・ 1.2 ※1.5 ・ 2.0																																											
S-M2(SI-M2)	・ エレン酢酸ビニル樹脂系／・均質シート	・ 1.2 ※1.5 ・ 2.0																																											
S-M3(SI-M3)	・ 塩化ビニル樹脂系／・均質シート・複合シート	※1.2 ・ 1.5 ・ 2.0																																											
5.3 種別及び工程	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法／種別</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PHR階屋上</td> <td>・POS／・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・R階屋上</td> <td>・POS／・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・POS1／・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・POS1／・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・S4S／・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・S4S／・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・S4S1／・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・S4S1／・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・S3S／・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・S3S1／・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工部位	工法／種別	備 考	・PHR階屋上	・POS／・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)		・R階屋上	・POS／・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			・POS1／・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)			・POS1／・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			・S4S／・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)			・S4S／・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			・S4S1／・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)			・S4S1／・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3			・S3S／・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)			・S3S1／・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)												
施工部位	工法／種別	備 考																																											
・PHR階屋上	・POS／・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																												
・R階屋上	・POS／・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																												
	・POS1／・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																												
	・POS1／・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																												
	・S4S／・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																												
	・S4S／・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																												
	・S4S1／・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																												
	・S4S1／・S-M1(SI-M1)・S-M2(SI-M2)・S-M3																																												
	・S3S／・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																												
	・S3S1／・S-F1(SI-F1)・S-F2(SI-F2)																																												

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
5章 建具 改修工事	2.2 性能及び構造	遮音性の等級： ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4 断熱ドアセット、サッシの適用： ・適用 ・適用しない ・図示 断熱性の等級： ・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 ・H-5 耐震ドアセットの適用： ・適用 ・適用しない ・図示 面内変形追随性の等級： ・D-1 ・D-2 ・D-3 防虫網の適用： ・適用 ・適用しない ・図示 網の材質： ・合成樹脂製 ・ステンレス製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 形式： ・外面納まり可動式 ・外面納まり固定式 建具枠の見込： ・図示 ・70 ・100 ・ 外部に面する建具の表面処理： ・B-1種 ・B-2種 屋内の建具の表面処理： ・C-1種 ・C-2種 表面色： ・標準色 ・特注色 引違い建具落下防止機構： ・採用する ・採用しない 結露水の処理方法： ・ 水切り板： ・取付ける ・取付けない ぜん板： ・取付ける ・取付けない	5章 建具 改修工事	7.2 材質、形状及び寸法	ドアクローザのディレードアクション（遅延閉）機能の適用： ・適用 ・適用しない 戸当り： ・あおり止め(フック)付き ・あおり止め(フック)付きなし 樹脂製建具の寸法： ※標準仕様書表5.7.3による ・ 握玉、レバーハンドル等の取付位置： ・FL+900 ・FL+950 ・FL+1,000 ・ クレセント類の取付位置： ・FL+900～FL+1,500迄 ・ マスターキー： ○製作する ・製作しない ・マスターキーの製作については施設管理者及び監督員と協議する。 マスターキーの系統： ・系統 指定建物錠の防犯性能の適用： ・する ・しない 指定建物錠とは、建物の外部出入口用に用いるシリンダー錠・シリンダー/サムターン錠が該当 耐ピッキング性能： ・5分未満 ・5分以上 ※10分以上 耐鍵穴壊し性能： ・5分未満 ・5分以上 ※10分以上 耐サムターン回し性能： ・なし (5分未満) ※あり (5分以上) 耐カム送り解錠性能： ・なし (5分未満) ※あり (5分以上) 耐こじ破り性能： ・なし (5分未満) ※あり (5分以上) 出荷時の子鍵本数： ※3本 ・6本 ・ 鍵箱の適用： ・必要 ・不必要	5章 建具 改修工事	12.3 材料	ガイドレールの材質： ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板
	2.3 材料	3. 樹脂製建具		8.2 性能	8. 自動ドア開閉装置 スライディングドアの開閉性能： ・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSL-1 ・DSL-2		13.2 材料	⑬ ガラス ガラスの種類： ○建具表による ・ ガラス留め材
	2.4 形状及び仕上げ	種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm)		8.3 機構	スイングドアの開閉性能： ・SWD-1 ・SWD-2 戸の開閉方法： ・ センサーの種類： ・マットスイッチ ・光線スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・タッチスイッチ ・押ボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能便所スイッチ ・ 凍結防止装置： ・有 ・無		13.3 ガラス溝の寸法、形状等	建具の種類 種類・材質 ・アルミニウム製 ・シーリング材 ※カスケット ・パテ材(・1種 ・2種) ・鋼製 ※シーリング材 ・パテ材(・1種 ・2種) ・ステンレス製 ※シーリング材 ・パテ材(・1種 ・2種) ・木製 ※シーリング材 ・パテ材(・木製用 ・)
	2.5 工法	防音ドアセット、サッシの適用： ・適用 ・適用しない ・図示 遮音性の種別： ・T-A ・T-B 断熱ドアセット、サッシの適用： ・適用 ・適用しない ・図示 断熱性の種別： ・H-A ・H-B ・H-C ・ ガラスの形式： ・複層ガラス ・単層ガラス ・三重ガラス ・ 建具の表面色： ・標準色 ・特注色 水切り板： ・取付ける ・取付けない ぜん板： ・取付ける ・取付けない		9.3 性能等	9. 自閉式上吊り引戸装置 性能： ※標準仕様書表5.9.1による ・		13.4 工法	金属性製建具用パテはJISA5752による。 ガラス溝の大きさ： ※標準仕様書表5.13.1による ・ 熱線反射ガラスの映像調整： ・行う ・行わない 表面形状： ・図示 ・ブレン ・梨地 ・カミ ・ 寸法、厚み： ・図示 ・190x190x95 ・145x145x95 ・ 壁用金属枠： ・図示 ・アルミニウム製 ・スチール製 ・ステンレス製 ・ 補強剤： ・図示 ・ 化粧目地の色： ・白 ・グレー ・黒 ・ シーリング材： ・ポリサルファイド系 ・ウレタン系 ・シリコン系 ・ 金属製化粧カバー： ・図示 ・ 風圧力に対応した工法： ・ 目地幅： ※標準仕様書による ・ 伸縮調整目地の位置： ※標準仕様書による ・ 伸縮調整目地の仕上： ※標準仕様書による ・
	3.2 性能及び構造	種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法 (mm)		10.2 形式及び機構	10. 重量シャッター シャッターの種類： ・図示 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター ・ 耐風圧性能： ・50 ・80 ・120 ・ 開閉機能： ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 ・ シャッターケース： ・図示 ※設ける ・設けない		13.5 形状及び寸法	1. 一般事項 既存間仕切り壁撤去に伴う天井、壁及び床の改修範囲： ※壁厚程度 ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い天井改修範囲： ※両側600mm程度 ・図示 天井の撤去に伴う取り合い壁の改修範囲： ※既存のまま ・図示 既存部分の撤去工法： ○適用する【・標準仕様書6.2 ○標準仕様書6.3 ○標準仕様書6.4】 ・図示 新設下地の工法： ○適用する【・標準仕様書6.5 ○標準仕様書6.6 ・標準仕様書6.7】 ・図示 仕上げの工法： ※該当の有無により適用する ・図示
	3.3 材料	防音ドアセット、サッシの適用： ・適用 ・適用しない ・図示 遮音性の等級： ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4		11.2 形式及び機構	11. 軽量シャッター 開閉形式： ※手動式 ・上部電動式(手動併用) ・ <開閉形式>： ※手動式 ・上部電動式(手動併用) ・ 耐風圧性能： ・50 ・80 ・120 ・		13.6 工法	2. 既存床の撤去並びに下地補修 合成樹脂塗料の除去： ・機械的除去工法 ・目荒工法 ・ 改装後の床の清掃範囲： ○影響範囲全て ・図示
	3.4 形状及び仕上げ	鋼板の厚さ： ※標準仕様書表5.4.2による ・図示 ・ 鋼板の厚さ(W>950mm, H>2,100mmの場合)： ・図示 ・ 防音ドアセット、サッシの適用： ・適用 ・適用しない ・図示 遮音性の等級： ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4		11.3 材料	11.3 材料 スラットの材質： ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 ※塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 ・アルミニウム押出型材 <パイプの材質>： ・ステンレス ・スチール ・ <パイプ径>： ・図示 ・13mm ・16mm ・19mm ・ <パイプ間隔>： ・図示 ・70mm ・ <格子間隔>： ・図示 ・500mm ・ スラットの形状： ・インターロック形 ・オーバラッピング形		13.7 一般事項	3. 既存壁の撤去並びに下地補修 コンクリート間仕切り壁等の撤去に伴う構造体の補修： ※行う ・既存のまま ・モルタル塗り(改修標準仕様書4.4.9による) ・図示 ・
	3.5 工法	5. 鋼製軽量建具 性能及び構造： ※JIS規格による ・ 簡易気密型ドアセットの適用： ・適用 ・適用しない ・図示 気密性： ・A-1 ・A-2 ※A-3 水密性： ・W-1 ・		11.4 形状及び仕上げ	11.4 形状及び仕上げ		5.1 一般事項	5. 木下地等 ◎見え掛り面の表面仕上げの適用箇所、種類： ・図示 ・下表による
	4.2 性能及び構造	6. ステンレス製建具 性能及び構造： ※JIS規格による ・ ステンレス鋼板の材質： ※SUS304, 430J1L, 430 ・SUS304 ・SUS430 ・ 表面仕上げ： ※HL ・鏡面 ・パフ() ・ 曲げ加工： ・普通曲げ ・角出し曲げ		12.2 形式及び機構	12.2 形式及び機構 セクション材料による区別 開閉方式による種類 収納形式による区分 ガイドレールの材料		5.2 木材	◎一般事項 木材の含水率： ※A種 ・B種
	4.3 材料	鋼板の種類： ・ビニル被覆鋼板 ・カー鋼板 ・ステンレス鋼板 ・図示 召合わせ、縦小口包み板等の材質： ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金押出型材			・スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ			
4.4 形状及び仕上げ	6. 性能及び構造		・パランス式 ・チェーン式 ・電動式					
5.2 性能及び構造	7.1 適用範囲		・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形					
5.3 材料	7.2 材質、形状及び寸法		耐風圧性能： ・50 ・75 ・100 ・125					

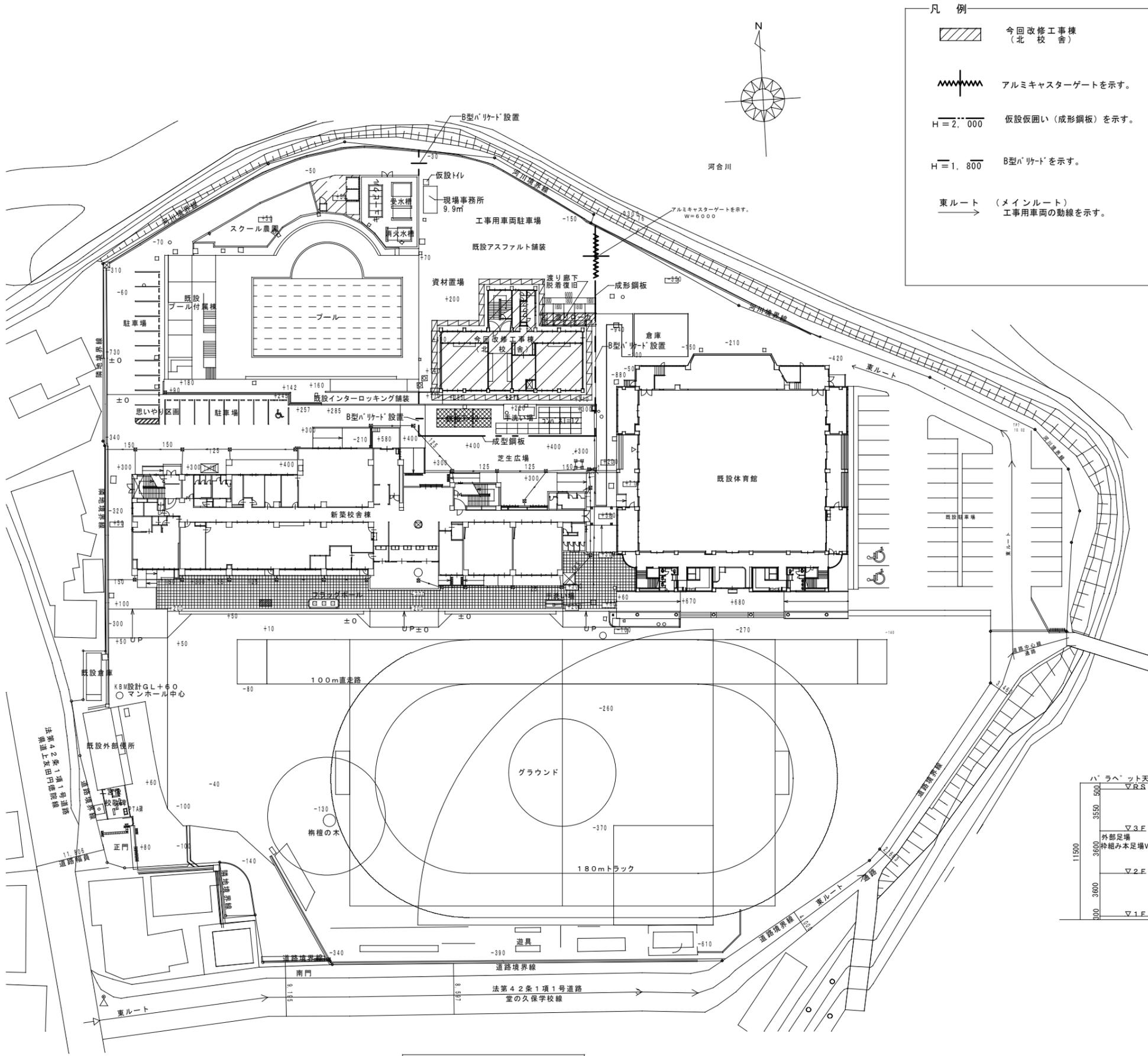
章	項目	特記事項						
6章 内装 改修 工事	5.2 木材	◎製材 ◇JASによる下地用針葉樹製材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・						
		使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備考
		全般	桧	・1級	SD15	サタ-	なし	
			杉	※2級	SD20	サタ-	なし	
					D15	グレーナ	なし	
					D20	グレーナ	なし	
		◇JASによる造作用針葉樹製材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・						
		使用部位	樹種	化粧等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備考
		窓枠	材	無節	SD15	サタ-	なし	
		床仕上げ板	杉	※上小節	SD18	サタ-	なし	
		カーボックス	桧	※小節	D15	グレーナ	なし	
		段板		並	D18	グレーナ	なし	
		巾木						
		◇JASによる広葉樹製材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・						
		使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備考
		全般	材	特等	D10	サタ-	なし	
			材	※1等	D13	グレーナ	K1	
				2等			なし	
		◇JAS以外の製材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・						
		使用部位	樹種	材面の品質	含水率	寸法	防腐防蟻処理	備考
		桧	※A種	15%	図示			
		杉	B種	18%	図示			
		松		20%				
	◎造作用集成材 接着剤のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・ ・JASによる造作用集成材： 【 ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・ 】 ・JAS以外の造作用集成材： 【 ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・ 】							
	使用部位	仕上げ	樹種	見付材		区分等級	備考	
		仕上有		面	品質	1等		
		未仕上				2等		
		塗装		4面				
	・JASによる化粧ばり造作用集成材： 【 ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・ 】 ・JAS以外の化粧ばり造作用集成材： 【 ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・ 】							
	使用部位	仕上げ	樹種		見付材		区分等級	備考
		仕上有	心材	化粧材/厚さ	面	品質	1等	
		未仕上					2等	
		塗装			4面			
	・JASによる化粧ばり構造用集成柱： 【 ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・ 】 ・JAS以外の化粧ばり構造用集成柱： 【 ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・ 】							
	使用部位	強度等級	樹種		見付材		区分等級	備考
		E190-F615			1面	1等	1等	
		E105-F345				2等	2等	
		E65-F255			4面			
	◎造作用単板積層材 接着剤のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・ ・JASによる造作用単板積層材： 【 ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・ 】 ・JAS以外の造作用単板積層材： 【 ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・ 】							
	使用部位	含水率	仕上げ	表面の品質	防腐防蟻処理		備考	
		※14%	仕上有	1等	なし		天然木化粧加工	
			仕上有	2等			塗装加工	
			未仕上	3等				

章	項目	特記事項					
6章 内装 改修 工事		◎床張り用合板等 接着剤のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・ ◇JASによる普通合板					
		使用部位	表板樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	等級・処理・寸法等
			材	※5.5	※1類	※2等	・図示
			材	9	2類	1等	
				12		※C-D	
		◇JASによる構造用合板					
		使用部位	表板樹種名	等級	接着の程度	板面の品質	処理・寸法等
		各室床下地捨て張り	針葉樹	1級	特類	A-B	F☆☆☆☆/防虫処理材
			材	2級	1類	B-C	
			材			D-D	
		◇パーティクルボード					
		使用部位	厚さ(mm)	曲げの区分	接着の区分	難燃性区分	等級・処理・寸法等
			※15			※13P/M	・図示
			18				
		◇構造用パネル 曲げ等級： ・1級 ・2級 ・3級 ・4級 厚み： ・図示 ・25mm ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・ ◎薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理					
			適用部位	性能区分		備考	
				・K2 ・K3 ・K4			
				・K2 ・K3 ・K4			
		5.3 接合具等	加圧注入用木材のインサイジング： ・適用する ・摘要しない 薬剤の塗布による防腐・防蟻処理の方法： ※標準仕様書による ・ ボード原料接着剤への薬剤混入による防腐・防蟻処理の方法： ・				
		5.4 木材	◎防虫処理 木材の防虫処理： ・				
	5.5 防腐・防蟻	・防虫処理					
	5.6~5.9	使用箇所					
		R C造等の内部間仕切		間仕切軸組	※杉 ・		
		軸組及び床組		床組	※杉又は松 ・		
		・窓、出入口、その他		吊元枠、水掛かり の下枠及び敷居	・桧 ・		
		・床板張り		縁甲板、上がり框	※桧 ・		
		・壁及び天井下地			※杉又は松 ・		
	5.* 堅 木	樹種： ・材 ・材 ・材 ・材 ・材 ・					
	5.* 銘 木	使用箇所： ・ 種別： ・真物 ・貼物 樹種： ・ 使用箇所： ・					
	6.2 材 料	6. 軽量鉄骨天井下地 種類： ※標準仕様書表6.6.1による ・					
	6.3 形式及び寸法	屋外の野縁受け、吊りボルト、インサートの間隔： ・≧900mm ・ 屋外の野縁の間隔： ※標準仕様書表6.6.2による ・ あと施工アンカーの引抜き試験： ・行わない ・行う 試験法： ・標準仕様書6.6.4(a)(3)による ・図示 ・ 屋外の引抜き試験の箇所： ・図示 ・屋内と同等程度 ・ 切断された天井下地の補強方法： ・図示 屋外の軒天井、ピロティータン井の補強： ・図示 ・ ・天井内配管類及びダクト等により、野縁受けを吊れない場合には、野縁受けの断面を大きくするか又は補強用チャンネル、アングル等を用いて十分補強を行う。 ・吊りボルトは配管類及びダクト等とは絶縁して取り付ける。					
	6.4 工 法						

章	項目	特記事項				
6章 内装 改修 工事	7.3 形式及び寸法	7. 軽量鉄骨壁下地 種類： ・50形 ・65形 ・90形 ・100形 ・ スタッドの高さが5mを超える場合： ・図示 ・ ⑧ ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り ビニル床シートの材料： ・図示 ・下表による ・				
		種類	記号	色柄	厚さ(mm)	
		◎発泡砲層のないビニル床シート	※FS ・NS	※無地 ・マブル	※2.3 ・2.5	
		・発泡層のあるビニル床シート (クッションフロア)	・D0	・	※2.3 ・3.5	
		ビニル床タイル、ゴム床タイルの材料： ・図示 ・下表による ・				
		種類			厚さ(mm)	
		・コンポジションビニル床タイル	半硬質(CT)	※2.0 ・		
		・コンポジションビニル床タイル	軟質(CTS)	※2.0 ・		
		・ホモジニアスビニル床タイル(HT)			※2.0 ・	
		・ゴム床タイル	・無地 ・マブル	・4.0 ・ ・4.0 ・		
		接着剤のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・ ・帯電防止床シート張り ・帯電防止床タイル貼り 種類： ・ 性能： ・体積抵抗値(1.0x109Ω) ・ 厚さ： ・2.0mm ・4.0mm ・4.5mm ・ ・視覚障害者用床タイル張り 種類： ・合成ゴム貼付用 ・合成ゴム埋込用 ・合成ゴム表面CON ・せつ器質タイル ・コンクリート 厚み： ・2mm ・15mm ・20mm ・30mm ・ ・耐動荷重性床シート張り： 種類（ ）厚さ（ ） ◎ビニル幅木の厚み： ※1.5mm以上 ・ ◎ビニル幅木の高さ： ※60mm ◎100mm ・ 下地の工法： ※珪藻土塗り下地 ・木造下地 ・図示 ・ 熱溶接工法： ◎適用する ・適用しない				
		9.3 材 料	9. カーペット敷き ◎織じゅうたん 種別： ・A種 ・B種 ・C種 パイル形状： ・カットパイル ・ルーフパイル ・カット/ルーフ併用 色柄： ・無地 ・柄物 帯電性の適用： ・適用しない ・適用する【人体帯電圧： ※3kV以下 ・】 ◎タフテッドカーペット パイル形状： ・ルーフ ・カット ・ パイル長： ・図示 ・ mm ◎ニードルパンチカーペット 厚さ： ・4mm ・7mm ・ ◎タイルカーペット			
			パイル形状	種類	寸法(mm)	総厚さ(mm)
			※第1種ルーフパイル	※第1種 ・第2種	※500x500 ・	※6.5 ・
			・カットパイル			
			・カット/ルーフ併用			
		◎下敷き材 下敷き材： ※反毛フェルト第2種2号(呼厚8mm) ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・				

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項				
6章 内装改修工事	9.4 工 法	タフテッドカーベットの工法： ・ケリッパ-工法 ・全面接着工法 ・ タイルカーベットの敷き方（平場）： ※市松敷き ・ （階段部分）： ※模様流し ・	6章 内装改修工事	13.3 工 法	材 種	樹種など	厚さ(mm)	工 法				
	10.2 材 料	10.3 工 法		種類	仕上げ種類	備考	・捨張り用合板	・南洋材 ・ ・針葉樹	・型枠用 ・構造用	・9 ・12 ・	・A種 ※B種	
				・弾性ウレタン塗り床材	※平滑 ・防滑 ・つや消し		・有孔合板	・シ	・1類 ・2類	・4 ・6 ・	・A種 ※B種	
	11.2 材 料	11.3~11.5 工 法		・エポキシ樹脂塗り床材	・薄膜流し展べ ・厚膜流し展べ： ※平滑 ・防滑 ・樹脂モルタル： ・平滑 ・防滑		・天然木化粧合板	化粧単板のそば包み ・行う ※行わない 化粧単板の厚さ ※0.3未満 ・	・4.2 ・	・A種 ※B種		
				材料のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・		・特殊加工化粧合板	表面仕上げの種類 ・マリン ・ホリステル ・	・4.0 ・3.0	・A種 ※B種			
				11.1. フローリング張り		材料のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・		普通合板の防虫処理： ※行わない ・行う 天然木化粧合板の防虫処理： ※行わない ・行う 特殊加工化粧合板の防虫処理： ※行わない ・行う		接着剤のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・ せっこうボードの目地処理： ・継目処理工法 ・目透し工法 ・突付け工法 遮音シール材： ・アクリル系シーリング材 ・ジョイントメント		
				種類	材 種	工 法	形式寸法等(mm)LxWx t	14.2 材 料				
	・フローリングボード1等	※ナ		・釘留め工法(根太張) ・釘留め工法(直張り) ・接着工法	・500(L)x75(W)x15(t)以上	品 質		検定区分	施工箇所	14.3 施 工		
	・フローリングブロック1等	※ナ		・釘留め工法(根太張) ・釘留め工法(直張り) ・接着工法	・303x303(L)x15(t)以上	・オレフィン系	・1級 ・2級 ・			材料のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・		
	・モザイクタイル等 ・弾性モザイクタイル	※ナ		・釘留め工法(根太張) ・釘留め工法(直張り) ・接着工法	厚さ： ・6 ・7 ・8	・織物系	・1級 ・3級 ・4級 ・			モルタル面及びプaster一面の下地調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種 コンクリート面の下地調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種 せっこうボード及びその他ボード面の下地調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種		
・複合フローリング	※ナ	・釘留め工法(根太張) ・ナ ・協議	・A種 ・B種 ※C種 ・A種 ・B種 ※C種 ・A種 ・B種 ※C種	・プラスチック系	・1級 ・2級 ・			14.1 壁紙張り 防火性能の指定： ・下表による ・図示 ・				
11.6 現場塗装仕上げ		材料のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・ 仕上げ： ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・既製仕上げ		15.3 材 料		15.6 工 法		7章 塗装改修工事				
12.2 材 料	13.2 材 料	13.3 工 法	12.1. 畳敷き	種類： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種（・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N）	規格名称		種 類	記 号	厚さ(mm)	③ 材 料		
			12.2. せっこうボードその他ボード及び合板張り	木質系セメント板	・木毛セメント板 ・木片セメント板	・HW ・NW ・HF ・NF	・25 ・50 ・			1. 一般事項 塗料の防火材料の指定： ・図示 ・無 ・有（ ② 下地調整		
13.3 工 法	13.3 工 法	13.3 工 法	12.3. せっこうボード製品	・せっこうボード ・シーリングせっこうボード ・強化せっこうボード ・せっこうラスボード ・化粧せっこうボード(トラスチン) ・化粧せっこうボード	GB-R GB-S GB-F GB-L GB-D	・9.5 ・12.5 ・9.5 ・12.5 ・12.5 ・15.0 ※9.5 ・7 ・9.5 ・12.5 ・9.5 ・12.5				④ 塗料種別		
			繊維強化セメント板	・ケイ酸カルシウム板(タイプ2)	・0.8FK ・1.0FK	・6 ・8 ・10 ・6 ・8 ・10					⑤ 塗料の種別	
			パネライルボード繊維板	・	・RS ・VS ・DV ・DO ・DC							⑥ 塗料の種別
			火山性ガラス質複層板(VSボード)	・								⑦ 塗料の種別
13.3 工 法		材料のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・ ◎合板		材 種	樹種など	厚さ(mm)	工 法	⑧ 塗料の種別				
13.3 工 法		◎合板		・難燃合板	生地のまま又は透明塗料塗りの場合 ・ウレタン 不透明塗料塗りの場合 ・シ【・1級・2級】 ・	・4 ・5.5 ・6 ・	・A種 ※B種	4.3~4.5 ***塗料塗り				
13.3 工 法		◎合板		・普通合板	・ウレタン ・ ・シ	・1類 ・2類	・4 ・5.5 ・6 ・	・A種 ※B種	5.2 塗料塗り			
13.3 工 法		◎合板		◎タイルの役物 使用箇所： ・出隅 ・入隅 ・幅木 ・まぐさ ・窓台 製造方法： ・接着成型品 ・一体成型品 タイルの見本焼き： ・行う ・行わない タイルの試験張り： ・行う ・行わない 壁タイル張り工法： ・改良積上張り ・		◎タイルの役物 使用箇所： ・出隅 ・入隅 ・幅木 ・まぐさ ・窓台 製造方法： ・接着成型品 ・一体成型品 タイルの見本焼き： ・行う ・行わない タイルの試験張り： ・行う ・行わない 壁タイル張り工法： ・改良積上張り ・		◎タイルの役物 使用箇所： ・出隅 ・入隅 ・幅木 ・まぐさ ・窓台 製造方法： ・接着成型品 ・一体成型品 タイルの見本焼き： ・行う ・行わない タイルの試験張り： ・行う ・行わない 壁タイル張り工法： ・改良積上張り ・				

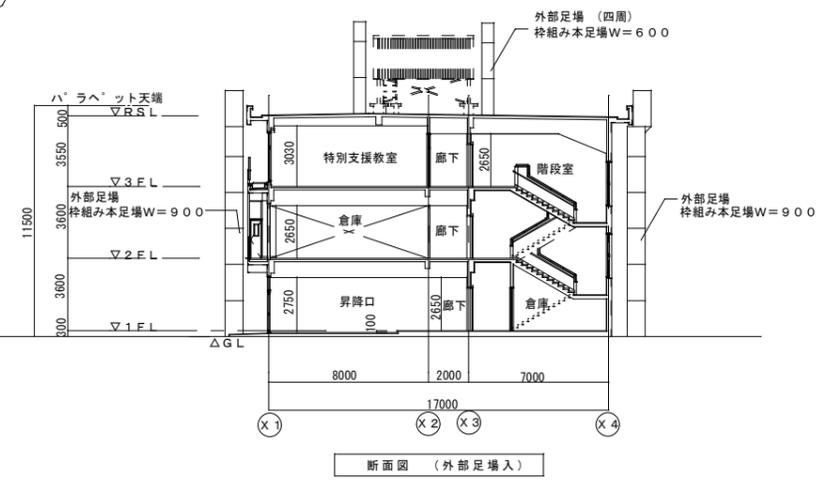
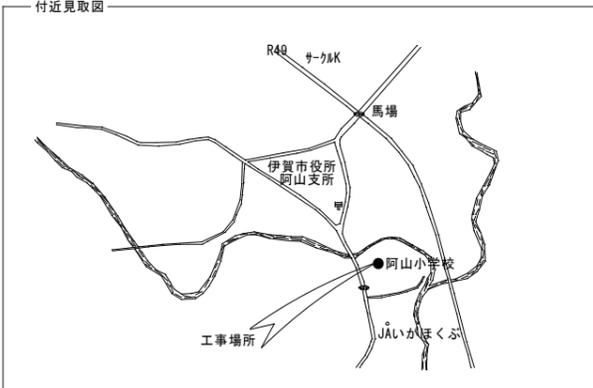
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
7章 塗装 改修工事	7.2 塗料塗り	7. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD) 種類: ・A種 ※B種	8章 耐震 改修工事	1.4 コンクリートの品質	スランブ: ※18cm ・図示 ・ コンクリート部材の許容差及び測定方法: ・標準仕様書8.1.4(d)(1)による ・ 打放し仕上げの種類(合板せき板を用いる場合)	8章 耐震 改修工事	2.9 高力ボルト	種類: ・トル7型高力ボルト2種(S10T) ・JISの高力ボルト2種(F10T) ・溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当) 高力ボルトの径: ・図示 ・
	8.2~8.4 ***塗料塗り	8. 耐候性塗料塗り (DP) 鉄鋼面の種類: ・A種 ・B種 ・C種 亜鉛めっき鋼面の種類: ・A種 ・B種 ・C種 コンクリート面の種類: ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種 押出成形モルタル板面の種類: ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種		2.1 鉄筋	鉄筋の種類: ・SR295 ・SD295A ・SD295B ・SD345 ・SD390 ・図示 ・		2.10 溶接材料	溶接棒等(標準仕様書表8.2.7)及びガス以外の溶接材料: ・図示 ・
	9.2~9.5 ***塗料塗り	9. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) コンクリート面及びモルタル面の種類: ・A種 ※B種 ・C種 プaster面の種類: ・A種 ※B種 ・C種 せっこうボード、及びその他のボード面の種類: ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合のしみ止め: ・標準仕様書7.9.2(b)による ・図示 ・ 屋内木部の種類(新規): ※A種 ・B種 ・C種 屋内木部の種類(多孔質広葉樹): ・A種 ・B種 ・C種 屋内木部の種類(塗替え): ・A種 ※B種 ・C種 屋内鉄鋼面の種類: ・A種 ※B種 ・C種 屋内亜鉛めっき鋼面の種類: ・A種 ※B種 ・C種		2.2 溶接金網	溶接金網の寸法、径: ・φ6x150x150 ・φ6x100x100 ・φ4.5x50x50 ・図示 ・ あと施工アンカーの種類: ・金属系アンカー ・接着系アンカー ・図示 ・		2.11 柱底均しモルタル及びゲラ材	モルタルの種類: ・図示 ・無収縮モルタル ・ 無収縮モルタルの調査: ※標準仕様書8.2.10(b)(1)~(4)による ・図示 ・
	10.2 ***塗料塗り	10. 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) 種類: ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合のしみ止め: ・標準仕様書7.13.2(b)による ・図示 ・		2.4 あと施工アンカー	◎金属系アンカー 引張耐力: ・図示 ・ せん断耐力: ・図示 ・ アンカー本体の径: ・図示 ・ アンカー本体の埋込深さ: ・図示 ・ アンカー本体のセット方式: ・図示 ※本体打込み式改良型 ・ 接合筋の径及び長さ: ・図示 ・ ◎接着系アンカー 引張耐力: ・図示 ・ せん断耐力: ・図示 ・ アンカーの種類: ・図示 ・カギ型 ・ アンカー筋の径: ・図示 ・ アンカー筋の埋込深さ: ・図示 ・ アンカー筋の種類: ・図示 ※異形棒鋼 ・ アンカー筋の新設壁内への定着長さ: ・図示 ※標準仕様書8.2.4(c)(6)による あと施工アンカーの性能確認試験: ・行う ・行わない ・		2.12 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等	材料: ・図示 ・ 工法: ・図示 ・ 引張強度、ヤング係数等: ・図示 ・ 引張りを受ける鋼板の試験: ・適用する ・適用しない ・図示 ・ 杭の材料: ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 杭の継手、工法等: ・構造特記仕様書による ・図示 ・
	11.2 ***塗料塗り	11. 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T) コンクリート面及びモルタル面の種類: ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 プaster面の種類: ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種 せっこうボード等面の種類: ・A種 ※B種 ・C-1種 ・C-2種 ・C-3種		2.5 コンクリートの材料及び調合	セメントの種類: ※普通ポルトランドセメント ※混合セメントA種 ・高炉セメント ・フライッシュセメント フェロニッケルスラグ細骨材の使用: ・使用する ・使用しない 骨材のアルカリシリカ反応性による区分: ※A ・B 鋼スラグ細骨材の使用: ・使用する ・使用しない 電気炉酸化スラグ細骨材の使用: ・使用する ・使用しない 混和剤: ・AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・ 混和材: ・フライッシュ ・高炉スラグ微粉末 ・膨張剤 ・		3.4 継手及び定着	継手の種類: ・重ね継手 ・ガス圧継手 ・機械継手 ・図示 ・ 継手の位置: ・図示 ・ 主筋の重ね継手長さ: ※標準仕様書5.3.4(c)(1)による ・図示 ・ 耐力壁鉄筋の重ね継手長さ: ※標準仕様書5.3.4(c)(1)による ・図示 ・ 先組み工法等の継手の位置: ・図示 ・ 柱への梁引張り鉄筋の定着長さ: ※標準仕様書5.3.4(d)(1)による ・図示 ・ 土に接する柱、梁、スラブ及び壁の鉄筋のかぶり厚さ(軽量コンクリートの場合): ・図示 ・40mm ・50mm ・60mm ・ 塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ: ・図示 ・ 特殊な鉄筋継手のあき寸法: ・図示 ・
	12.2 ***塗料塗り	12. ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) 種類: ・A種 ※B種		2.6 構造体用モルタルの材料及び調合	引張耐力: ・図示 ・ せん断耐力: ・図示 ・ アンカーの種類: ・図示 ・カギ型 ・ アンカー筋の径: ・図示 ・ アンカー筋の埋込深さ: ・図示 ・ アンカー筋の種類: ・図示 ※異形棒鋼 ・ アンカー筋の新設壁内への定着長さ: ・図示 ※標準仕様書8.2.4(c)(6)による あと施工アンカーの性能確認試験: ・行う ・行わない ・		3.5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ: ・図示 ・ 特殊な鉄筋継手のあき寸法: ・図示 ・
	13.2 ***塗料塗り	13. ラッカーエナメル塗り (LE) 種類: ・A種 ※B種		2.7 型枠の材料	◎接着系アンカー 引張耐力: ・図示 ・ せん断耐力: ・図示 ・ アンカーの種類: ・図示 ・カギ型 ・ アンカー筋の径: ・図示 ・ アンカー筋の埋込深さ: ・図示 ・ アンカー筋の種類: ・図示 ※異形棒鋼 ・ アンカー筋の新設壁内への定着長さ: ・図示 ※標準仕様書8.2.4(c)(6)による あと施工アンカーの性能確認試験: ・行う ・行わない ・		3.7 壁の配筋及び補強	壁の配筋: ・図示 ・ 開口部の補強筋: ・図示 ・
	15.2 ***塗料塗り	15. 木材保護塗料塗り (WP) 種類: ・A種 ※B種		2.8 鋼材	セメントの種類: ※普通ポルトランドセメント ※混合セメントA種 ・高炉セメント ・フライッシュセメント フェロニッケルスラグ細骨材の使用: ・使用する ・使用しない 骨材のアルカリシリカ反応性による区分: ※A ・B 鋼スラグ細骨材の使用: ・使用する ・使用しない 電気炉酸化スラグ細骨材の使用: ・使用する ・使用しない 混和剤: ・AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・ 混和材: ・フライッシュ ・高炉スラグ微粉末 ・膨張剤 ・		3.8 ガス圧接	抜取試験の方法: ※超音波探傷試験 ・引張試験 ・
					モルタルの圧縮強度: ・図示 ・18N/mm2 ・ モルタルのフロー値: ・図示 ・180mm未満 ・180mm以上240mm未満 ・240mm以上 型枠の材料等: ・下表による ・図示 ・		4.2 機械式継手	4. 鉄筋の機械式継手及び溶接継手 機械式継手の種類: ・図示 ・ 機械式継手の工法及び品質の確認方法等: ・図示 ※標準仕様書8.4.2.(c)による 溶接継手の工法: ・図示 ・ 品質の確認方法: ・図示 ・ 不良継手部の修正方法: ・図示 ※標準仕様書8.4.3.(c)による
					種類		種別・厚さ	材質
8章 耐震 改修工事	1.* コンクリート工事	1. 一般事項 ・本章の事項は構造特記仕様書による		種類	種別・厚さ	材質	9.1 一般事項	9. 軽量コンクリート 土に接する軽量コンクリートの使用: ・使用する【使用箇所: ・図示 ・】 水に接する軽量コンクリートの使用: ・使用する【使用箇所: ・図示 ・】 軽量コンクリート種類: ・下表による ・図示 ・
	1.* 鉄骨工事	・本章の事項は構造特記仕様書による		種類	種別・厚さ	材質	10.2 材料及び調合	所要気乾単位容積重量: ・図示 ・ kN/m3 所要スランブ: ※21cm ・18cm ・
	1.* 鉄筋工事	・本章の事項は構造特記仕様書による		種類	種別・厚さ	材質	11.1 一般事項	10. 暑中コンクリート 構造体強度補正值(S): ※6 N/mm ・
	1.3 コンクリートの種類	コンクリートの種類: ※I類 ・II類 ・その他; 使用骨材による種類: ・普通コンクリート(下表による) ・図示		種類	種別・厚さ	材質	11.1 一般事項	11. 無筋コンクリート 適用箇所: ※標準仕様書6.14.1(d)による ・下表による ・図示
				種類	種別・厚さ	材質		
				種類	種別・厚さ	材質		
				種類	種別・厚さ	材質		
				種類	種別・厚さ	材質		
				種類	種別・厚さ	材質		
				種類	種別・厚さ	材質		
			種類	種別・厚さ	材質			



凡例

	今回改修工事棟 (北校舎)		北側 渡りローカ 脱着復旧箇所を示す。
	アルミキャストゲートを示す。		交通整理員立位置を示す。
$H=2,000$	仮設仮囲い(成形成鋼板)を示す。		外部足場 枠組み本足場W=900を示す
$H=1,800$	B型バリケードを示す。	内部	脚立足場、足場板
	東ルート (メインルート) 工事用車両の動線を示す。		コンパネ養生 $t=12$ を示す。 (900×1800 28枚)
			鉄板敷き $t=22$ を示す。 ($1,524 \times 3,048$ 6枚)

※資材置場の場所は打合せにより決定する事とする。
 ※長時間搬入車を停車作業を行う場合は、適時 A型バリケードを設置すること。



配置図 (仮設計画入) S=1/500

設計概要

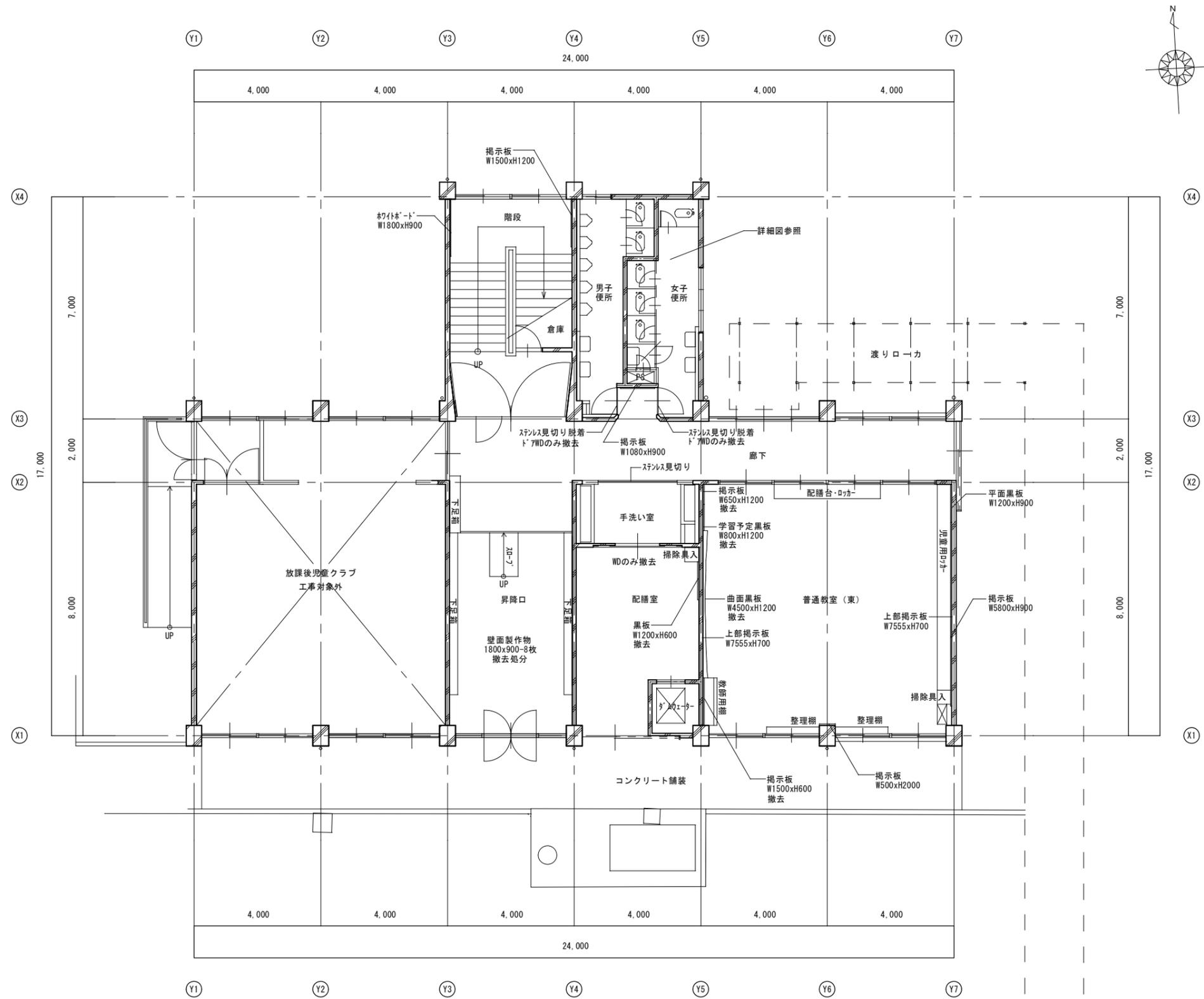
建築名称	伊賀市立阿山小学校 北校舎		
建築地	三重県伊賀市馬場1045番地		
地区・地域	無指定		
構造・規模	鉄筋コンクリート造（ラーメン式） 地上3階建		
建築用途	小学校 普通教室棟		
階床面積	1F	296.0 m ²	
階床面積	2F	296.0 m ²	
階床面積	3F	296.0 m ²	
延床面積		888.0 m ²	
建築面積		299.6 m ²	

外部仕上表

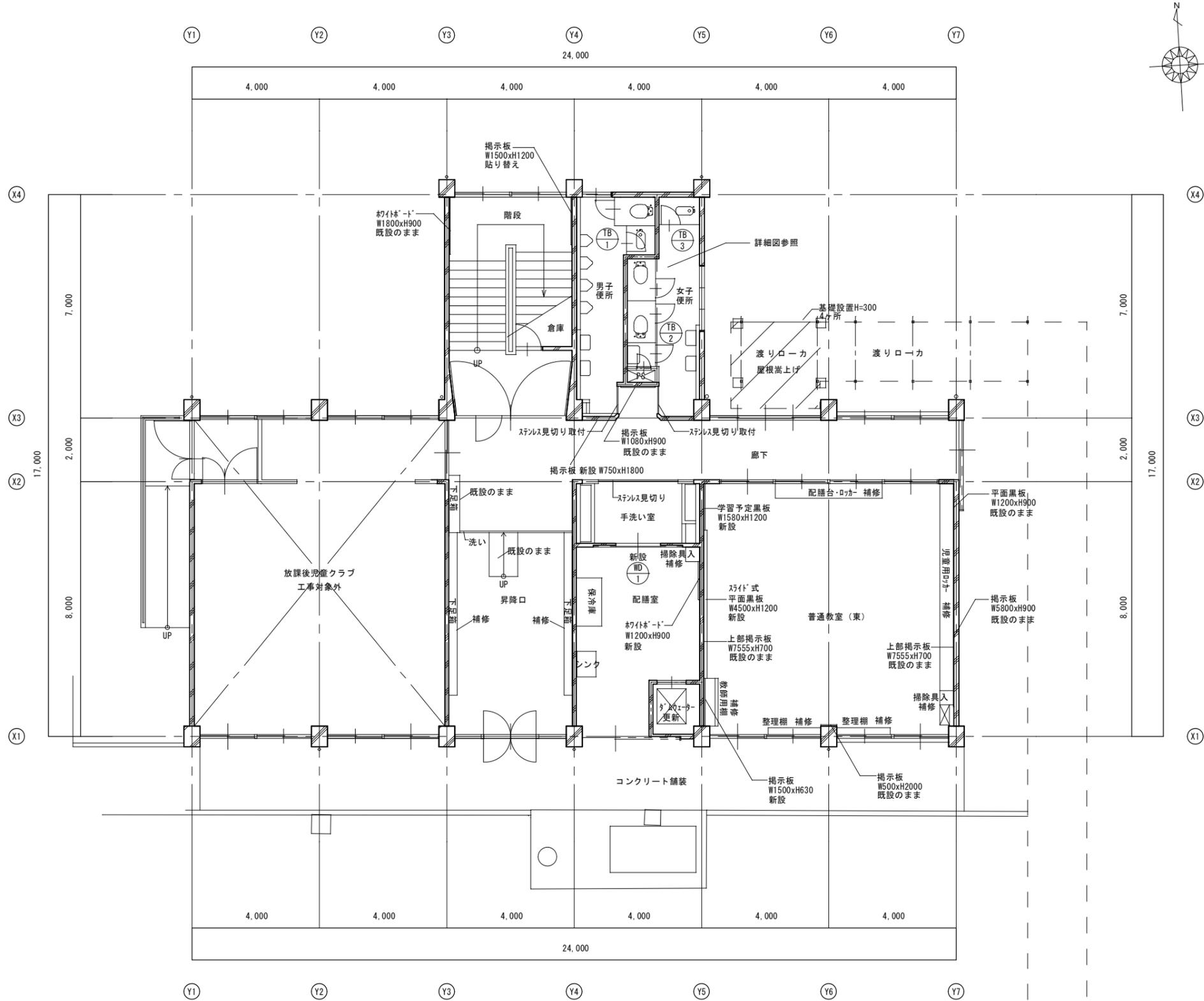
屋根	改修前	均しモルタルt=30の上アスファルト露出防水（シルバー塗装）8層（日新SC-804A程度） 1/75	整樋	改修前	硬質塩化ビニールパイプ100φ（一部VP125φ） 養生管：鉄鉄管125φ H=1200 OP（一部VP125,150φ）
	改修後	下地調整の上、アスファルト防水/防水冷熱併用工法D-1（BANKS工法JSX-920SF同等品） 立上り部（BANKS工法JSV-920SF同等品） 立上り端末75φアルミシーリング		改修後	上記、整樋 下地調整の上、LS2-UE塗り 上記、養生管 下地調整の上、SOP塗り
パラベット	改修前	立上りは、L-30x30（アルミ）押え アスファルト防水、笠木：防水モルタル塗り	ルーフトレン	改修前	鉄製製 防塵アミ付（中継ドレン共、バルコニー部分） コールタール焼付
	改修後	下地調整の上、主剤着色剤/防水防湿補強工法、X-2シリコン系保護塗料（オレックス/同等品） 見付部は乾式水切りテープ（オレックス/同等品）		改修後	ルーフトレン取替（改修用鋼製ドレン）
外壁	改修前	ベニヤ型板コンクリート打放し補修 アクリルリシン吹付（柱型共） 打継及び化粧目地はチオコールコーキング（柱型共）	手摺及び鉄部1階が「ドパイ」	改修前	スチールパイプ手摺42φ 垂鉛メッキ下地 OP
	改修後	高圧水洗の上、可とう形外装薄塗材E（弾性リソ）吹付 一部、サビ防止 撤去処分の上、新設ALC板 厚100 下地処理の上、可とう形外装薄塗材E（弾性リソ）吹付 南面2階袖壁、カラー鉄板張り（75φ/7共）→撤去処分※柱頭・柱脚の固定確認の上、柱のみ残す（オレックス/塗りの上、可とう形外装薄塗材E吹付）		改修後	上記、手摺 下地調整の上、SOP塗り（外部1階が「ドパイ」）下地調整の上、SOP塗り（外部1階昇降口上が「鉄板」）下地調整の上、SOP塗り
巾木	改修前	モルタル刷毛引き H=150～300	バルコニー	改修前	巾木・床：防水モルタル 腰：アクリルリシン吹付 笠木：防水モルタル
	改修後	全面撤去処分の上、下地処理の後モルタル刷毛引き H=150～300		改修後	巾木・床：巾木の浮き部分は撤去処分の上、樹脂モルタル塗りの上、樹脂塗膜防水 床の浮き部分はアコビシソング 床の樹脂注入、樹脂塗膜防水 腰：高圧水洗の上、可とう形外装薄塗材E（弾性リソ）吹付 笠木：高圧水洗 ※一部手摺との取合い部に欠損部あり、樹脂モルタルにて補修
犬走り	改修前	土間コンクリート 仕上げモルタル目地切り@2000	南面昇降口庇	改修前	無し
	改修後	高圧水洗		改修後	アルミ庇取付

内部仕上表

階	室名	床	巾木	腰壁壁・柱型	天井	天井高	備考	
1F	昇降口	改修前	せつ器質タイル120角（上框：TB）	TB H=100	モルタル金コテ押え VP 目地切	PB t=9 底目地張り EPローラー	2750 下足箱x2、製作物、下足箱 ——平面・展開図参照	
		改修後	洗い	洗い	下地調整の上、EP-G塗り	下地調整の上、EP塗り	1 下足箱x2、下足箱（既設のまま） ——平面・展開図参照	
	倉庫（階段下）	改修前	長尺塩ビシート t=2.3	ソフト巾木 H=100	モルタル金コテ押え	モルタル金コテ押え	1590～3280	
		改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	↑	
	普通教室（東）	改修前	ブナフローリングブロックt=18 ウレタン	白ラワン H=100 OP	モルタル金コテ押え VP 目地切	PB t=9 底目地張り EPローラー（一部有孔ボード）	3030	カーテンレール、カーテン、上部配膳台、児童用ロッカー、掃除用具入（一部有孔ボード） ——平面・展開図参照
		改修後	表面研磨の上ウレタン樹脂ワニス UC塗り	下地調整の上、SOP塗り	下地調整の上、EP-G塗り	下地調整の上、EP塗り	↑	カーテンレール・カーテンは既設のまま、上部配膳台、児童用ロッカー、掃除用具入（一部有孔ボード） ——平面・展開図参照
	廊下	改修前	ブナフローリングブロックt=18 ウレタン	白ラワン H=100 OP	モルタル金コテ押え VP 目地切	PB t=9 底目地張り EPローラー	2650	掲示板、帽子掛け ——平面・展開図参照
		改修後	表面研磨の上ウレタン樹脂ワニス UC塗り	下地調整の上、SOP塗り	下地調整の上、EP-G塗り	下地調整の上、EP塗り	↑	掲示板x2、帽子掛け ——平面・展開図参照
	階段室	改修前	モザイクパーケット（ブナ）t=8 蹴上共	雑巾摺り：白ラワン VP モルタル VP 塗り分け H=100	モルタル金コテ押え VP 目地切	モルタル金コテ押え VP		掲示板、ホワイトボード ——平面・展開図参照
		改修後	表面研磨の上ウレタン樹脂ワニスUC塗り	雑巾摺り：下地調整の上、SOP塗り モルタル部：下地調整の上、EP-G塗り	下地調整の上、EP-G塗り	下地調整の上、EP-G塗り		掲示板、ホワイトボード ——平面・展開図参照
	手洗い室	改修前	長尺塩ビシート t=2.3	白ラワン H=100 OP	モルタル金コテ押え VP（洗い場のみ、半磁器質タイル100角）	PB t=9 底目地張り EPローラー	2650	人研、手洗い流し、鏡x5、パイプガードx2 ——平面・展開図参照
		改修後	洗いの上、ワックスがけ	下地調整の上、SOP塗り	モルタル部：下地調整の上、EP-G塗り 41φ部：部分撤去処分の上、下地処理+磁器質41φ100角接着貼り	下地調整の上、EP塗り	↑	人研、手洗い流し、鏡x5、パイプガードx2 ——平面・展開図参照
	配膳室	改修前	長尺塩ビシート t=2.3 ※一部 撤去（設備配管部）	ソフト巾木 H=100 撤去	モルタル金コテ押え VP 目地切	大平板t=6 底目地張り EPローラー	2650	掃除用具入、黒板、パイプガードx2 ——平面・展開図参照
		改修後	洗いの上、ワックスがけ ※一部 張替え（設備配管部）	ソフト巾木 H=100 新設	下地調整の上、EP-G塗り	下地調整の上、EP塗り	↑	掃除用具入、ホワイトボード、パイプガードx2 ——平面・展開図参照
男子便所	改修前	磁器質モザイクタイル25角	サンタリー巾木タイル H=100	半磁器質タイル100角	PB t=9 底目地張り EPローラー	2600	手洗いx2、小便器x5、和風便器x2、トイレブース、鏡x2 ——平面・展開図参照	
	改修後	洗い、一部改修 モザイクタイル25角（便器取替部）	部分撤去処分の上、下地処理+磁器質41φ100角接着貼り	部分撤去処分の上、下地処理+磁器質41φ100角接着貼り	下地調整の上、EP塗り 一部改修（2階便器取替部）	↑	手洗いx2、小便器x5、和風便器x1、洋風便器x1、トイレブース、鏡x2 ——平面・展開図参照	
女子便所	改修前	磁器質モザイクタイル25角	サンタリー巾木タイル H=100	半磁器質タイル100角	PB t=9 底目地張り EPローラー	2600	手洗いx2、和風便器x4、トイレブース、掃除用流し、鏡x2 ——平面・展開図参照	
	改修後	洗い、一部改修 モザイクタイル25角（便器取替部）	部分撤去処分の上、下地処理+磁器質41φ100角接着貼り	部分撤去処分の上、下地処理+磁器質41φ100角接着貼り	下地調整の上、EP塗り 一部改修（2階便器取替部）	↑	手洗いx2、和風便器x1、洋風便器x2、トイレブース、掃除用流し、鏡x2 ——平面・展開図参照	
2F	普通教室（西）	改修前	ブナフローリングブロックt=18 ウレタン	白ラワン H=100 OP	モルタル金コテ押え VP 目地切	PB t=9 底目地張り EPローラー（一部有孔ボード）	3030	カーテンレール、カーテン、上部配膳台、児童用ロッカー、掃除用具入（一部有孔ボード） ——平面・展開図参照
		改修後	表面研磨の上ウレタン樹脂ワニス UC塗り	下地調整の上、SOP塗り	下地調整の上、EP-G塗り	下地調整の上、EP塗り	↑	カーテンレール・カーテンは既設のまま、上部配膳台、児童用ロッカー、掃除用具入（一部有孔ボード） ——平面・展開図参照
	普通教室（東）	改修前	ブナフローリングブロックt=18 ウレタン	白ラワン H=100 OP	モルタル金コテ押え VP 目地切	PB t=9 底目地張り EPローラー（一部有孔ボード）	3030	カーテンレール、カーテン、上部配膳台、児童用ロッカー、掃除用具入（一部有孔ボード） ——平面・展開図参照
		改修後	表面研磨の上ウレタン樹脂ワニスUC塗り	下地調整の上、SOP塗り	下地調整の上、EP-G塗り	下地調整の上、EP塗り	↑	カーテンレール・カーテンは既設のまま、上部配膳台、児童用ロッカー、掃除用具入（一部有孔ボード） ——平面・展開図参照
	廊下	改修前	ブナフローリングブロックt=18 ウレタン	白ラワン H=100 OP	モルタル金コテ押え VP 目地切	PB t=9 底目地張り EPローラー	2650	掲示板x1、帽子掛け ——平面・展開図参照
		改修後	表面研磨の上ウレタン樹脂ワニス UC塗り	下地調整の上、SOP塗り	下地調整の上、EP-G塗り	下地調整の上、EP塗り一部改修（ALC部）	↑	掲示板x2、帽子掛け ——平面・展開図参照
	階段室	改修前	モザイクパーケット（ブナ）t=8 蹴上共	雑巾摺り：白ラワン VP モルタル VP 塗り分け H=100	モルタル金コテ押え VP 目地切	モルタル金コテ押え VP		
		改修後	表面研磨の上ウレタン樹脂ワニス UC塗り	雑巾摺り：下地調整の上、SOP塗り モルタル部：下地調整の上、EP-G塗り	下地調整の上、EP-G塗り	下地調整の上、EP-G塗り		
	手洗い室	改修前	長尺塩ビシート t=2.3	白ラワン H=100 OP	モルタル金コテ押え VP（洗い場のみ、半磁器質タイル100角）	PB t=9 底目地張り EPローラー	2650	人研、手洗い流し、鏡x5、パイプガードx1 ——平面・展開図参照
		改修後	洗いの上、ワックスがけ	下地調整の上、SOP塗り	モルタル部：下地調整の上、EP-G塗り 41φ部：部分撤去処分の上、下地処理+磁器質41φ100角接着貼り	下地調整の上、EP塗り	↑	人研、手洗い流し、鏡x5、パイプガードx1 ——平面・展開図参照
	配膳室	改修前	長尺塩ビシート t=2.3	ソフト巾木 H=100 撤去	モルタル金コテ押え VP 目地切	大平板t=6 底目地張り EPローラー	2650	掃除用具入、黒板、換気扇枠、パイプガードx1 ——平面・展開図参照
		改修後	洗いの上、ワックスがけ	ソフト巾木 H=100 新設	下地調整の上、EP-G塗り	下地調整の上、EP塗り	↑	掃除用具入、ホワイトボード、換気扇枠、パイプガードx1 ——平面・展開図参照
	男子便所	改修前	磁器質モザイクタイル25角（アスファルト防水）	サンタリー巾木タイル H=100	半磁器質タイル100角	PB t=9 底目地張り EPローラー	2600	手洗いx2、小便器x5、和風便器x1、洋風便器x1、トイレブース、鏡x2 ——平面・展開図参照
		改修後	洗い、一部改修 モザイクタイル25角（便器取替部）	部分撤去処分の上、下地処理+磁器質41φ100角接着貼り	部分撤去処分の上、下地処理+磁器質41φ100角接着貼り	下地調整の上、EP塗り 一部改修（3階便器取替部）	↑	手洗いx2、小便器x5、和風便器x1、洋風便器x1、トイレブース、鏡x2 ——平面・展開図参照
女子便所	改修前	磁器質モザイクタイル25角（アスファルト防水）	サンタリー巾木タイル H=100	半磁器質タイル100角	PB t=9 底目地張り EPローラー	2600	手洗いx2、和風便器x4、トイレブース、掃除用流し、鏡x2 ——平面・展開図参照	
	改修後	洗い、一部改修 モザイクタイル25角（便器取替部）	部分撤去処分の上、下地処理+磁器質41φ100角接着貼り	部分撤去処分の上、下地処理+磁器質41φ100角接着貼り	下地調整の上、EP塗り 一部改修（3階便器取替部）	↑	手洗いx2、和風便器x1、洋風便器x2、トイレブース、掃除用流し、鏡x2 ——平面・展開図参照	



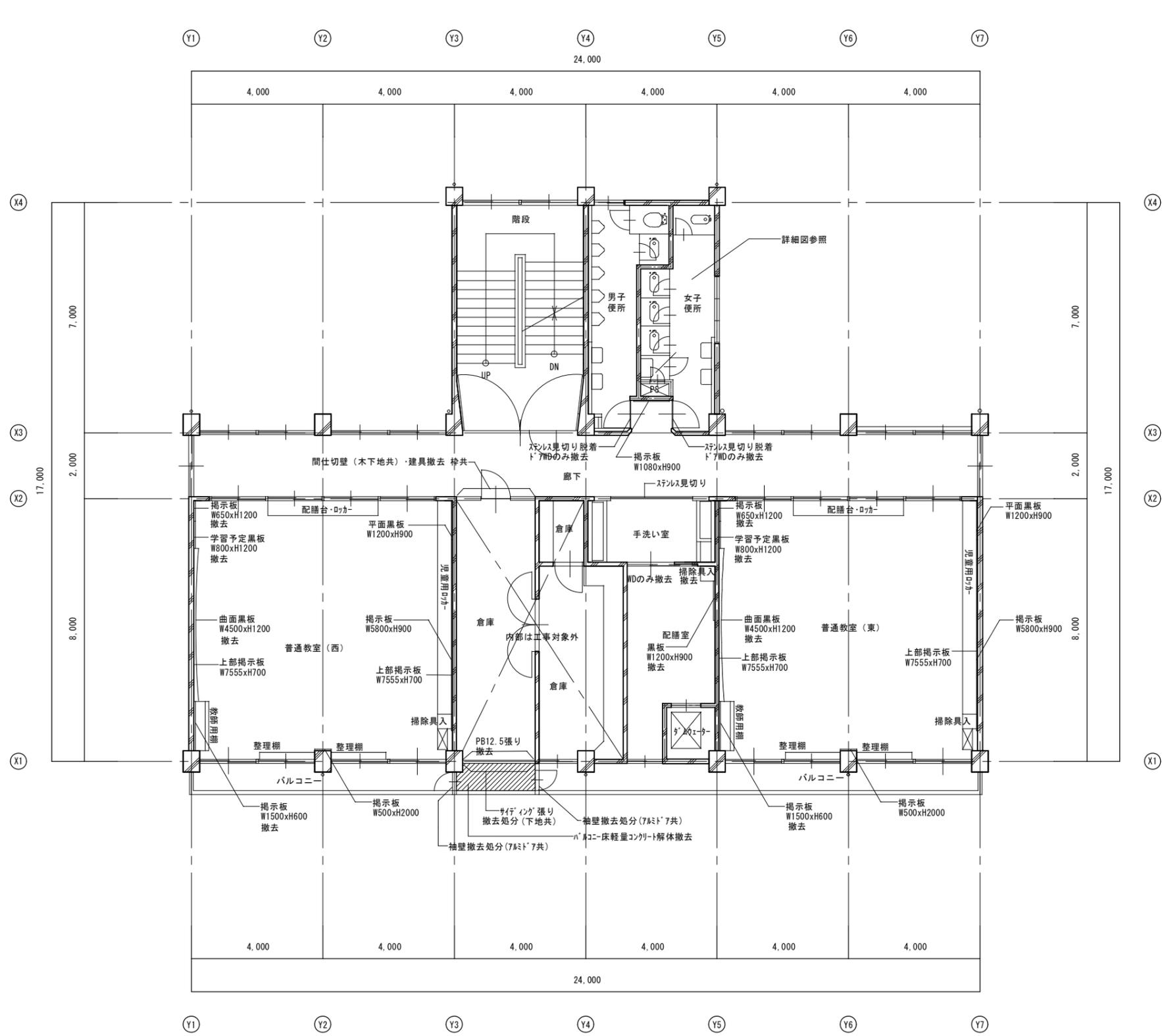
1階平面図 (現況) S=1/100



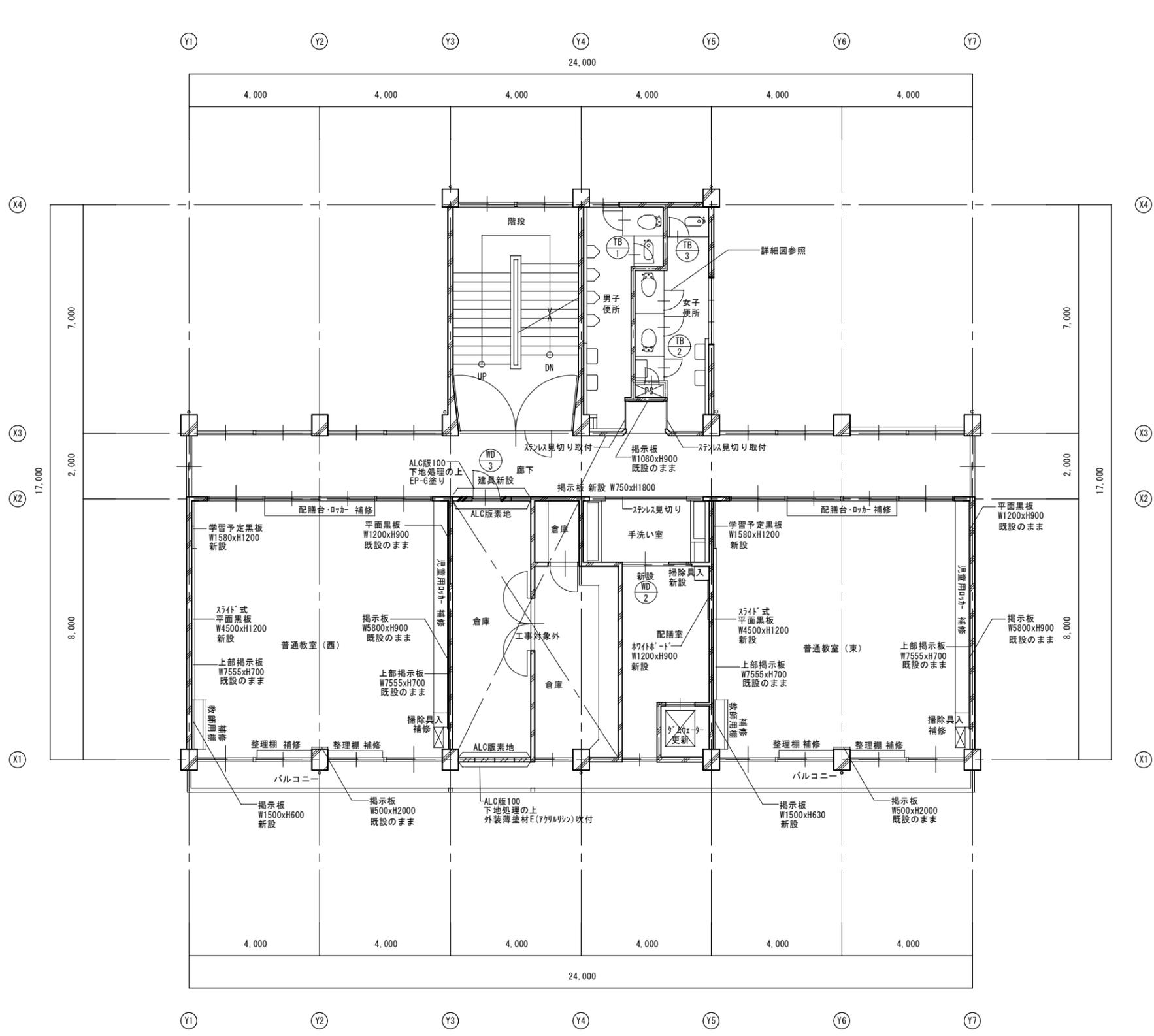
1階平面図(改修後) S=1/100

※各室の頓線、カナルBOX、掲示版等の木部については下地調整の上、SOP塗り
 ※掲示版等の寸法は、現場確認の事。

阿山小学校北校舎大規模改修工事 1階平面図(改修後) A2 S=1:100
 A3 S=1:141

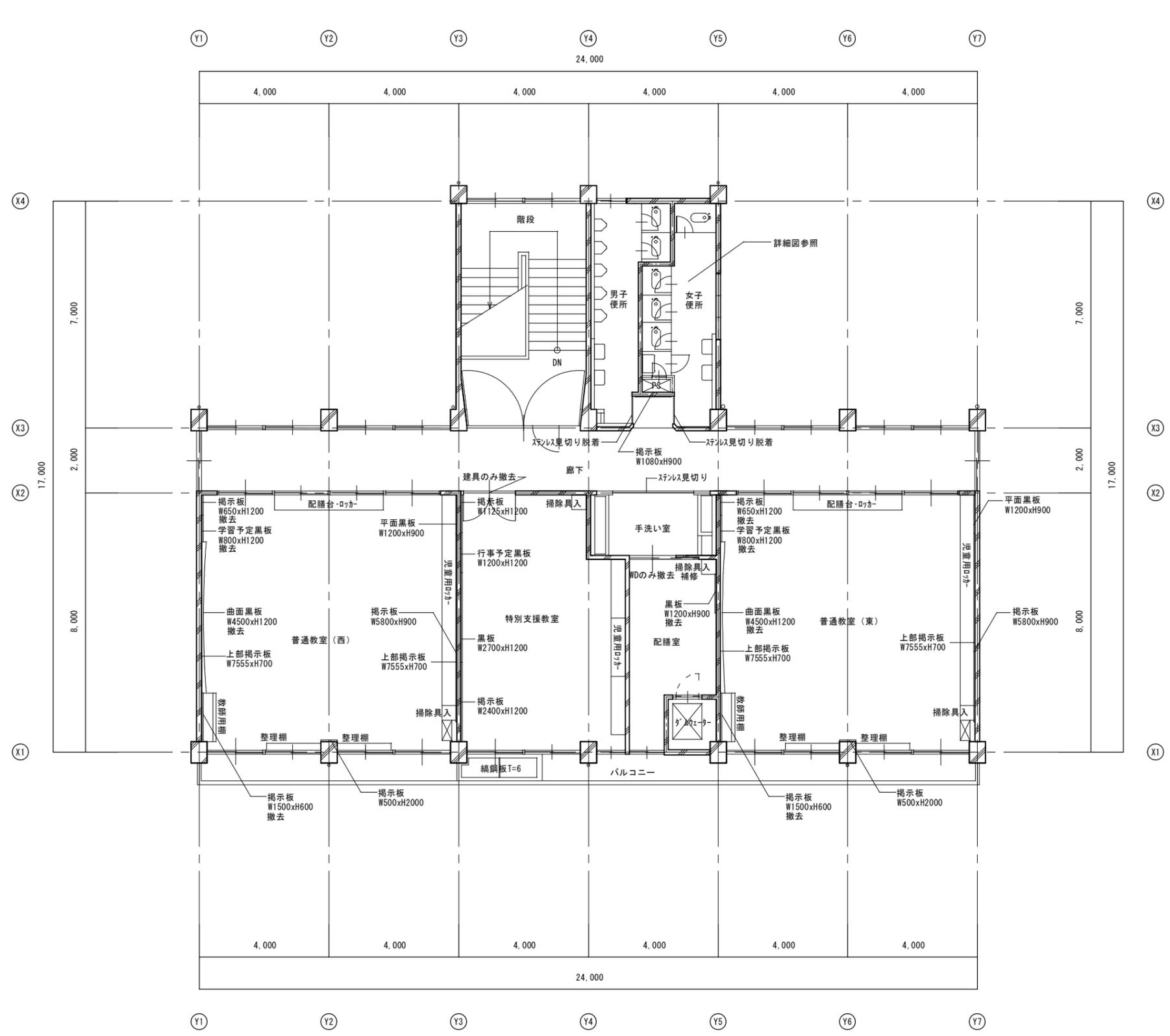


2階平面図 (現況) S=1/100

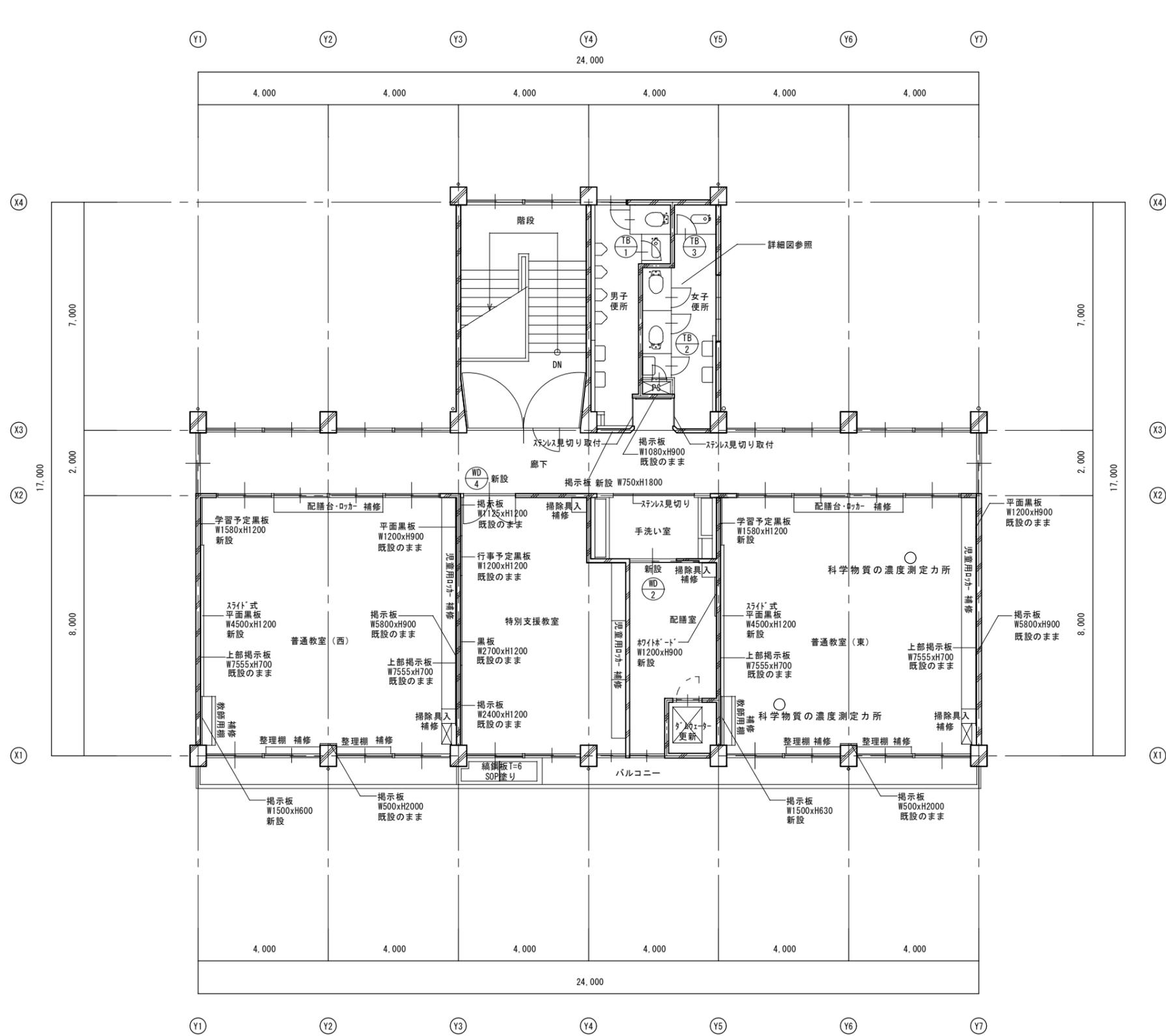


2階平面図 (改修後) S=1/100

※各室の顔縁、カーテンBOX、掲示版等の木部については下地調整の上、SOP塗り
 ※掲示版等の寸法は、現場確認の事。

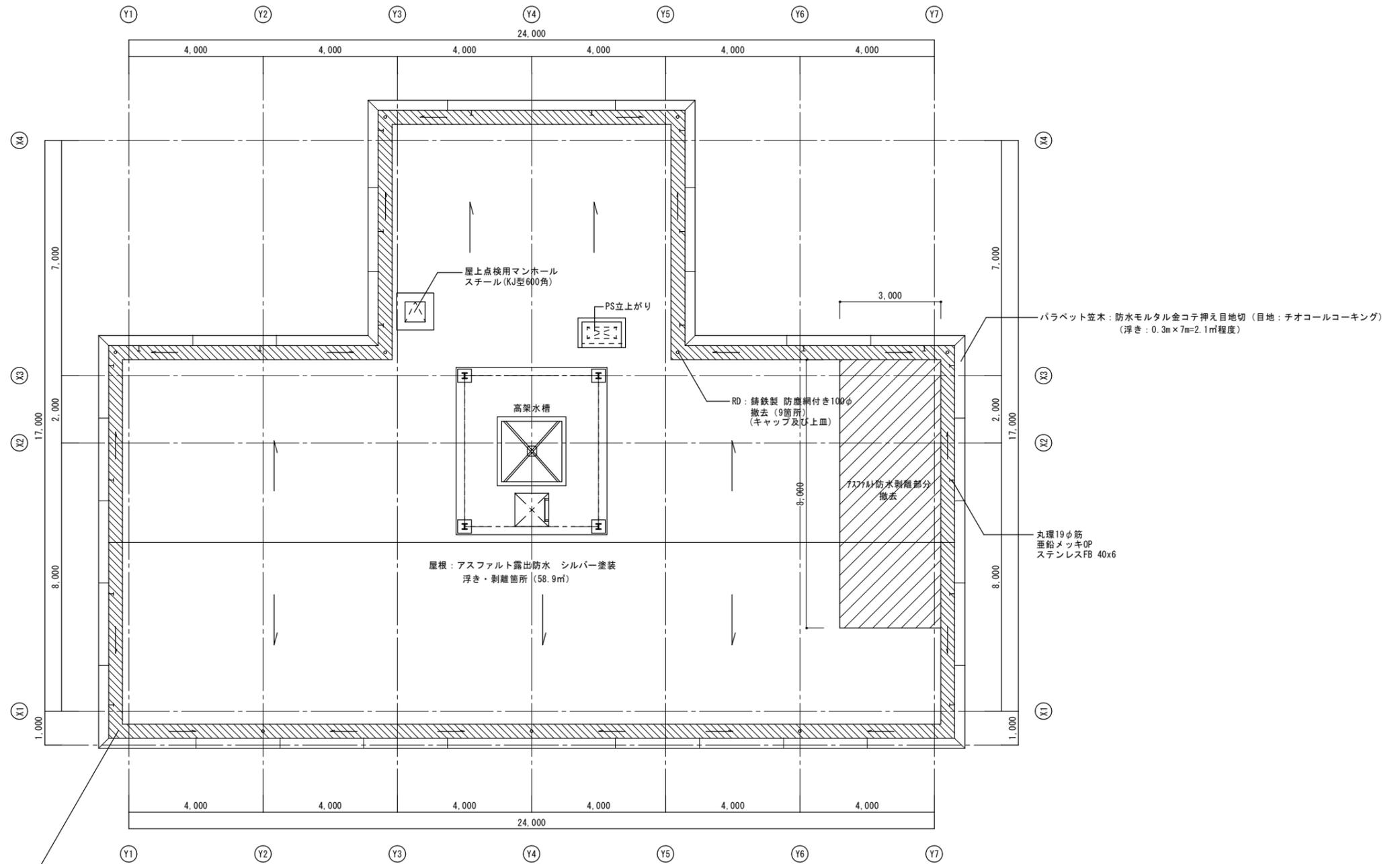


3階平面図 (現況) S=1/100



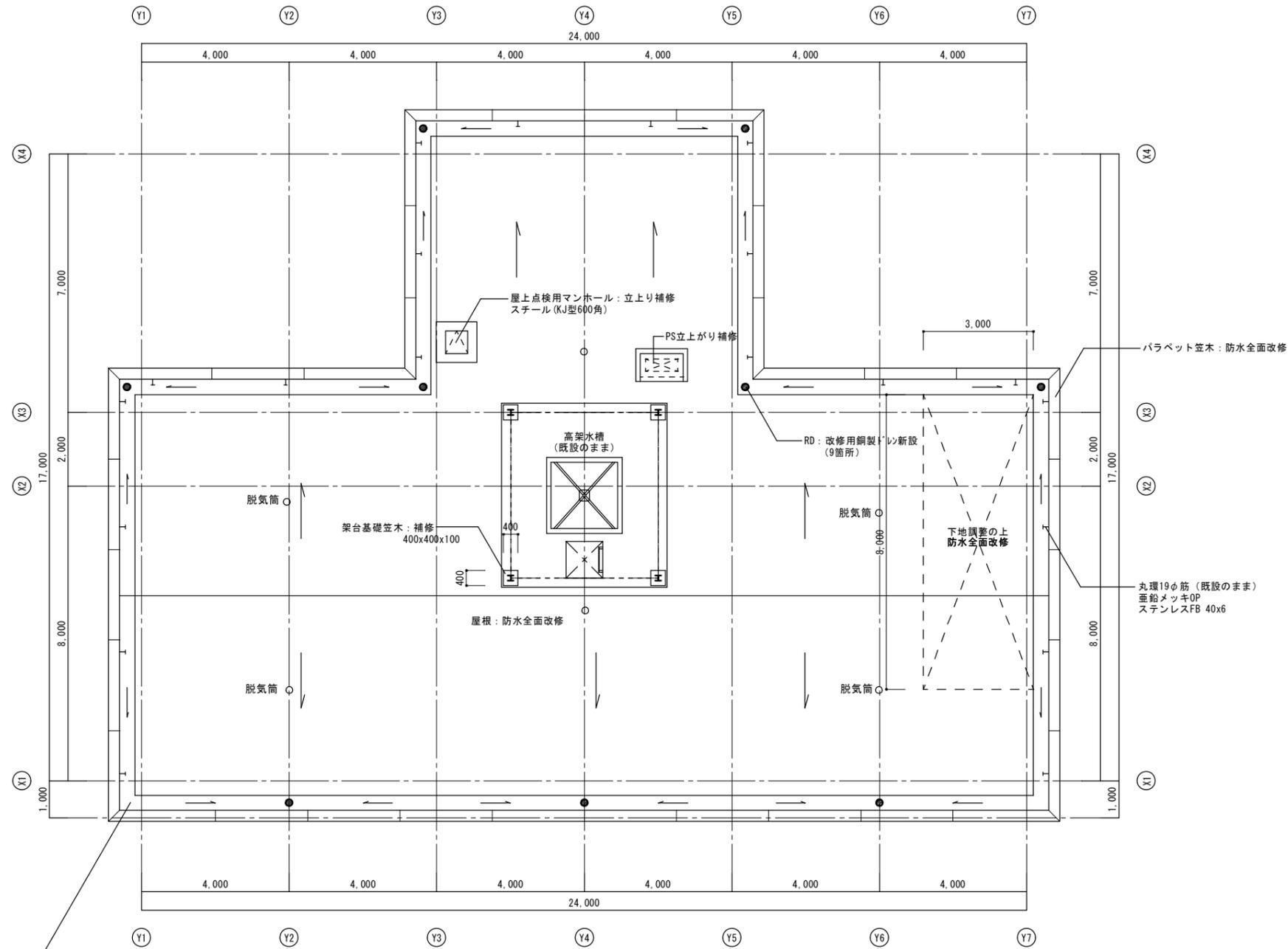
3階平面図 (改修後) S=1/100

※各室の額縁、カーテンBOX、掲示版等の木部については下地調整の上、SOP塗り
 ※掲示版等の寸法は、現場確認の事。



側溝・立上り: アスファルト露出防水撤去 (二重水切り金物共)

屋根伏図 (現況) S=1/100



屋根伏図 (改修後) S=1/100

側溝・立上り：防水全面改修

屋根：防水全面改修	
全面既存防水	下地清掃 (高圧水洗) 既存防水撤去部分は、水性コールドアプライ系下地調整材にて段差修正 (ケムベ-ス同等品)
剥離・浮き箇所	防水層切開、あぶり戻し (全体面積の20%程度)
アスファルト防水	ノンケル冷熱併用工法D-1 (BANKS工法JSX-920SF同等品) 脱気筒:SUS (70㎡に1箇所) 改修用トレン: 鋼製 9箇所 (タテ型) 改修用トレンキャップ: AL9イキヤスト製 9箇所 (タテ型)

※参考品番: 田島ル-フイング 様

側溝・立上り：防水全面改修	
全面既存下地	ケレン清掃
クラック箇所	アスファルト防水があるため目視では確認できず。※高架水槽基礎、点検口立上り、PS立上りを含む
浮き箇所	アスファルト防水があるため目視では確認できず。※高架水槽基礎、点検口立上り、PS立上りを含む
平滑処理	樹脂モルタル塗り (リグレ-同等品)
アスファルト防水	ノンケル冷熱併用工法D-1 立上り仕様 (BANKS工法JSV-920SF同等品) 立上り端末: 二重水切り金物 (フラスコトップ 60同等品) (フラスコトップ コーナ) 立上り端末: アスファルトシーリング (カシ-同等品)

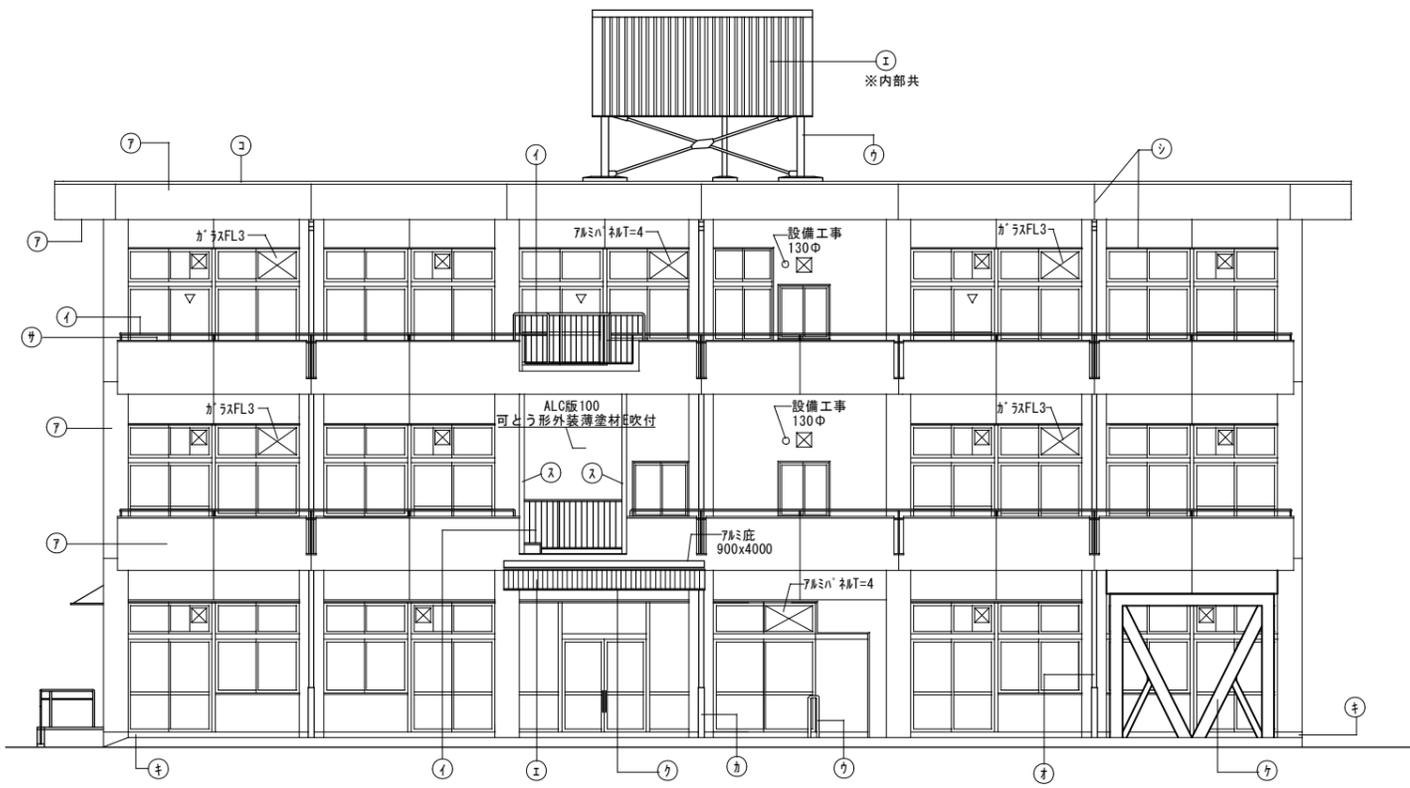
※参考品番: 田島ル-フイング 様

笠木：防水全面改修	
全面既存防水	下地清掃 (高圧水洗) ケレン清掃
浮き箇所	アング-ビ-コング イキヤスト樹脂注入 (0.3m×7m=2.1㎡程度)
平滑処理	樹脂モルタル塗り (リグレ-同等品)
塗膜防水	主剤着色型ケレン塗膜防水メッシュ補強工法X-2 シリコン系保護塗料 (オクシコ-同等品) 見付部: 乾式水切りテープ (オクシコ-テープ 同等品)

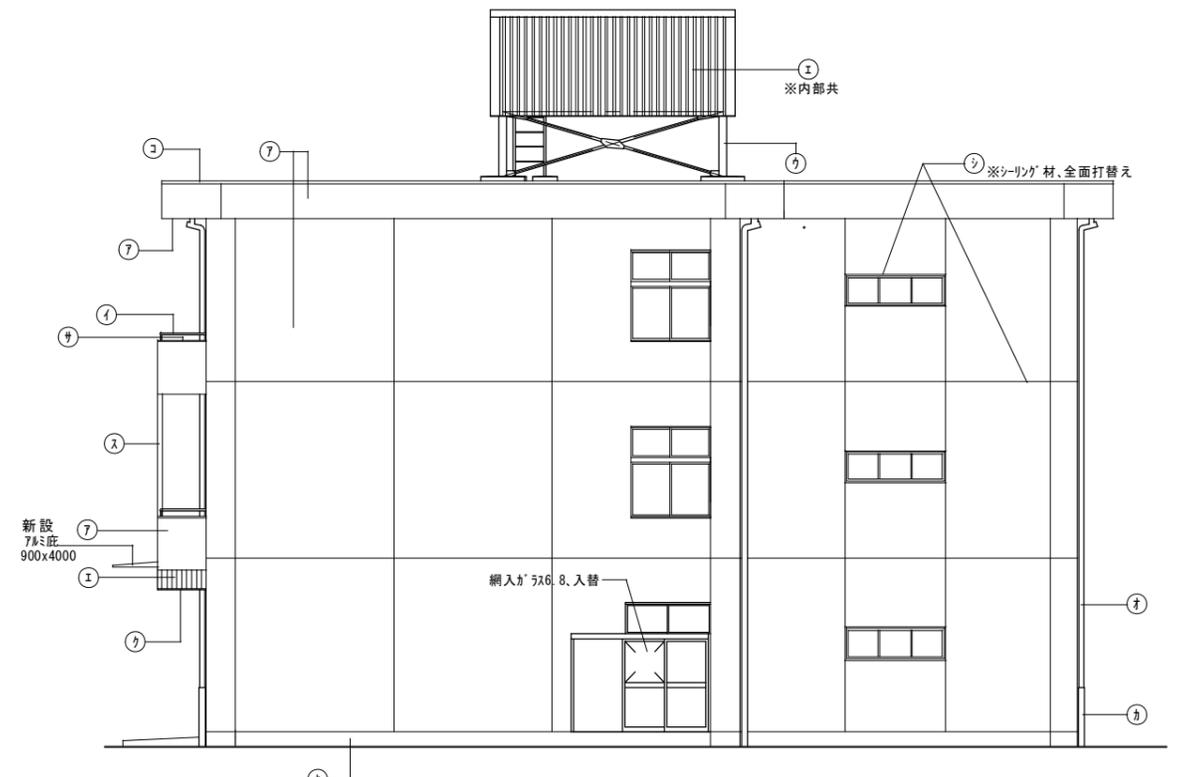
※参考品番: 田島ル-フイング 様

架台基礎笠木：補修	
全面既存防水	下地清掃 (高圧水洗) ケレン清掃
鉄筋爆裂箇所	亜硝酸リチウム修復工法にて補修 (リノ-ン RV-A同等品) 0.4m×0.4m×0.1m=0.016m ³
平滑処理	樹脂モルタル塗り (リグレ-同等品)
塗膜防水	主剤着色型ケレン塗膜防水メッシュ補強工法X-2 シリコン系保護塗料 (オクシコ-同等品) 見付部: 乾式水切りテープ (オクシコ-テープ 同等品)

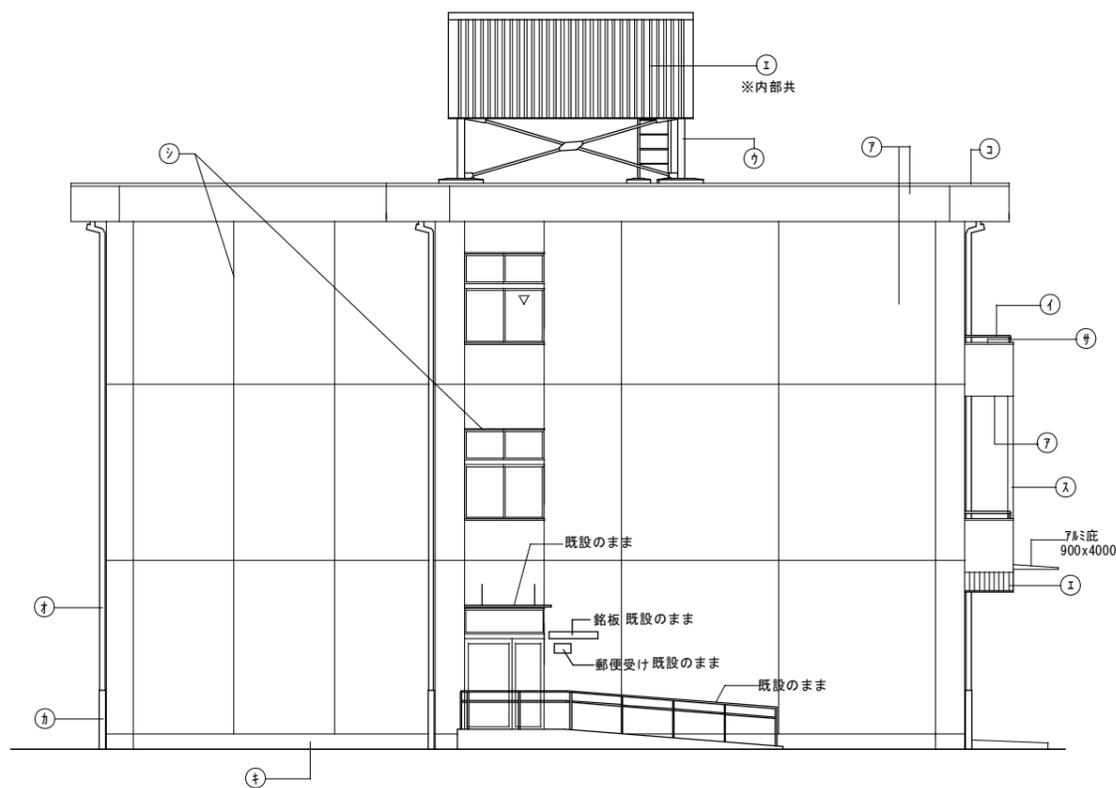
※参考品番: 田島ル-フイング 様



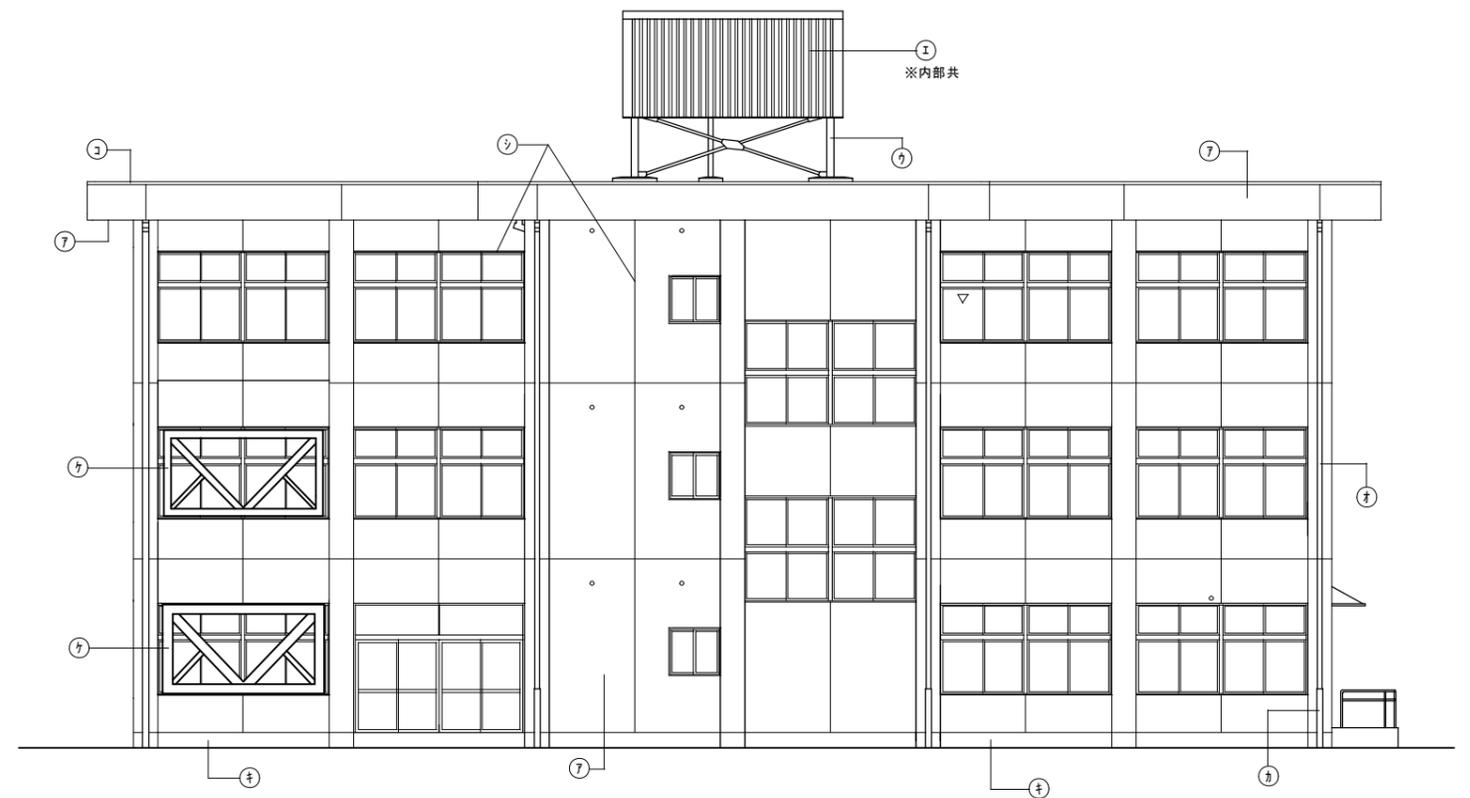
南側立面図（改修後） S=1/100



東側立面図（改修後） S=1/100

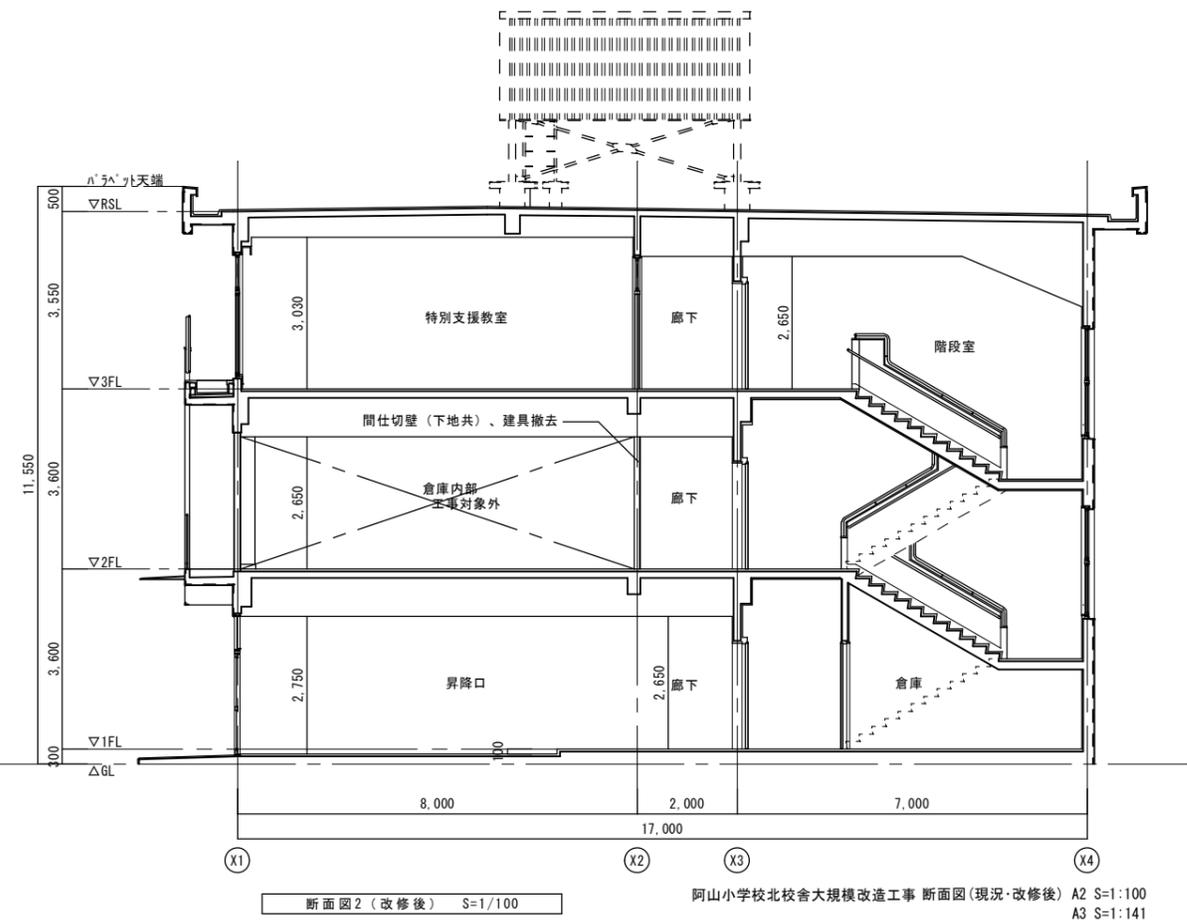
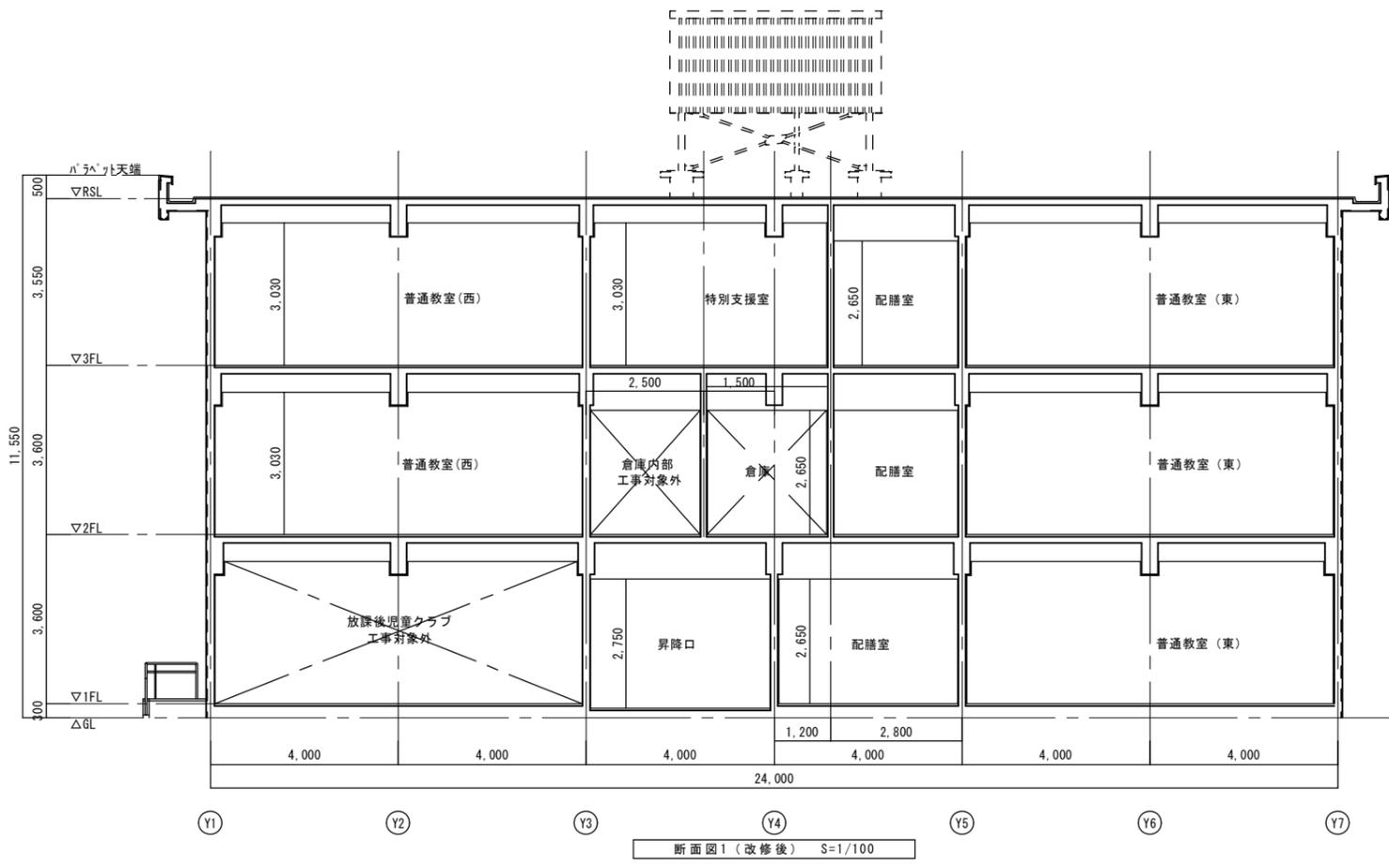
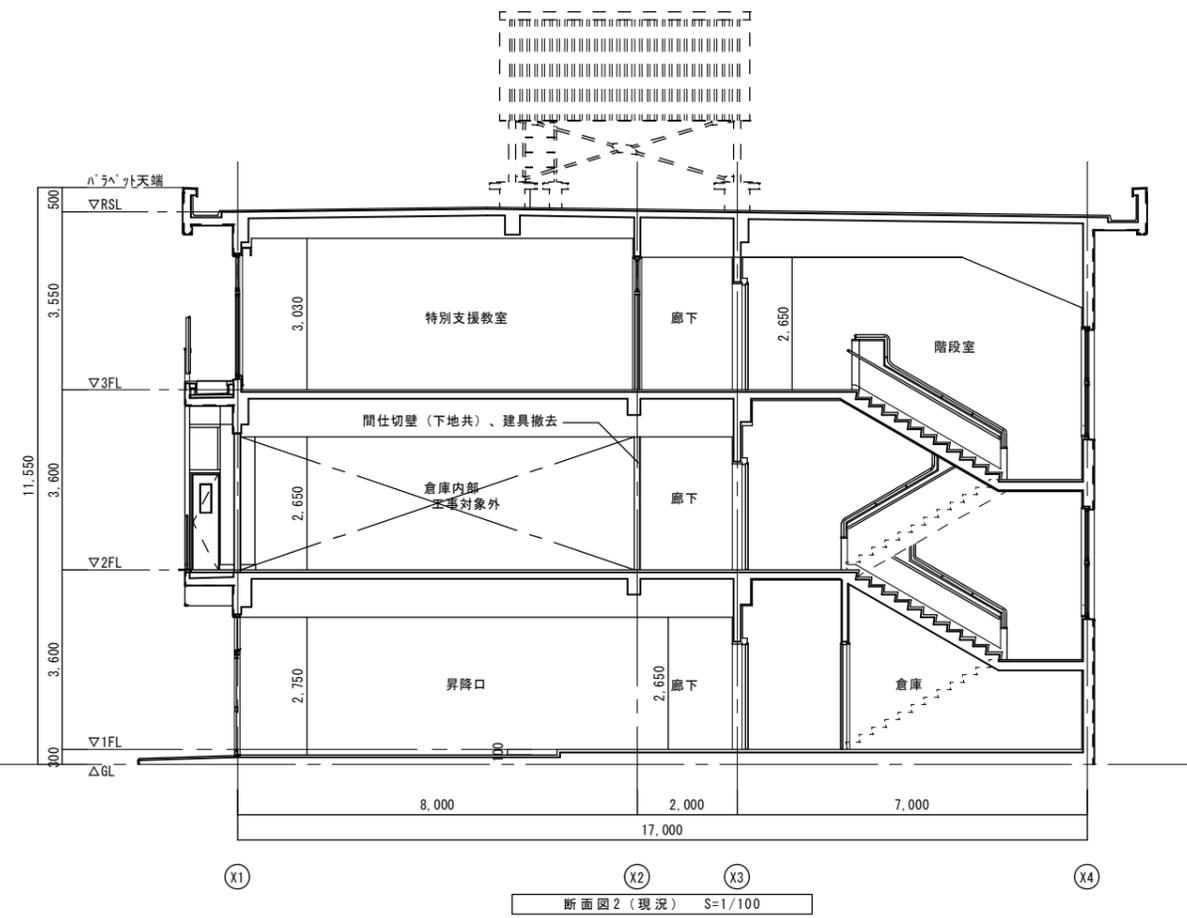
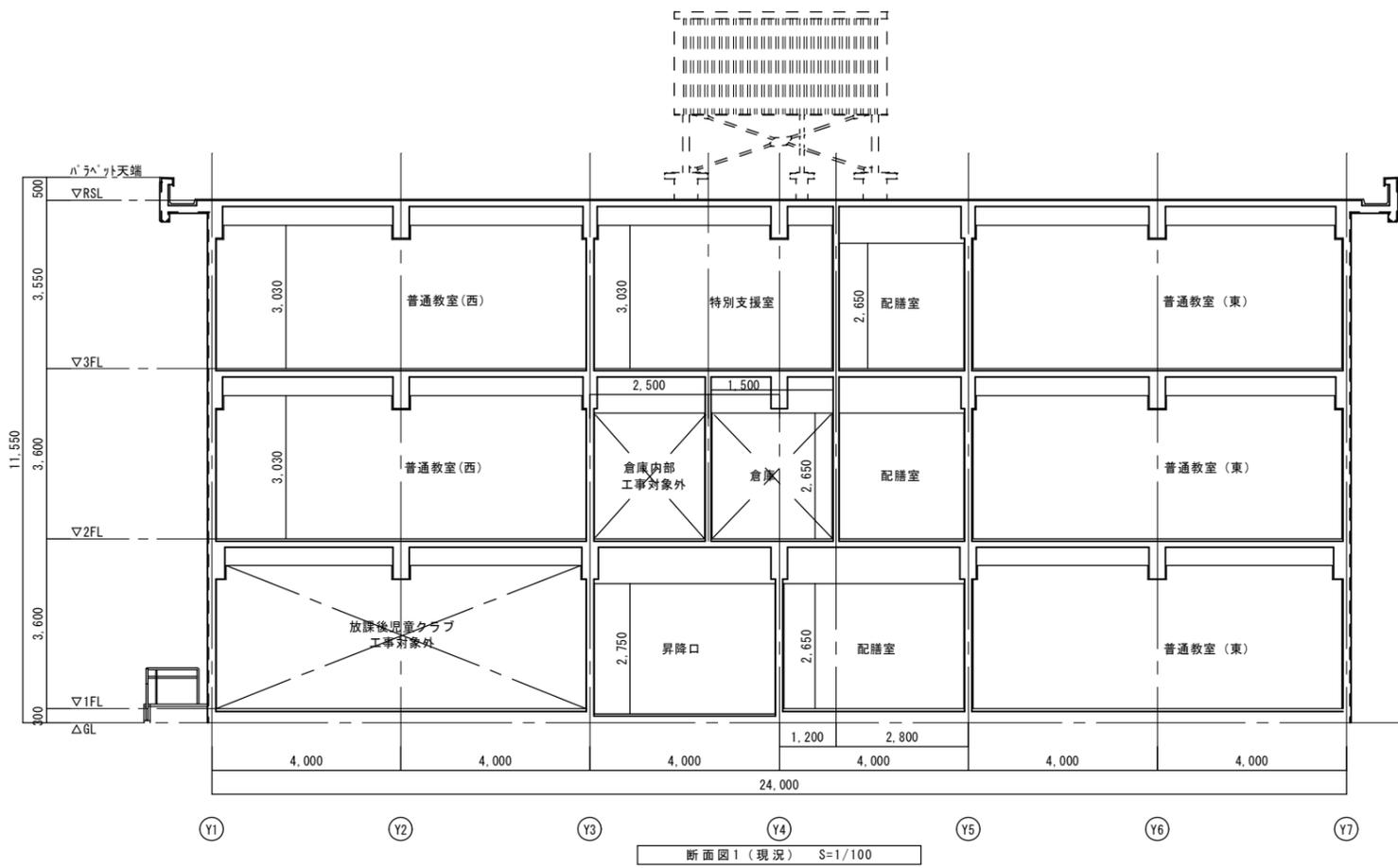


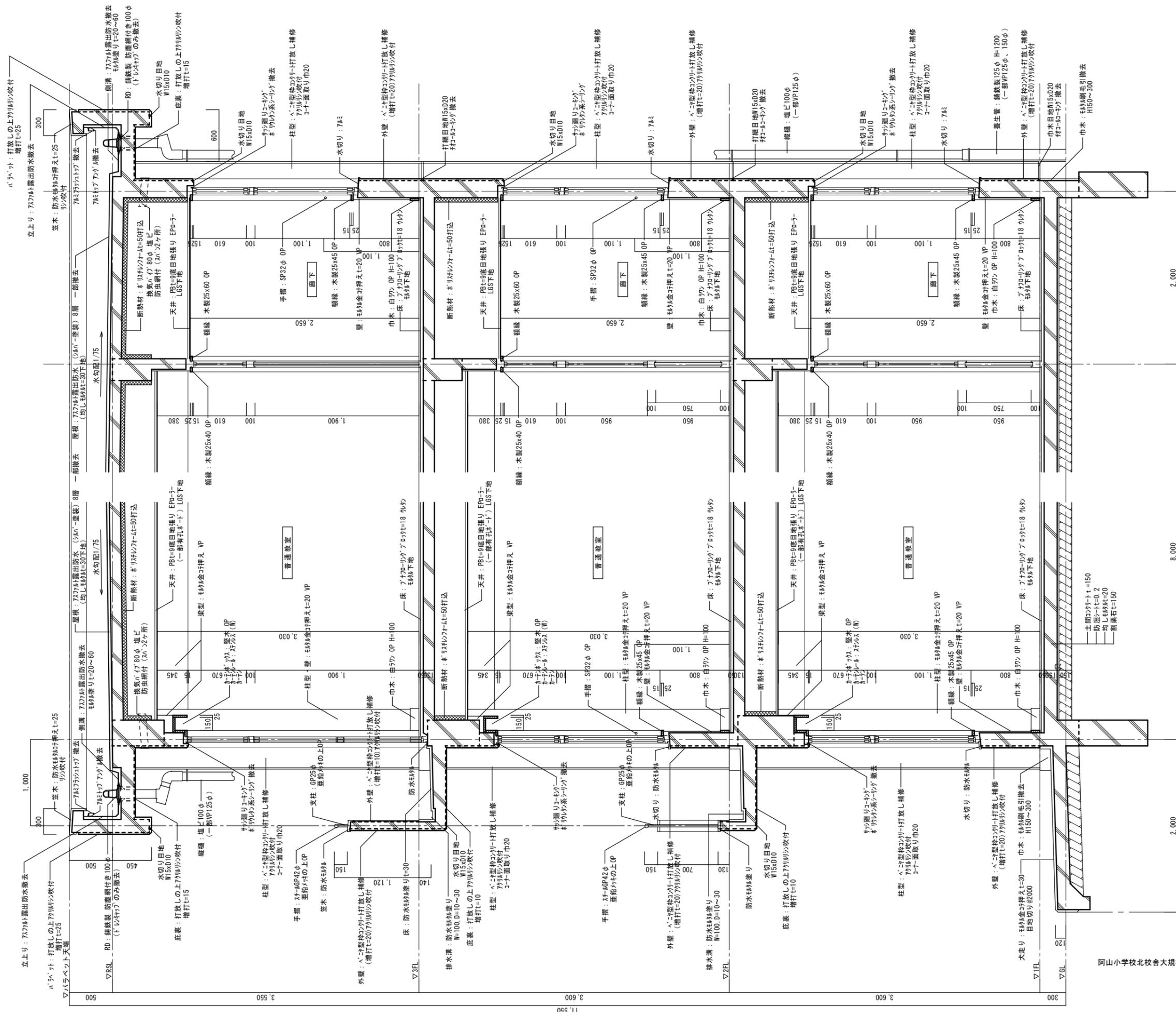
西側立面図（改修後） S=1/100



北側立面図（改修後） S=1/100

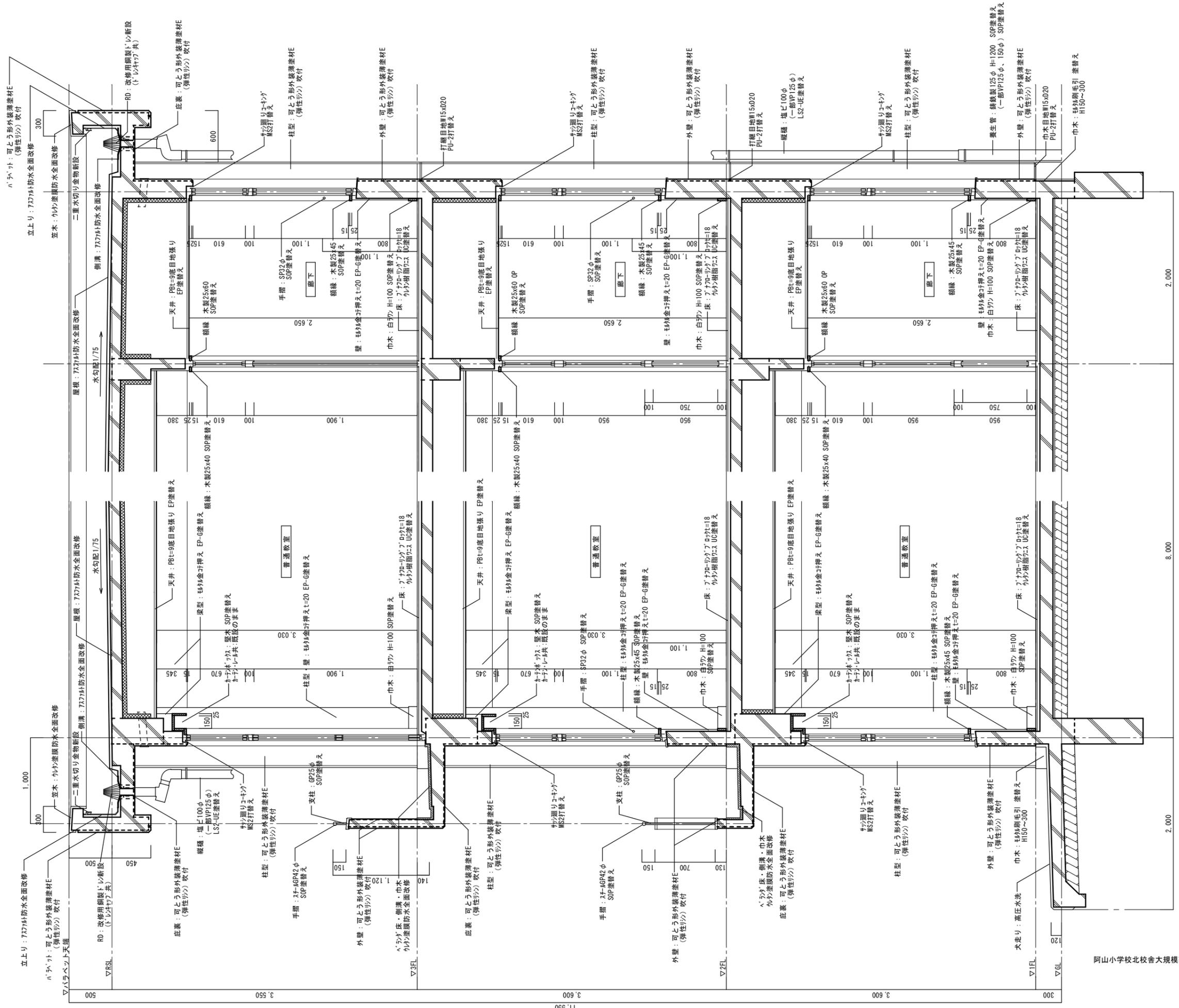
7 高圧水洗の上、可とう形外装薄塗材E(弾性リソ)吹付	8 モルタル刷毛引き 塗替え H=150~300	9 外装薄塗材E(弾性リソ)吹付
1 下地調整の上、SOP塗り	2 下地調整の上、EP塗り	
3 既設のまま	4 既設のまま	※南面各階の窓上クラック補修:Uカットの上部に樹脂充填
5 既設のまま	6 ガラスサッシ木、外装塗膜防水	
10 下地調整の上、LS2-UE塗り	11 既設防水サッシ木、高圧水洗	
12 下地調整の上、SOP塗り	13 目地部シリング PU-2 クラックシリング MS2	





(X1) 8,000 (X2) 2,000 (X3) 2,000

矩計図1 (現況) S=1/30



全面既存防水	地下清掃 (高圧水洗)
天井箇所	Urethaneフォーム (2層: 7m) (3層: 3m)
浮き箇所	アクリル樹脂の上、珪藻土層注入 (2層: 18.3m) (3層: 17.4m)
平滑処理	樹脂モルタル (リグレ同等品)
塗膜防水	主剤着色重なり塗膜防水工法Ⅱ-2 シリカ系保護塗料 (特許がけ同等品)

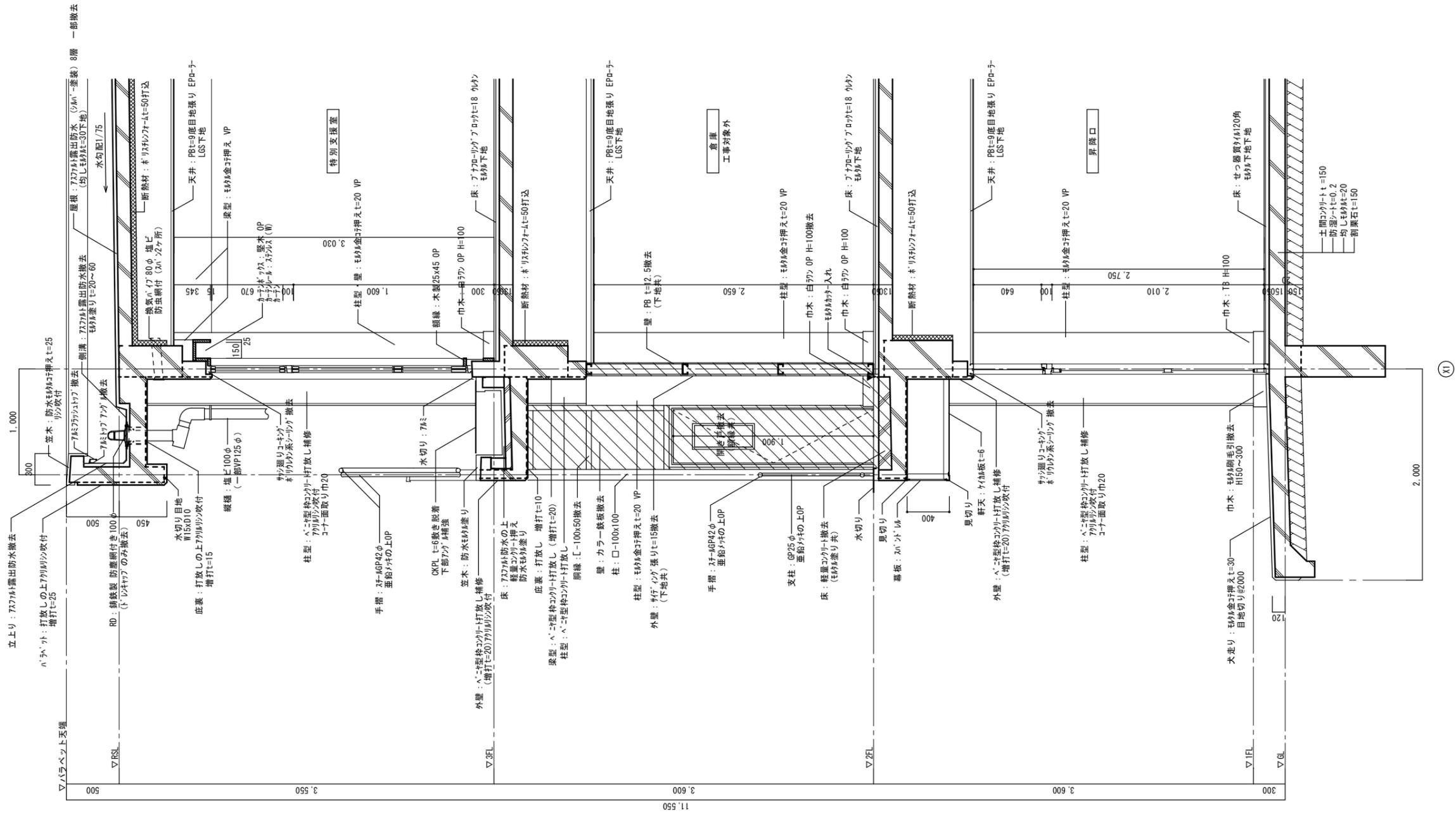
※参考品番: 田島M-7007 欄

※外壁、柱型、庇裏、庇裏、ハコバット (外壁)、ベランダ手摺柱木は、高圧水洗を行うこと。
 ※外廊木製遮り部分、下地調整を行うこと。
 ※上層の屋根、庇裏、立上りについては、屋根図面を参照のこと。
 ※ベランダ遮り部分、表面研削を行うこと。
 ※既存塗膜部分、下地調整を行うこと。

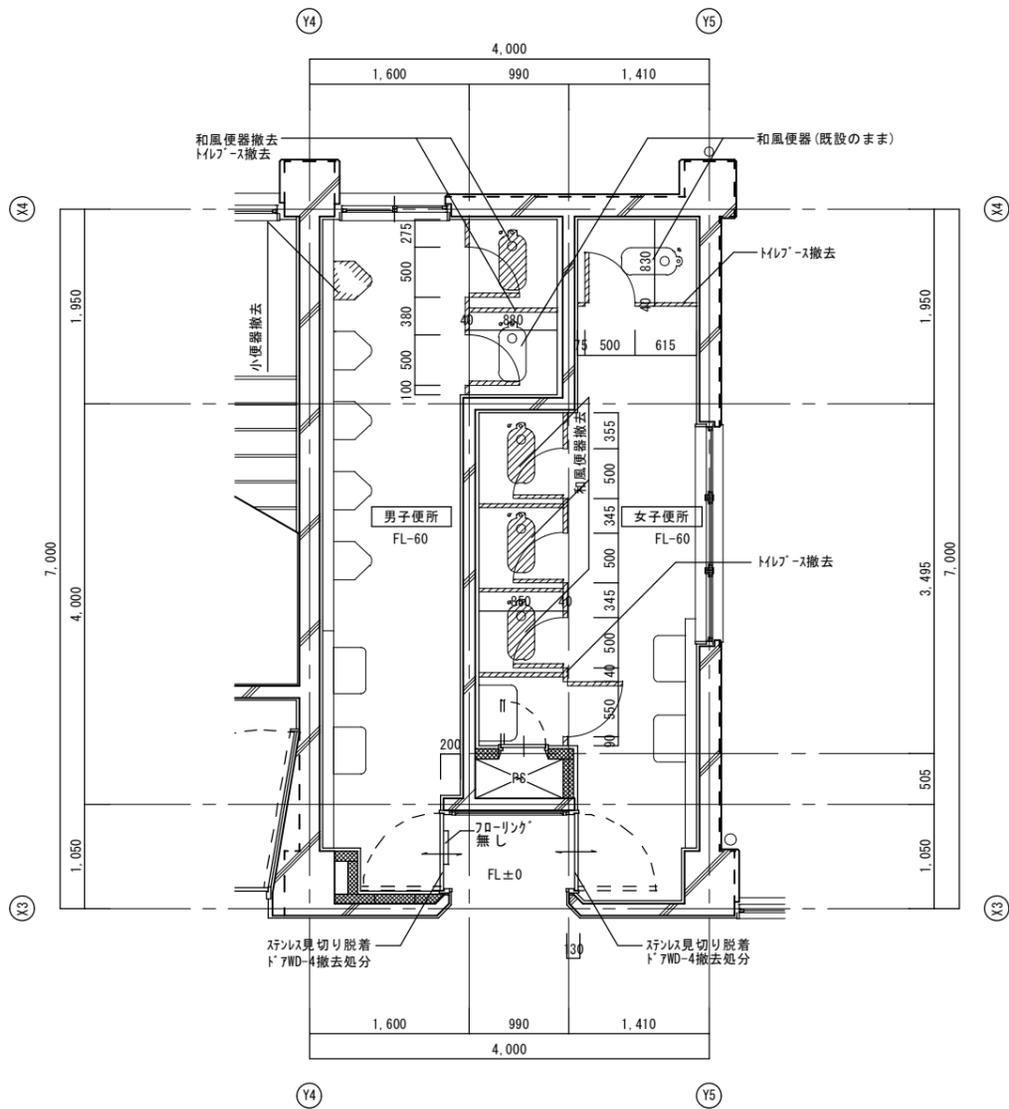
図面番号 A-23

図面番号 A-23

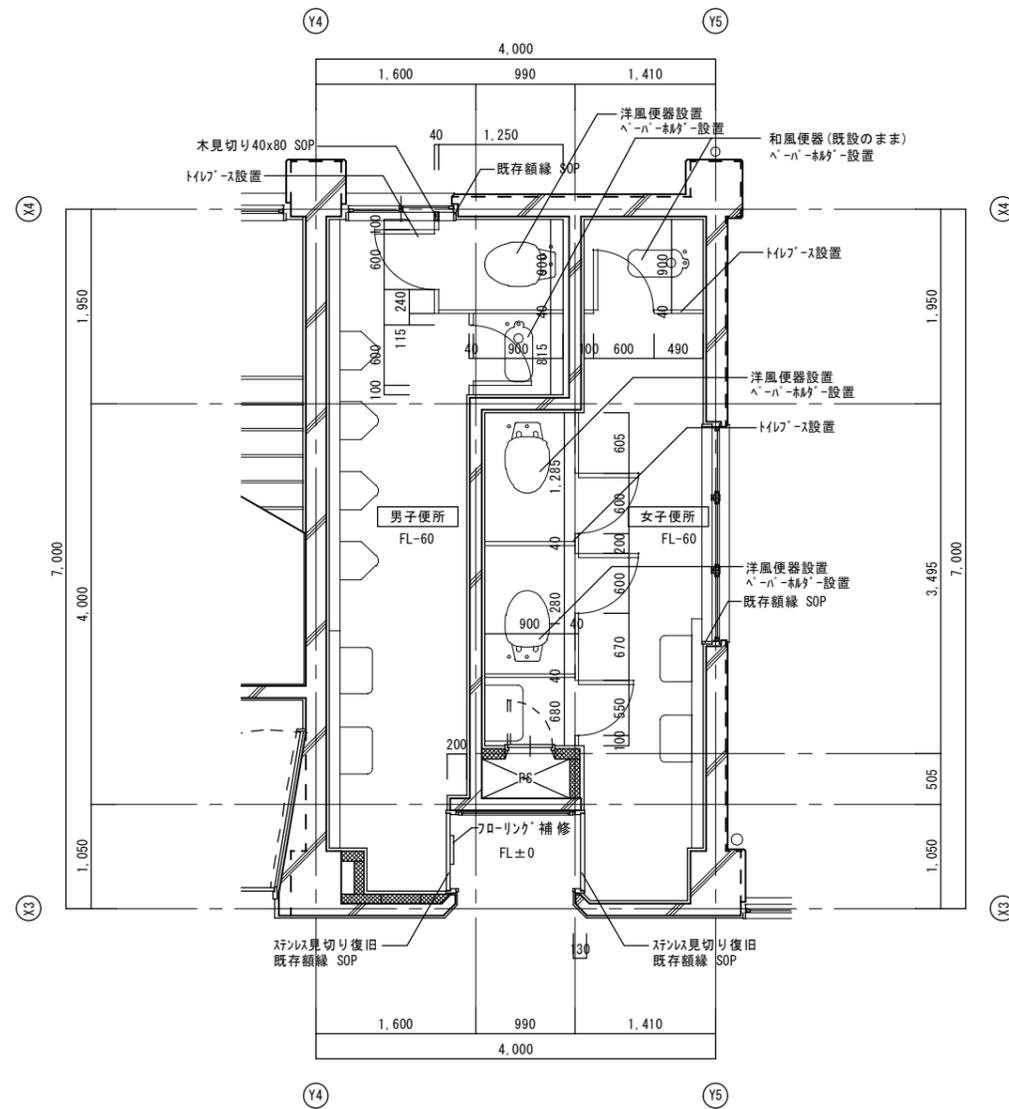
図面番号 A-23



矩計図2 (現況) S=1/30



1階便所 平面詳細図(現況) S=1/50



1階便所 平面詳細図(改修後) S=1/50

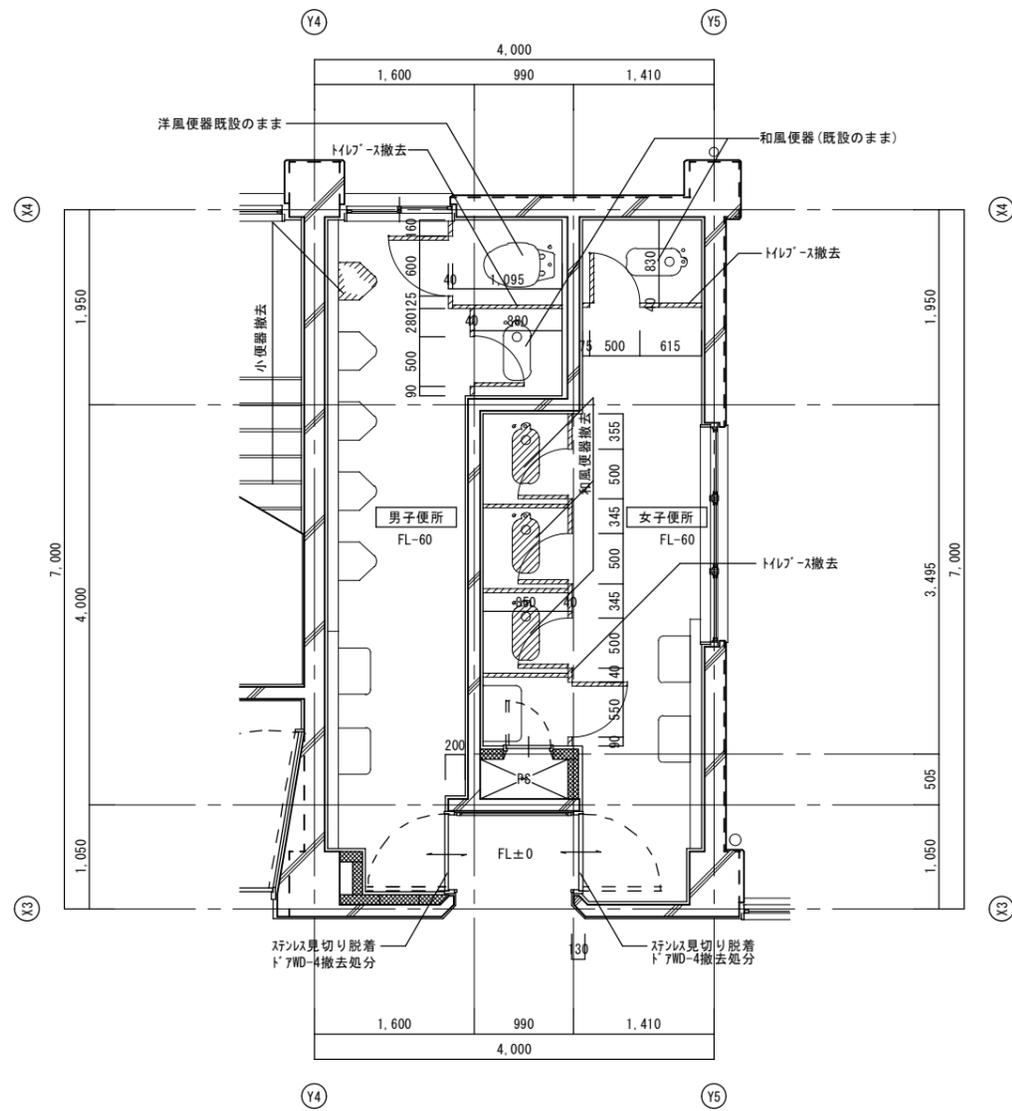
- 工事概要**
- 各種衛生器具の脱着及び取替え
 - ペーパーホルダーx6個撤去
 - ステンレス見切りx2箇所脱着
 - ドアWD.2箇所撤去処分
 - 上記に伴うトイレノスの取替え及び内装の改修(便器取替えに伴う下階天井の改修)
 - ※既設衛生器具撤去は設備工事(処分は建築工事)
 - ※衛生器具、ペーパーホルダーの設置は設備工事
 - ※床の一部撤去復旧(床伏図参照)

現況仕上表

床	磁器質モザイクタイル25角 既存のまま
壁	半磁器質タイル100角 部分撤去
天井	PB t=9底目地張り EPローラー 既存のまま ※2階便器取替部 撤去(下地共)

改修後仕上表

床	洗い、一部改修 モザイクタイル25角(便器取替部) 土間コンクリートt=150(FC21)+差し筋アンカーD13-φ200タテヨコ+タイル下地(床伏図参照)
壁	下地処理+磁器質タイル100角接着貼り
天井	下地調整の上、EP塗り 一部改修(2階便器取替部)下地共※天井伏図参照のこと



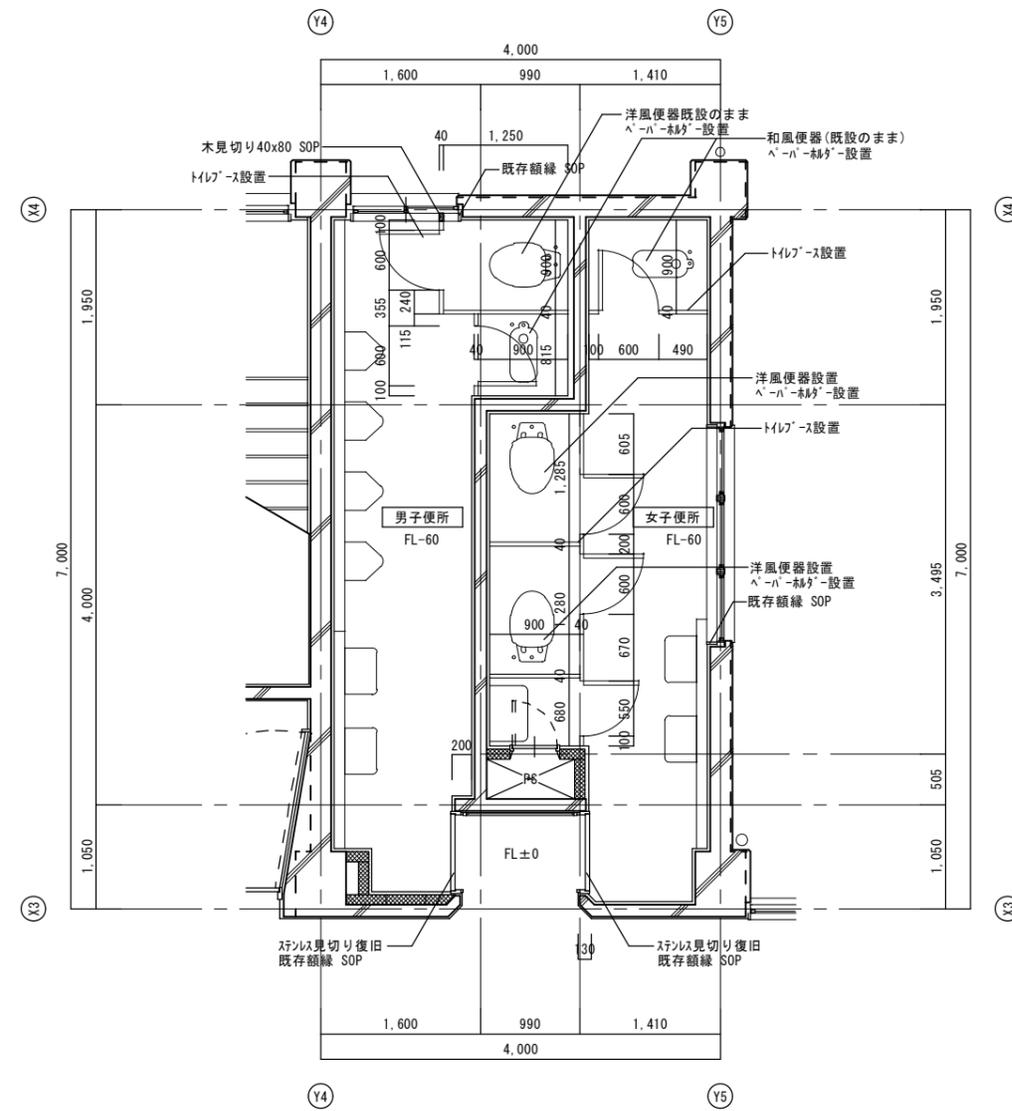
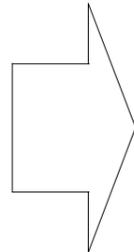
2階便所 平面詳細図 (現況) S=1/50

工事概要

- ・各種衛生器具の脱着及び取替え
 - ・ペーパーホルダーx6個撤去
 - ・ステンレス見切りx2箇所脱着
 - ・ドアWD.2箇所撤去処分
 - ・上記に伴うトイレブスの取替え及び内装の改修 (便器取替えに伴う下階天井の改修)
- ※既設衛生器具撤去は設備工事 (処分は建築工事)
 ※衛生器具、ペーパーホルダーの設置は設備工事

現況仕上表

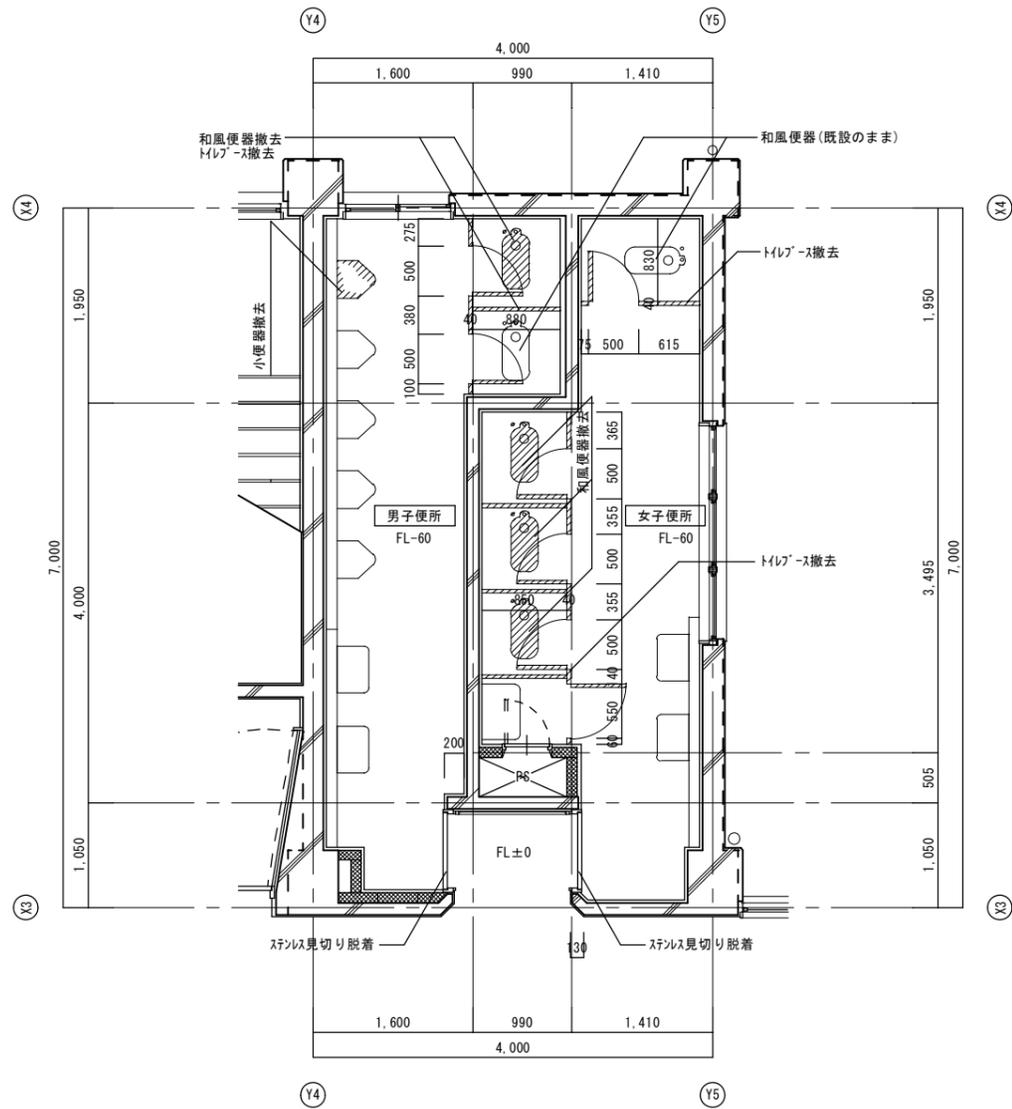
床	磁器質モザイクタイル25角 (アスファルト防水) 既存のまま
壁	半磁器質タイル100角 部分撤去
天井	PB t=9底目地張り EPローラー 既存のまま ※3階便器取替部 撤去 (下地共)



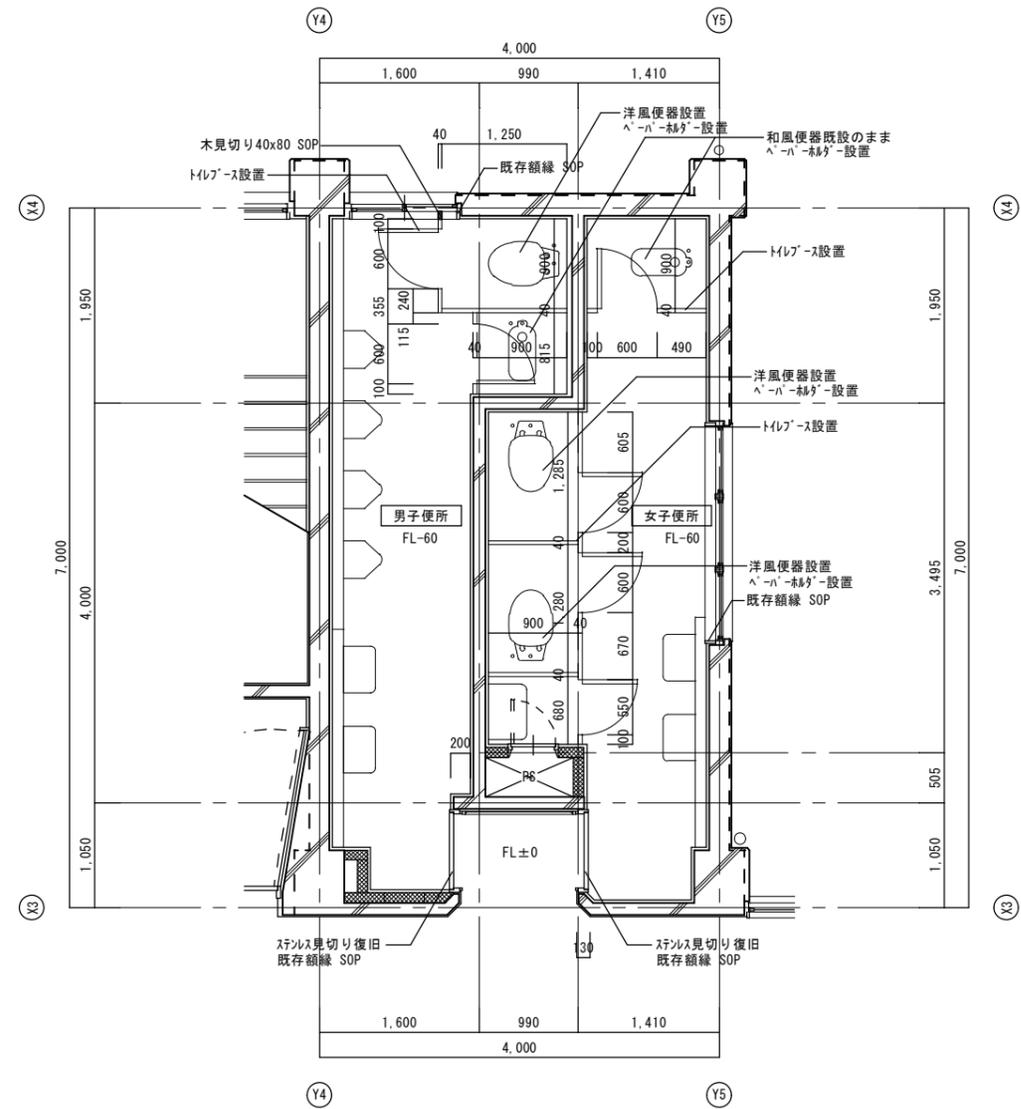
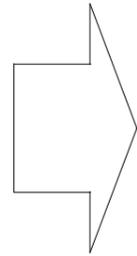
2階便所 平面詳細図 (改修後) S=1/50

改修後仕上表

床	洗い、一部改修 モザイクタイル25角 (便器取替部) 改質7mm厚防水 (常温塗膜積層工法) 土間コンクリートt=130 (F21)+差し筋アンカーD13-@200タテヨコ+タイル下地 (便器撤去部)
壁	下地処理+磁器質タイル100角接着貼り
天井	下地調整の上、EP塗り 一部改修 (3階便器取替部) 下地共※天井伏図参照のこと



3階便所 平面詳細図 (現況) S=1/50



3階便所 平面詳細図 (改修後) S=1/50

工事概要

- ・各種衛生器具の脱着及び取替え
- ・ペーパーホルダーx6個撤去
- ・男子トイレ: 鏡x2枚新設
- ・ステンレス見切りx2箇所脱着
- ・上記に伴うトイレースの取替え及び内装の改修
- ※既設衛生器具撤去は設備工事 (処分は建築工事)
- ※衛生器具、ペーパーホルダーの設置は設備工事

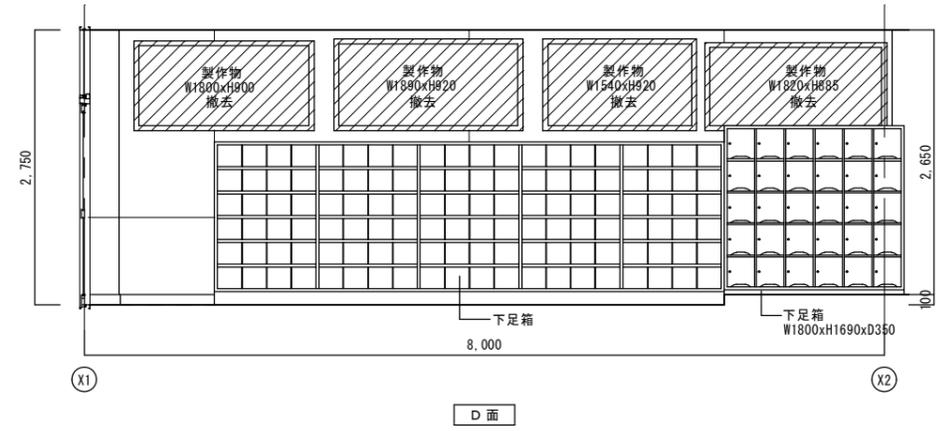
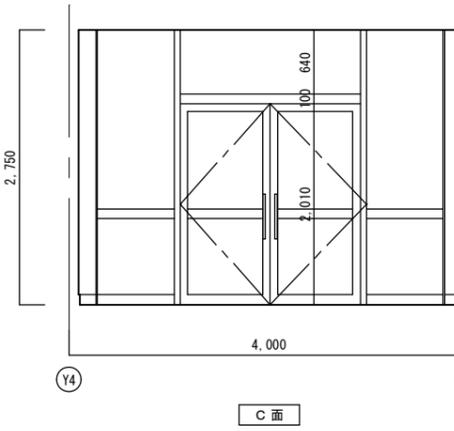
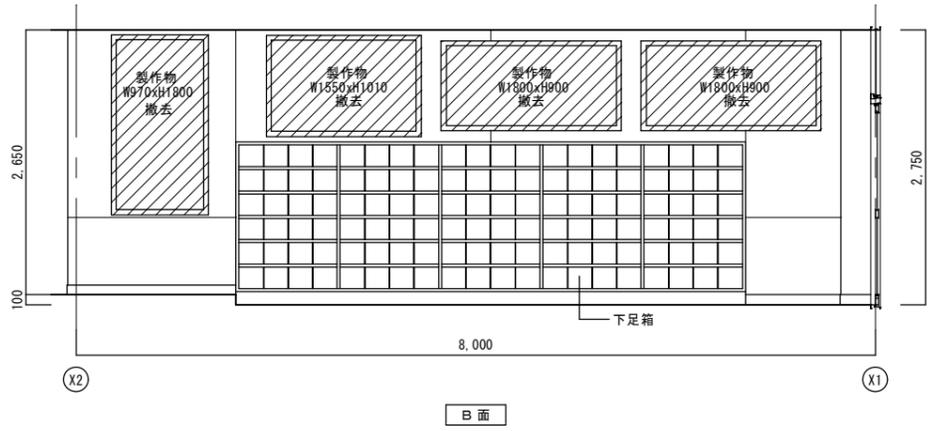
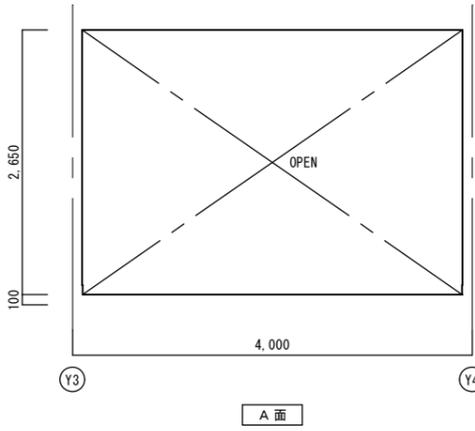
現況仕上表

床	磁器質モザイクタイル25角 (アスファルト防水)
壁	半磁器質タイル100角 部分撤去
天井	PB t=9底目地張り EPローラー 既存のまま

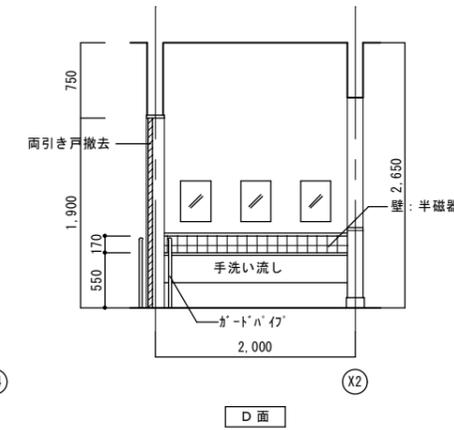
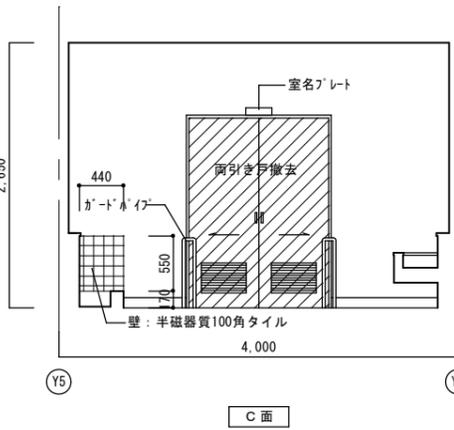
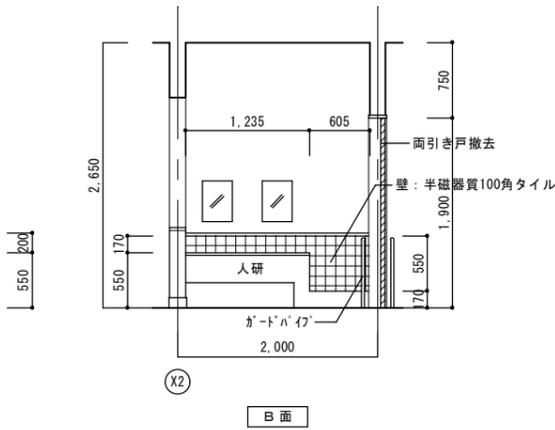
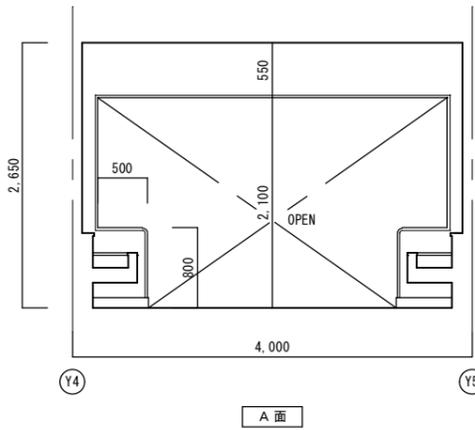
改修後仕上表

床	洗い、一部改修 モザイクタイル25角 (便器取替部) 改質アスファルト防水 (常温塗膜積層工法) 土間コンクリート t=130 (FC21)+差し筋アンカーD13-#200タテヨコ+タイル下地 (便器撤去部)
壁	下地処理+磁器質タイル100角接着貼り
天井	下地調整の上、EP塗り

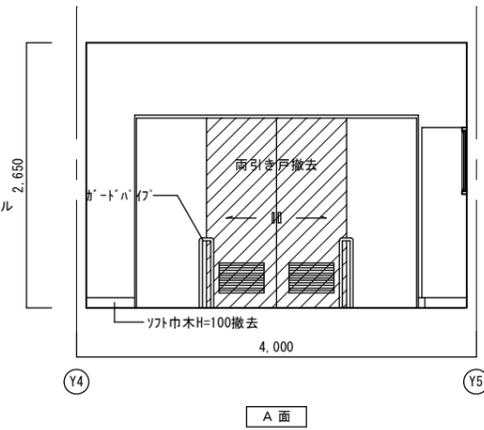
昇降口展開図 S=1/50 (現況)



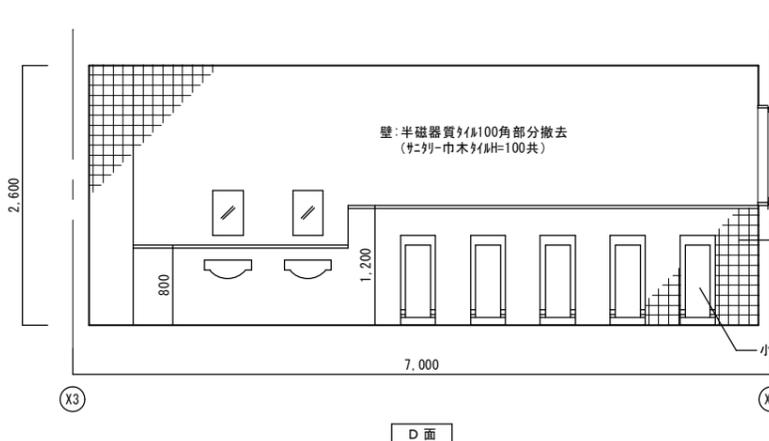
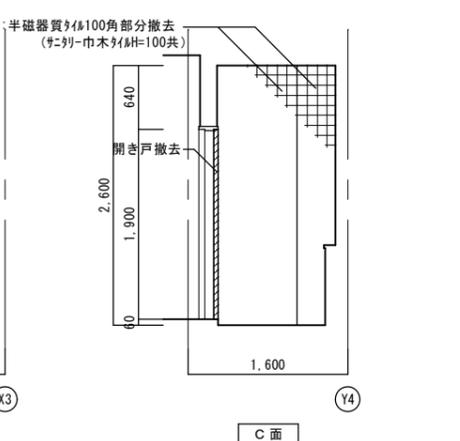
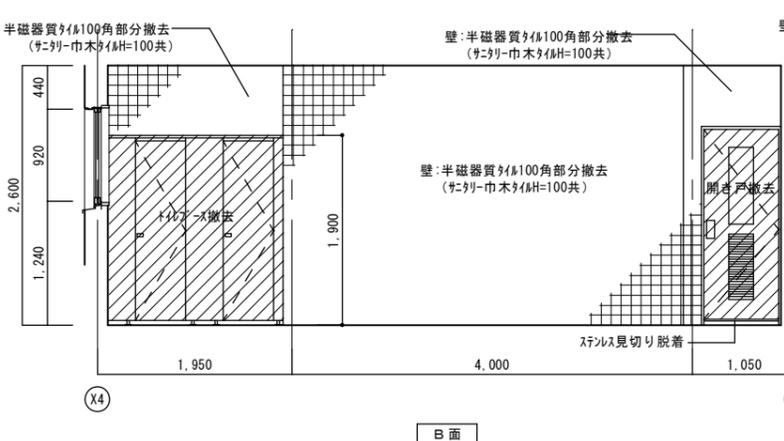
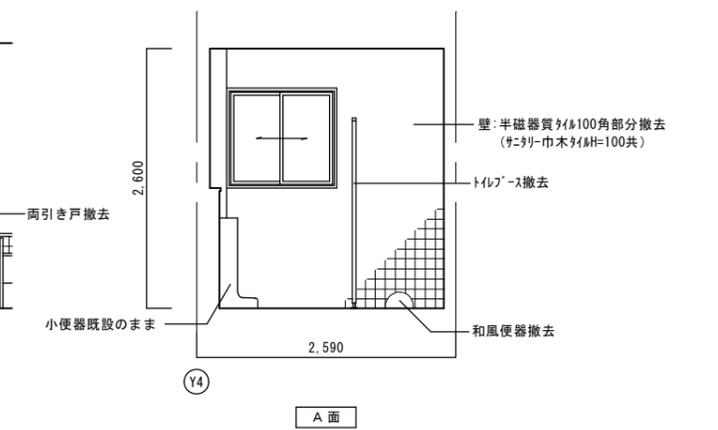
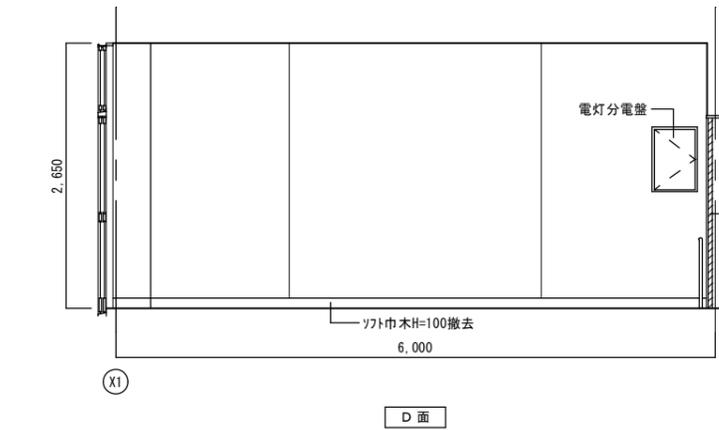
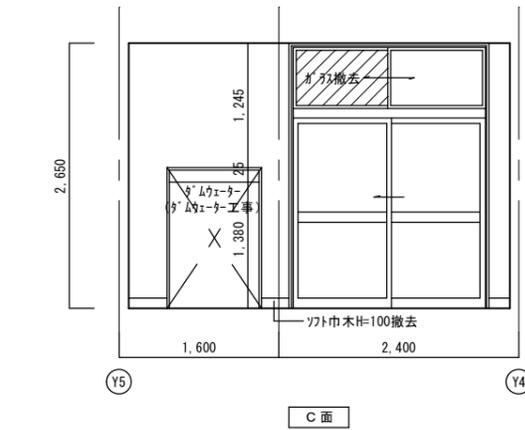
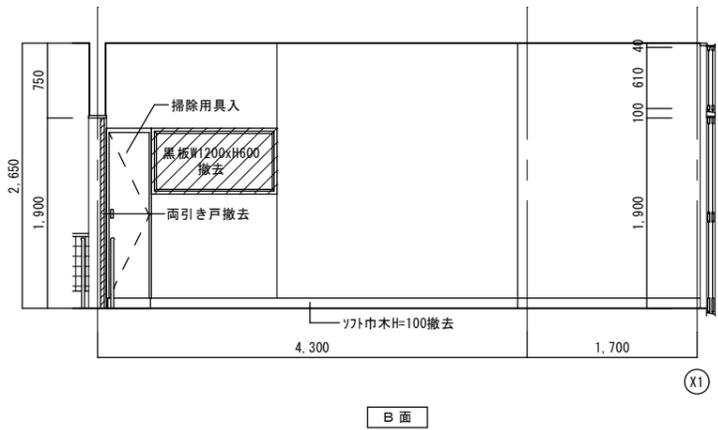
1階手洗い室展開図 S=1/50 (現況)



1階配膳室展開図 S=1/50 (現況)

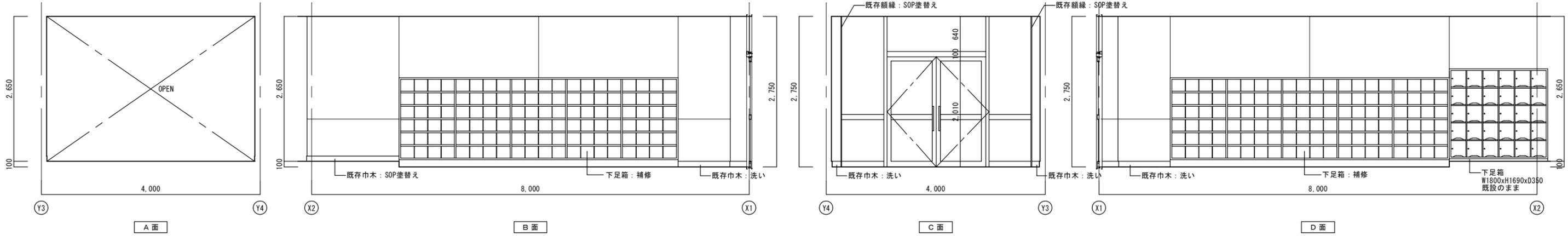


1階男子トイレ展開図 S=1/50 (現況) ※一部天井撤去(2階便器取替部)天井伏図参照



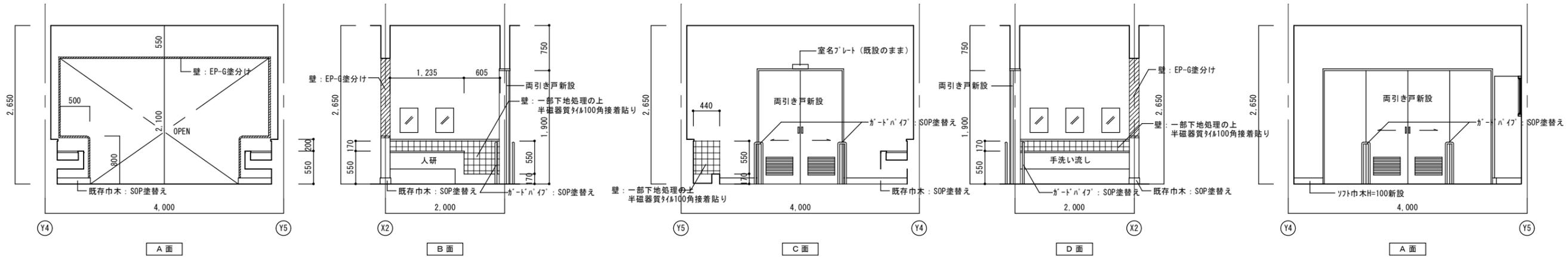
備品、建具の撤去範囲を示す
※衛生設備については、設備工事

昇降口展開図 S=1/50 (改修後) 現況床：洗い 現況壁：下地調整の上、EP-G塗り 現況天井：下地調整の上、EP塗り

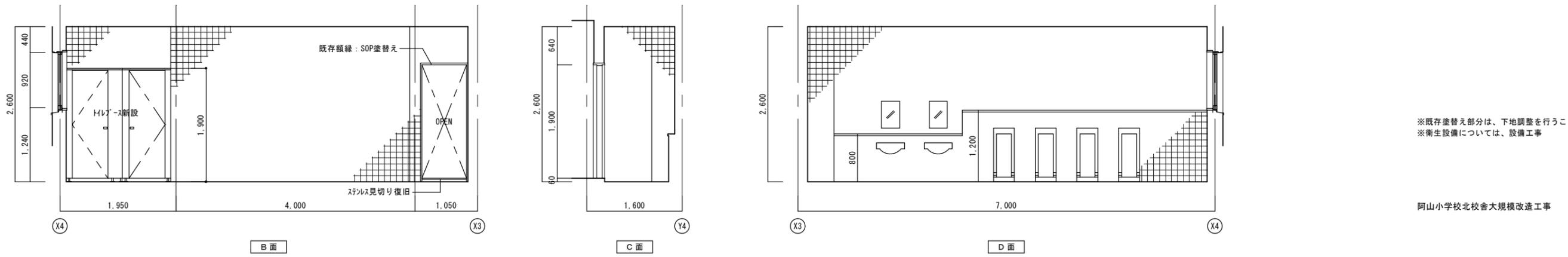
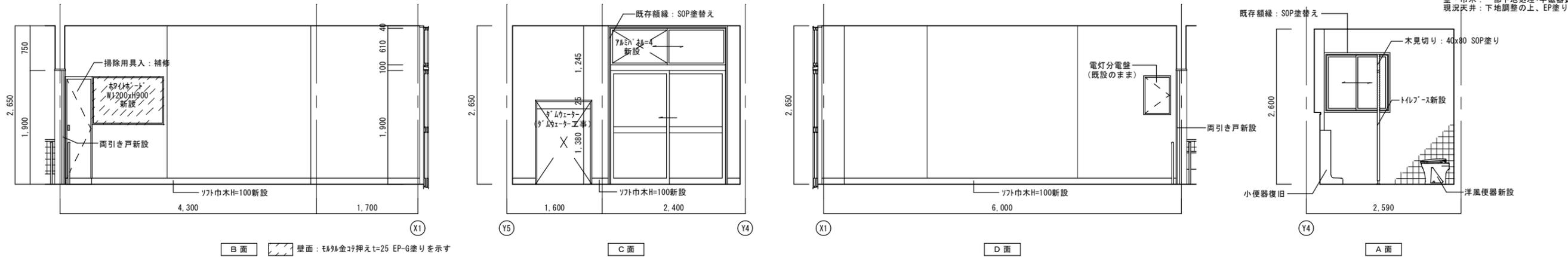


1階手洗い室展開図 S=1/50 (改修後) 現況床：洗いの上、ワックス掛け 現況壁：下地調整の上、EP-G塗り 現況天井：下地調整の上、EP塗り

1階配膳室展開図 S=1/50 (改修後) 現況床：洗いの上、ワックス掛け (一部改修有り) 現況壁：下地調整の上、EP-G塗り 現況天井：下地調整の上、EP塗り

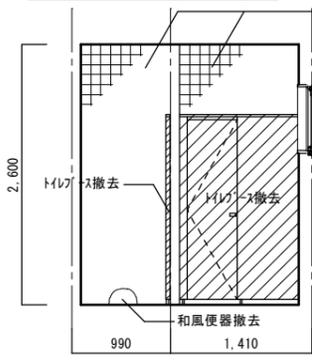


1階男子便所展開図 S=1/50 (改修後) 現況床：洗い、一部改修部イタリ25角 (便器取替部) 壁・巾木：一部下地処理+半磁器質タイル100角接着貼り 現況天井：下地調整の上、EP塗り 一部改修 (2階便器取替部) 天井伏図参照

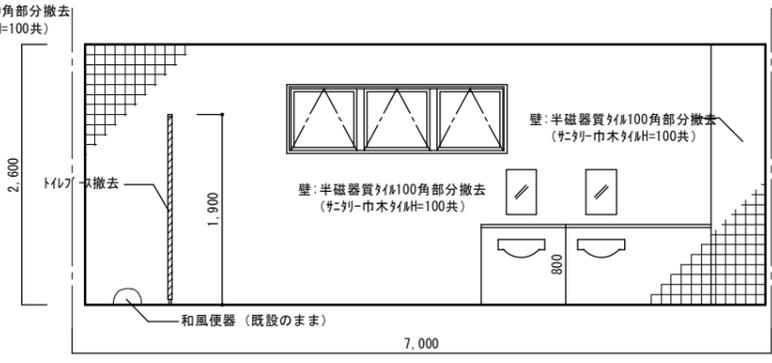


※既存塗替え部分は、下地調整を行うこと
※衛生設備については、設備工事

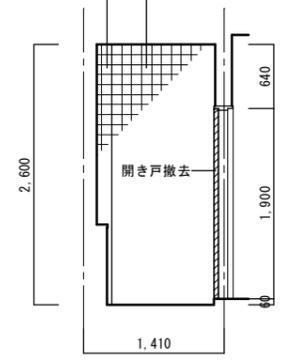
1階女子便所展開図 S=1/50 (現況) ※一部天井撤去(2階便器取替部)天井伏図参照



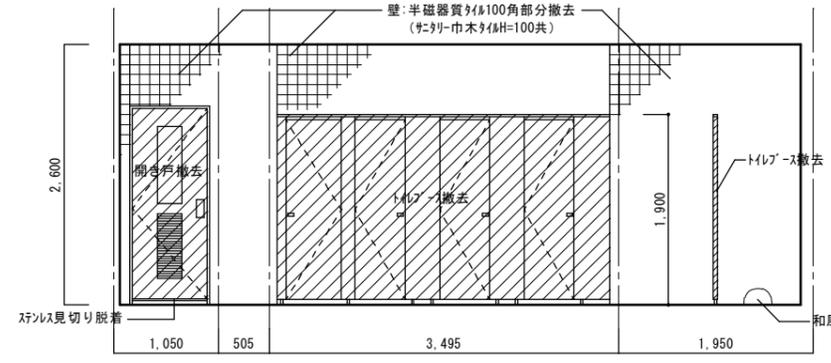
A面



B面

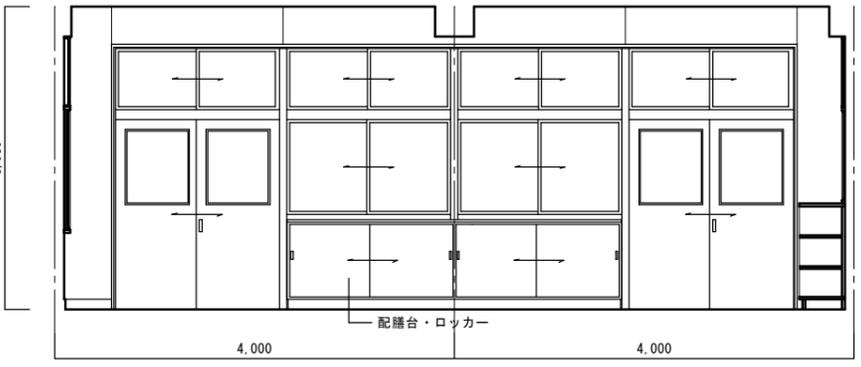


C面

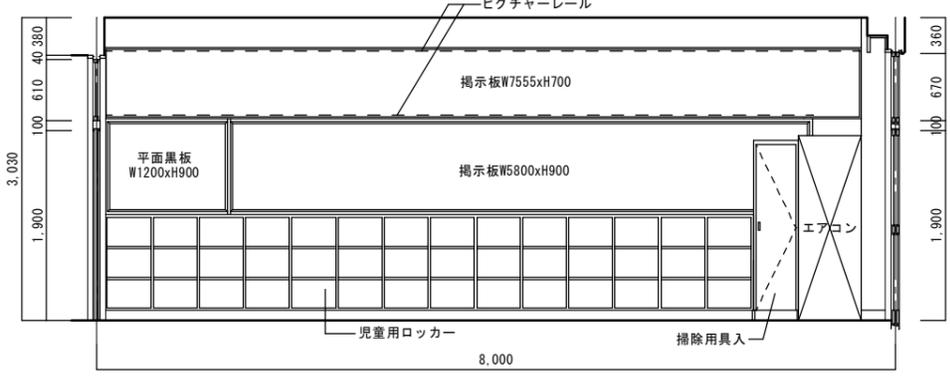


D面

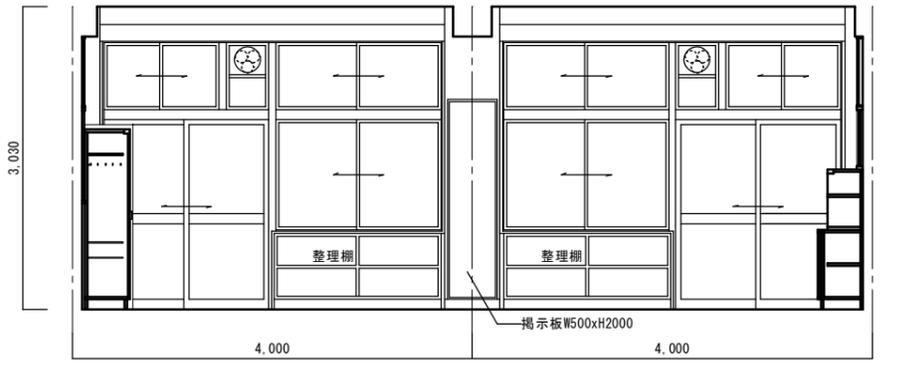
1階普通教室(東)展開図 S=1/50 (現況)



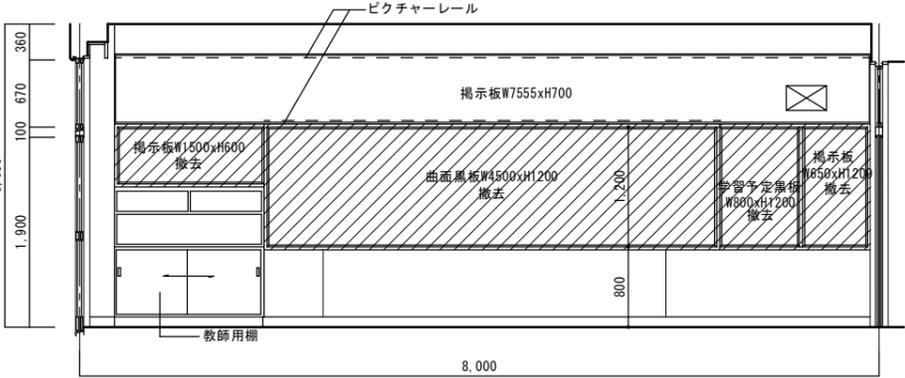
A面



B面

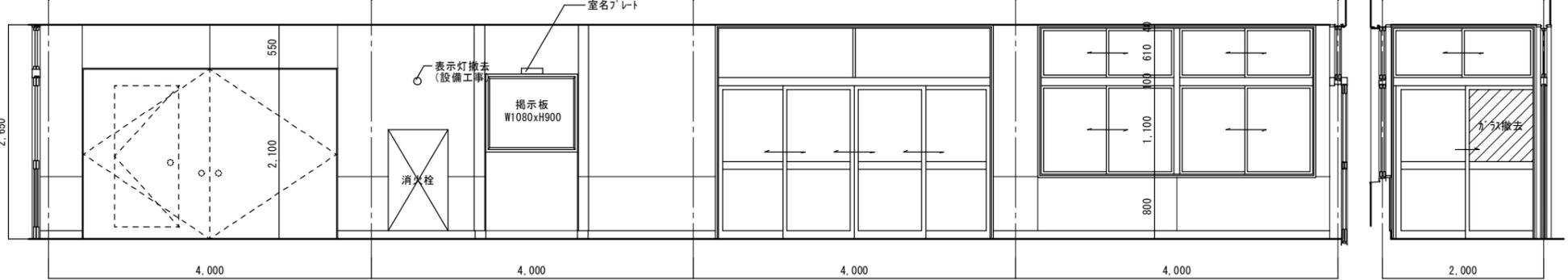


C面



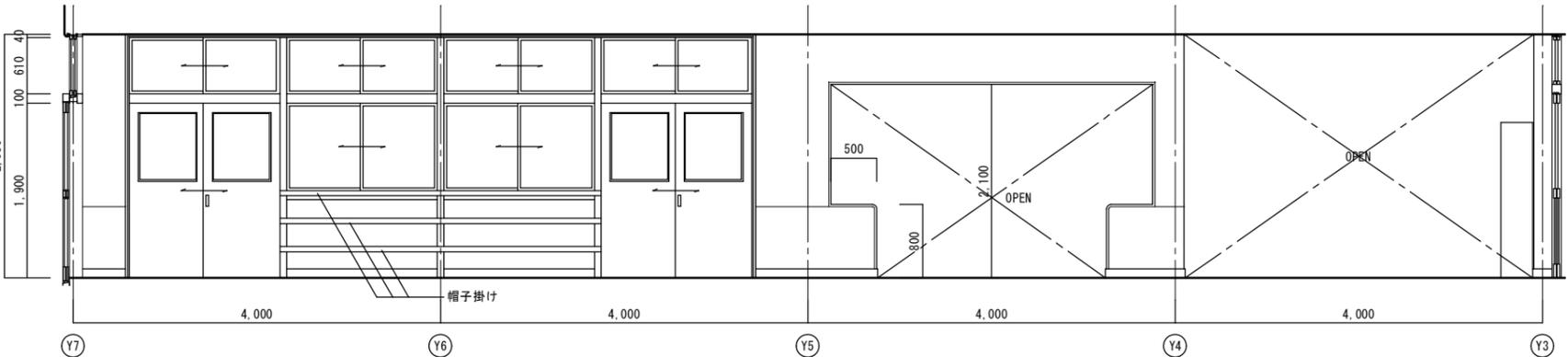
D面

1階廊下展開図 S=1/50 (現況)

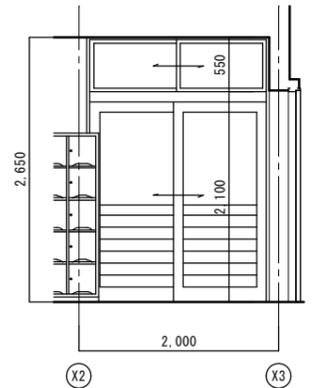


A面

B面



C面

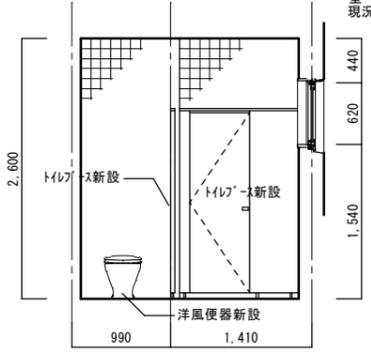


D面

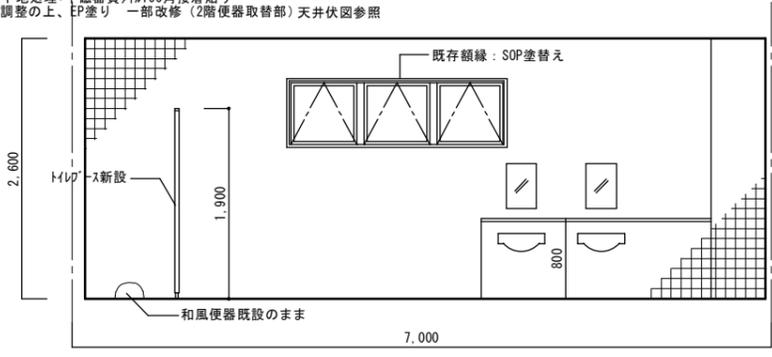
備品、建具の撤去範囲を示す
※衛生設備については、設備工事

1階女子便所展開図 S=1/50 (改修後)

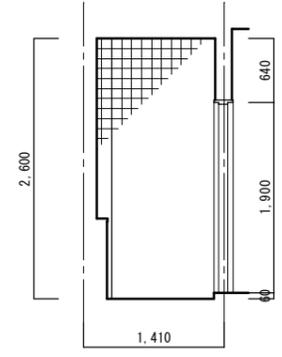
現況床：洗い、一部改修モザイクタイル25角（便器取替部）
 壁・巾木：部分下地処理+半磁器質タイル100角接着貼り
 現況天井：下地調整の上、EP塗り 一部改修（2階便器取替部）天井伏図参照



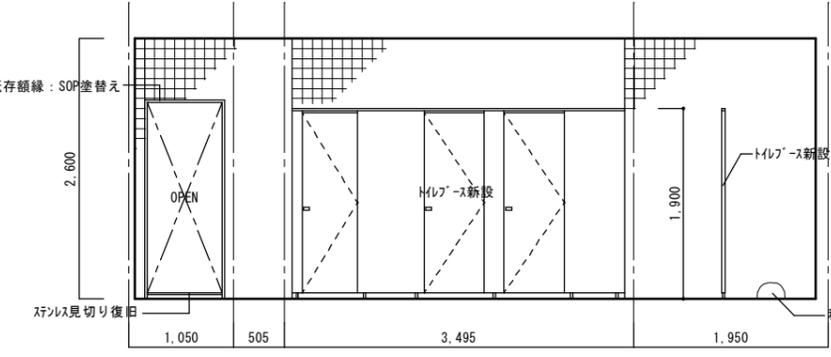
A面



B面



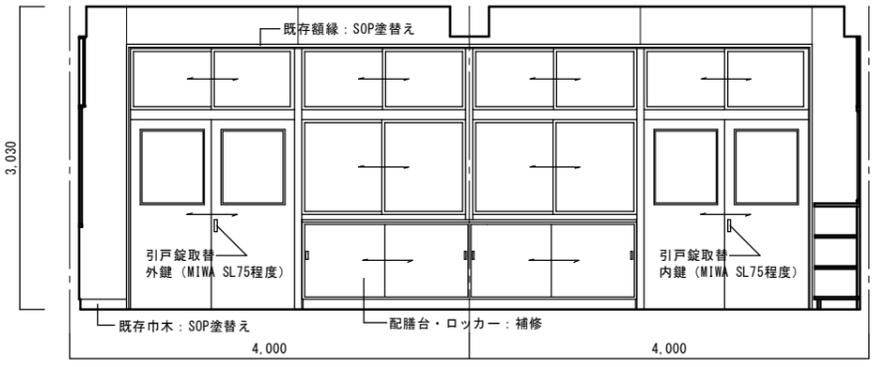
C面



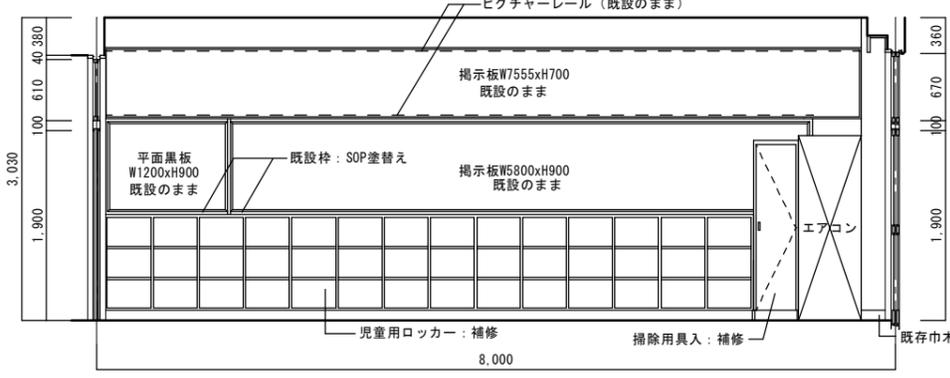
D面

1階普通教室（東）展開図 S=1/50 (改修後)

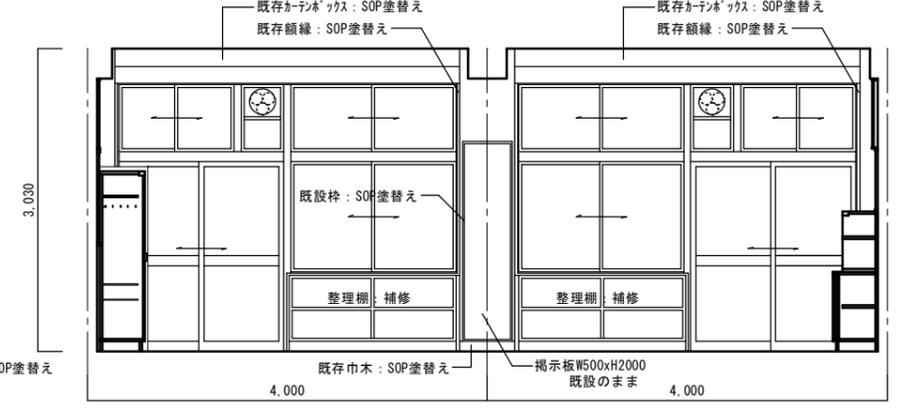
現況床：表面研磨の上、ウレタン樹脂ワニス塗り 現況壁（柱・梁型共）：下地調整の上、EP-G塗り
 現況天井：下地調整の上、EP塗り



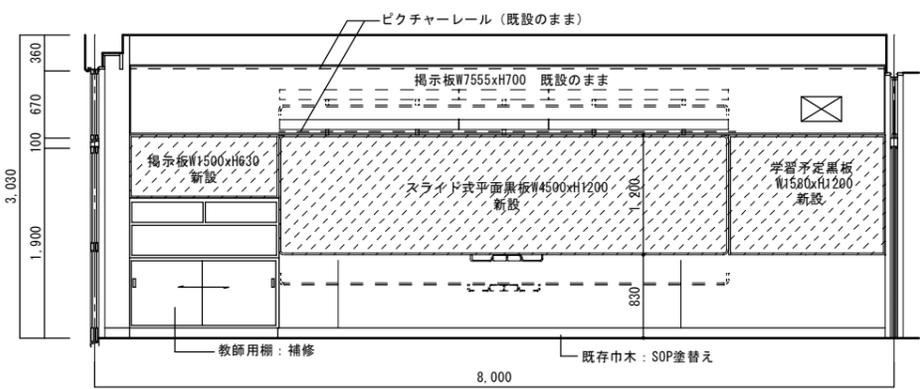
A面



B面



C面



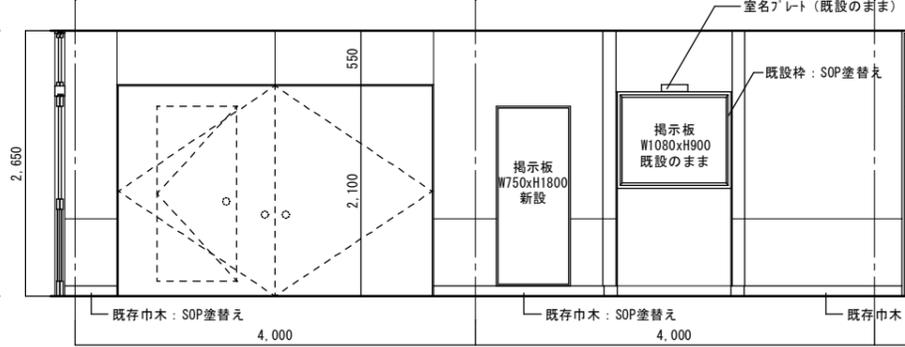
X1

X2

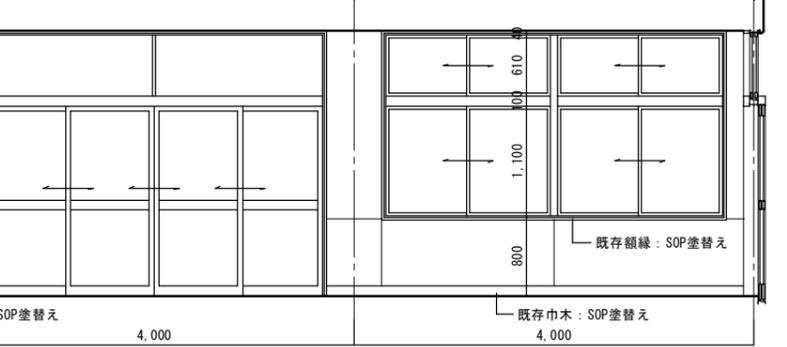
壁面：モザイクタイルt=25 EP-G塗りを示す

1階廊下展開図 S=1/50 (改修後)

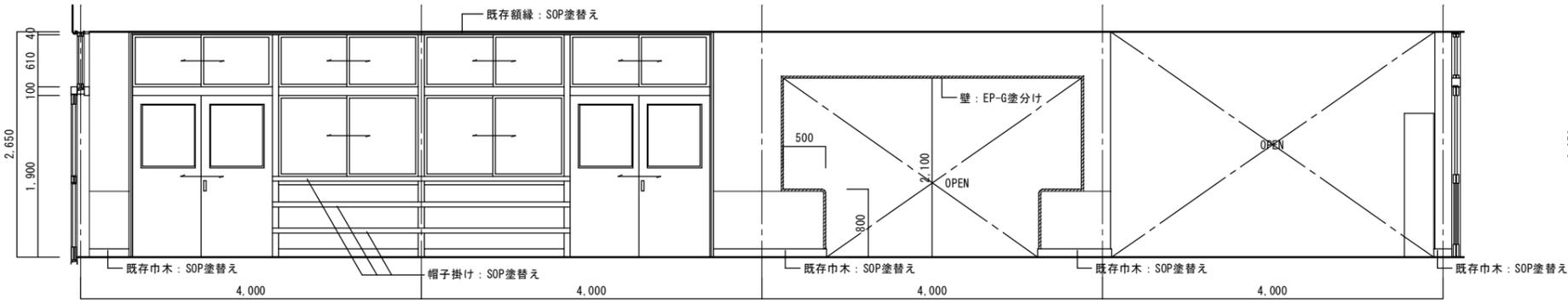
現況床：表面研磨の上、ウレタン樹脂ワニス塗り 現況壁：下地調整の上、EP-G塗り
 現況天井：下地調整の上、EP塗り



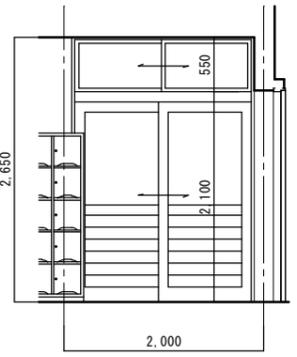
A面



B面



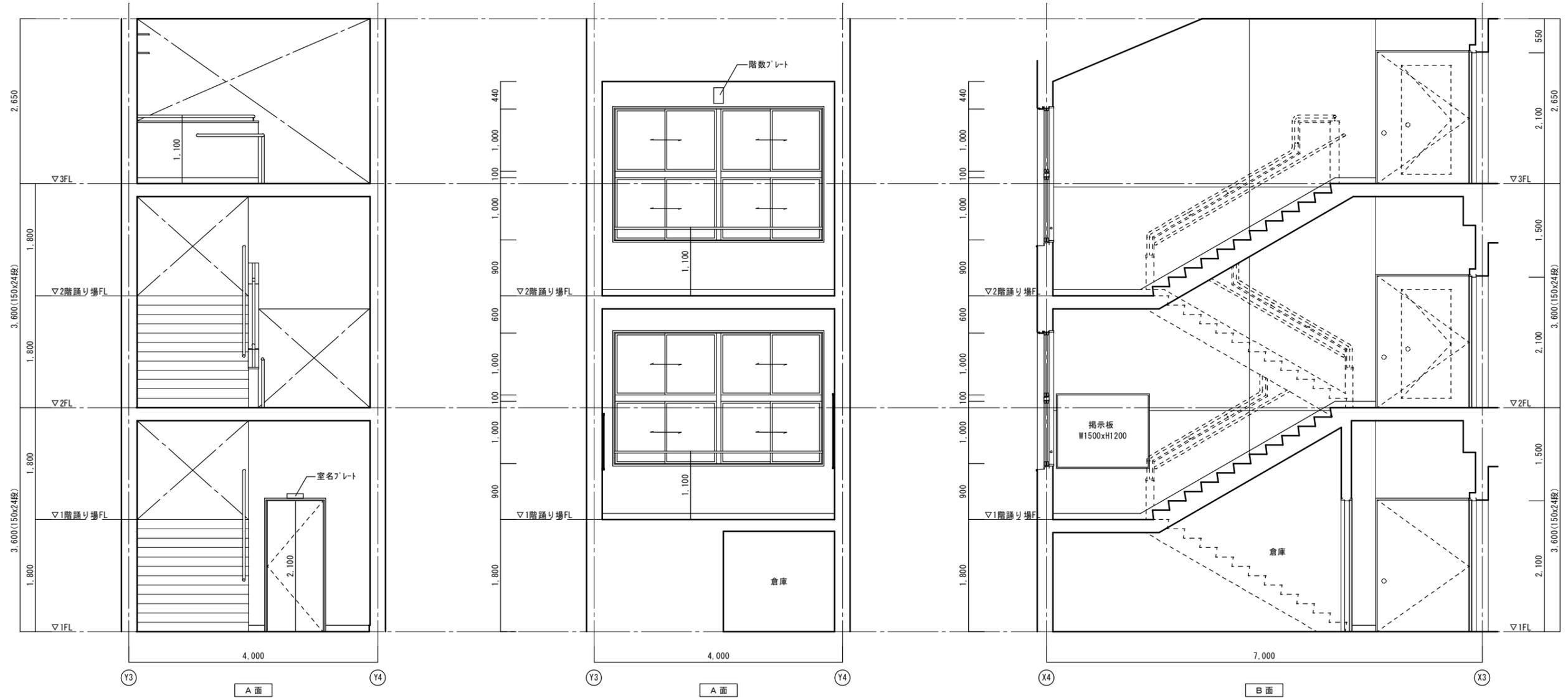
C面



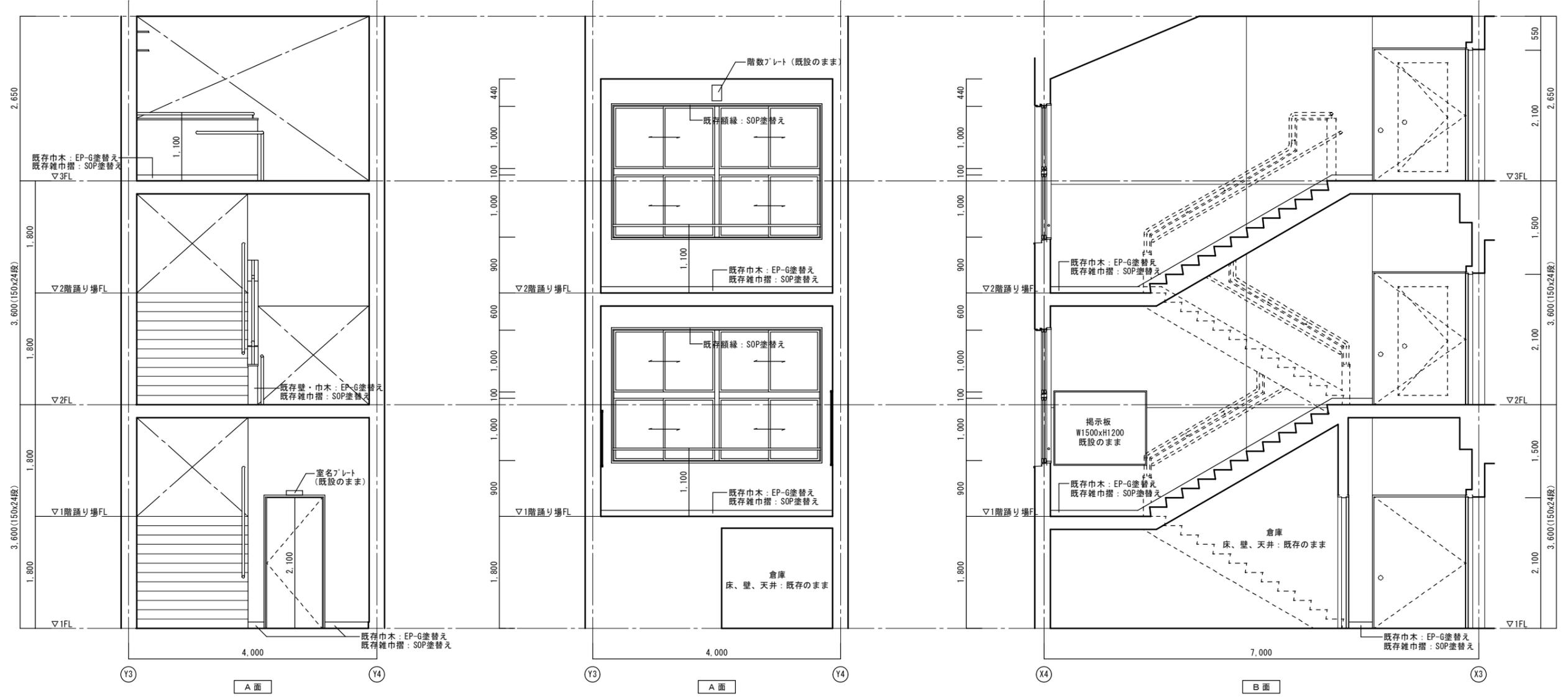
D面

※既存塗替え部分は、下地調整を行うこと
 ※衛生設備については、設備工事

階段室展開図(A-B面) S=1/50 (現況)

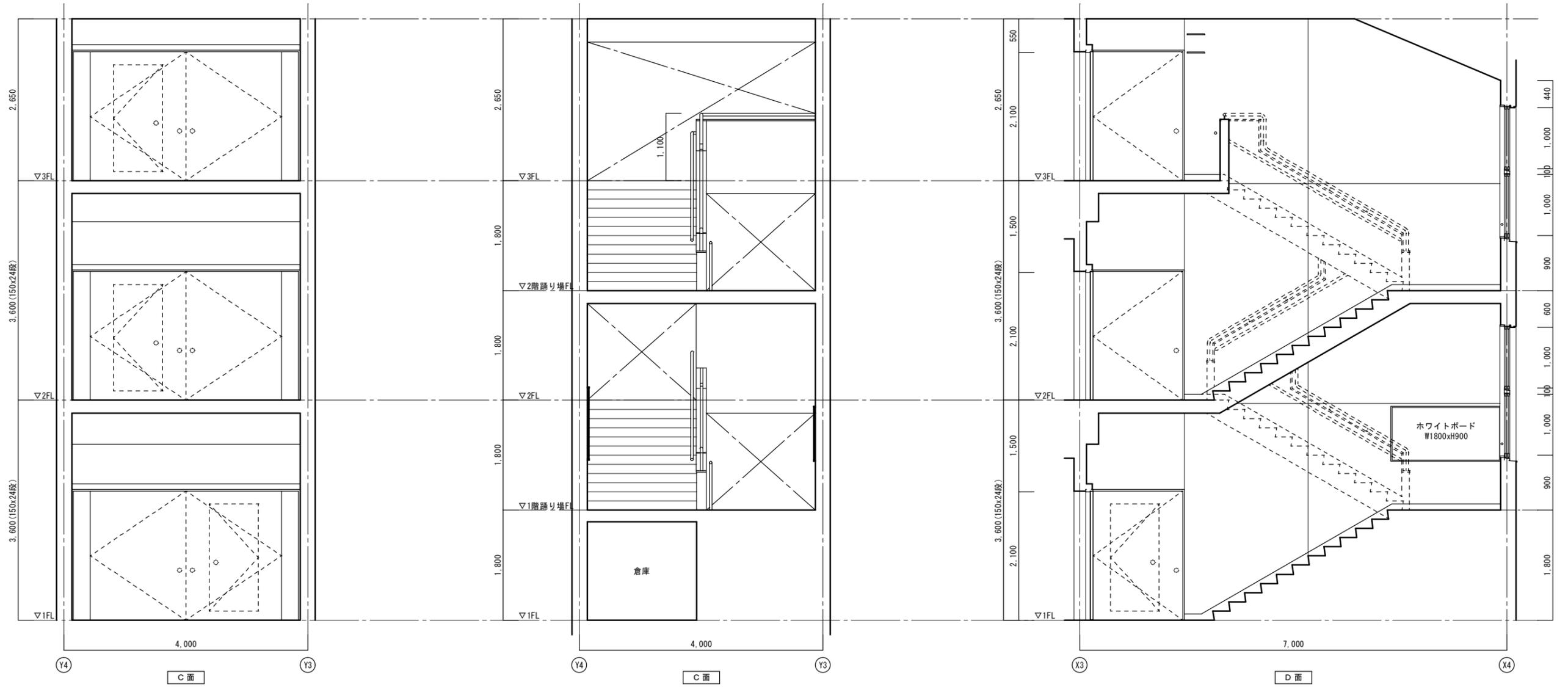


階段室展開図(A-B面) S=1/50 (改修後) 現況床：表面研磨の上、ウレタン樹脂7ニス塗り
 現況壁（梁型共）：下地調整の上、EP-G塗り
 現況天井：下地調整の上、EP-G塗り（3階は、EP塗り）

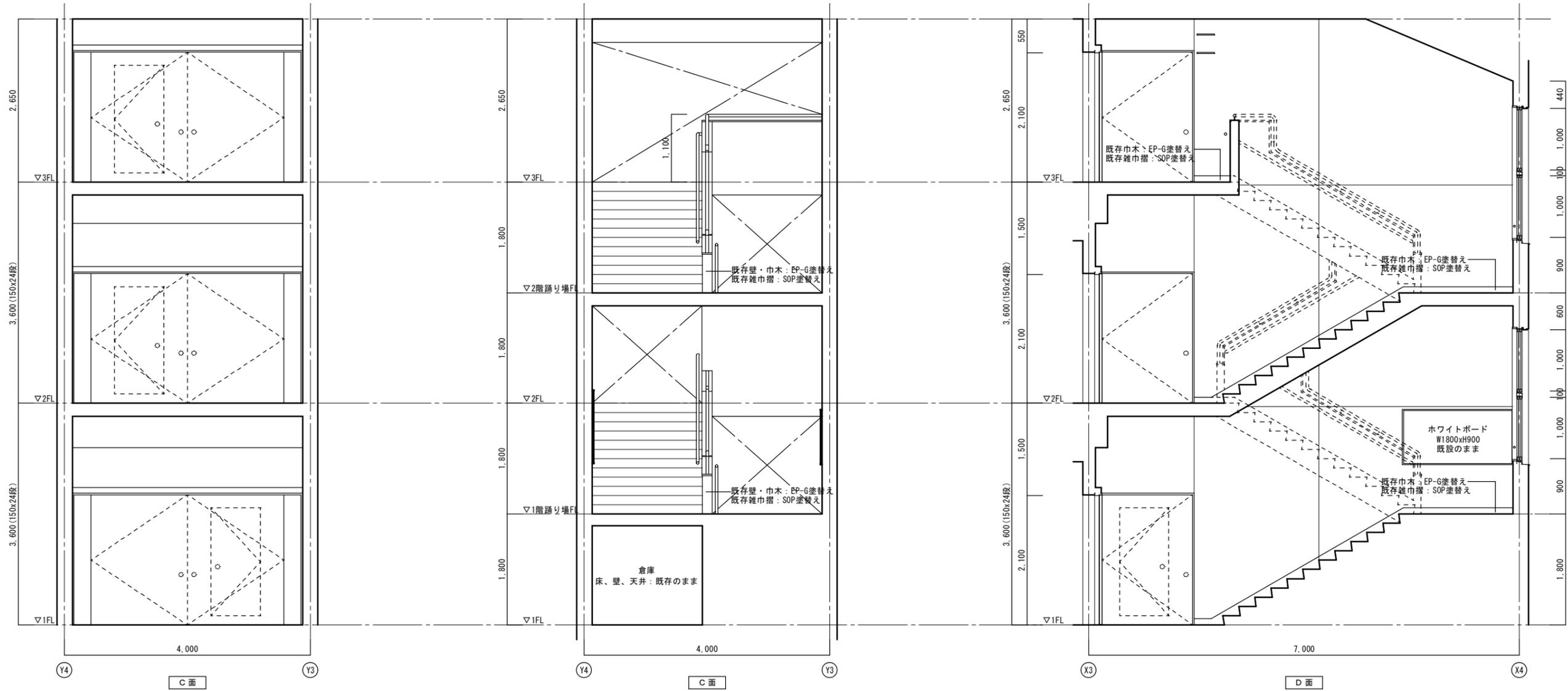


※既存塗替え部分は、下地調整を行うこと

階段室展開図(C-D面) S=1/50 (現況)

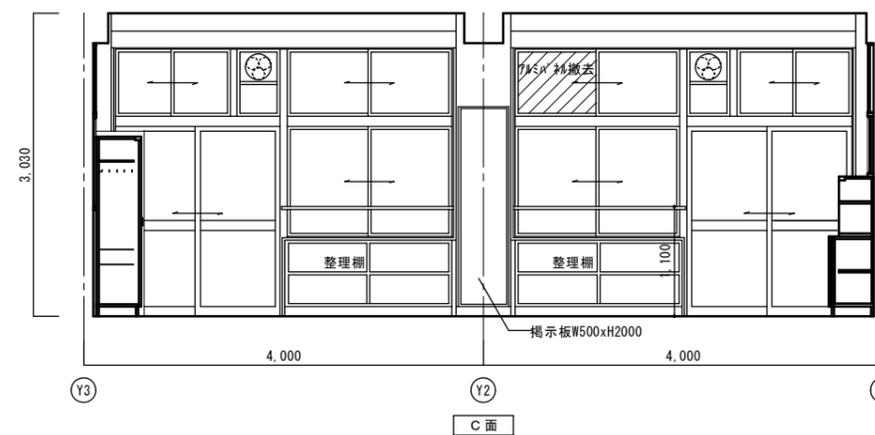
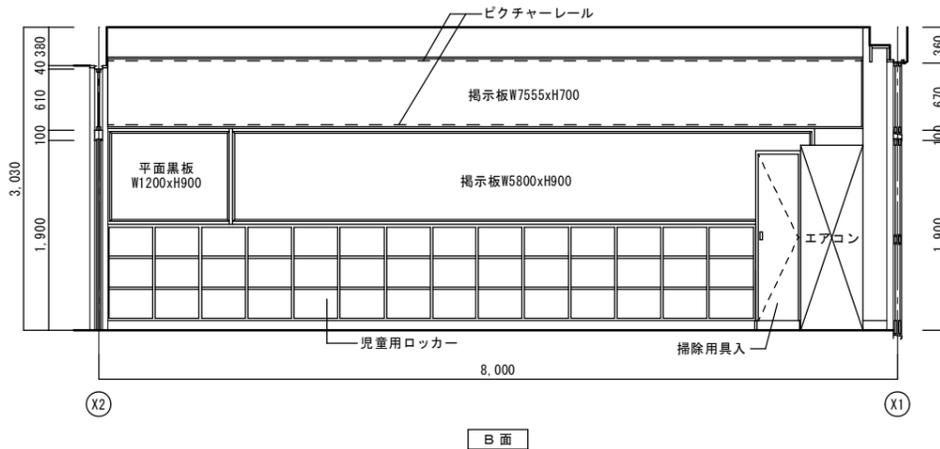
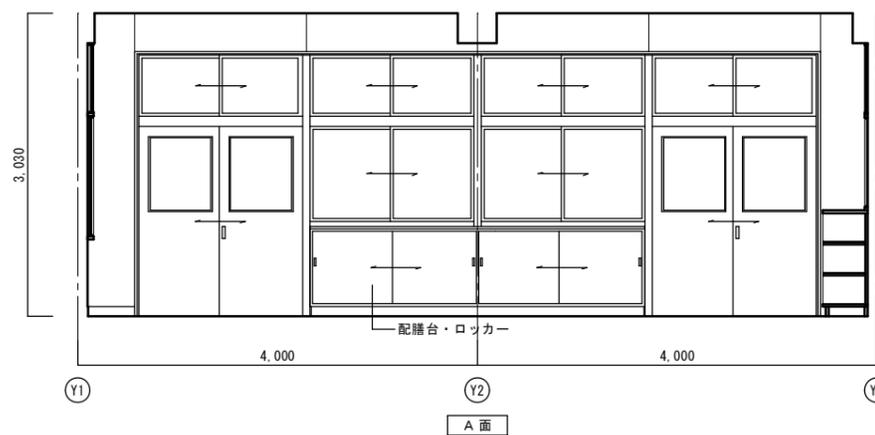


階段室展開図 (C-D面) S=1/50 (改修後) 現況床：表面研磨の上、ウレタン樹脂ニス塗り
 現況壁（梁型共）：下地調整の上、EP-G塗り
 現況天井：下地調整の上、EP-G塗り（3階は、EP塗り）

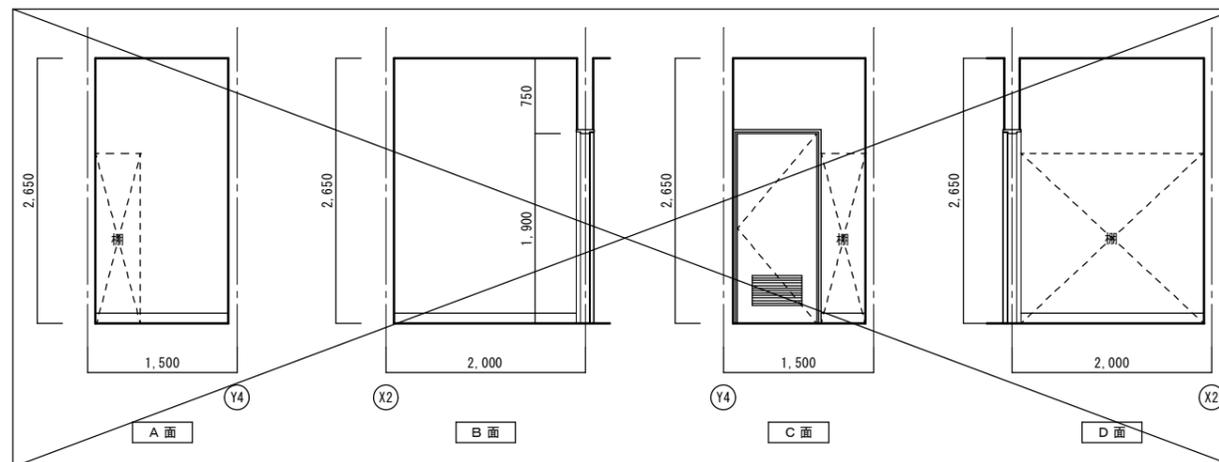


※既存塗替え部分は、下地調整を行うこと

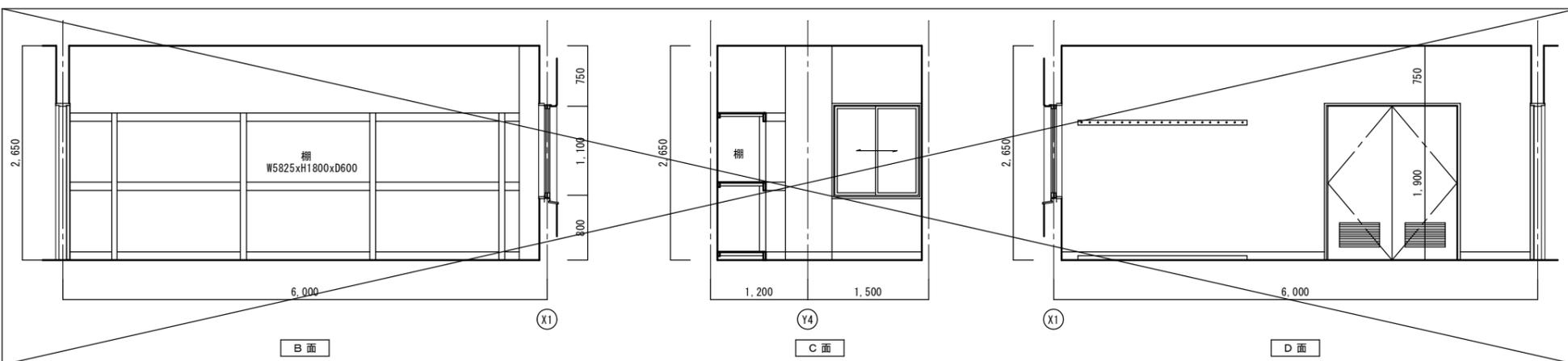
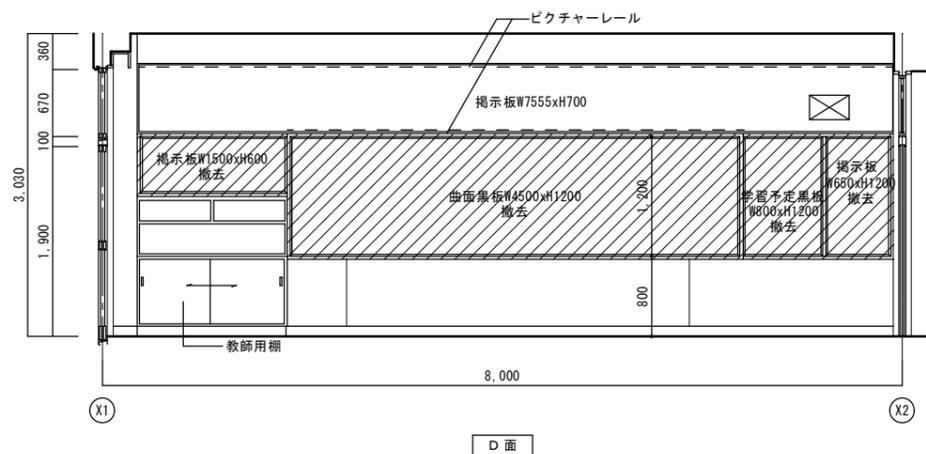
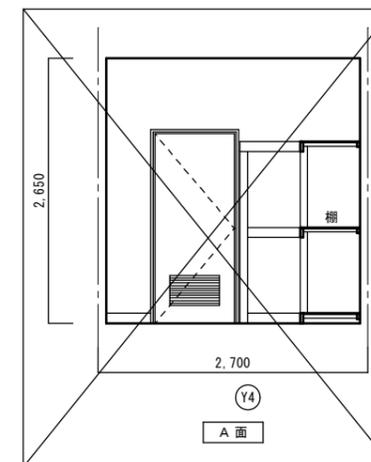
2階普通教室(西)展開図 S=1/50 (現況)



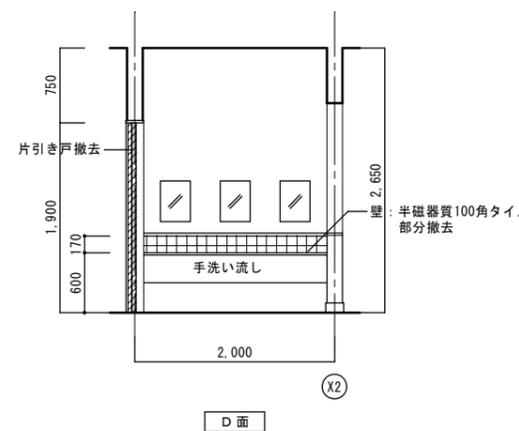
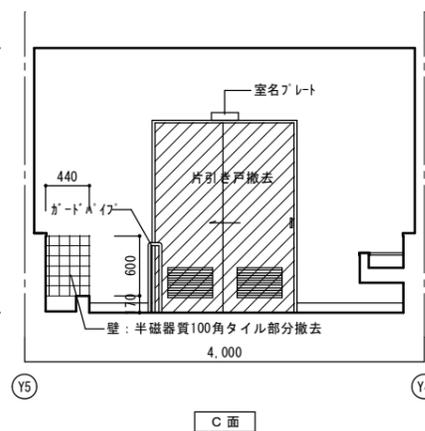
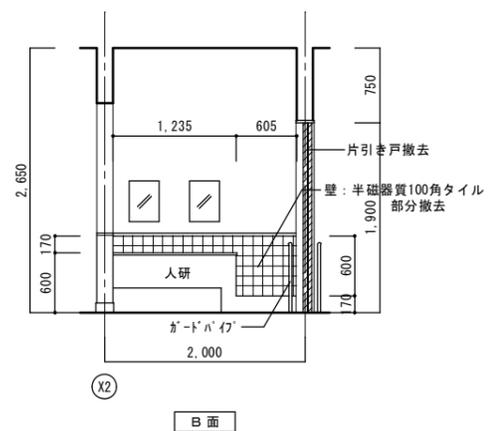
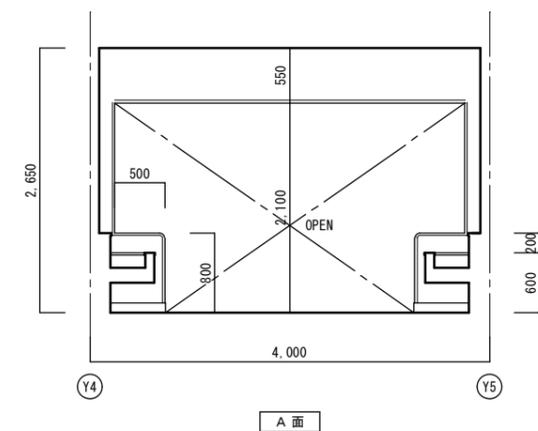
倉庫展開図 S=1/50 (現況) ※工事対象外



倉庫展開図 S=1/50 (現況) ※工事対象外

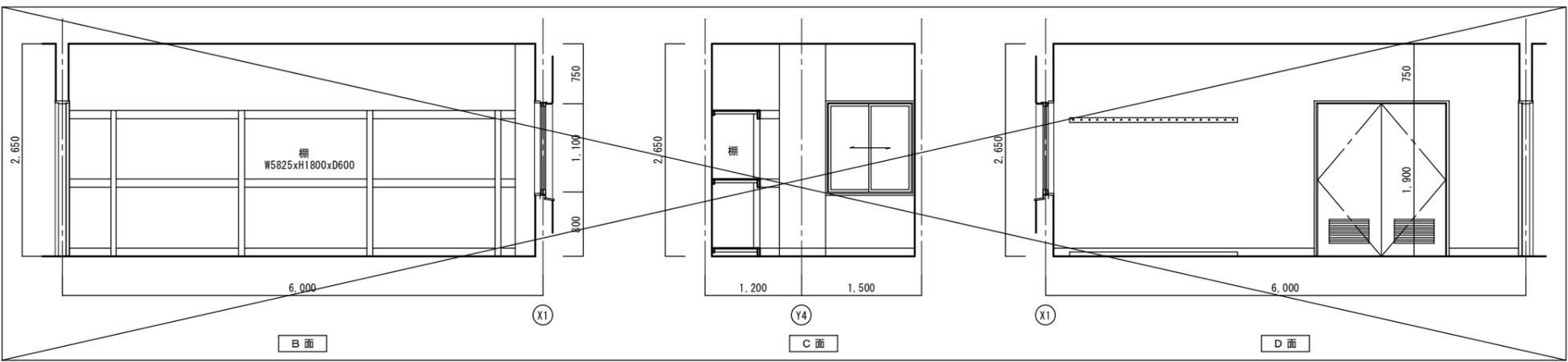
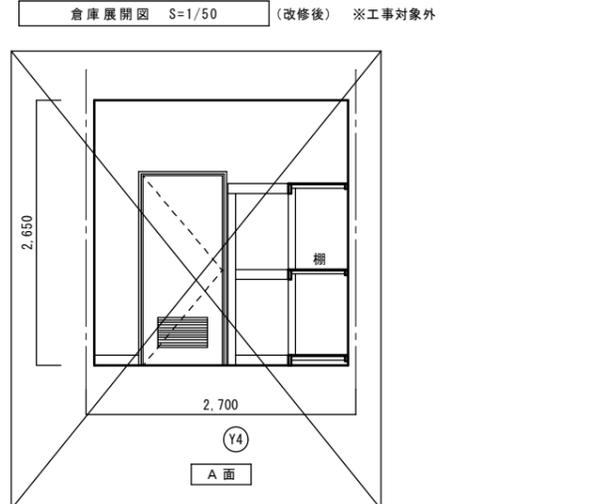
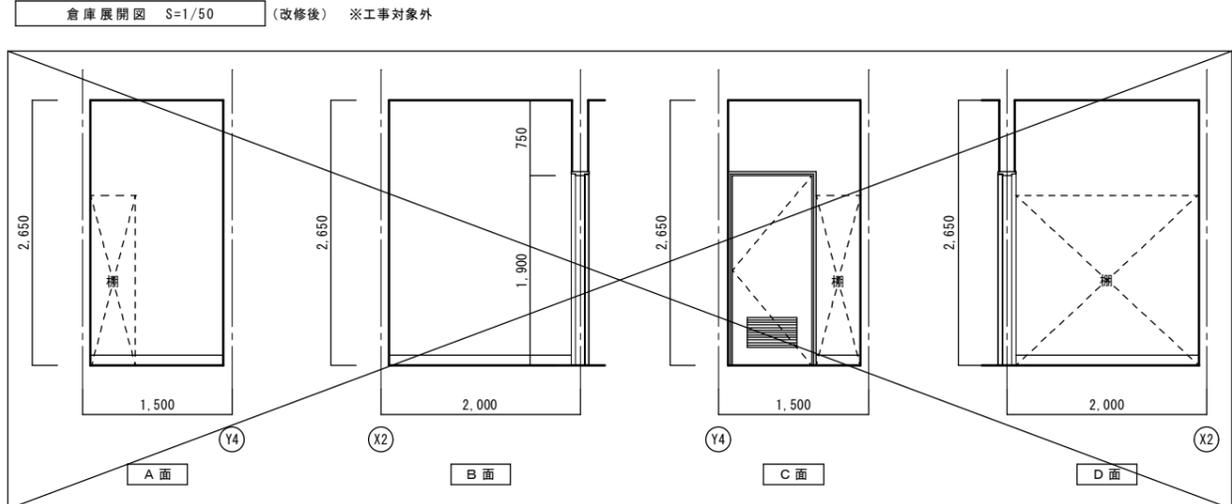
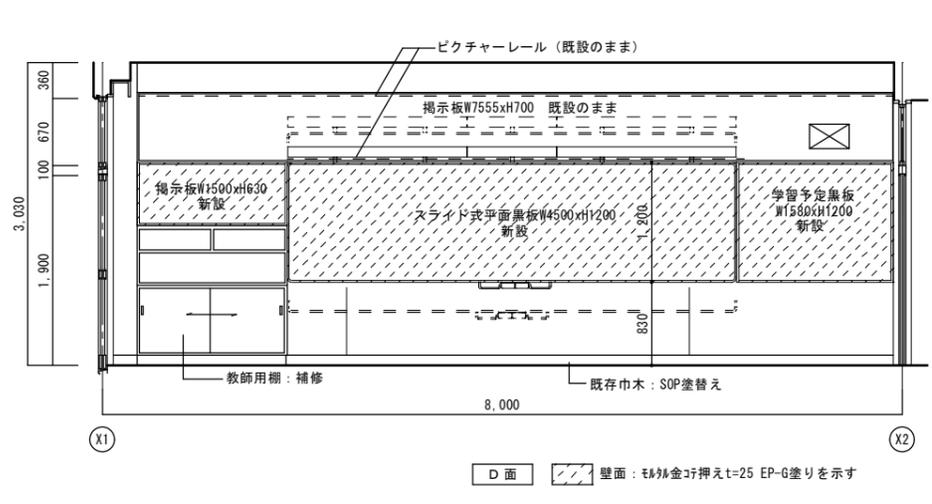
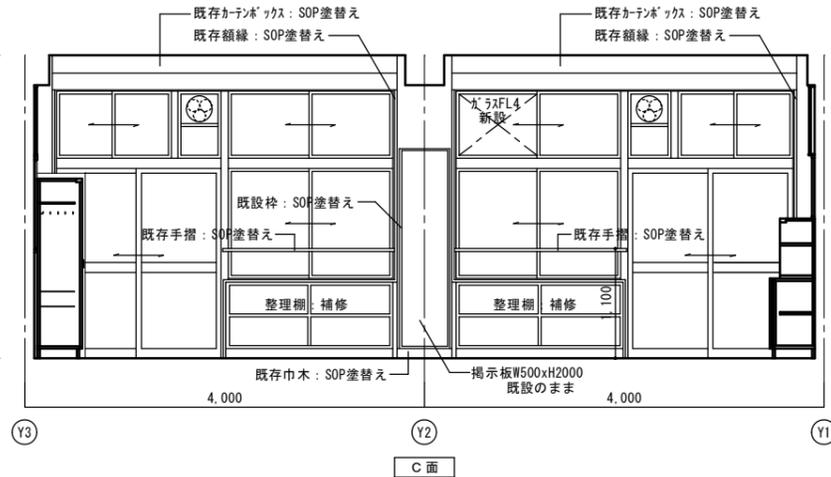
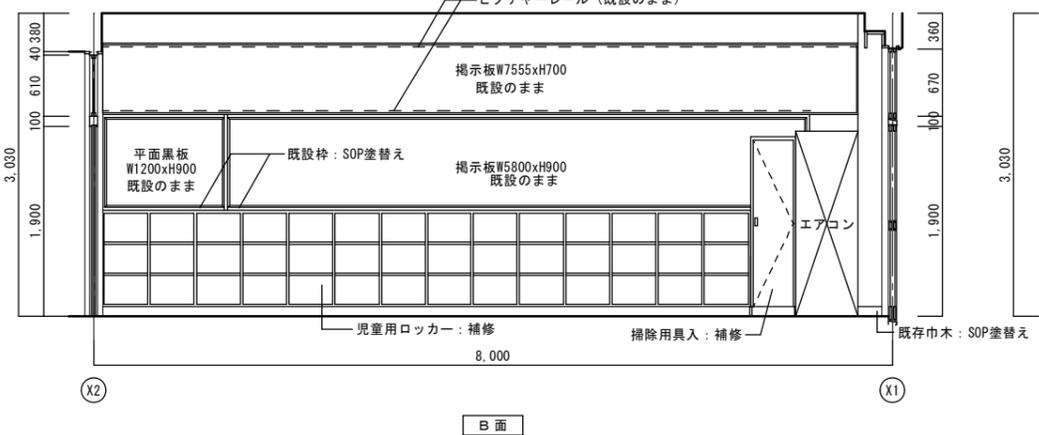
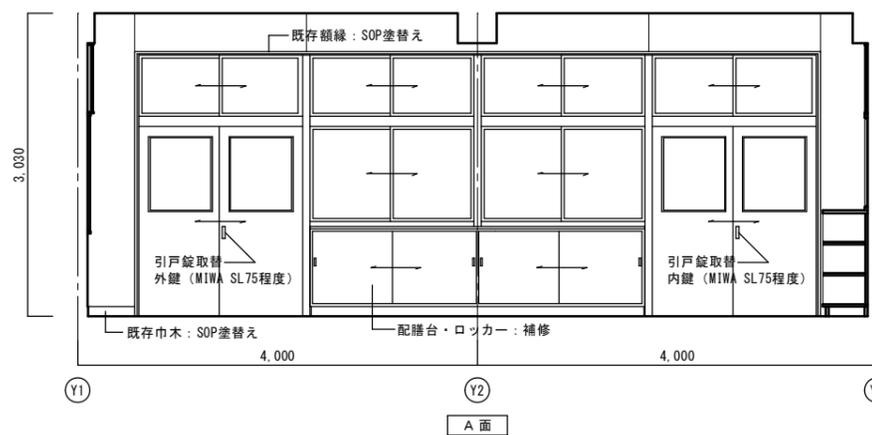


2階手洗い室展開図 S=1/50 (現況)

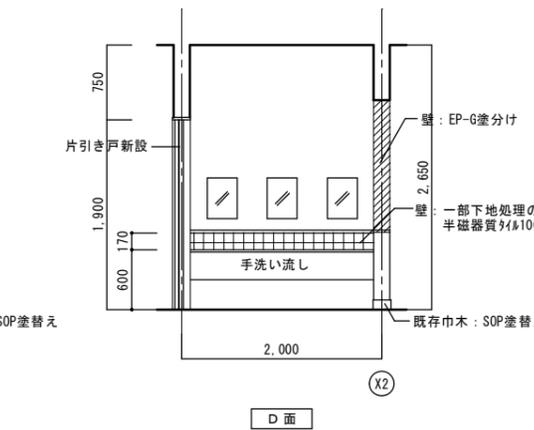
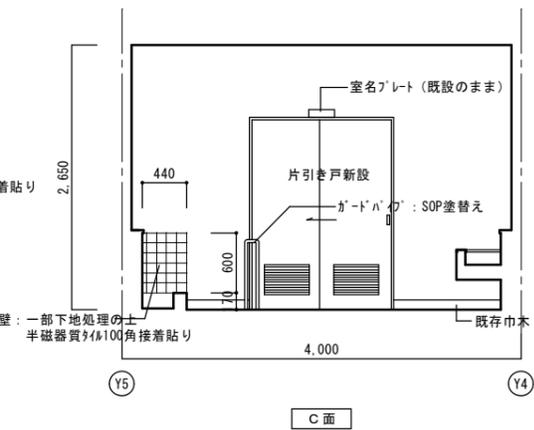
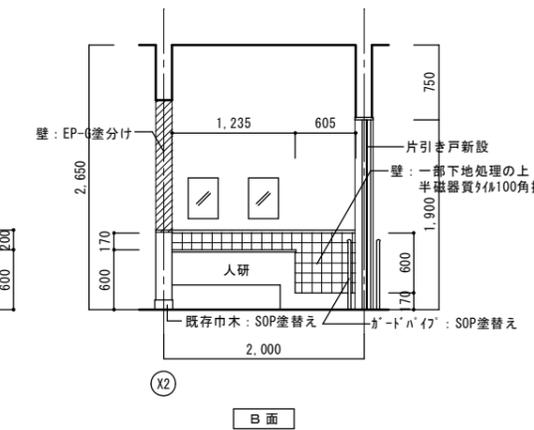
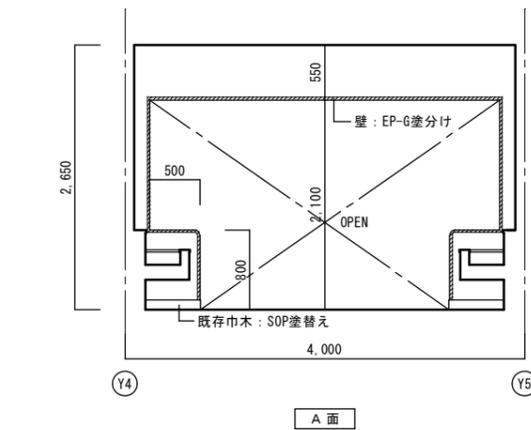


■ 機品、建具の撤去範囲を示す

2階普通教室（西）展開図 S=1/50 (改修後) 現況床：表面研磨の上、ウレタン樹脂ニス塗り 現況壁（柱・梁型共）：下地調整の上、EP-G塗り 現況天井：下地調整の上、EP塗り

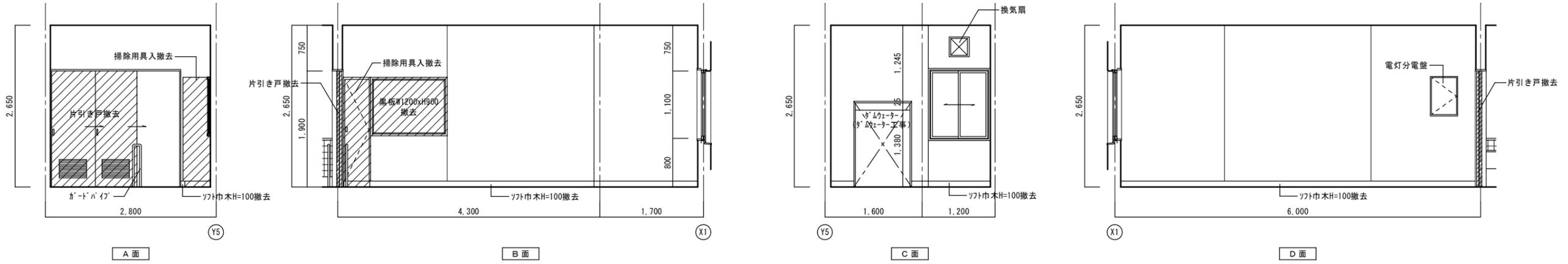


2階手洗い室展開図 S=1/50 (改修後) 現況床：洗いの上、ワックス掛け 現況壁：下地調整の上、EP-G塗り 現況天井：下地調整の上、EP塗り

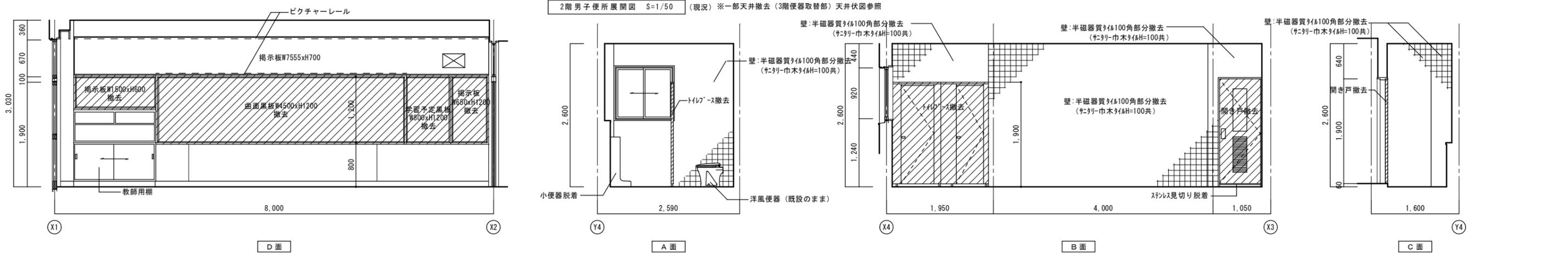
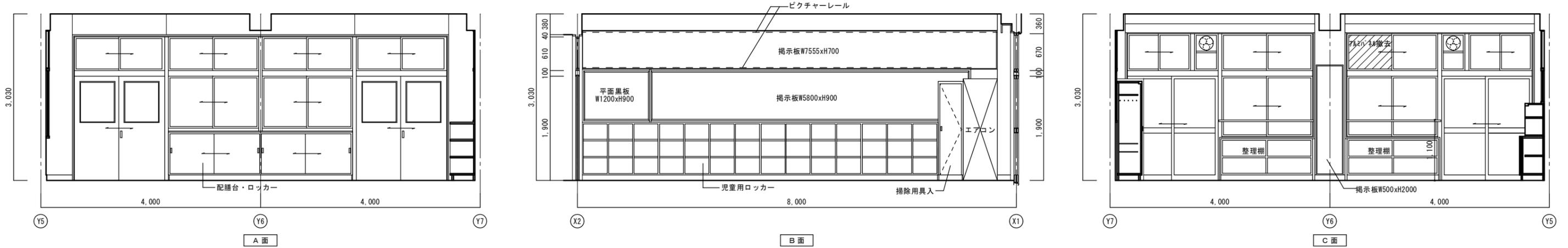


※既存塗替え部分は、下地調整を行うこと

2階配膳室展開図 S=1/50 (現況)

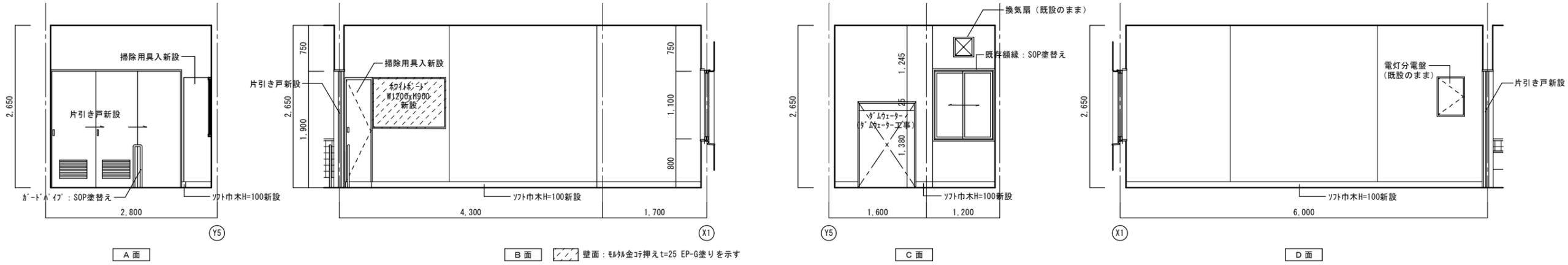


2階普通教室(東)展開図 S=1/50 (現況)

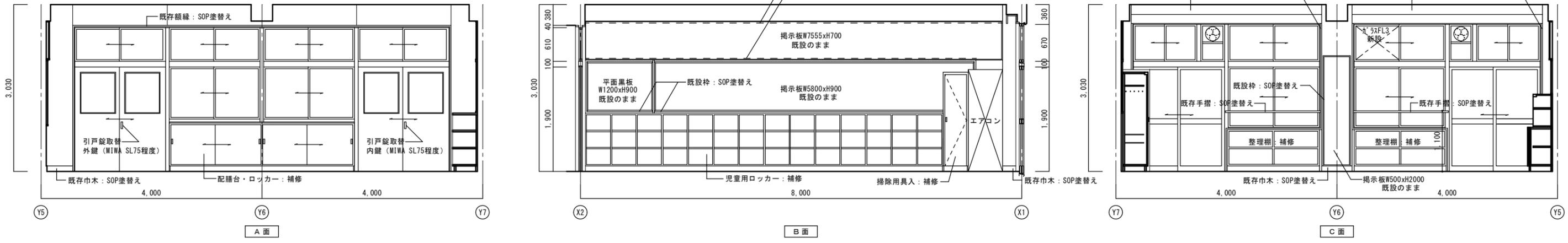


▨ 備品、建具の撤去範囲を示す
※衛生設備については、設備工事

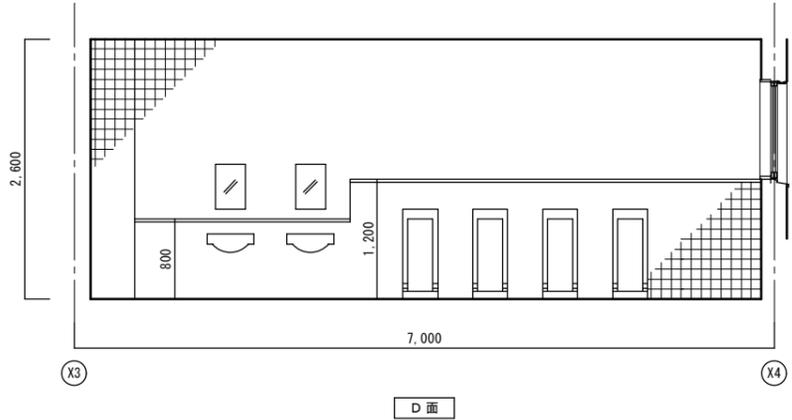
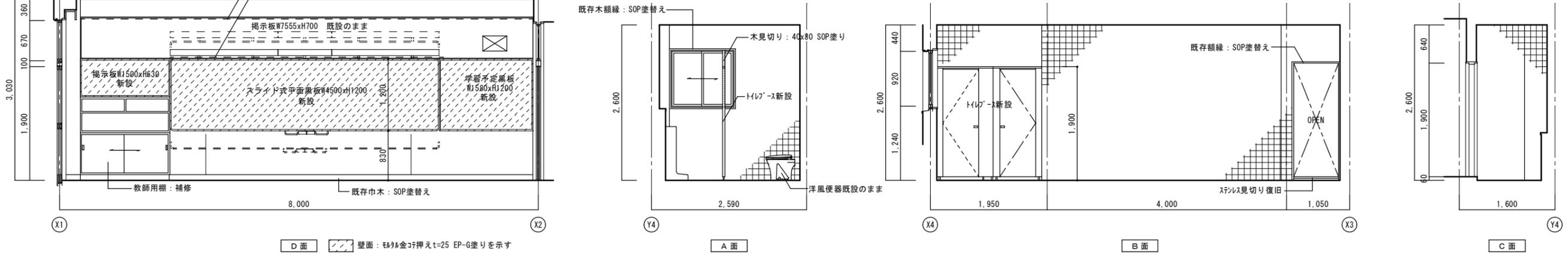
2階配膳室展開図 S=1/50 (改修後) 現況床: 洗いの上、ワックス掛け 現況壁: 下地調整の上、EP-G塗り
現況天井: 下地調整の上、EP塗り



2階普通教室 (東) 展開図 S=1/50 (改修後) 現況床: 表面研磨の上、ウレタン樹脂ワックス塗り 現況壁 (柱・梁型共): 下地調整の上、EP-G塗り
現況天井: 下地調整の上、EP塗り



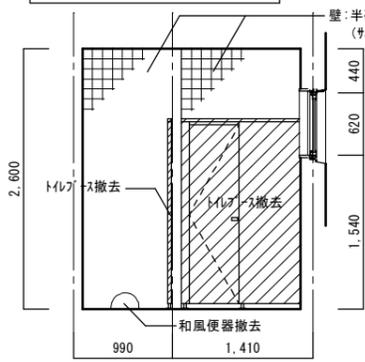
2階男子便所展開図 S=1/50 (改修後) 現況床: 洗い、一部改修モザイクタイル25角 (便器取替部)
壁・巾木: 一部下地処理+半磁器質タイル100角接着貼り
現況天井: 下地調整の上、EP塗り 一部改修 (3階便器取替部) 天井伏図参照



※既存塗替え部分は、下地調整を行うこと
※衛生設備については、設備工事

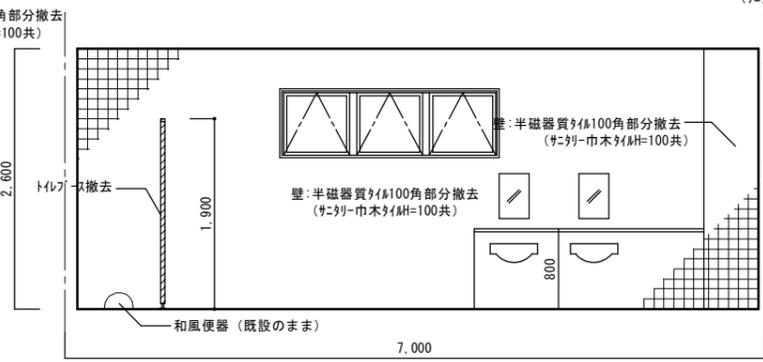
2階女子便所展開図 S=1/50 (現況) ※一部天井撤去(3階便器取替部)天井伏図参照

壁:半磁器質タイル100角部分撤去
(サニリ-巾木タイル=100共)



A面

X4



B面

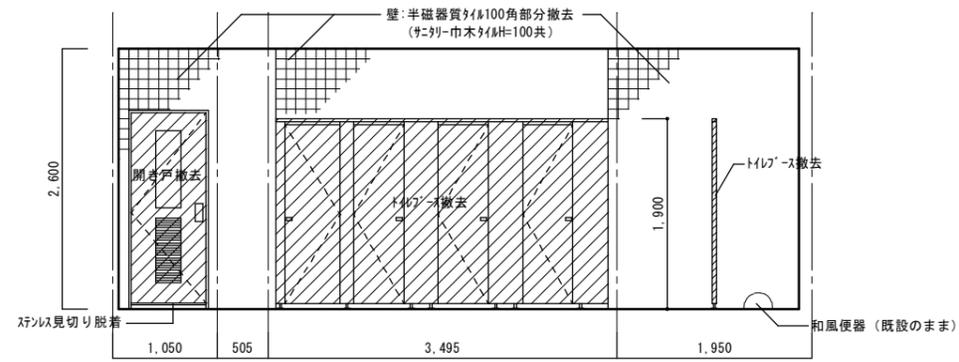
X3

壁:半磁器質タイル100角部分撤去
(サニリ-巾木タイル=100共)



C面

X5



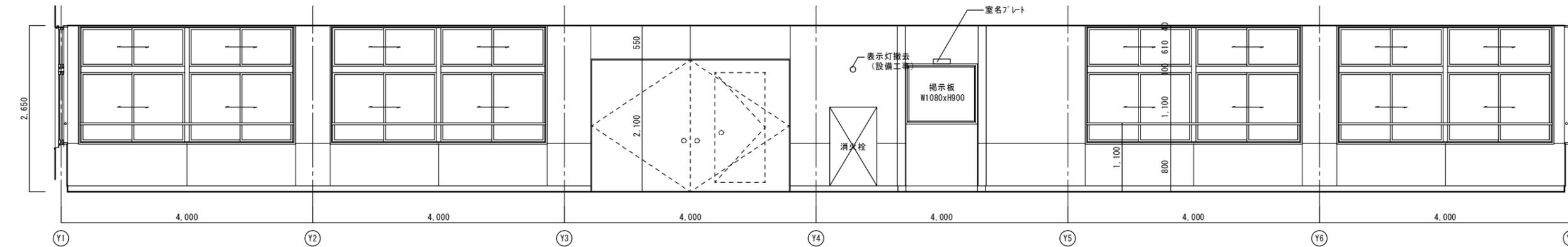
D面

X3

X4

2階廊下展開図 S=1/50 (現況)

(現況)



A面

Y1

Y2

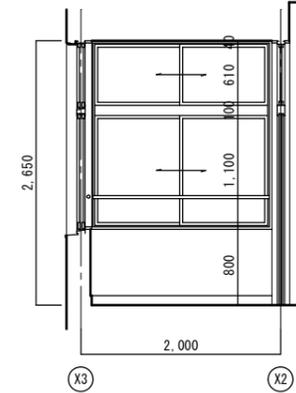
Y3

Y4

Y5

Y6

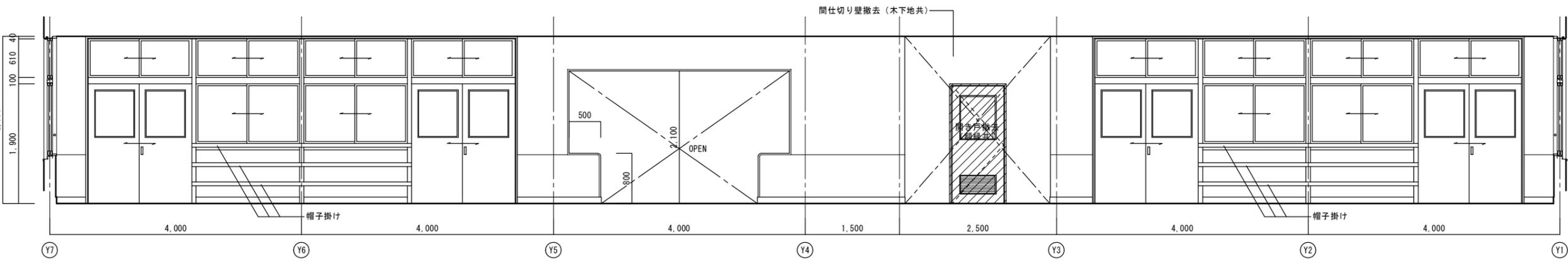
Y7



B面

X3

X2



C面

Y7

Y6

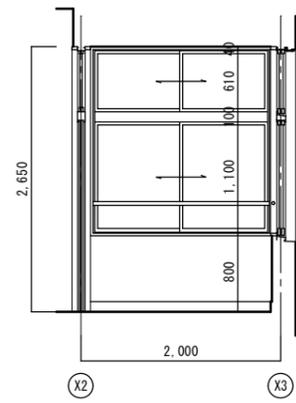
Y5

Y4

Y3

Y2

Y1



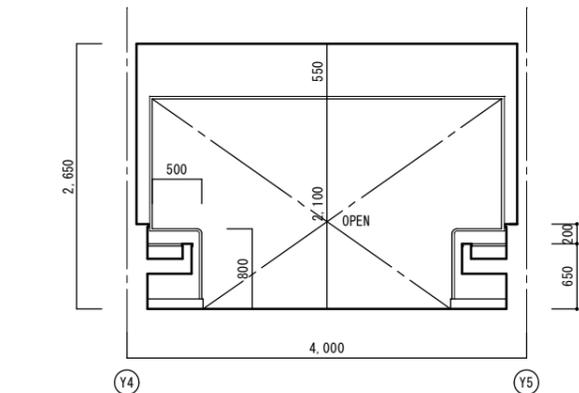
D面

X2

X3

3階手洗い室展開図 S=1/50 (現況)

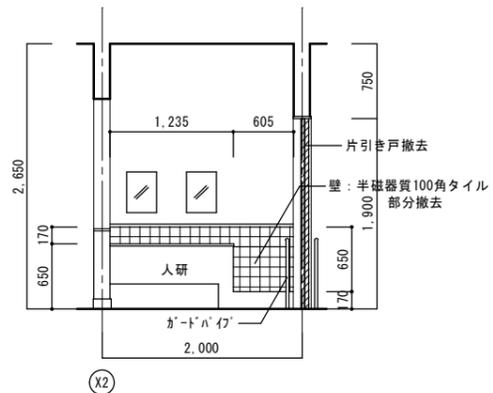
(現況)



A面

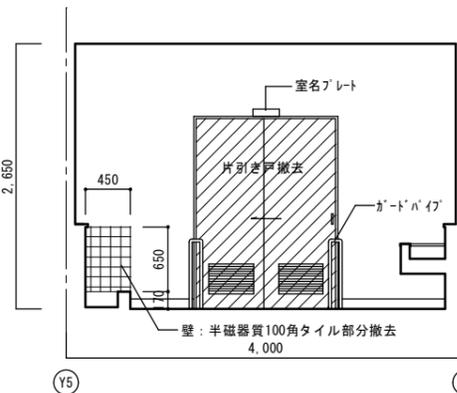
Y4

Y5



B面

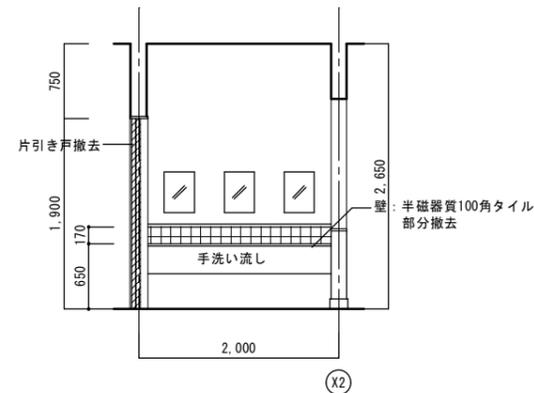
X2



C面

Y5

Y4



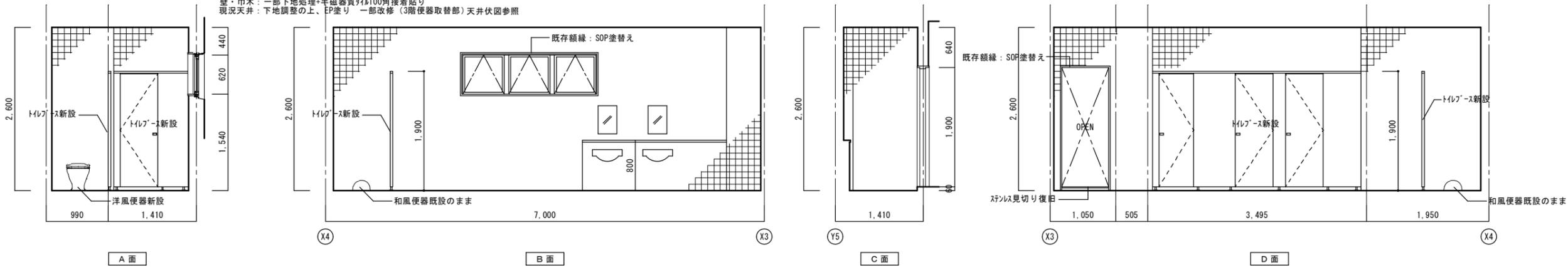
D面

X2

撤去範囲を示す
※衛生設備については、設備工事

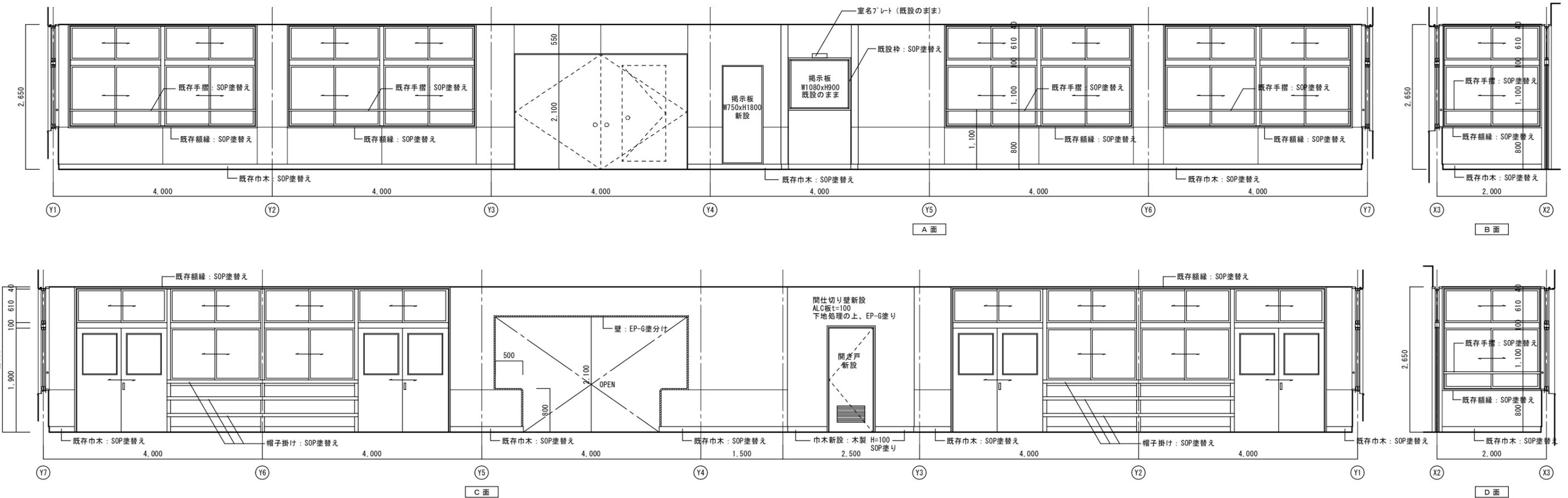
2階女子便所展開図 S=1/50

(改修後) 現況床: 洗い、一部改修サマイタ25角 (便器取替部)
 壁・巾木: 一部下地処理+半磁器質タイル100角接着貼り
 現況天井: 下地調整の上、EP塗り 一部改修 (3階便器取替部) 天井伏図参照



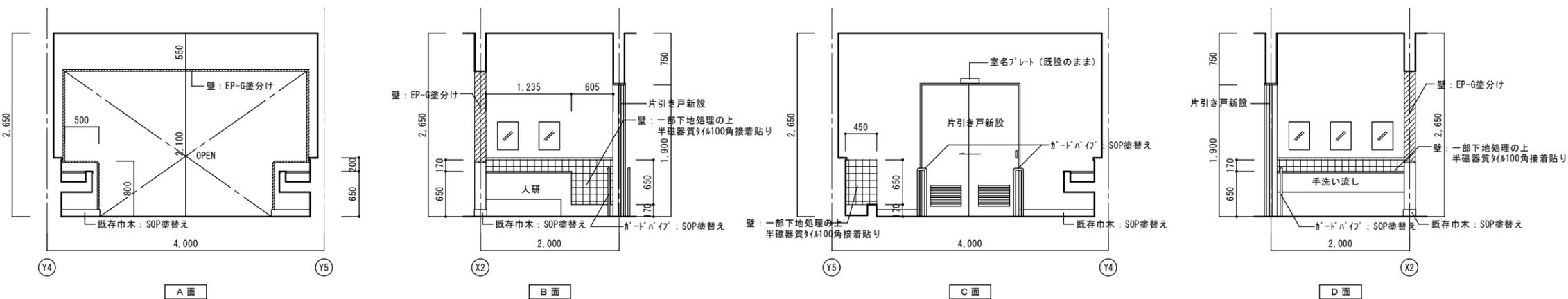
2階廊下展開図 S=1/50

(改修後) 現況床: 表面研磨の上、カクソ樹脂ワニス塗り 現況壁: 下地調整の上、EP-G塗り
 現況天井: 下地調整の上、EP塗り



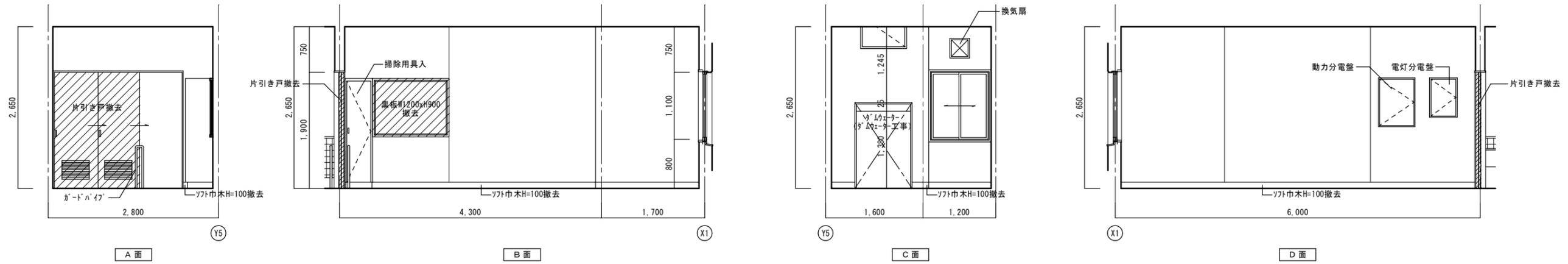
3階手洗い室展開図 S=1/50

(改修後) 現況床: 洗いの上、ワックスがけ 現況壁: 下地調整の上、EP-G塗り 現況天井: 下地調整の上、EP塗り

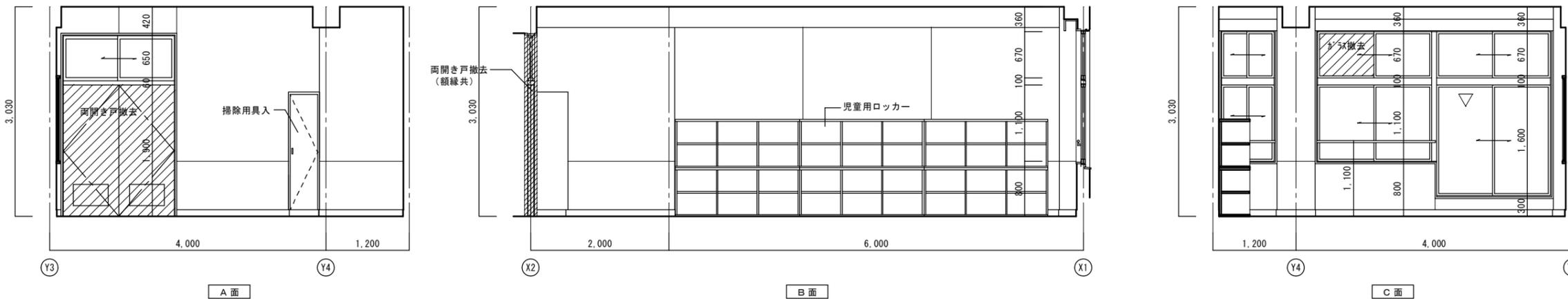


※既存塗替え部分は、下地調整を行うこと
 ※衛生設備については、設備工事

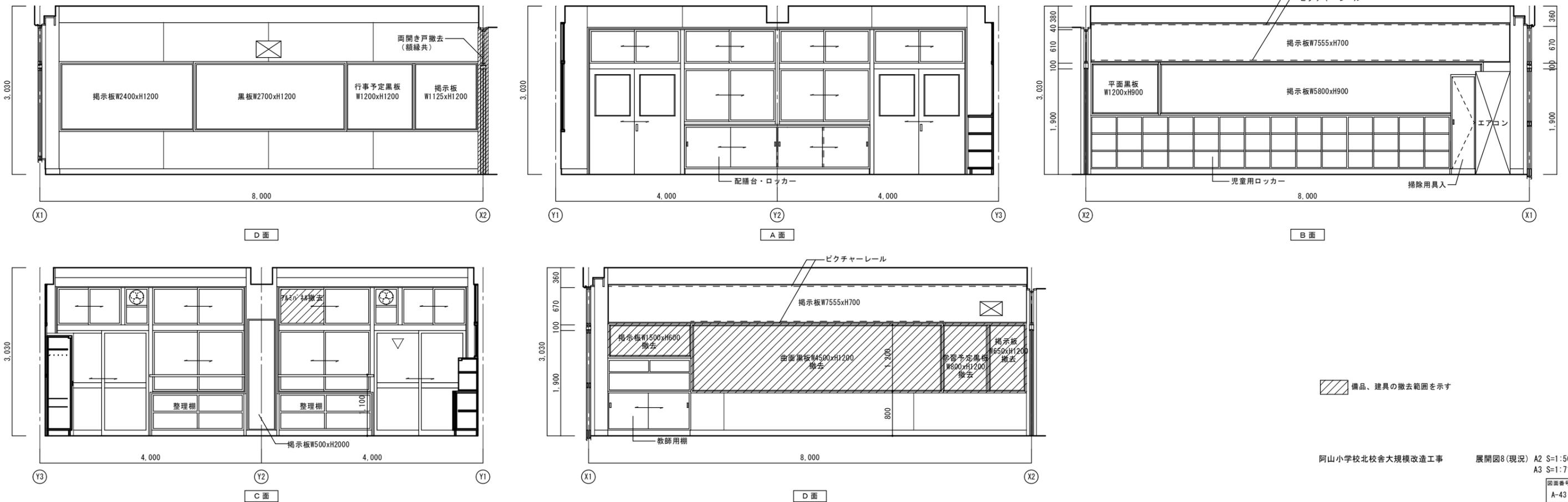
3階配膳室展開図 S=1/50 (現況)



特別支援教室展開図 S=1/50 (現況)

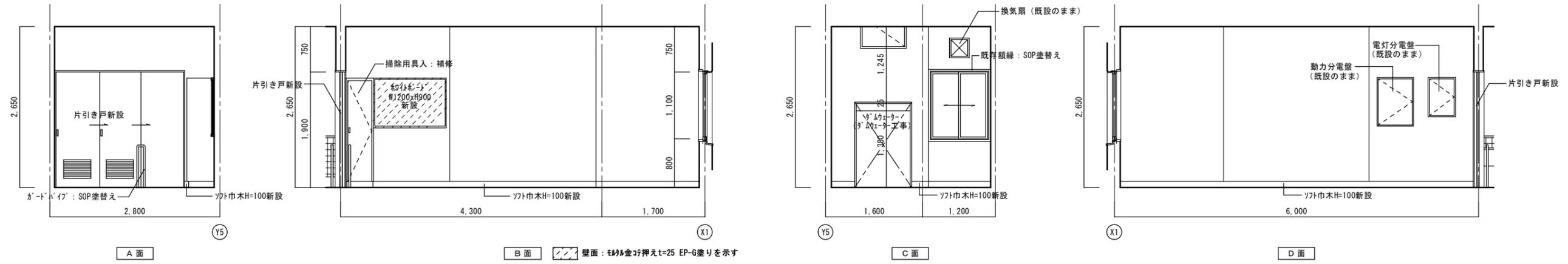


3階普通教室(西)展開図 S=1/50 (現況)

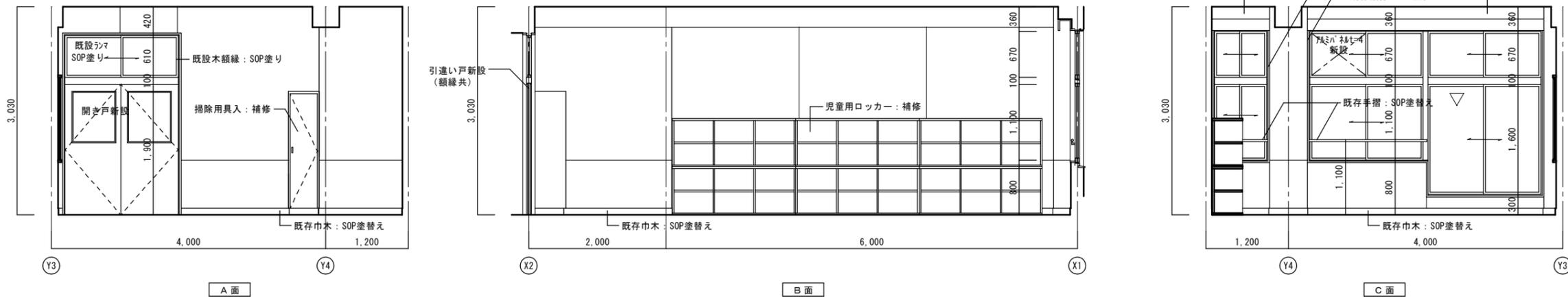


■ 備品、建具の撤去範囲を示す

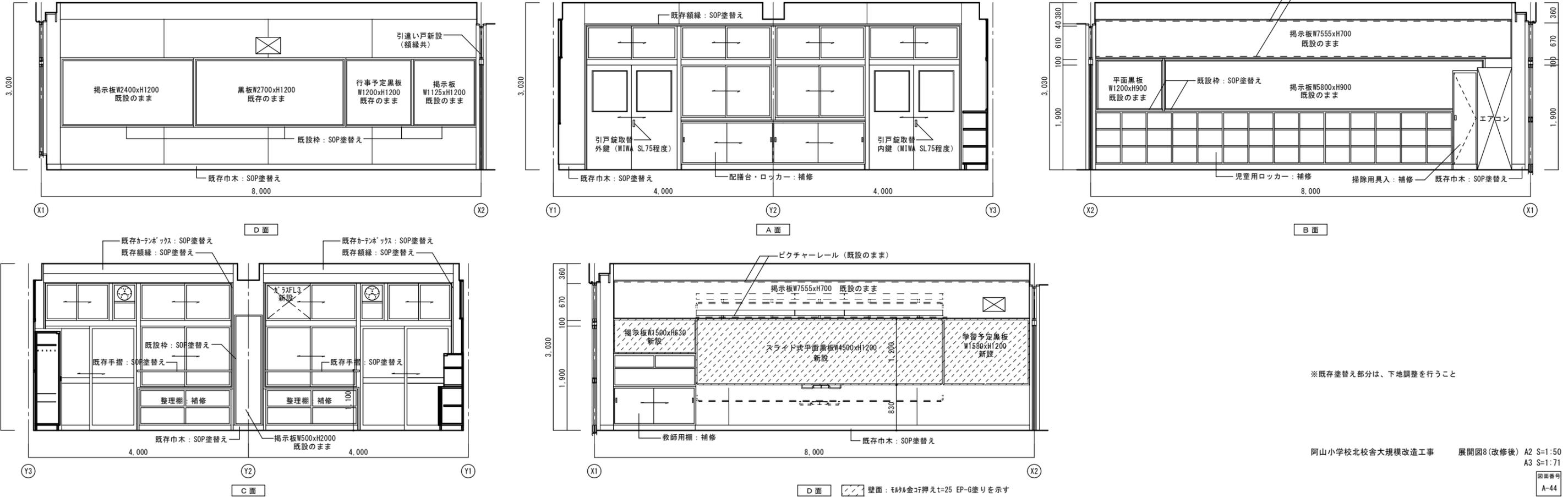
3階配膳室展開図 S=1/50 (改修後) 現況床: 洗いの上、ワックス 現況壁: 下地調整の上、EP-G塗り
現況天井: 下地調整の上、EP塗り



特別支援教室展開図 S=1/50 (改修後) 現況床: 表面研磨の上、ウレタン樹脂ワニス塗り 現況壁(柱・梁型共): 下地調整の上、EP-G塗り
現況天井: 下地調整の上、EP塗り

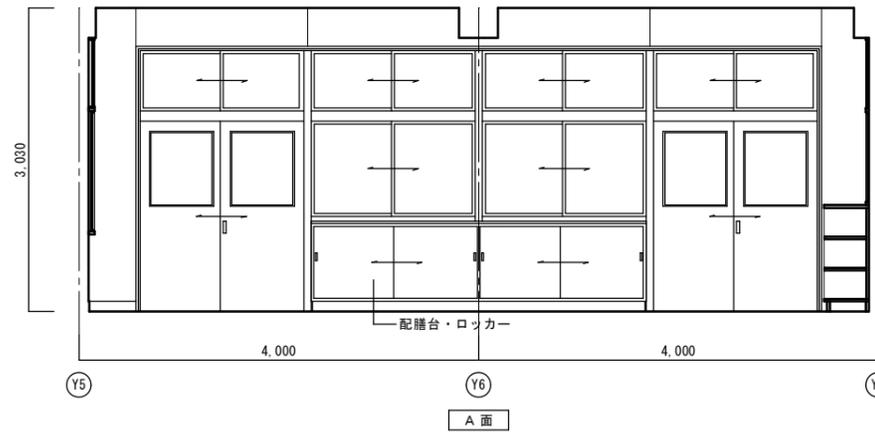


3階普通教室(西)展開図 S=1/50 (改修後) 現況床: 表面研磨の上、ウレタン樹脂ワニス塗り 現況壁(柱・梁型共): 下地調整の上、EP-G塗り
現況天井: 下地調整の上、EP塗り

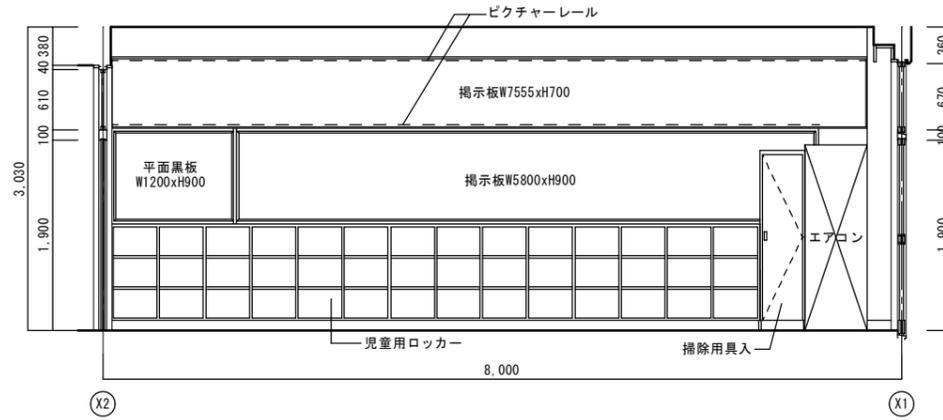


※既存塗替え部分は、下地調整を行うこと

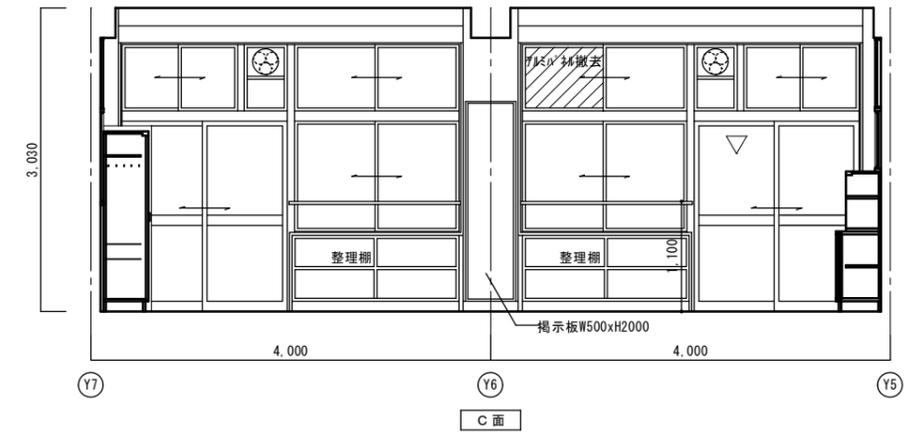
3階普通教室（東）展開図 S=1/50（現況）



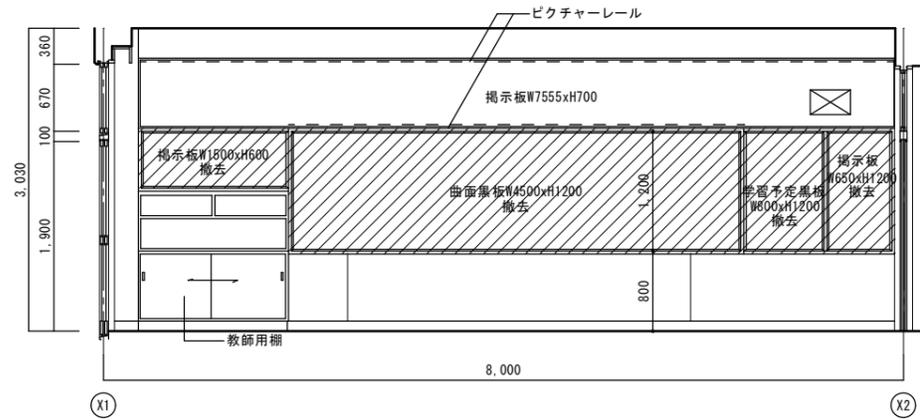
A 面



B 面

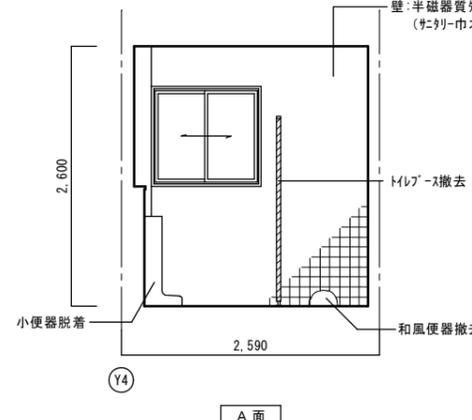


C 面

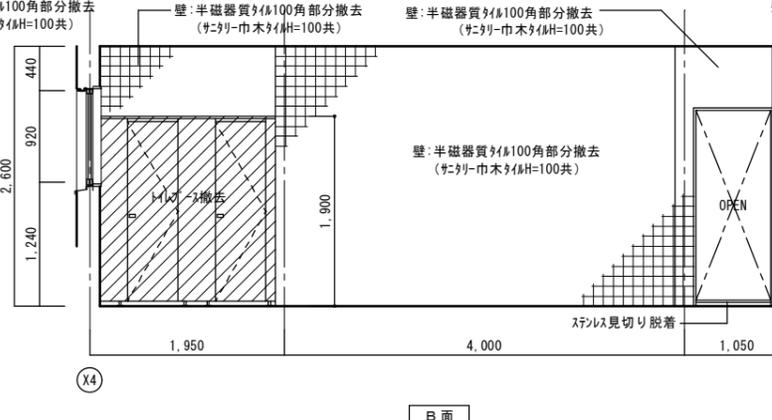


D 面

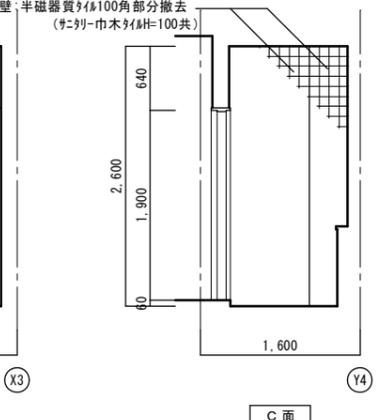
3階男子便所展開図 S=1/50（現況）



A 面

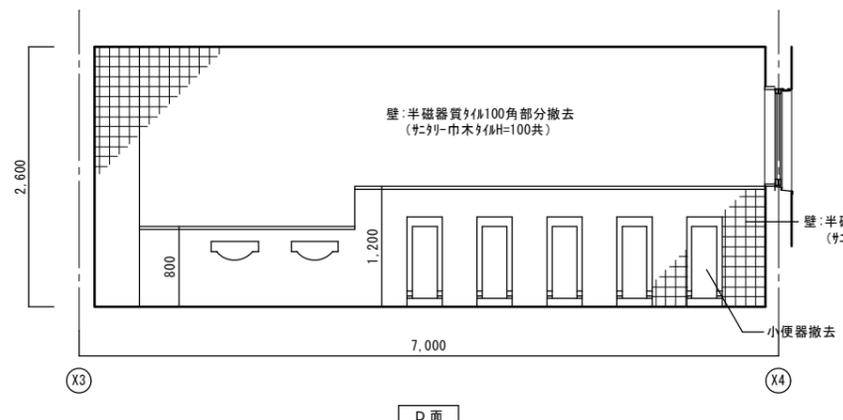


B 面

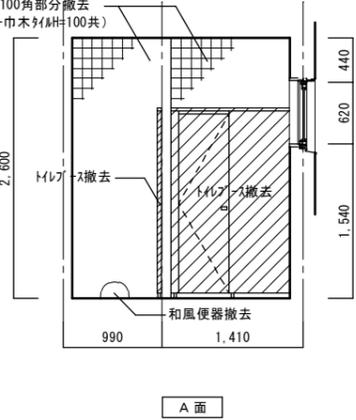


C 面

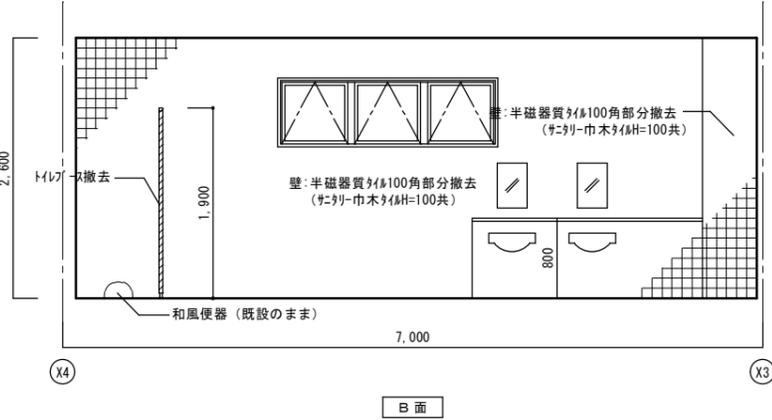
3階女子便所展開図 S=1/50（現況）



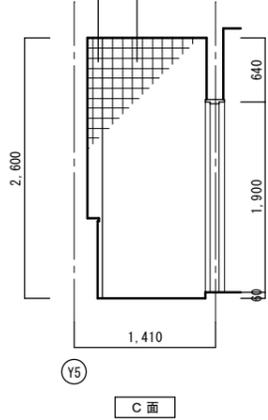
D 面



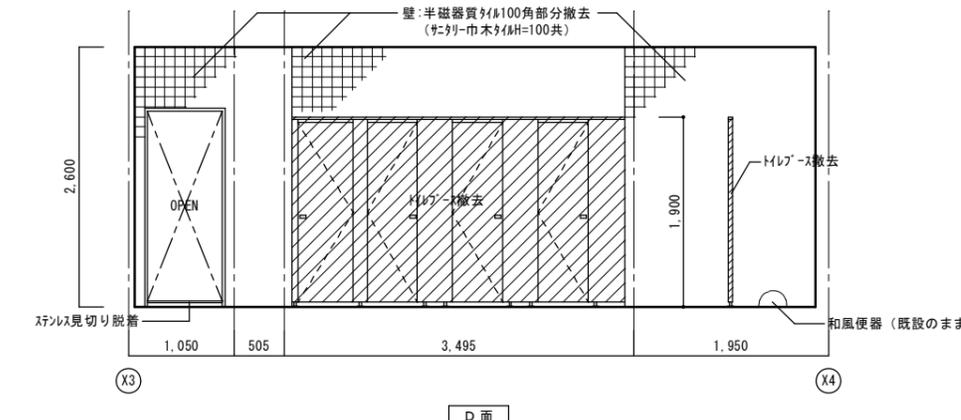
A 面



B 面



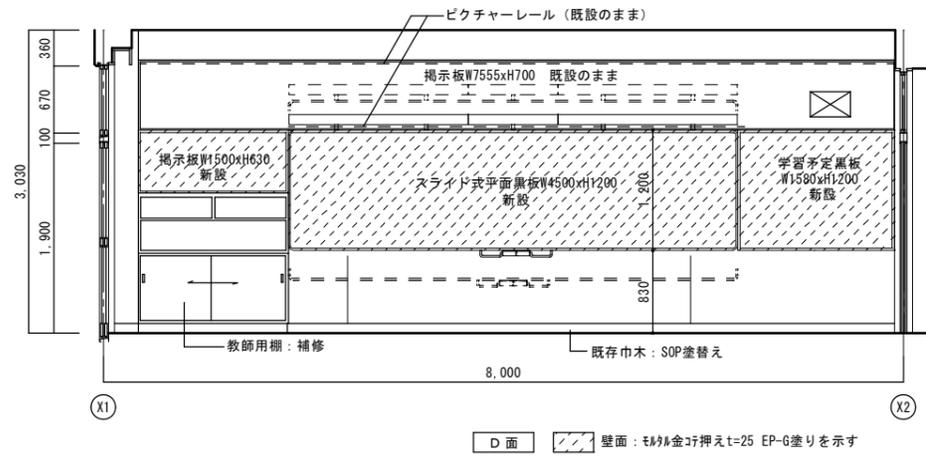
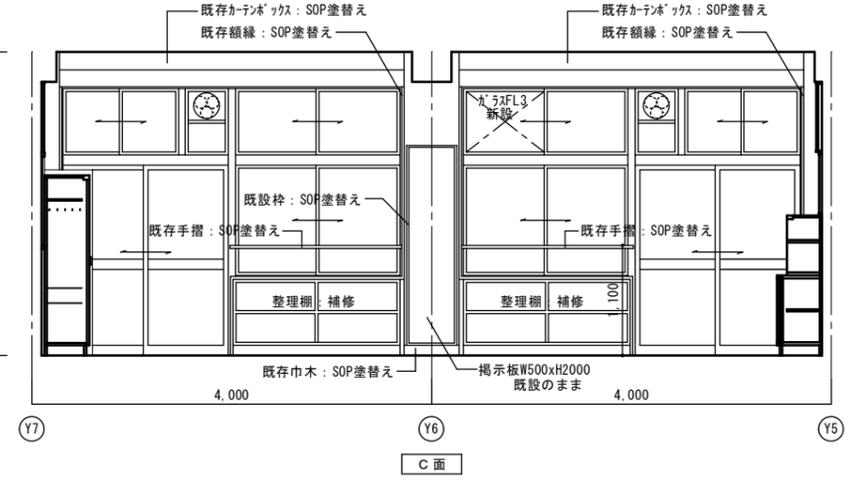
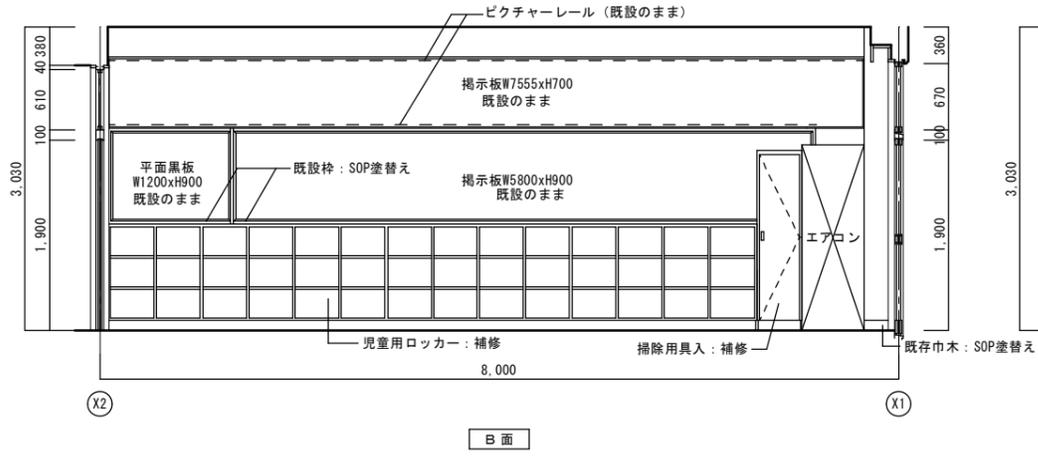
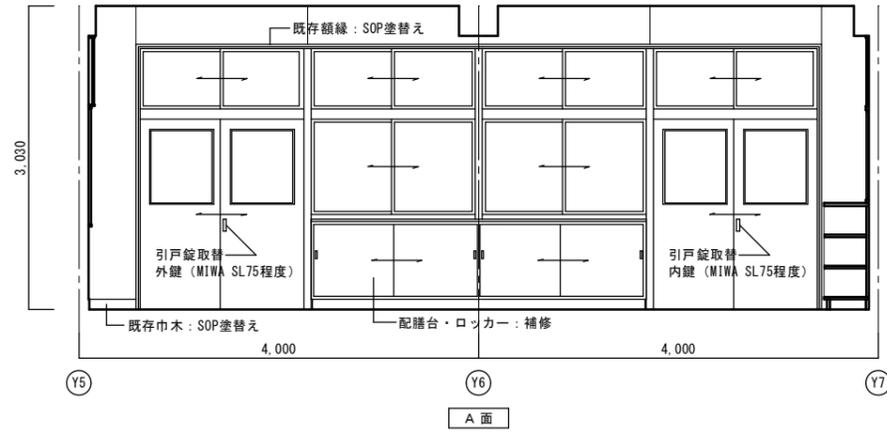
C 面



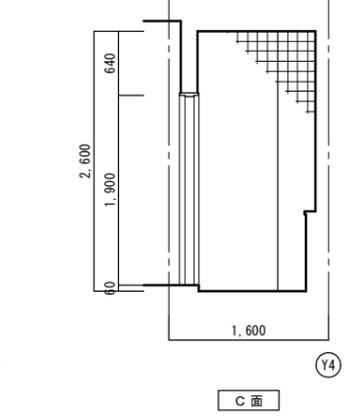
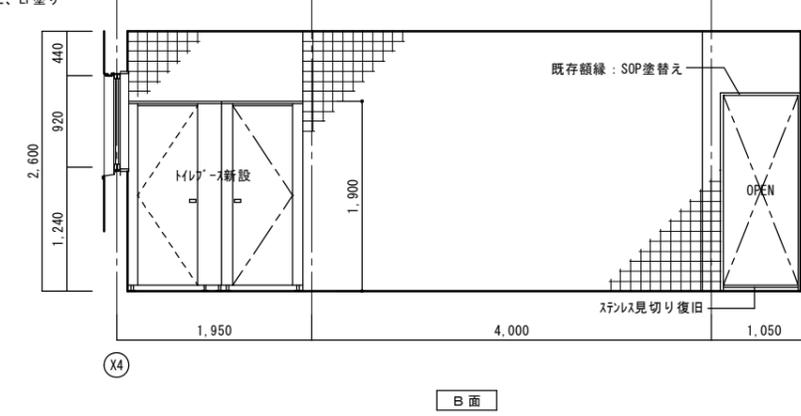
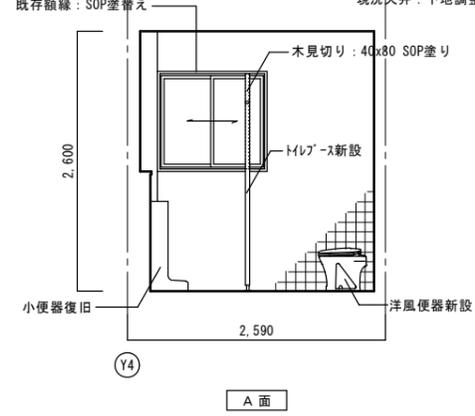
D 面

▨ 備品、建具の撤去範囲を示す
※衛生設備については、設備工事

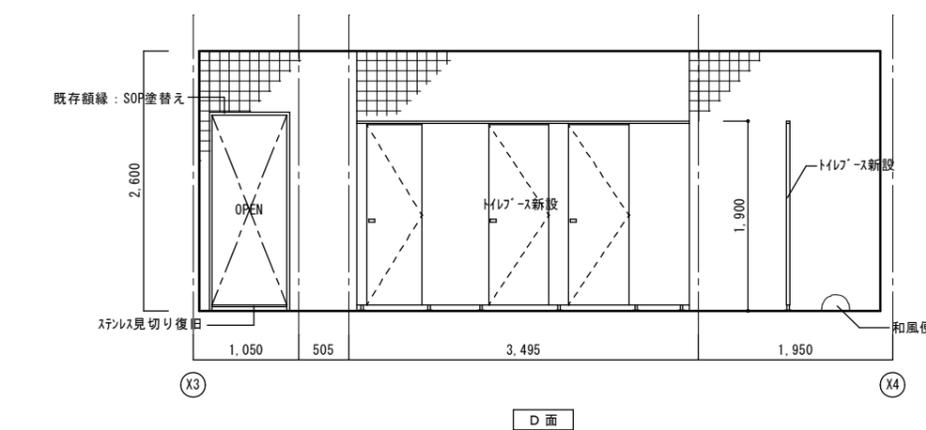
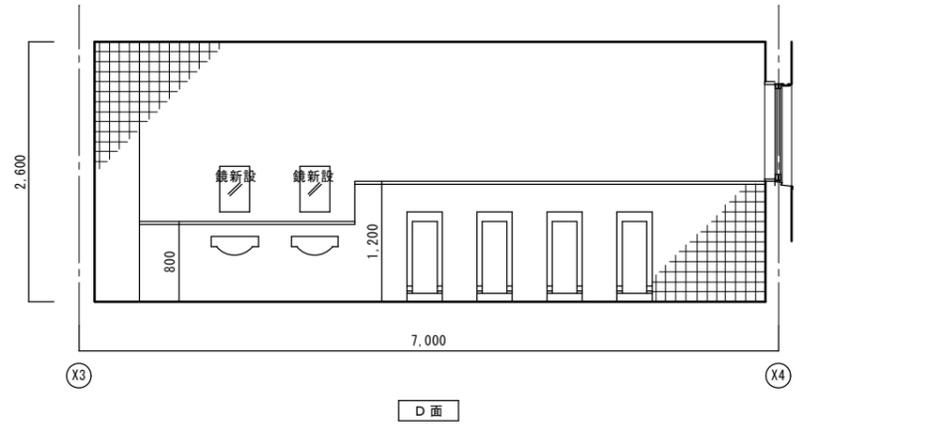
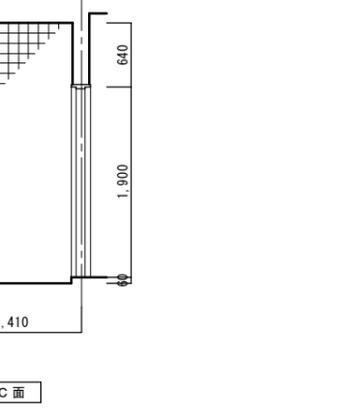
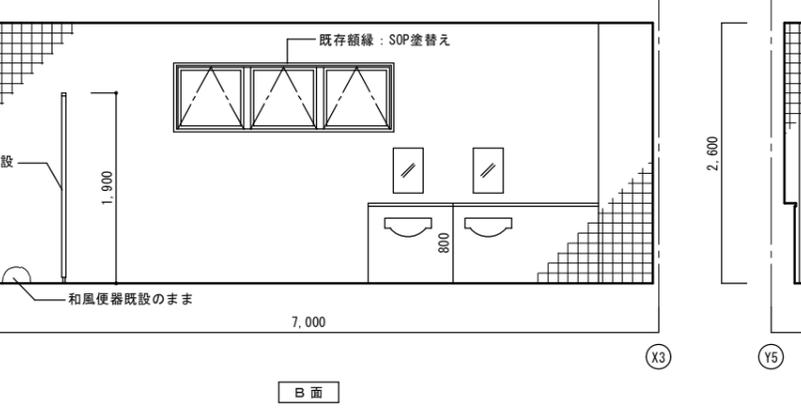
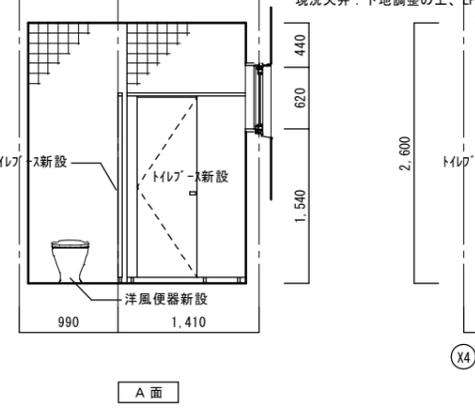
3階普通教室(東)展開図 S=1/50 (改修後) 現況床: 表面研磨の上、ウレタン樹脂ニス塗り 現況壁(柱・梁型共): 下地調整の上、EP-G塗り 現況天井: 下地調整の上、EP塗り



3階男子便所展開図 S=1/50 (改修後) 現況床: 洗い、一部改修時イタリ25角 (便器取替部) 壁・巾木 (モルタル): 一部下地処理+半磁器質タイル100角接着貼り 現況天井: 下地調整の上、EP塗り

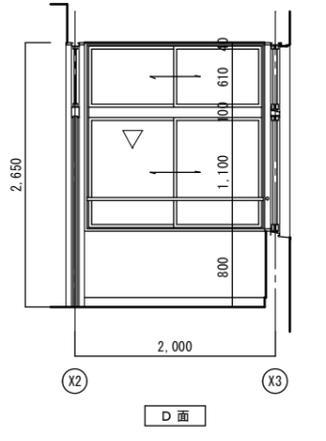
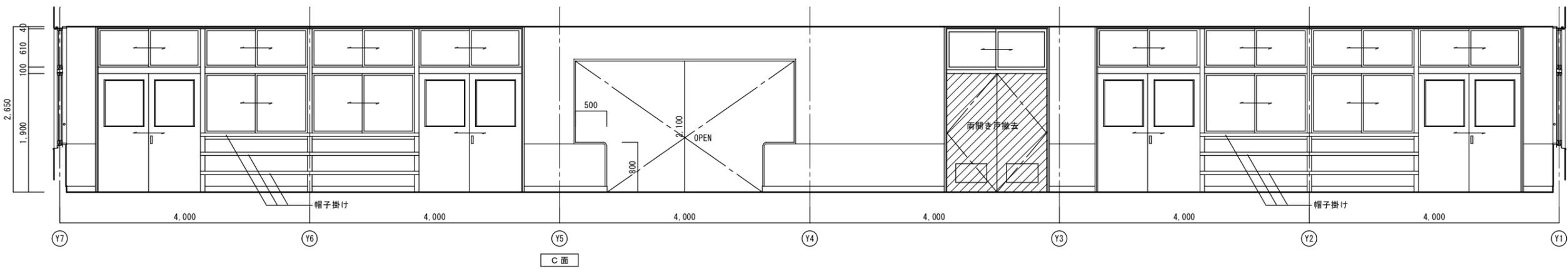
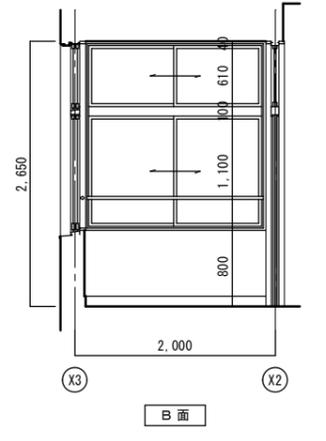
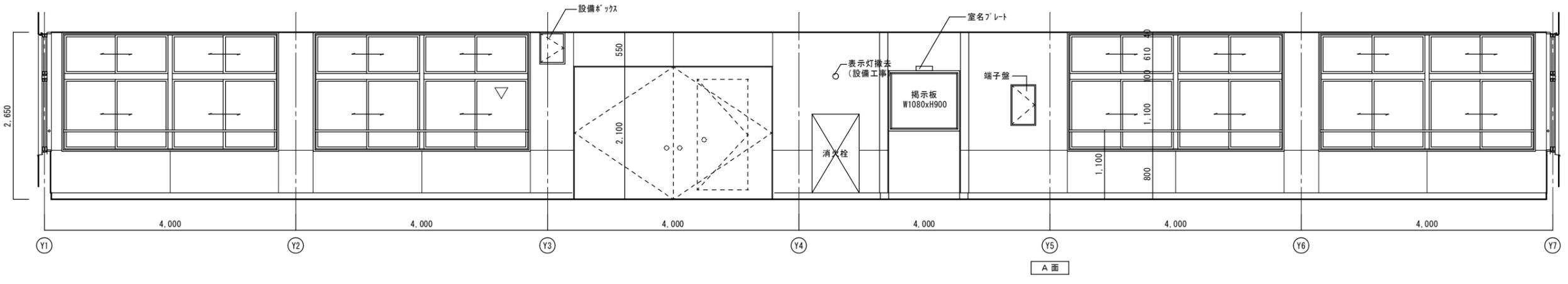


3階女子便所展開図 S=1/50 (改修後) 現況床: 洗い、一部改修時イタリ25角 (便器取替部) 壁・巾木 (モルタル): 一部下地処理+半磁器質タイル100角接着貼り 現況天井: 下地調整の上、EP塗り

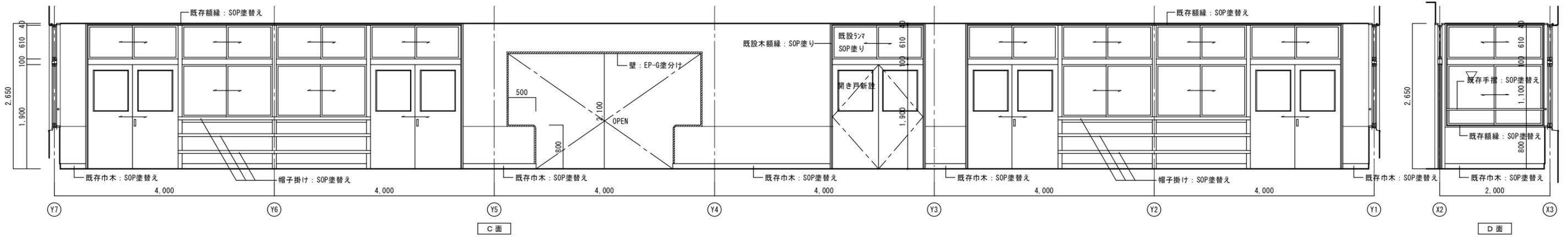
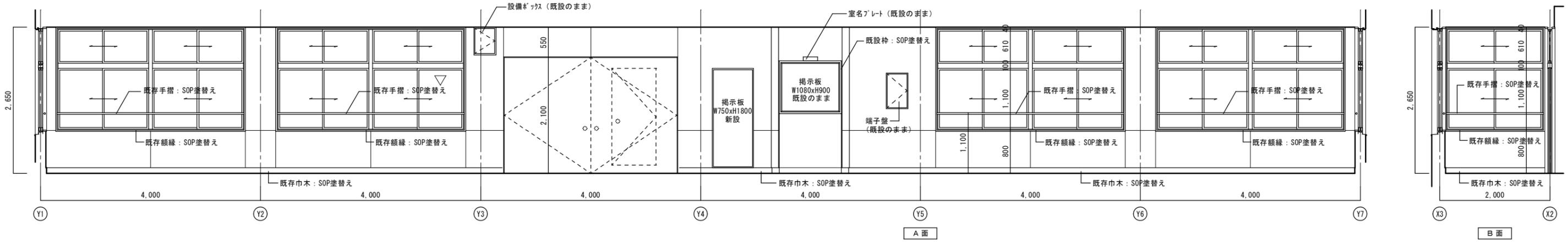


※既存塗替え部分は、下地調整を行うこと
※衛生設備については、設備工事

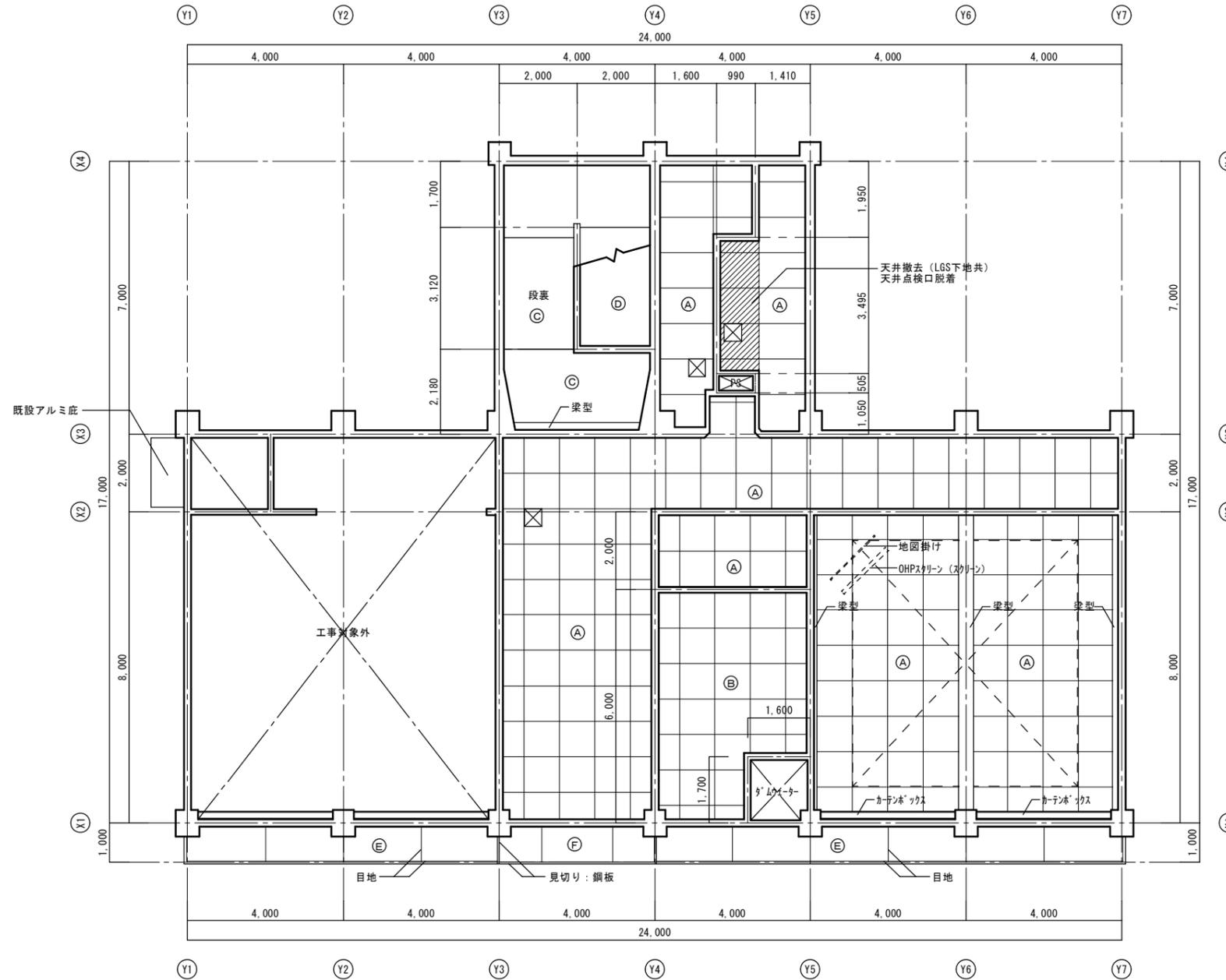
※既存塗替え部分は、下地調整を行うこと
※衛生設備については、設備工事



 備品、建具の撤去範囲を示す



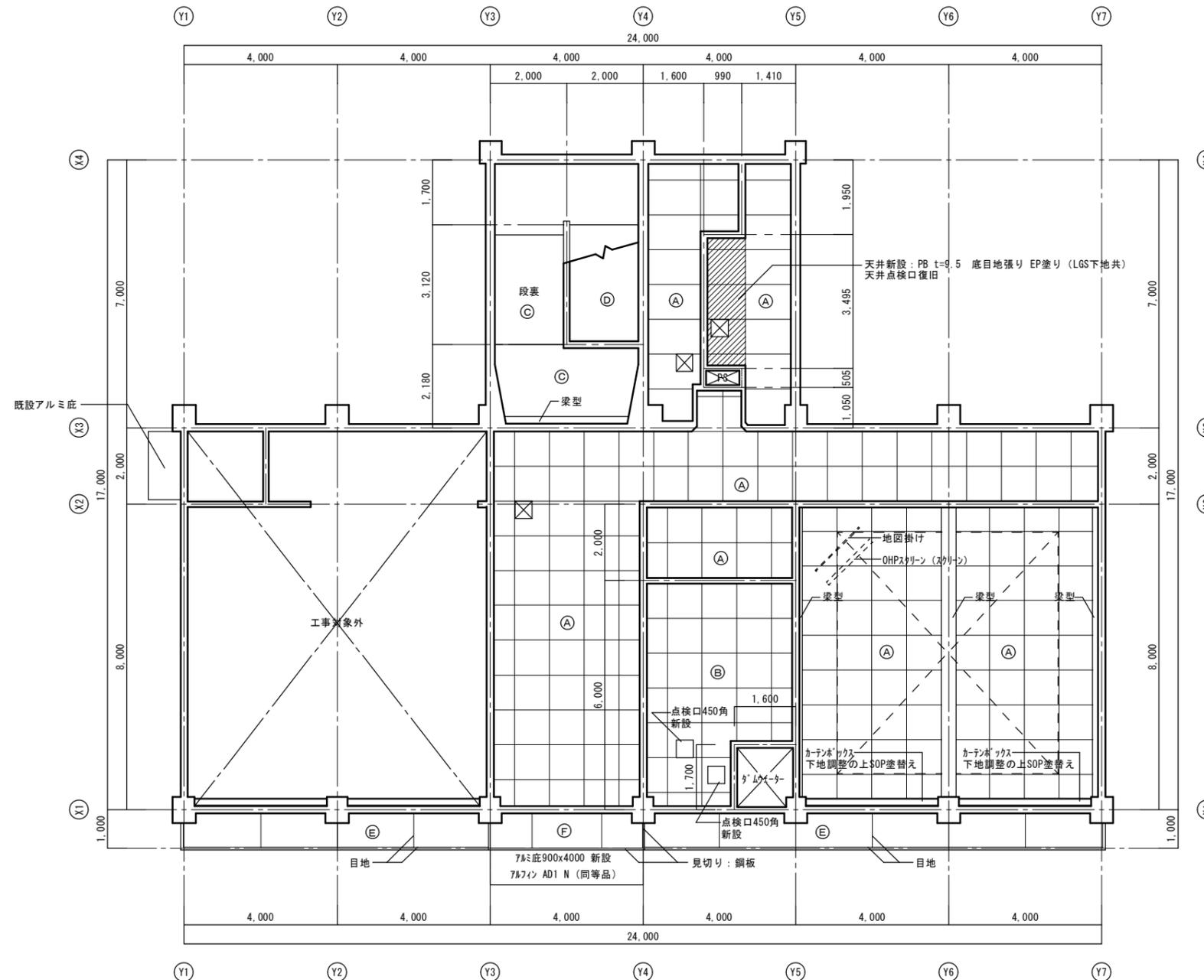
※既存塗替え部分は、下地調整を行うこと



1階天井伏図 (現況) S=1/100

※特記なき限り下記とする。

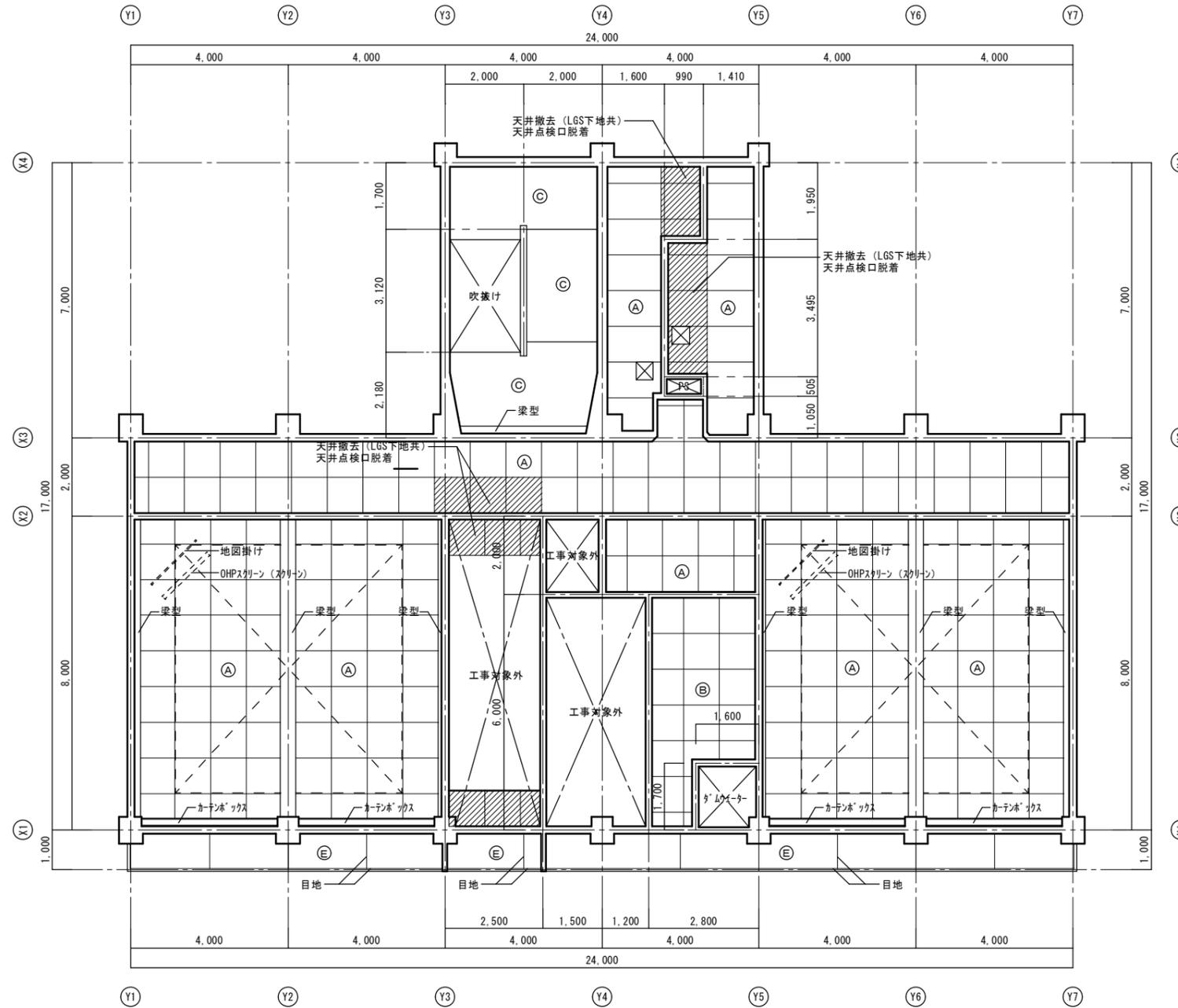
(A)	PB t=9底目地張り EPローラー (梁型共) ※破線内のみ有孔ボード
(B)	大平板t=6底目地張り EPローラー
(C)	モルタル金コテ押え VP (梁型共)
(D)	モルタル金コテ押え
(E)	コンクリート打放し (増打t=10) 補修の上アクリルリシン吹付
(F)	ケイカル板t=6
☒	天井点検口450角



1階天井伏図 (改修後) S=1/100

※特記なき限り下記とする。

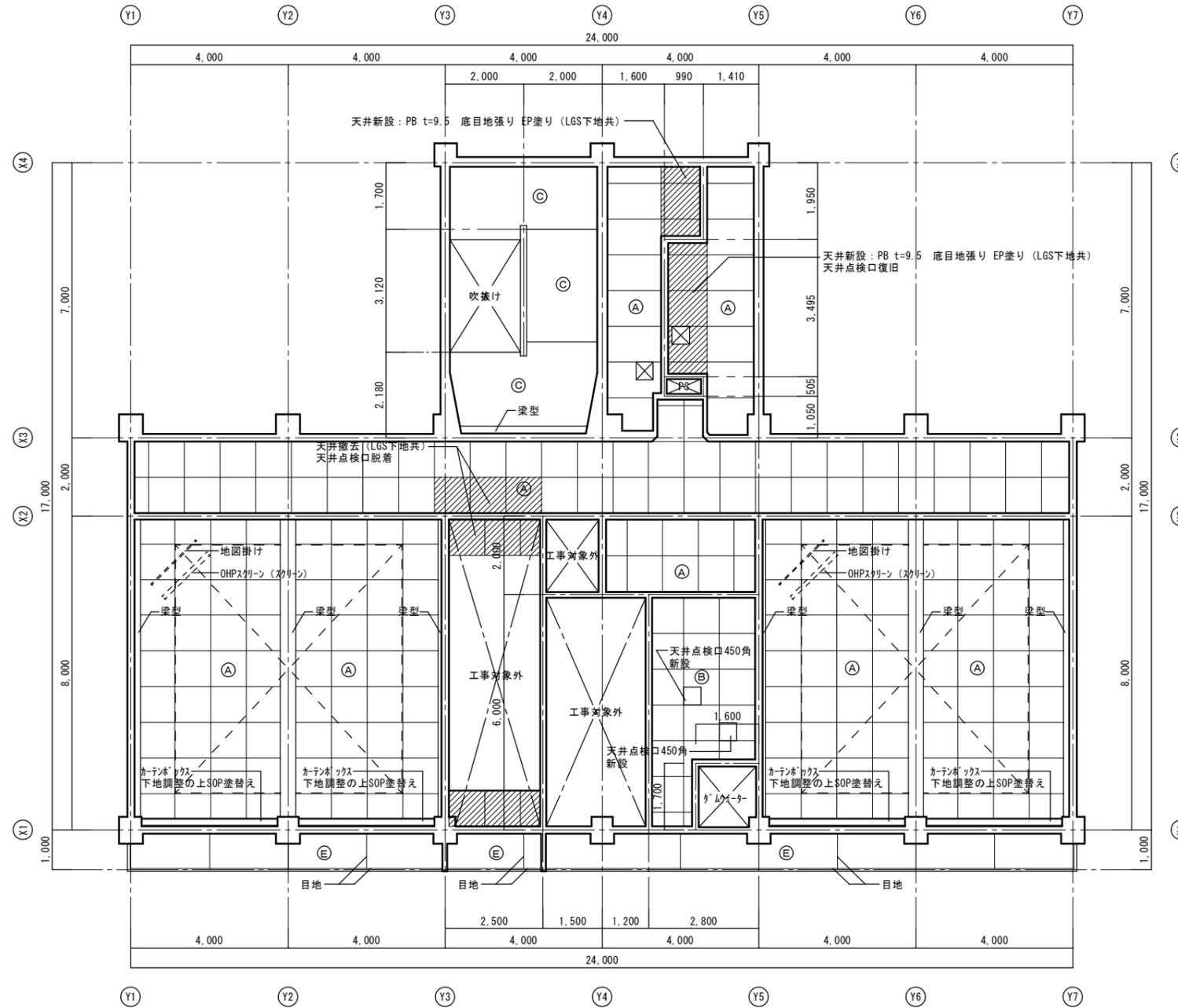
(A)	現況天井：下地調整の上、EP塗り (梁型共)
(B)	現況天井：下地調整の上、EP塗り
(C)	現況天井：下地調整の上、EP-G塗り (梁型共)
(D)	現況天井：既存のまま
(E)	現況天井：高圧水洗の上、可とう形外装薄塗材E (弾性リシン) 吹付
(F)	現況天井：下地調整の上、EP塗り
⊗	天井点検口450角：既存まま
□	天井点検口450角：新設



2階天井伏図 (現況) S=1/100

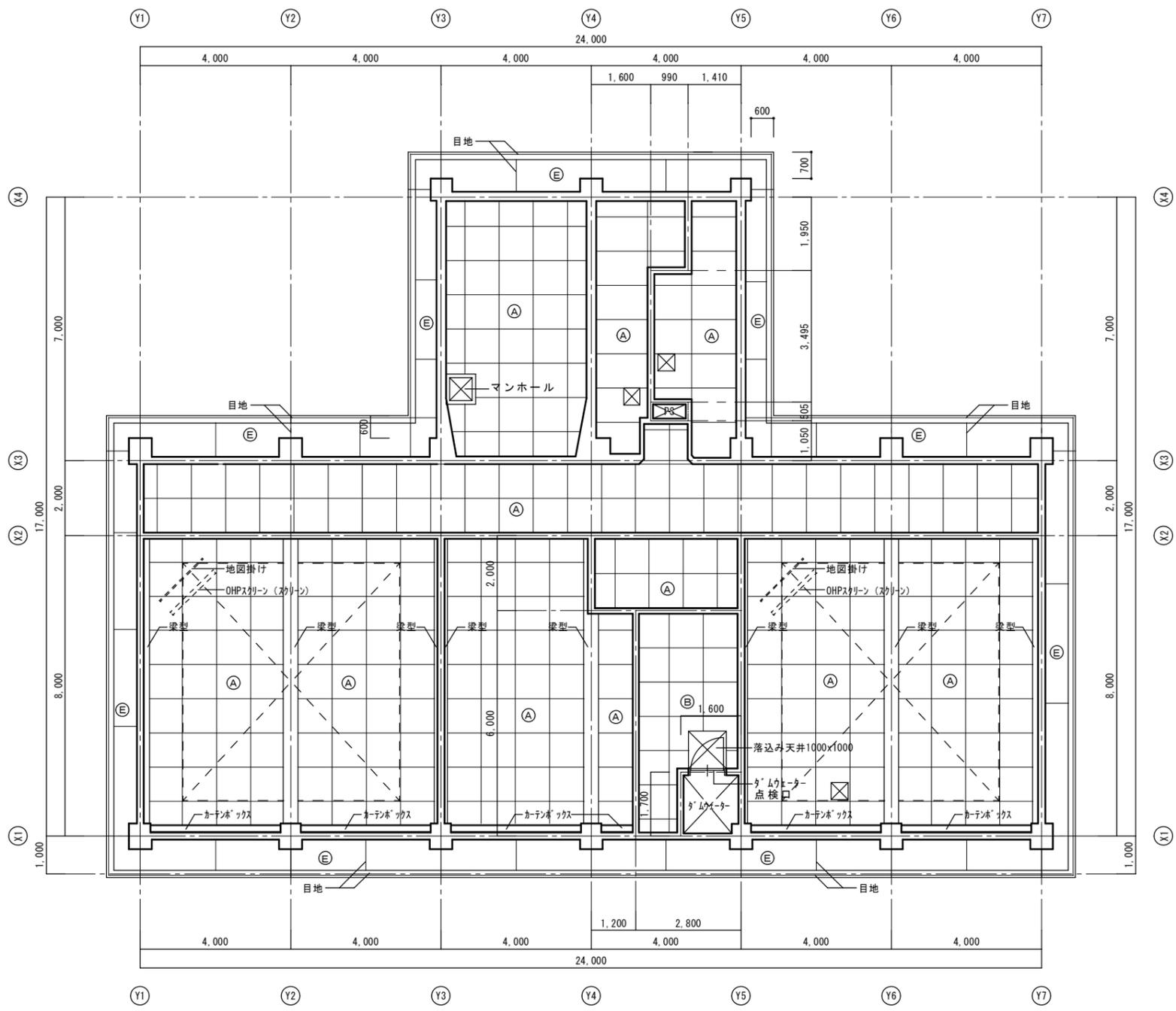
※特記なき限り下記とする。

(A)	PB t=9底目地張り EPローラー (梁型共) ※破線内のみ有孔ボード
(B)	大平板 t=6底目地張り EPローラー
(C)	モルタル金コテ押え VP (梁型共)
(D)	モルタル金コテ押え
(E)	コンクリート打放し (増打t=10) 補修の上アクリルリシン吹付
(F)	ケイカル板 t=6
☒	天井点検口450角



※特記なき限り下記とする。

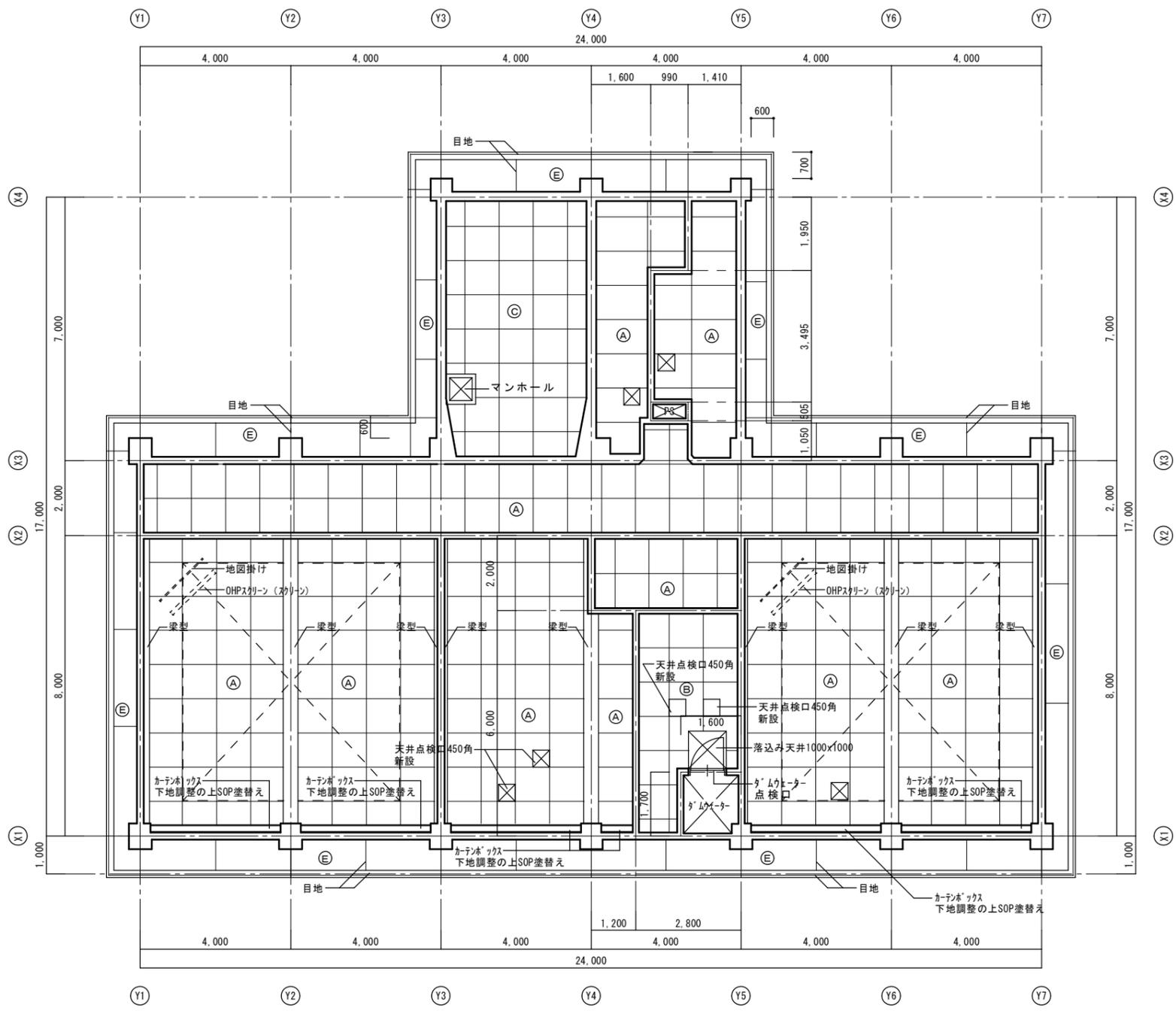
(A)	現況天井: 下地調整の上、EP塗り (梁型共)
(B)	現況天井: 下地調整の上、EP塗り
(C)	現況天井: 下地調整の上、EP-G塗り (梁型共)
(D)	現況天井: 既存のまま
(E)	現況天井: 高圧水洗の上、可とう形外装薄塗材E (弾性リシン) 吹付
(F)	現況天井: 下地調整の上、EP塗り
☒	天井点検口450角: 既存のまま
□	天井点検口450角: 新設



3階天井伏図 (現況) S=1/100

※特記なき限り下記とする。

(A)	PB t=9底目地張り EPローラー(梁型共) ※破線内のみ有孔ボード
(B)	大平板t=6底目地張り EPローラー
(C)	モルタル金コテ押え VP (梁型共)
(D)	モルタル金コテ押え
(E)	コンクリート打放し (増打t=10) 補修の上アクリルリシン吹付
(F)	ケイカル板t=6
⊗	天井点検口450角

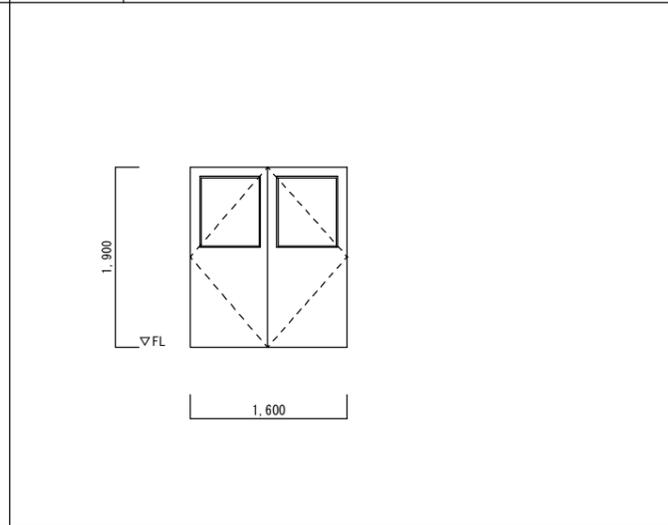
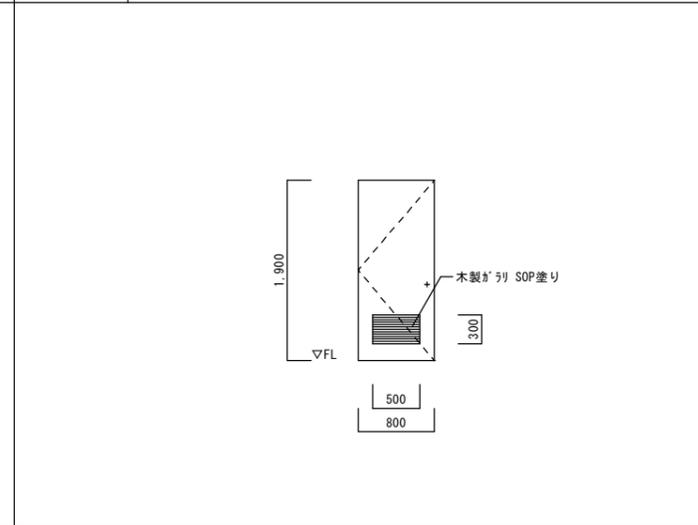
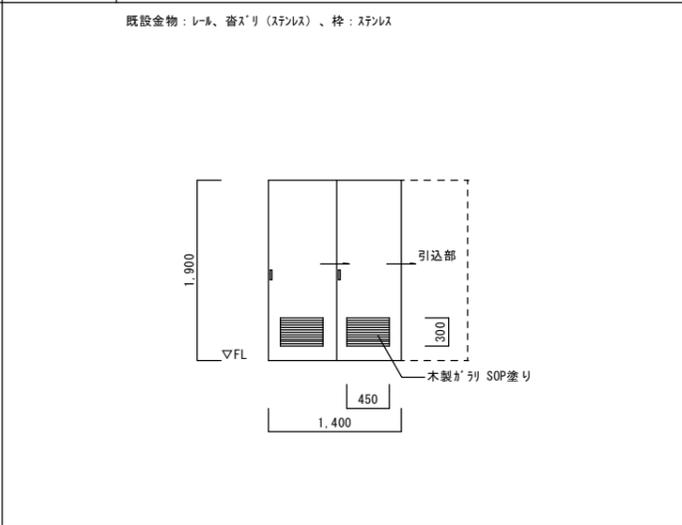
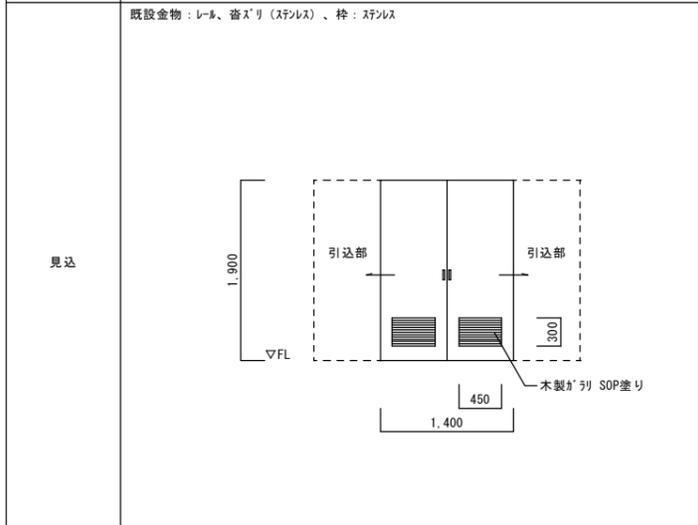


3階天井伏図 (改修後) S=1/100

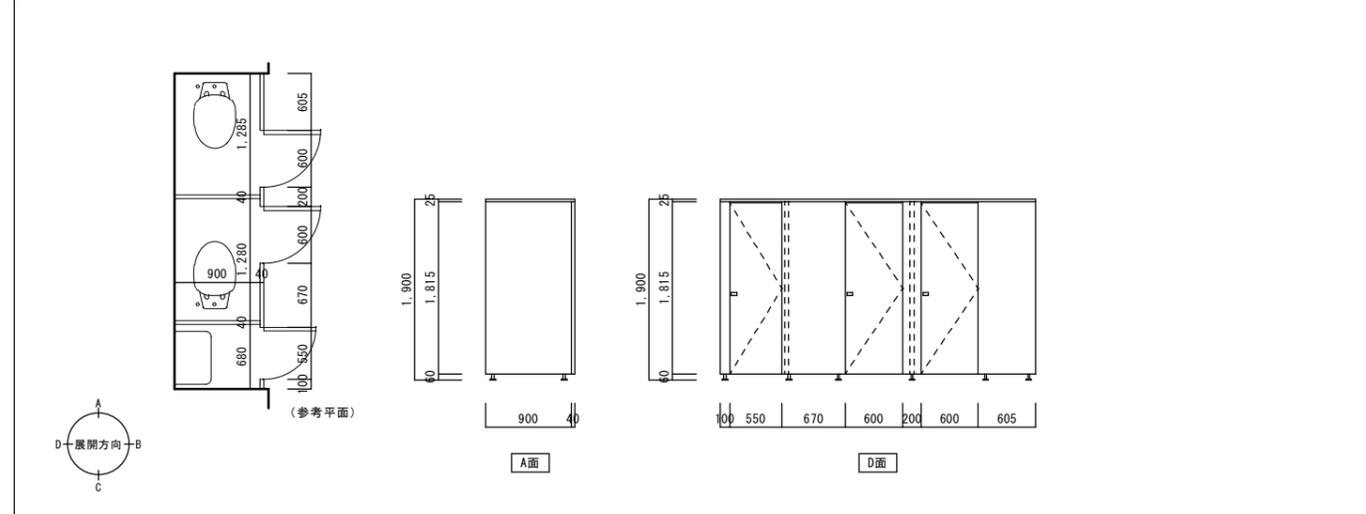
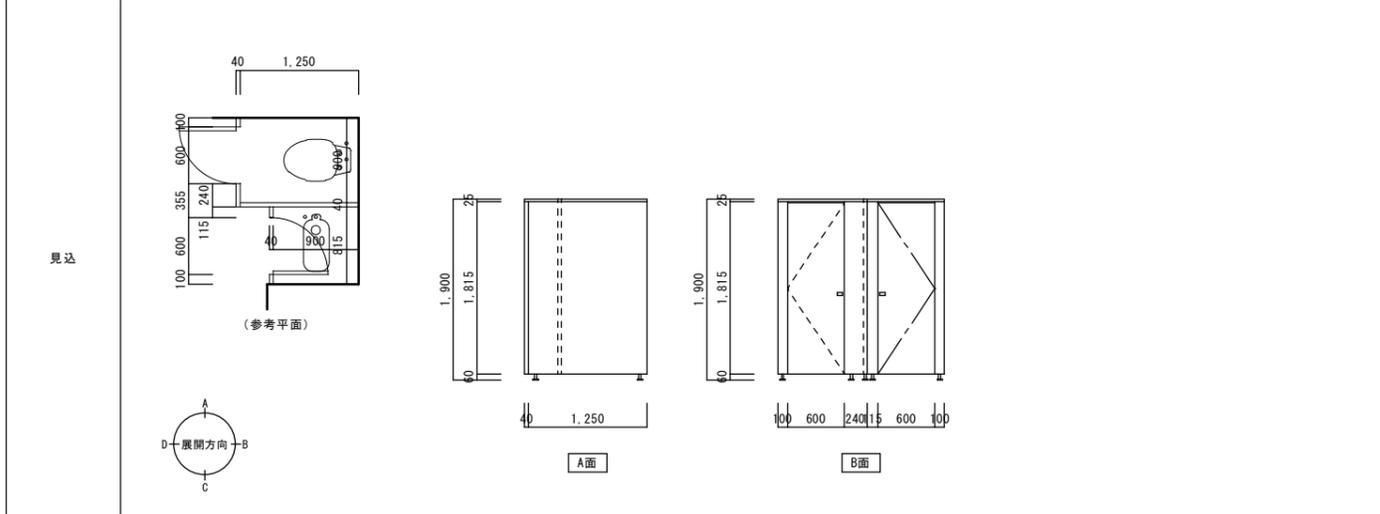
※特記なき限り下記とする。

(A)	現況天井：下地調整の上、EP塗り (梁型共)
(B)	現況天井：下地調整の上、EP塗り
(C)	現況天井：下地調整の上、EP塗り
(D)	現況天井：既存のまま
(E)	現況天井：高圧水洗の上、可とう形外装薄塗材E (弾性リシン) 吹付
(F)	現況天井：下地調整の上、EP塗り
⊗	天井点検口450角：既存まま
□	天井点検口450角：新設

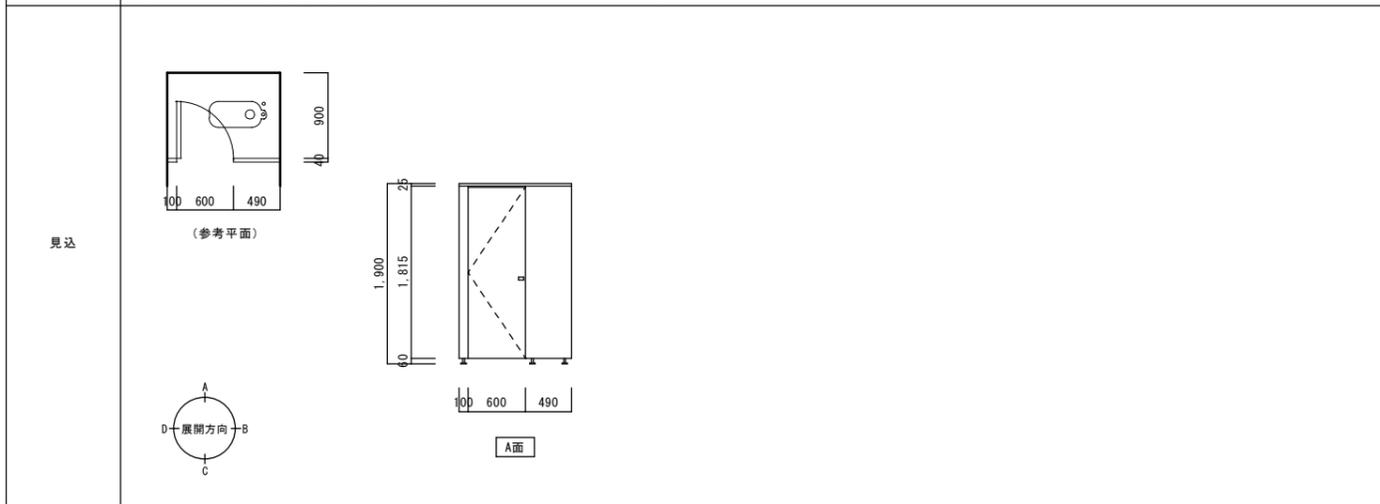
記号	合計	①D 1	記号	合計	①D 2	記号	合計	①D 3	1	記号	合計	①D 4	
場所	1F配膳室		場所	2F, 3F配膳室		場所	2F倉庫			場所	3F特別支援教室		
型式	両引きドア 扉見込40		型式	2枚片引きドア 扉見込40		型式	片開きドア 扉見込40			型式	両開き戸 扉見込40		
硝子	仕上	ポリ合板フラッシュ	硝子	仕上	ポリ合板フラッシュ	硝子	仕上	ポリ合板フラッシュ		硝子	仕上	FL3	ポリ合板フラッシュ
金物	新設金物：船底引手（ステンレス）、鎌錠、フラス落し		金物	新設金物：船底引手（ステンレス）、シリンダ錠、フラス落し		金物	錠付き握玉ステンレス、丁番、戸当たり			金物	錠付き握玉ステンレス、丁番、戸当たり、フラス落し		



記号	合計	①B 3	記号	合計	①B 2	3
場所	男子便所		場所	女子便所		
型式	トイレブース 扉見込み40		型式	トイレブース 扉見込み40		
硝子	仕上	硝子 仕上 扉：ポリ合板フラッシュ エッジ：アルミ	硝子	仕上	硝子 仕上 扉：ポリ合板フラッシュ エッジ：アルミ	
金物	グラビティーヒンジ、表示付きスライドラッチ、戸当り、巾木：アジャスターサポート、笠木		金物	グラビティーヒンジ、表示付きスライドラッチ（トイレ） 引手（掃除用具流し）、戸当り、巾木：アジャスターサポート、笠木		



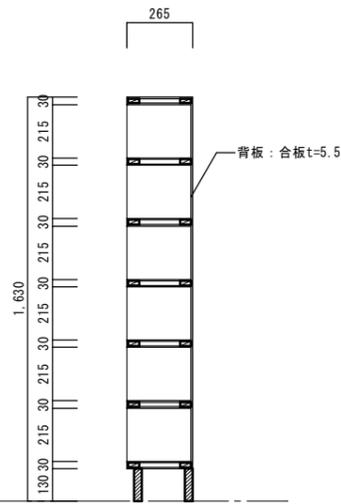
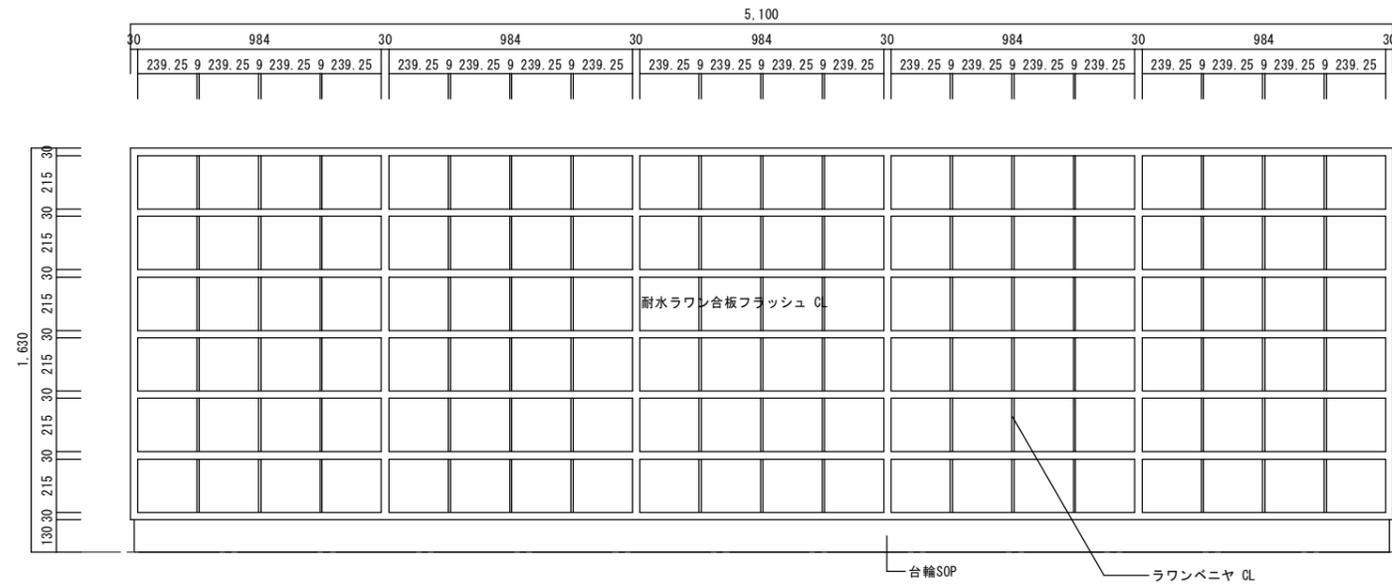
記号	合計	①B 3	3	記号	合計	①B 3	1
場所	女子便所			場所			
型式	トイレブース 扉見込み40			型式			
硝子	仕上	硝子 仕上 扉：ポリ合板フラッシュ エッジ：アルミ		硝子	仕上		
金物	グラビティーヒンジ、表示付きスライドラッチ、戸当り、巾木：アジャスターサポート、笠木			金物			



昇降口	下足箱	2台	W5100xH1630xD265	普通教室	教師用棚	5台	W1500xH1400xD450(350)
-----	-----	----	------------------	------	------	----	-----------------------

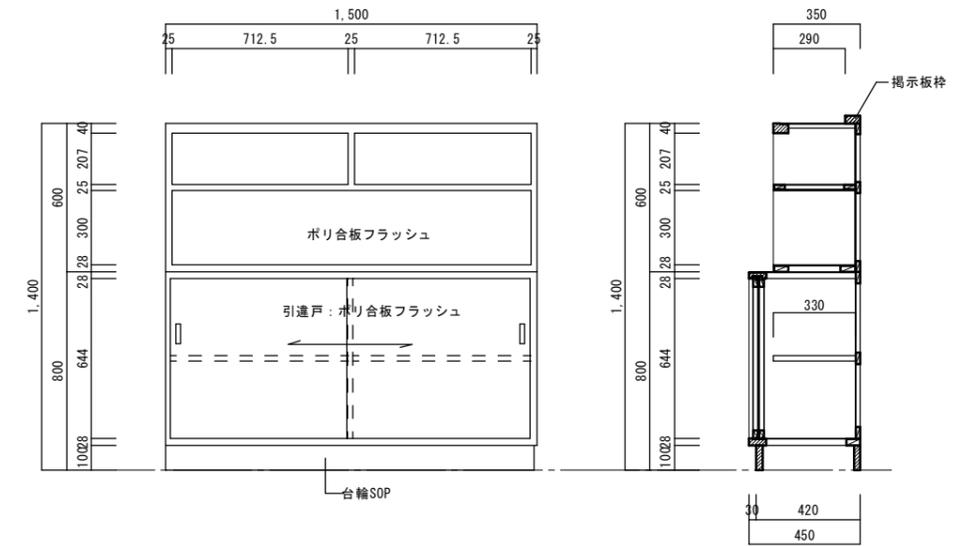
補修箇所

東側：仕切板は既設のまま
西側：仕切板 2ヶ所 取替



補修箇所

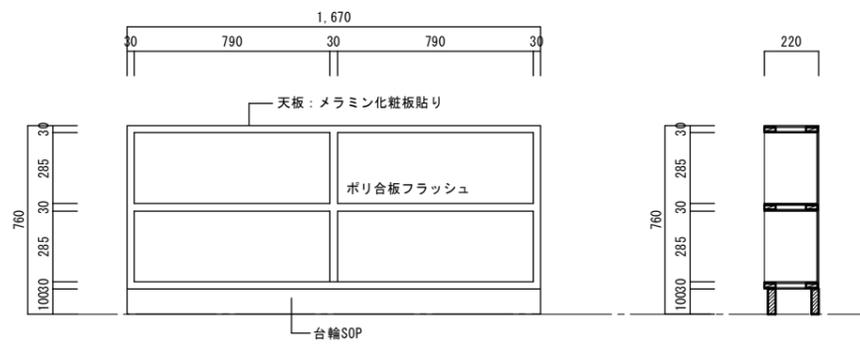
1階（東）：正面小口部：メラミン貼替
2階（西）：正面小口部：メラミン貼替 側部（右左）：メラミン増貼 扉：2枚再製作
2階（東）：正面小口部：メラミン貼替 側部（右左）：メラミン増貼 扉：2枚再製作
3階（西）：正面小口部：メラミン貼替 側部（右左）：メラミン増貼 扉：2枚再製作
3階（東）：天板部：無 正面小口部：メラミン貼替 側部（右左）：メラミン増貼 扉：2枚再製作



普通教室	整理棚	10台	W1670xH760xD220
------	-----	-----	-----------------

補修箇所

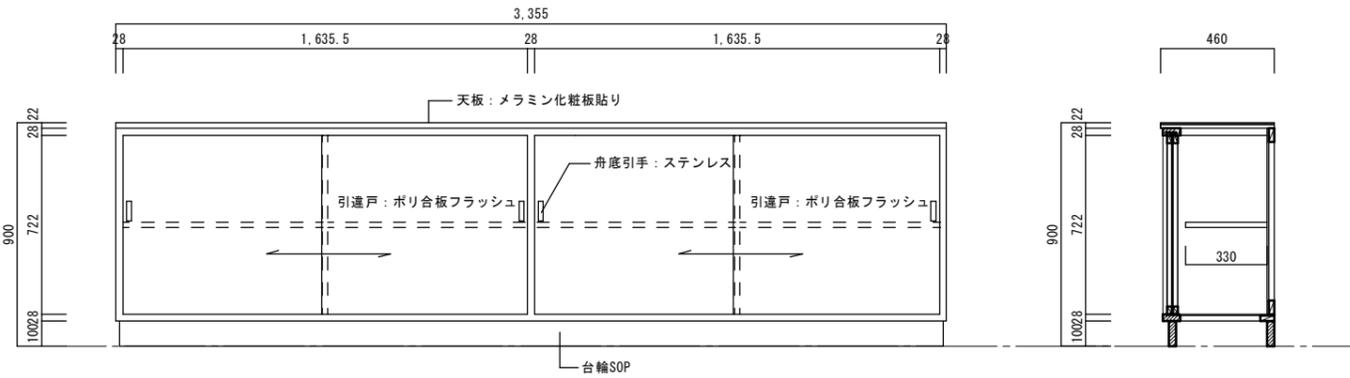
1階（東）：天板部：メラミン増貼 正面小口部：メラミン貼替 側部（右）：メラミン増貼
天板部：メラミン増貼 正面小口部：メラミン貼替 側部（左）：メラミン増貼
2階（西）：天板部：メラミン増貼 正面小口部：メラミン貼替 側部（右）：メラミン増貼 下段部：メラミン増貼(2ヶ所)
天板部：メラミン増貼 正面小口部：メラミン貼替 側部（左）：メラミン増貼 下段部：メラミン増貼(2ヶ所)
2階（東）：天板部：メラミン増貼 正面小口部：メラミン貼替 側部（右）：メラミン増貼 下段部：メラミン増貼(2ヶ所) 背板部：メラミン増貼(1ヶ所)
天板部：メラミン増貼 正面小口部：メラミン貼替 側部（左）：メラミン増貼 下段部：メラミン増貼(2ヶ所)
3階（西）：天板部：メラミン増貼 正面小口部：メラミン貼替 側部（右）：メラミン増貼
天板部：メラミン増貼 正面小口部：メラミン貼替 側部（左）：メラミン増貼
3階（東）：天板部：メラミン増貼 正面小口部：メラミン貼替 側部（右）：メラミン増貼 下段部：メラミン増貼(2ヶ所)
天板部：メラミン増貼 正面小口部：メラミン貼替 側部（左）：メラミン増貼 下段部：メラミン増貼(2ヶ所)



普通教室	配膳台・ロッカー	5台	W3355xH900xD460
------	----------	----	-----------------

補修箇所

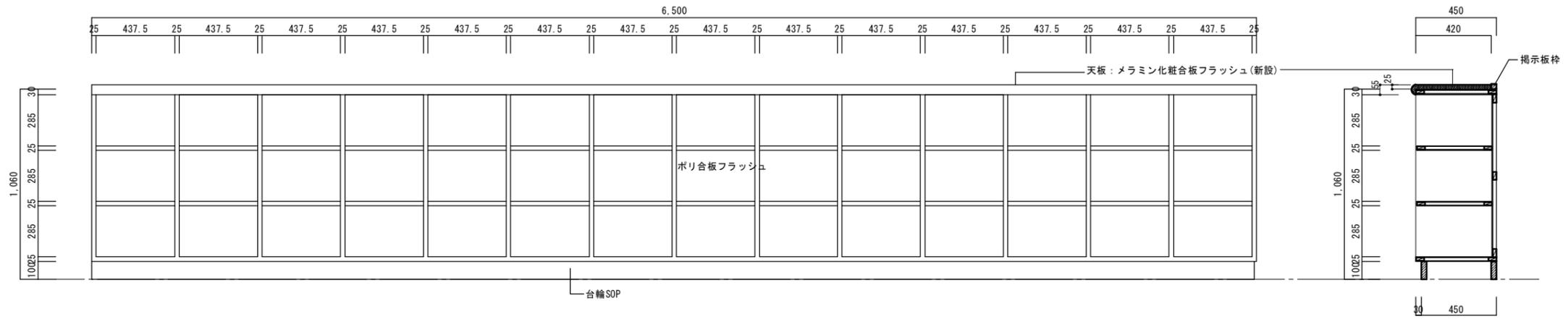
1階（東）：天板部：メラミン増貼 正面小口部：メラミン貼替 側部（右左）：メラミン増貼
2階（西）：天板部：メラミン増貼 正面小口部：メラミン貼替 側部（右左）：メラミン増貼 扉：4枚再製作
2階（東）：天板部：メラミン増貼 正面小口部：メラミン貼替 側部（右左）：メラミン増貼 扉：4枚再製作
3階（西）：天板部：メラミン増貼 正面小口部：メラミン貼替 側部（右左）：メラミン増貼 扉：4枚再製作 棚板：1枚再製作
3階（東）：天板部：メラミン増貼 正面小口部：メラミン貼替 側部（右左）：メラミン増貼 扉：4枚再製作



普通教室	児童用ロッカー	5台	W6500xH1060xD450
------	---------	----	------------------

補修箇所

- 1階(東) : 天板部: メラミン化粧合板フラッシュ. 正面小口部: メラミン貼替
- 2階(西) : 天板部: メラミン化粧合板フラッシュ. 正面小口部: メラミン貼替. 背板部: メラミン増貼(8ヶ所). 下段部: メラミン増貼(14ヶ所)
- 2階(東) : 天板部: メラミン化粧合板フラッシュ. 正面小口部: メラミン貼替. 背板部: メラミン増貼(8ヶ所). 下段部: メラミン増貼(14ヶ所)
- 3階(西) : 天板部: メラミン化粧合板フラッシュ. 正面小口部: メラミン貼替. 背板部: メラミン増貼(3ヶ所). 下段部: メラミン増貼(14ヶ所)
- 3階(東) : 天板部: メラミン化粧合板フラッシュ. 正面小口部: メラミン貼替



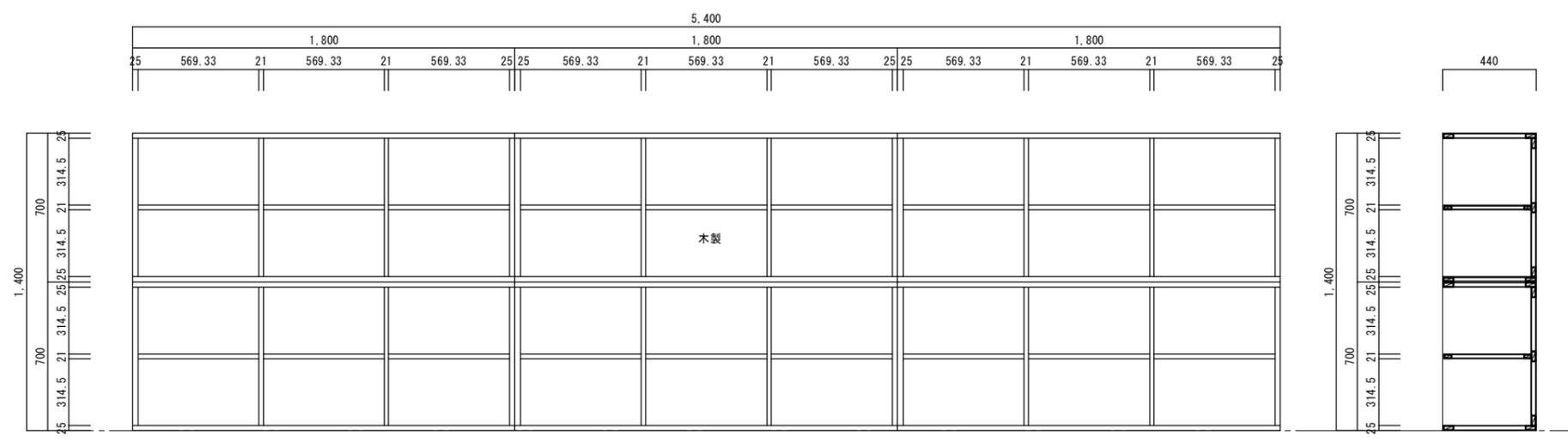
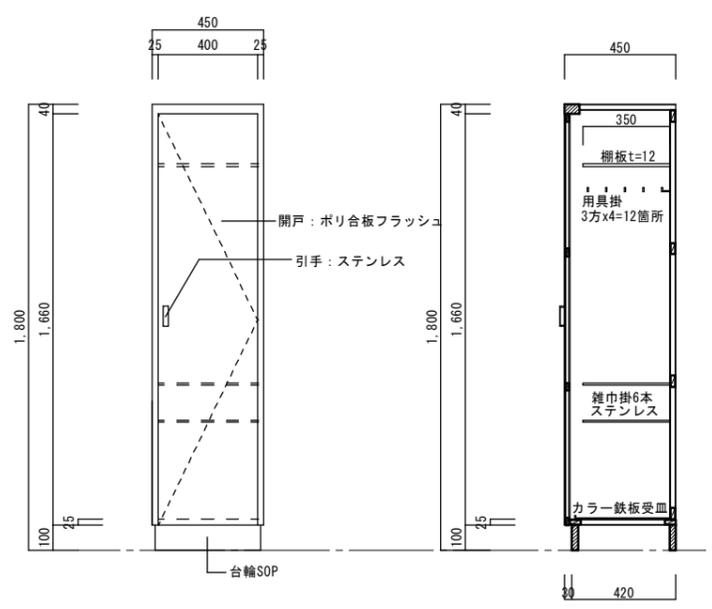
普通教室	掃除用具入	9台	W450xH1800xD450	特別支援室	ロッカー	1台	W1800xH700xD440x6
------	-------	----	-----------------	-------	------	----	-------------------

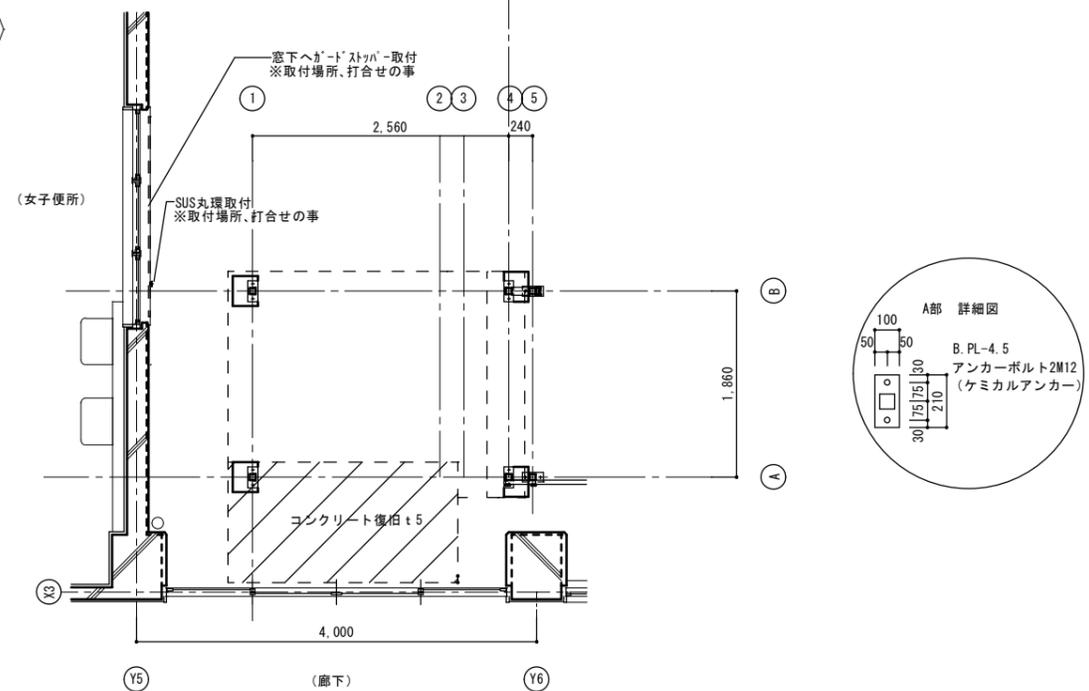
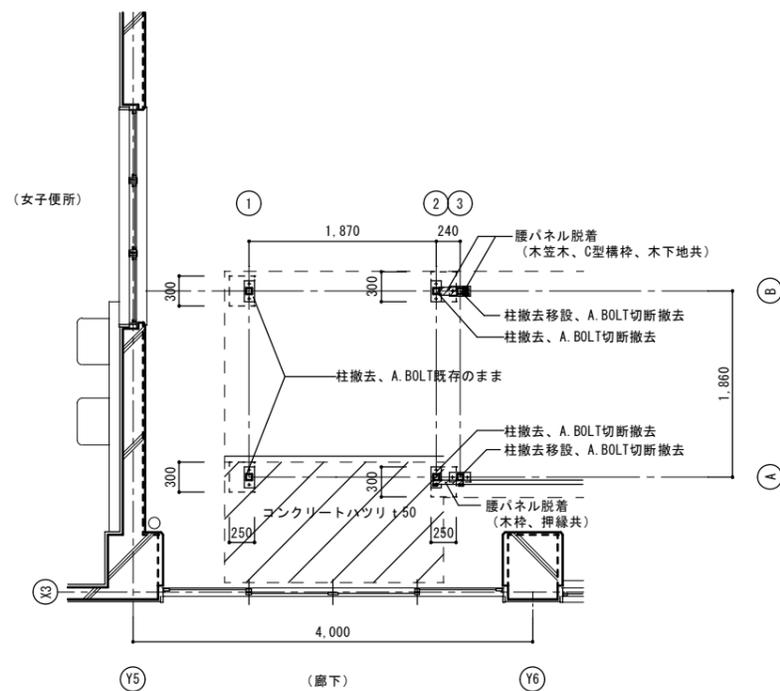
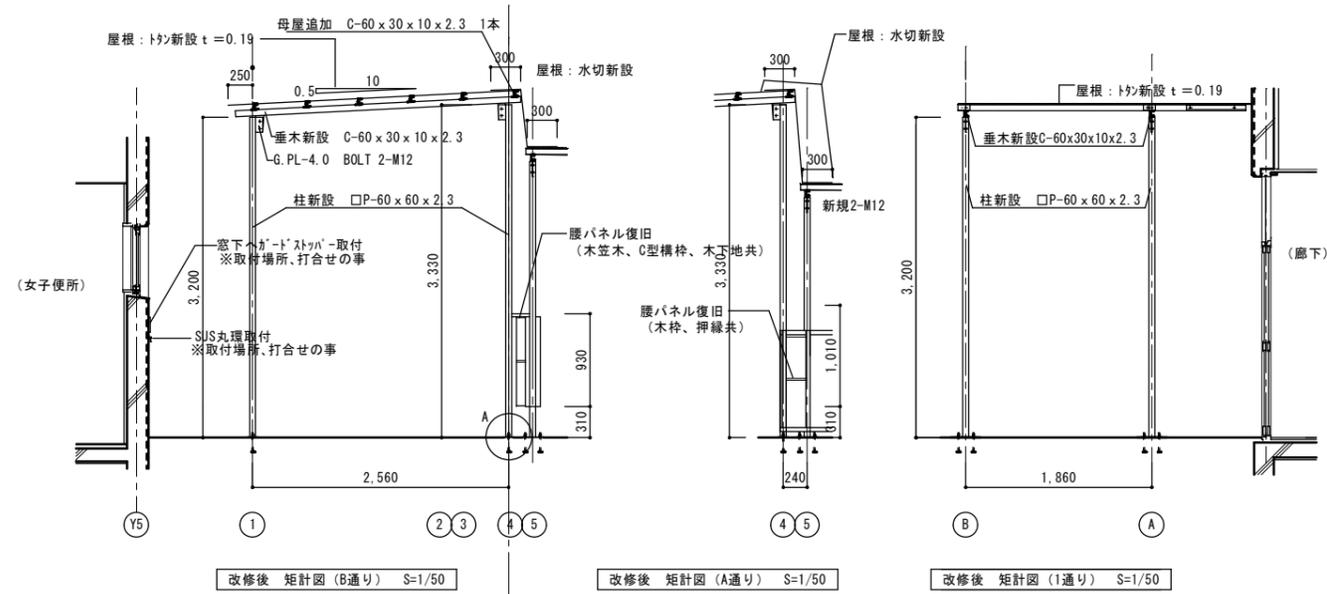
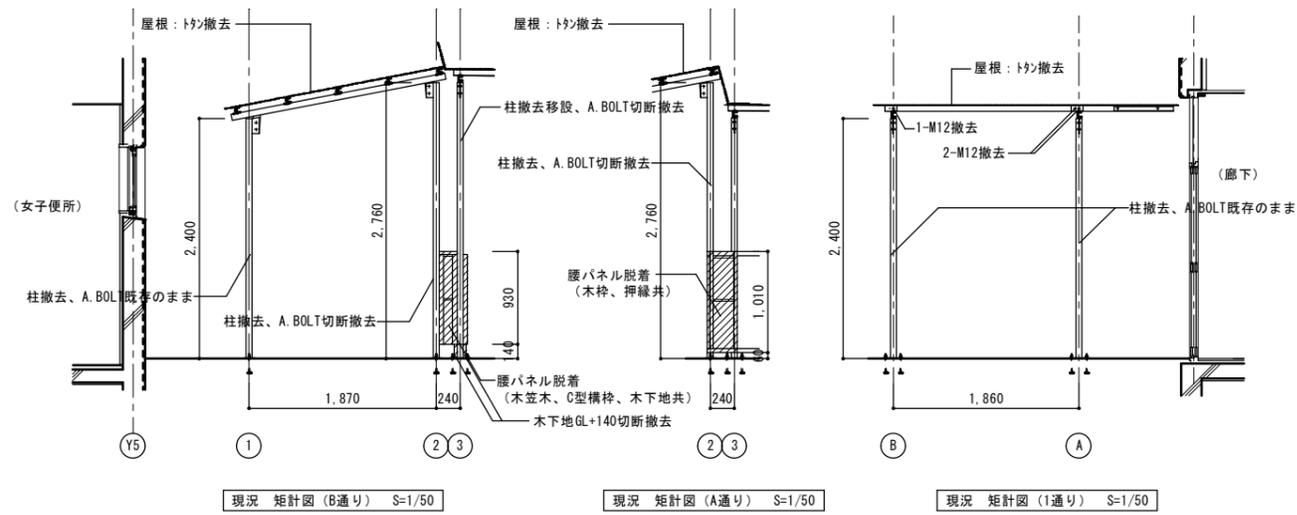
補修箇所

- 1階(東) : 正面小口部: メラミン貼替
- 2階(西) : 正面小口部: メラミン貼替. 側部(右) : メラミン増貼
- 2階(東) : 正面小口部: メラミン貼替. 側部(右) : メラミン増貼. 扉: 再製作
- 3階(西) : 正面小口部: メラミン貼替. 側部(右) : メラミン増貼
- 3階(東) : 正面小口部: メラミン貼替. 側部(右) : メラミン増貼
- 1階配膳室 : 正面小口部: メラミン貼替. 側部(右) : メラミン増貼. 扉小口部: メラミン貼替
- 2階配膳室 : 再製作(1台)
- 3階配膳室 : 正面小口部: メラミン貼替. 側部(右) : メラミン増貼
- 3階特別支援教室 : 正面小口部: 無. 側部(右) : 無. 扉: 再製作

補修箇所

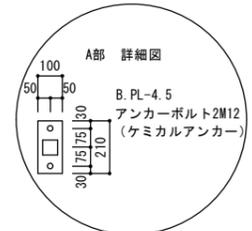
全面、下地調整の上、SOP塗替え



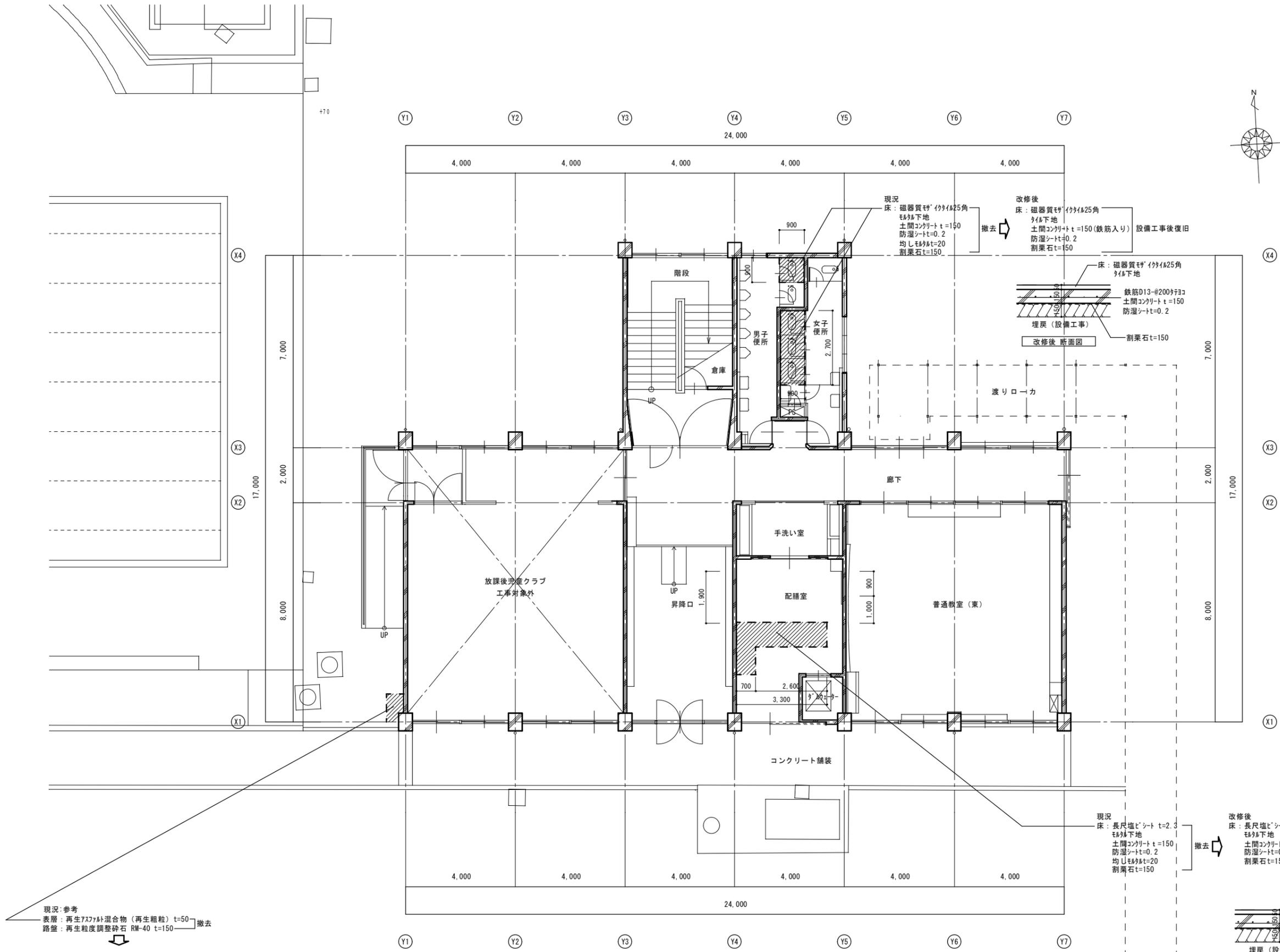


既存部材リスト

柱	□-60×60 BPL-4x210x100 A.BOLT 2-M12 Wf付締め、キャップ付き
母屋	C-60x30x10x2.3
垂木	C-60x30x10x2.3 (垂木受け:L-60x30)



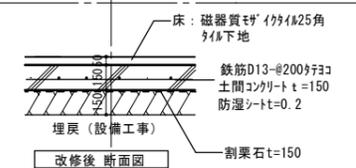
※柱1本に対してコーナーガード(エンドキャップ共) 2個設置



現況
床：磁器質モザイクタイル25角
モザイク下地
土間コンクリート t=150
防湿シート t=0.2
均しモザイク t=20
割栗石 t=150

撤去

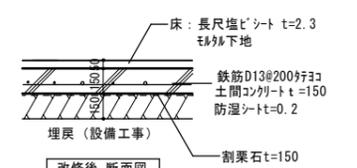
改修後
床：磁器質モザイクタイル25角
タイル下地
土間コンクリート t=150 (鉄筋入り) 設備工事後復旧
防湿シート t=0.2
割栗石 t=150



現況
床：長尺塩ビシート t=2.3
モザイク下地
土間コンクリート t=150
防湿シート t=0.2
均しモザイク t=20
割栗石 t=150

撤去

改修後
床：長尺塩ビシート t=2.3
モザイク下地
土間コンクリート t=150 (鉄筋入り) 設備工事後復旧
防湿シート t=0.2
割栗石 t=150

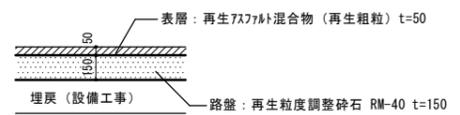


現況：参考
表層：再生7.5mm混合体 (再生粗粒) t=50
路盤：再生粒度調整砕石 RM-40 t=150

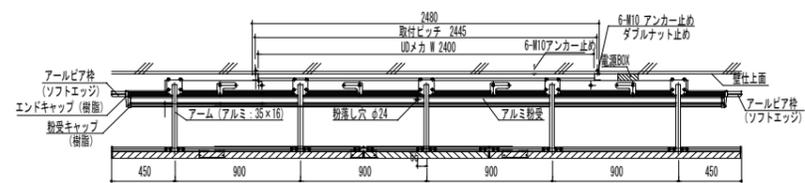
撤去

改修後
表層：再生7.5mm混合体 (再生粗粒) t=50
路盤：再生粒度調整砕石 RM-40 t=150

設備工事後復旧



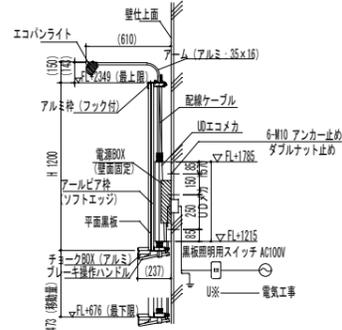
床伏図 S=1/100 - - - 床カッター入れを示す



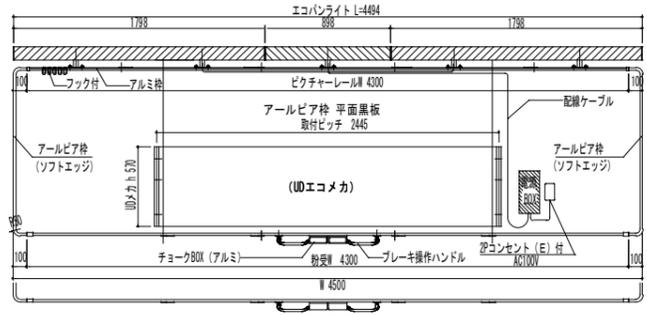
横断面図

- (注意)
- 黒板工事範囲は、*A部電源接続端子台及び*B部アース端子までとする。
 - *A部端子台と*B部アース端子への配線工事は電気工事とする。
 - 壁面スイッチ設置関係についても電気工事とする。

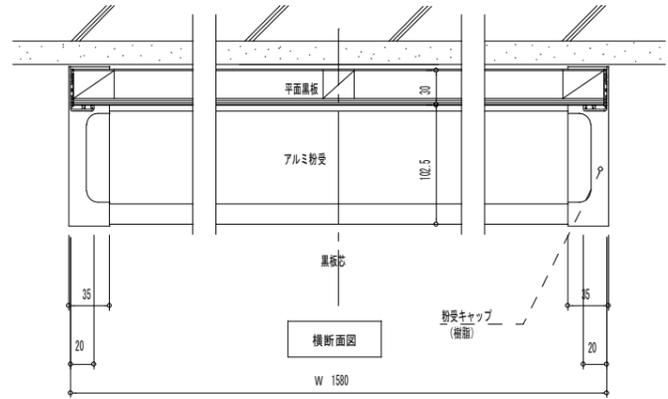
*A部電源接続端子台
パナソニックWJ3000 (プランボックス)
*B部アース端子
M4×16 (歯付座金付)
蛍光灯 (H F 50W2灯タイプ)
パナソニックFHF50EX-N



縦断面図

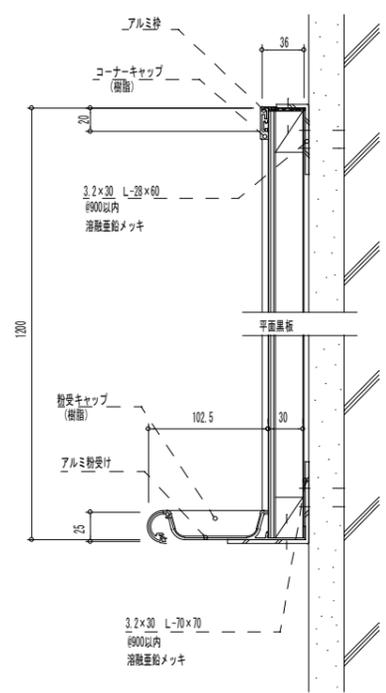
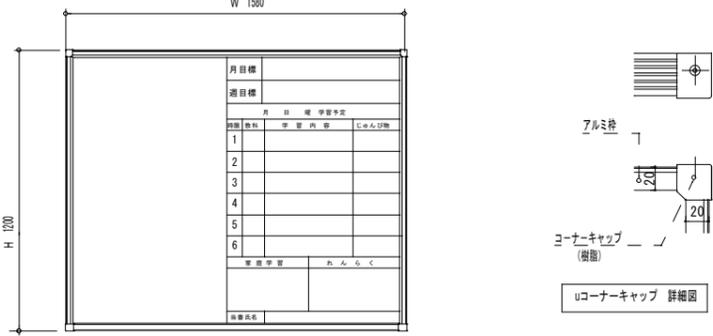


展開図

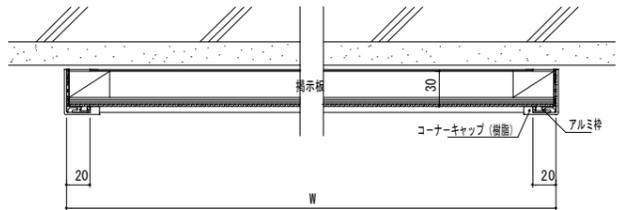


横断面図

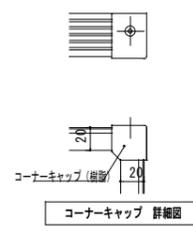
展開図



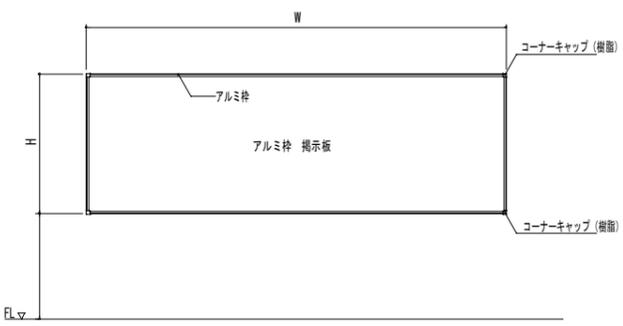
縦断面図



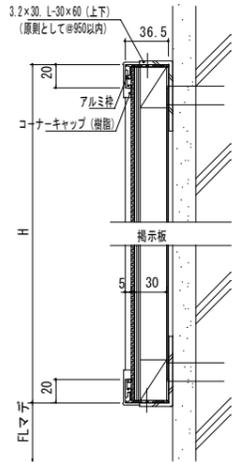
横断面図



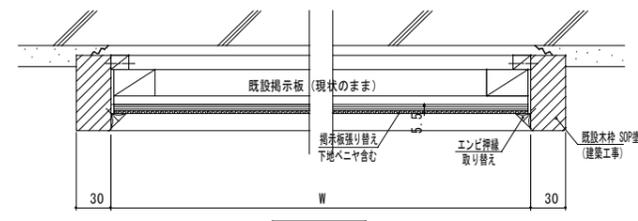
コーナーキャップ 詳細図



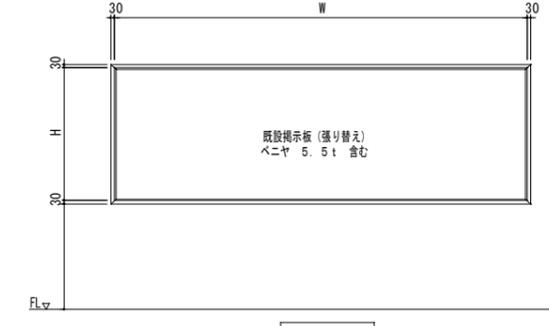
展開図



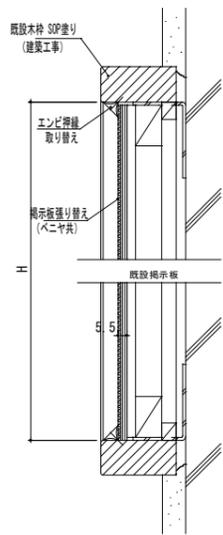
縦断面図



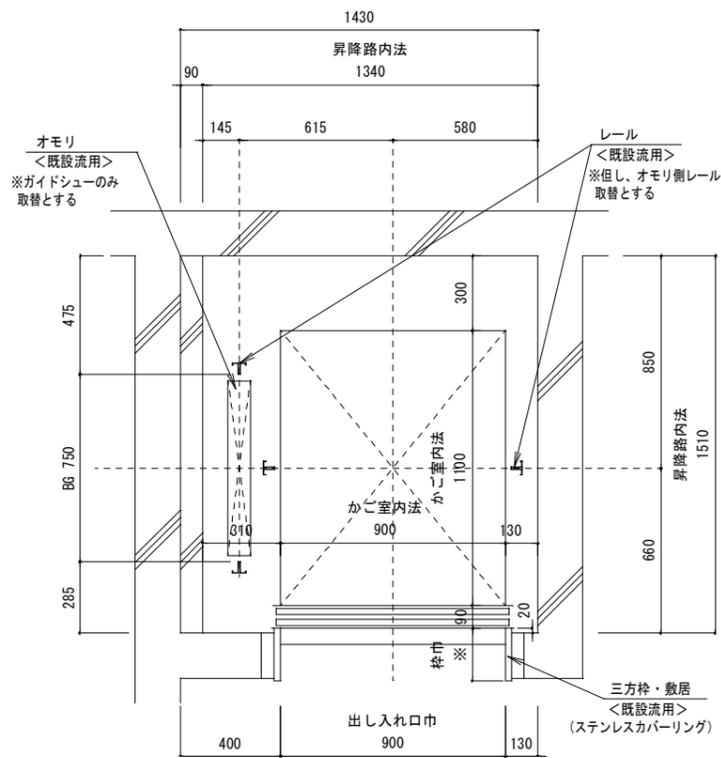
横断面図



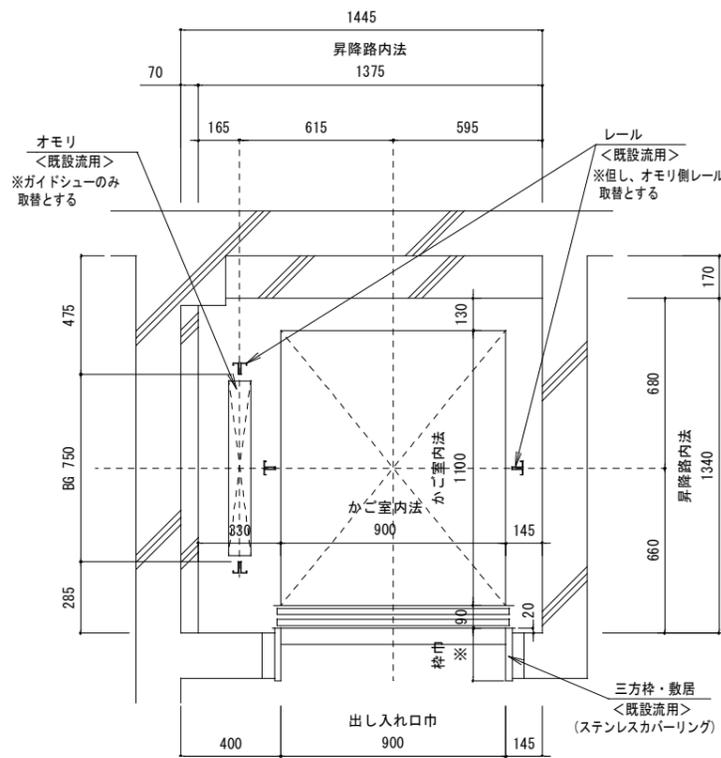
展開図



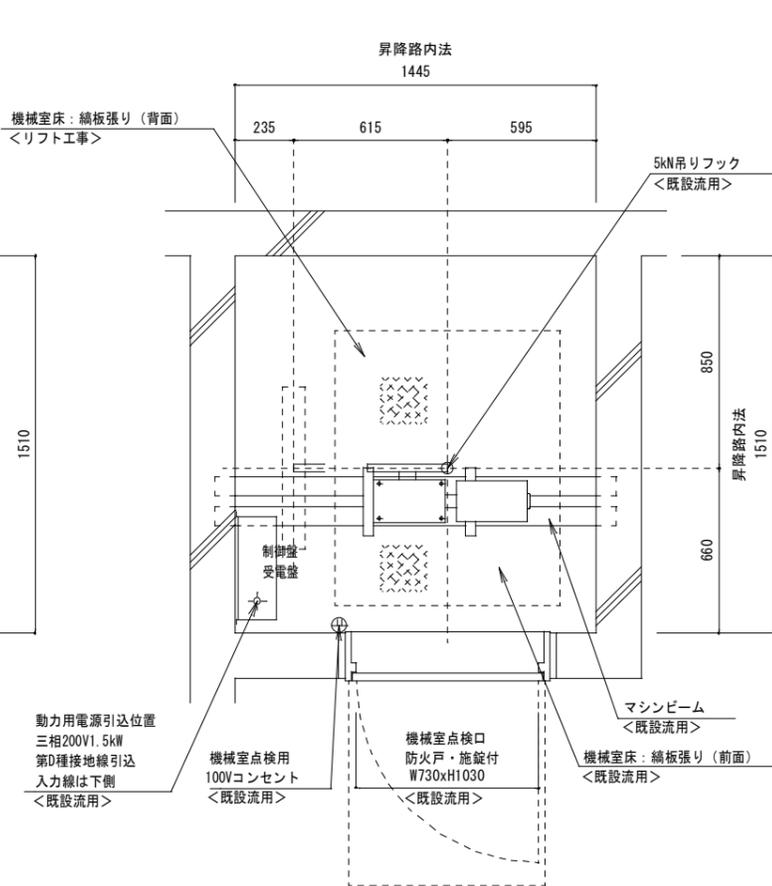
縦断面図



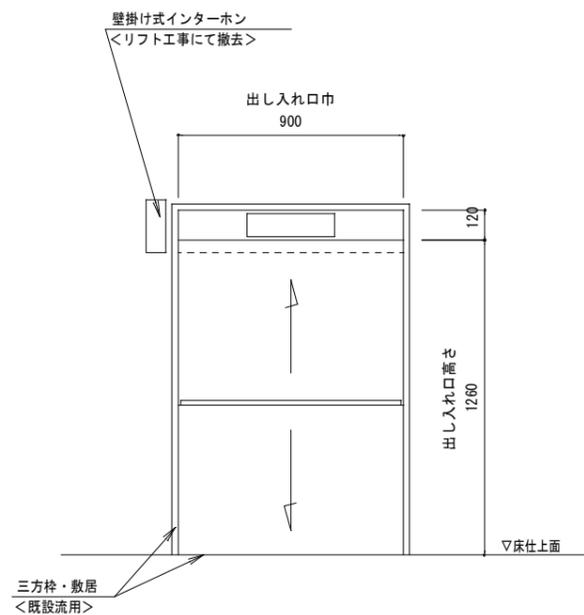
1F昇降路平面図S=1:20



2, 3F昇降路平面図S=1:20

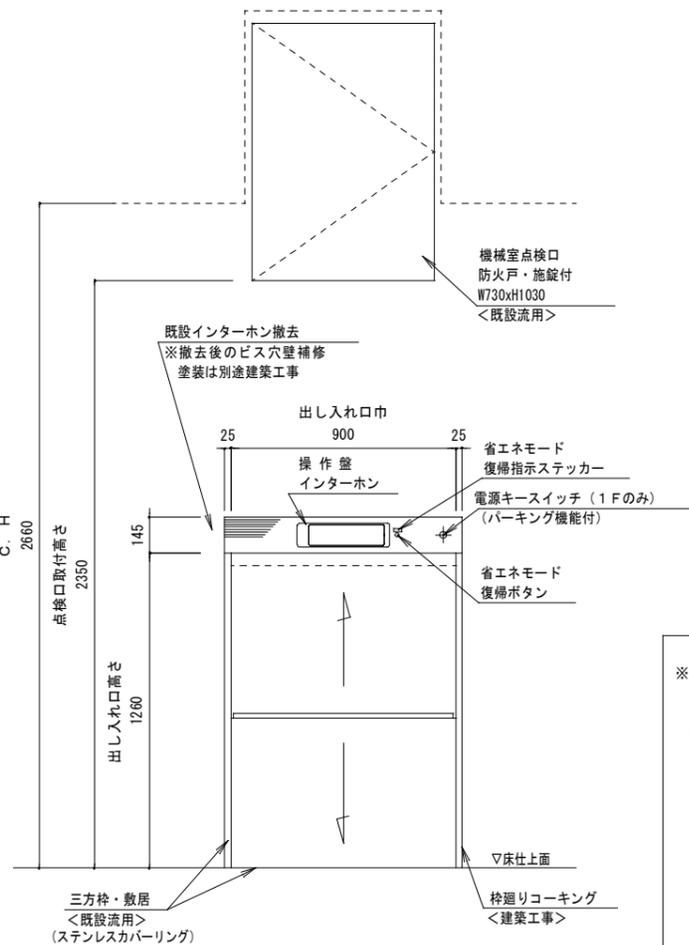


3F+2250 機械室平面図S=1:20



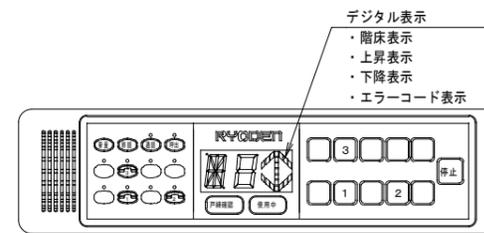
改修前出し入れ口正面図S=1:20

※本図は枠廻りとする



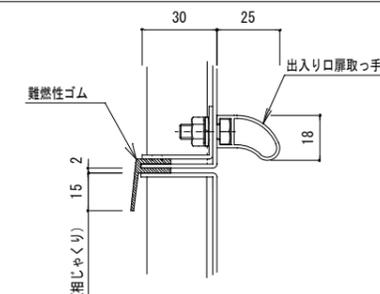
改修後出し入れ口正面図S=1:20

※本図は3Fを示す



各階操作盤詳細図

※小荷物専用昇降機出し入れ口扉は、J E A S - 2 0 7 A (標改10-02) に定める構造として0.8mm以上の鋼板製とし、戸当たり部分を難燃性ゴムを用いて相じゃくりとすれば、すき間のない構造として平12建告第1360号による遮炎・遮煙性能を有する防火設備、および1.5mm以上の鋼板と同様の構造とすれば、同告第1369号による特定防火設備とみなされる。



戸当たり部詳細図S=1:2

小荷物専用昇降機仕様要項

機種	RL-300S-20G3 同等品
制御方式	インバータ速度制御方式
積載質量	300kg
速度	2.0m/min
電源	3相 200V
モーター	1.5kW 6P
停止箇所	1・3FL 計3箇所
巻上機	RMG-361
ツナ車	直径320mm
ソラセ車	直径230mm
ワイヤーロープ	8mm x 2本 1:1ローピング
レール	T型成形レール (既設流用)
かご内法	W900 x D1100 x H1200
おもり	40% BALANCE (既設流用)
出し入れ口開方式	二枚戸上下開方式 (手動式)
かご戸閉方式	二枚戸上下開方式 (電動式)
操作方式	相互階制御方式

※自動省エネモード
 ※出し入れ口扉・かご扉の同時開閉
 ※到着予告アナウンス (到着チャイム)
 ※積み過ぎ警報装置付 (オートアナウンス付)
 ※ハンズフリーインターホン
 ※デジタル表示 (階床・上昇・下降・エラーコード)

小荷物専用昇降機意匠仕様

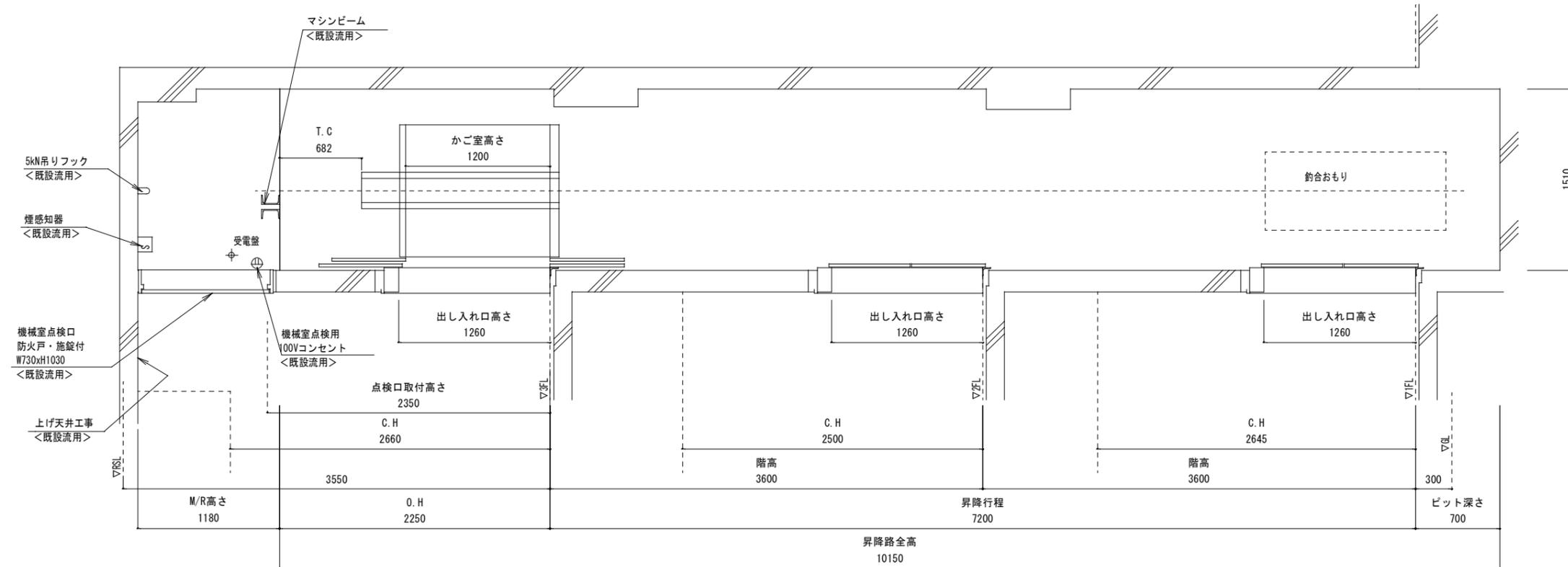
三方枠	既設流用 (ステンレスカバリング)
出し入れ口扉	鋼板塗装仕上 (NO. 601) アイボリー系
敷居	既設流用 (ステンレスカバリング)
かご室扉	鋼板塗装仕上 (NO. 601) アイボリー系
かご室壁	鋼板塗装仕上 (NO. 601) アイボリー系
かご室天井	鋼板塗装仕上 (NO. 601) アイボリー系
かご室床	床用鋼板塗装仕上 (NO. 602)
操作盤	プラスチックプレート インターホン一体式 デジタル表示
インターホン	プラスチックプレート 操作盤一体式 ハンズフリー通話方式

安全装置

強制開扉機構付ドアスイッチ (出し入れ口の戸)	ロック装置 (出し入れ口の戸)
ゲートスイッチ (かごの戸)	電磁ブレーキ (巻上機)
操作盤非常停止ボタン	終端スイッチ (かご行過ぎ制限スイッチ)
戸開放防止警報装置 (オートアナウンス付)	インバータ異常検知
かご昇降時間管制 (AST)	インバータ緊急出力遮断
衝突受 (かご・おもり)	巻上機ロープ外れ止め
積載注意名板	

電源設備

電源トランス容量 KVA	電源側 NFB定値	動力電線線径最大引込長 (m)				接地線径 (mm ²)	機械室発熱量 kJ/h
		2.0mm ²	3.5mm ²	5.5mm ²	8.0mm ²		
3.0	15	29	51	80	116	2.0	176.2



昇降路縦断面図 S = 1 : 30

電気設備工事特記仕様書

I 工事名称	阿山小学校北校舎大規模改修工事			
II 工事場所	三重県伊賀市 市内			
III 建物概要				
建物名称	構 造	延面積 (㎡)	消法令の適用	備 考
北校舎棟	RC造3階建て	*** ㎡	(7)項	

IV 工事仕様	特 記 事 項
① 施行基準	<p>図面及び特記仕様書に記載のない事項については以下による。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 <ul style="list-style-type: none"> 「公共建築工事標準仕様書 平成28年版」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編) 「公共建築設備工事標準図 平成28年版」(電気設備工事編・機械設備工事編) 「公共建築改修工事標準仕様書 平成28年版」(電気設備工事編・機械設備工事編) 「建築工事監理指針」「電気設備工事監理指針」「機械設備工事監理指針」平成28年版 * 国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修 <ul style="list-style-type: none"> 「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」 * 電気設備に関する技術基準を定める省令(電気設備技術基準) * 電力会社供給約款 * 消防関連法規(条例・所轄署指導要領を含む) * 電気工事業の業務の適正化に関する法律・電気工事士法・労働安全衛生法 * その他関連法規、関連諸基準
② 一般事項	<p>工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し、監督員指示の下に急かつ誠実に施工すること。</p> <p>設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおり施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。</p> <p>なお設計図書のとおり施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。</p> <p>他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上り不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。</p>
③ 施工計画等	<p>受注者は、施工に先立ち、次の書類を提出し、監督員と打合わせを行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 総合施工計画書 <p>なお、これらの書類の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討すること。</p>
④ 工事使用材料等	<p>工事に使用する機器及び材料等については、予め、次の書類を提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 使用機材届出書(メーカーリスト) * 機器明細図 * カタログ・製作図・その他諸資料 <p>なお、機器及び材料等の選定にあたっては電気設備工事指定資材見積メーカー(参考)及び国土交通省大臣官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」評価名簿(最新版)又はこれらと同等以上のものとする。</p> <p>また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。</p>
⑤ 工程表	<p>関連業者間にて十分協議し実施工程表を作成して監督員に提出すること。</p> <p>なお間工程表には埋設・隠蔽・高所等の施工確認項目の該当時期を印すること。</p> <p>又、工程については、学校運営に支障が無いよう検討すること。</p>
⑥ 工事写真	<p>国土交通大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方(改訂第3版)ー建築設備編」によるほか監督員の指示により撮影し、電子納品及び以下のものを提出する。</p> <p>なおCDの提出部数は「電子納品」を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> * 代表写真(不可視部分や材料、寸法写真、拡大写真、撤去処分品、撤出状況等)を抽出しL判相当サイズで印刷。(A4版用紙に両面印刷にて3枚/ページ) 1部
⑦ 完成写真	<p>主たる電気設備の全景写真を黒板無しにて撮影し、L判相当サイズで印刷する。(A4版用紙に3枚/ページ) 1部</p> <p>撮影箇所は主要機器類、室内及び外構等の電気設備とする。詳細は監督員と協議する。</p>
⑧ 完成書類	<p>工事が完成した時は各種の試験及び検査を受けるものとする。</p> <p>書類については以下のもの及び上記書類を併せ、監督員の指示に従い取りまとめ提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 工事完成報告書、工事目的物引渡書、完成写真 * 製本図面(竣工図)：図面枚数が少ない場合、合冊でもよい。 竣工図は、原図サイズを各2部。 白焼き(青焼き不可)で文字潰れのないこと。表紙(可能な範囲で背表紙にも)に「年度、工事名、竣工図、受注者名」を印字(シール不可)すること。 * 引渡目録、工事書類預り書 * 工事書類(工事写真、安全教育・訓練に関する書類、産業廃棄物処理集計表等) * 工事書類(打合記録、工事材料搬入報告) * 完成図書(試験成績表、自社検査記録、機器完成図、取扱説明書、保証書、機器銘板写し等) * 官公署手続き書類等(検査済証、着工届出書、設置届出書、電力会社届出書類等) * その他監督員の指示する書類 <p>ただし、作成しがたい場合は、監督員との協議による。</p> <p>なお、完成書類の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。</p>
⑨ 完成確認、完成検査時の電源確保	<p>機器の動作確認、電圧・極性・相回転等の確認が出来るよう電源を確保すること。</p>

項 目	特 記 事 項
① 足場	<p>設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省 平成21年4月)により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行占用足場方式により行うこと。</p>
② 施工条件	<p>監督員及び関係部署と協議調整し決定すること。</p>
③ 事故の発生時	<p>工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。</p> <p>なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。</p>
④ 発生材の処理等	<p>引き渡しを要するもの()</p> <p>上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。</p> <p>特別管理産業廃棄物 □変圧器 □コンデンサ □その他()</p> <p>処理方法 ■現場内の監督員の指示する場所へ保管</p> <p>なお施工に際し、PCB等特別管理産業廃棄物、及び疑わしき機器等を発見した場合は監督員に報告し対応を協議するものとする。</p> <p>発注者へ引き渡すものについては「現場発出品調書」を提出すること。また再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。</p> <p>(マニフェスト原本の提示及び、E票の写しと集計表を監督員に提出すること)</p>
⑤ 残土処分	<p>口構内敷きならし □場外搬出(片道運搬距離 約 km)</p>
⑥ 電子納品	<p>工事完成図書は、竣工図・施工図のCADデータ(JWW)及びPDFを格納。</p>
⑦ 諸手続	<p>工事に伴う関係官公署、電力会社、電気保安管理者等への諸手続きは、受注者がこれを代行し、必要経費も本工事に含む。</p>
⑧ 消防提出書類	<p>消火器の設置届については、電気設備にて設置届を提出する必要がある場合は、消火器についても併せて届出すること。ただし機械設備にて設置届を提出する必要がある場合は機械設備に含めるものとする。防火対象物使用開始届については書類の作成(電気設備図面の用意及び電気設備に関する部分の記述)を行うこと。</p> <p>本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改修は、本工事とする。</p>
⑨ 既設との取合い	<p>既設設備の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響を来さないよう、現地工事着工前に十分な調査をおこなうこと。又、施工前後で比較を行うよう工事前にも絶縁抵抗測定を行っておくこと。</p>
⑩ 既設設備の調査	<p>新築、増築等で自家用電気工作物の範囲が変更になった場合、その供用開始から引渡しまでの電気安全管理にかかる費用は本工事に含まれる。</p>
⑪ 不当介入を受けた場合の措置	<p>暴力団員等による不当介入(伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱)を受けた場合の措置について</p> <p>(1) 受注者は暴力団員等(伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱)による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。</p> <p>(2) (1)により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は文書で行うこと。</p> <p>(3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。</p>
⑫ 耐震基準	<p>耐震措置の計算及び施工方法は、次の事項以外は全て「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説平成8年版」(建設大臣官房官庁営繕部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針(2005年版)」(国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修)による。</p> <p>(1) 局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度(Ks)</p> <p>(2) 地域係数は1.0とする。</p> <p>(3) 自重が100kg以下の比較的軽量の機器(標準仕様書の適用を受けるものは除く)の取付については、取付下地を念頭に施工し、標準メーカーの指定する方法で確実に取付を行うものとするが、監督員の承諾を受ける。</p> <p>(4) 配管配線及びダクトの支持は、標準仕様書及び標準図による。</p> <p>(5) 機器の耐震計算書は提出すること。</p> <p>重量1kN(100kg)以上のアンカー取付機器 ※盤類、変圧器類、発電設備及び補機類、燃料タンク等水槽類、その他監督員が指示するもの。</p>
⑬ 施工	<p>(1) 塗装</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定色で2回塗りとする。 金属管、2種金属線び、吊りボルト、支持具等鋼板製(SUS、溶融亜鉛メッキ、樹脂製は除く)は原則として塗装を施すこと。 <p>(2) 行先表示等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分電盤、端子盤、制御盤、プルボックス、ハンドホール内の電線ケーブル類にはケーブルサイズ及び行先の表示を施すこと。 <p>(3) セパレータ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分電盤、端子盤、制御盤、コンセント内等に強電回路、弱電回路が混在する場合はセパレータを取り付けること。 <p>(4) 保護キャップ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レースウェイ等のダクタークリップが、人が容易に近づける場所、高さ(おおよそ2m以下)にある場合は保護キャップを取り付けること。 <p>(5) 躯体を貫通する場合、鉄筋探査機等を使用し鉄筋を切断しないよう施工すること。</p> <p>(6) 地中埋設配管には、埋設表示杭・シートを布設すること。</p> <p>(7) 防火区画部は国土交通大臣認定工法にて防火区画処理を行うこと。</p>

工事範囲		規格・メーカー等	
① 電灯設備	<p>電気方式 種別 ○単相3線式(200/100V) ●単相2線式 ●100V ○200V ○()V</p> <p>工事範囲 ●配管 ●配線 ●機器取付 ○ボール灯基礎工事</p> <p>配線器具 ●特別なものを除き大角型とする</p> <p>プレート ●新金属 ○ステンレス ○フルカラー()</p> <p>照明器具 ●LED器具を優先とする。 ●パイプ吊りの照明器具は撤止めを施工する。</p>	<p>規格・メーカー等</p>	
② 動力設備	<p>電気方式 種別 ●三相3線式 ●200V ○()V</p> <p>工事範囲 ●配管 ●配線 ●機器取付 ●動力機器の試運転調整</p> <p>制御方式 ○音報盤 ○遠方操作盤 ●現場盤による操作 ○中央監視盤による操作</p> <p>手元開閉器 ○鉄箱 ●樹脂製 ○Aメーター付(3P/ノミ)</p>	<p>規格・メーカー等</p>	
③ 動力幹線設備	<p>電気方式 ●三相3線式(200V) 60Hz</p> <p>工事範囲 ●配管 ●配線 ●機器取付 ○引込 ●既設キュービクルに開閉器取付</p> <p>盤類形式 ○埋込み型 ●露出型 ○民間仕様 ●壁内には、施工年月、請負者名、施工者名を記載する。</p> <p>雷サージ保護 ○設置(・単相用・動力用) ●設置しない ○SPD(低圧用) ○クラスI ○クラスII</p>	<p>規格・メーカー等</p>	
④ 弱電設備	<p>工事範囲 ●配管 ●配線 ●機器取付 ●消防立ち合い試験</p> <p>種 別 ●自火報発信器・電鈴・表示灯の取替 ●感知器の取替及び増設 ●インターホン機取付</p> <p>その他</p>	<p>規格・メーカー等</p>	

電気設備工事指定資機材適用規格及びメーカーリスト

分類	資機材名	適用範囲	規格・メーカー等
電線	電線、ケーブル類(エコ電線・ケーブルを優先使用)	一般配線工事に使用するもので、エコ電線・ケーブルのあるもの	●JIS規格適合品 ●JCS(日本電線工業会規格)規格適合品
		上記以外の一般配線工事に使用するもの	●JIS規格適合品
	耐火、耐熱電線	耐火・耐熱性を必要とする場所に使用するもの	●登録認定機関(社)電線総合技術センター)または指定認定機関(社)日本電線工業会(耐火・耐熱電線認定業務委員会)により認定または評定されたもの ●(社)日本電線工業会により自主認定(評定)されたもの
	圧着端子 挿圧着スリーブ	一般配線工事に使用するもの	●JIS規格適合品
電線保護物類	金属管、VE、PF、HIVE、FEP、CD、合成樹脂製可とう管、可とう電線管、フアダクト、各付属品	一般配線工事に使用するもの	●JIS規格適合品 ●JIS規格のない物にあっては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
配線器具	コンセント、スイッチ	一般配線工事に使用するもの	●JIS規格適合品 ●JIS規格のない物にあっては、電気用品の技術上の基準を定める省令の適合品
照明器具	蛍光灯器具(省エネ型を優先使用)		●JIS規格適合品 ●(社)日本照明器具工業会標準(JIL規格)適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
盤類	分電盤、実験盤		●JIS規格適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
	制御盤		●(社)日本配電制御システム工業会規格(JSIA)適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
自動火災報知装置	感知器、発信機、中継器、受信機、漏電火災警報器		●登録認定機関(日本消防検定協会)の検定を受け、検定合格証書が貼付されたもの

注 ・「JIS規格適合品」と指定された資材は、工業標準化法に基づく適合の表示(製品・包装の外、容器の外、結束荷札ごとの納品書にJISマーク表示、またはJIS規格証明書の添付)のあるものをいう。

・「設備機材等評価名簿」とは、国土交通省官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(電気設備機材・機械設備機材)」の最新版をいう。ただし、納入地区及びアフターサービス地区に中部地区または近畿地区が含まれ、評価の有効期間内にある場合にのみ有効とする。

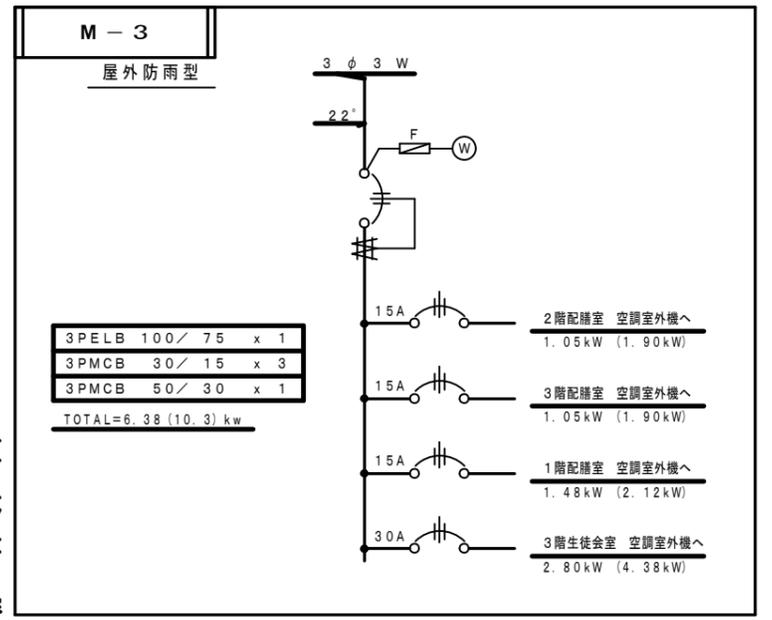
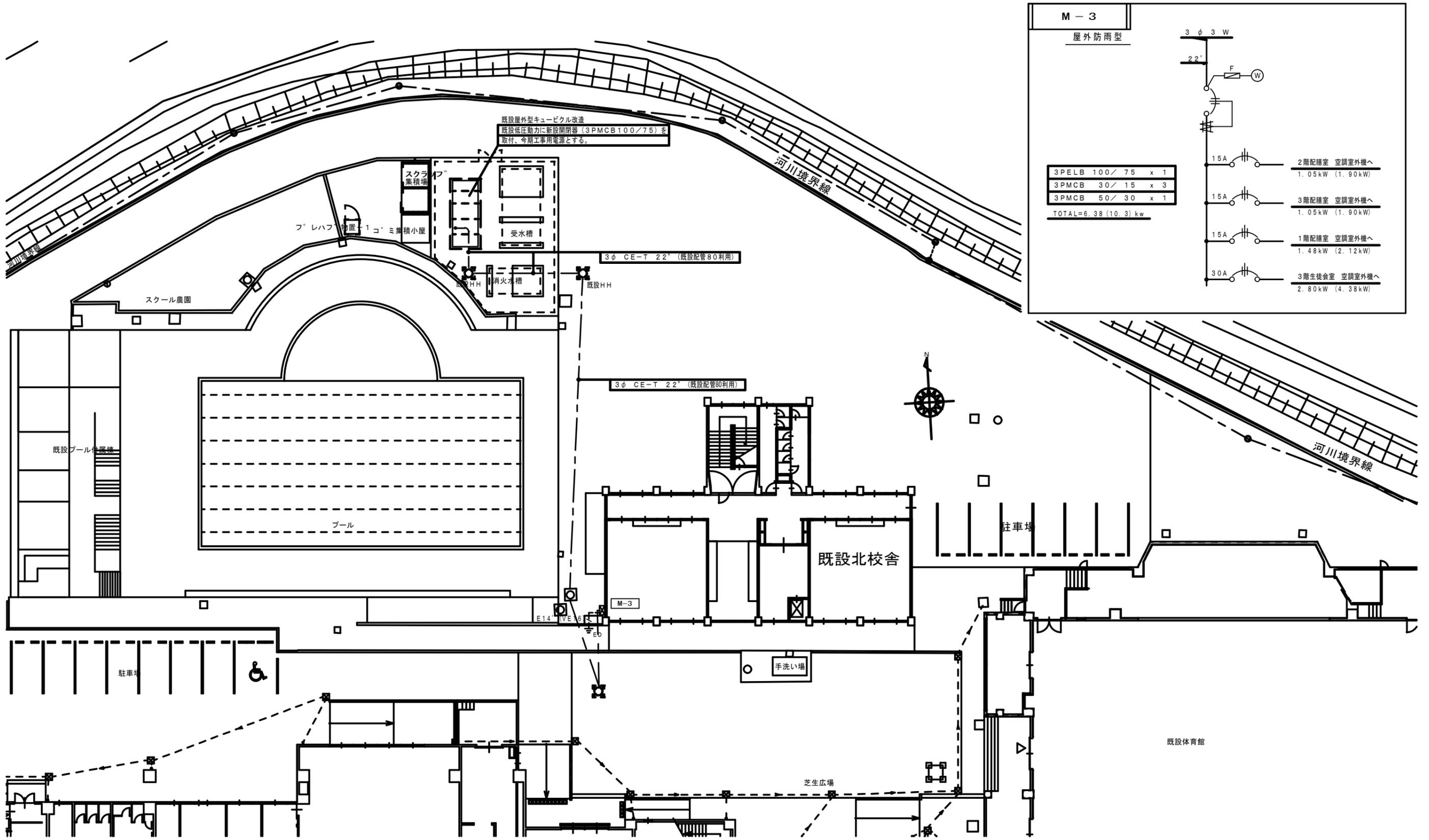
・「設備機材等評価名簿」に記載されていないメーカーの資機材を使用する場合は、評価基準と同じ条件を満たすことを証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。

・特殊仕様や資機材を使用する必要がある場合は、仕様、性能等を証明する書類を監督員に提出し、承諾が得られた場合のみ使用できるものとする。

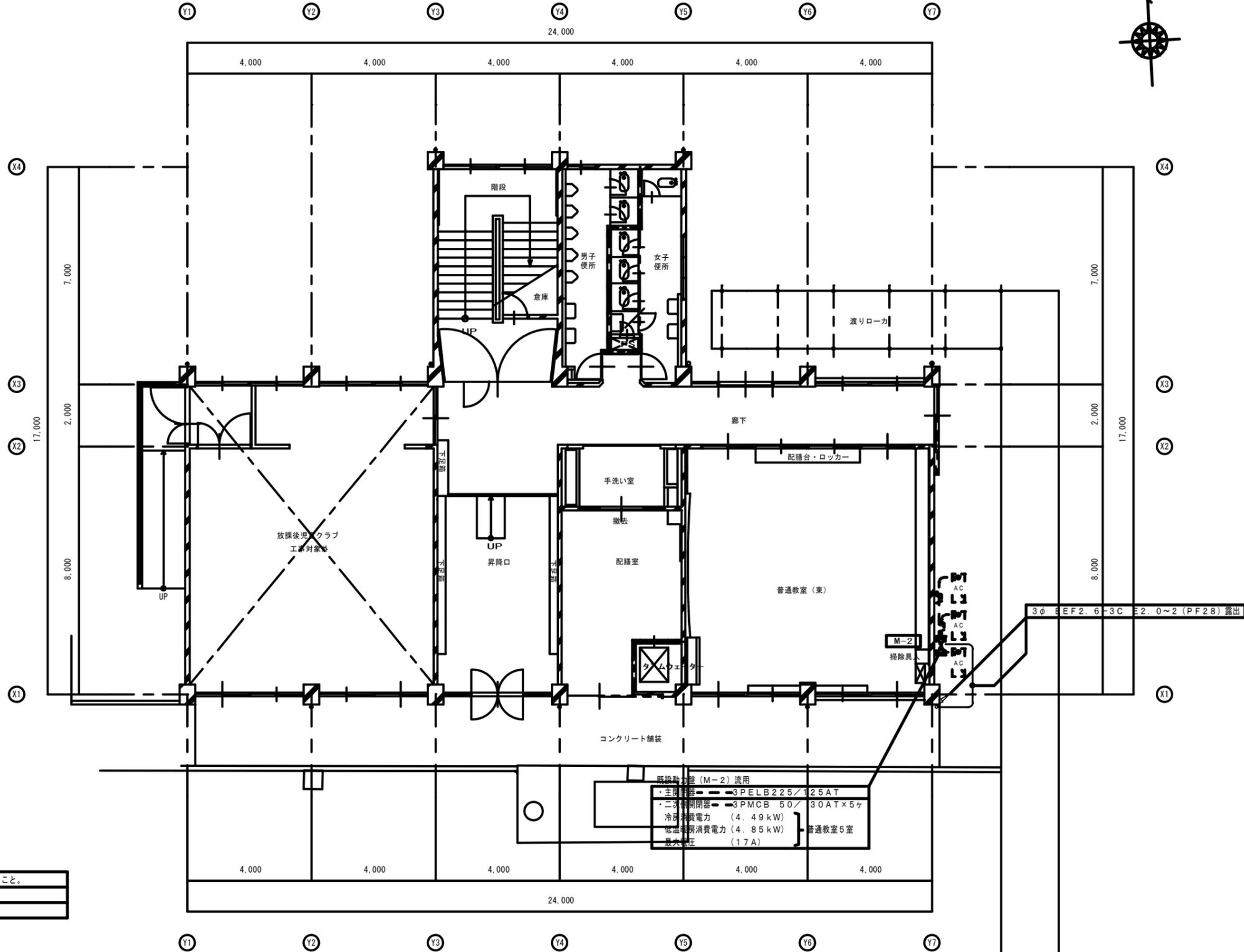
凡例

記号	名 称	備 考	記号	名 称	備 考
☑	電灯分電盤	登録記録図参照	●～●●	スイッチ 1P15A×1~6	新金属プレート
☑	動力分電盤	〃	●3・●4	〃 3W15A、4W15A	〃
⊥	接地極		⊖ ⊕2	コンセント 2P15A×1、2P15A×2	〃
☑	手元開閉器		⊖ ⊕E	〃 2P15A、E×2+E、T	〃
☑	照明器具 天井取付け	器具姿図参照	⊙	テレビ受け口(75Ω)	新金属プレート
☑	〃 壁付け	〃	⊙	インターホン	別図参照
☑	天井換気扇、壁付け換気扇(設備工事)				

阿山小学校北校舎大規模改修工事 電気設備特記仕様書

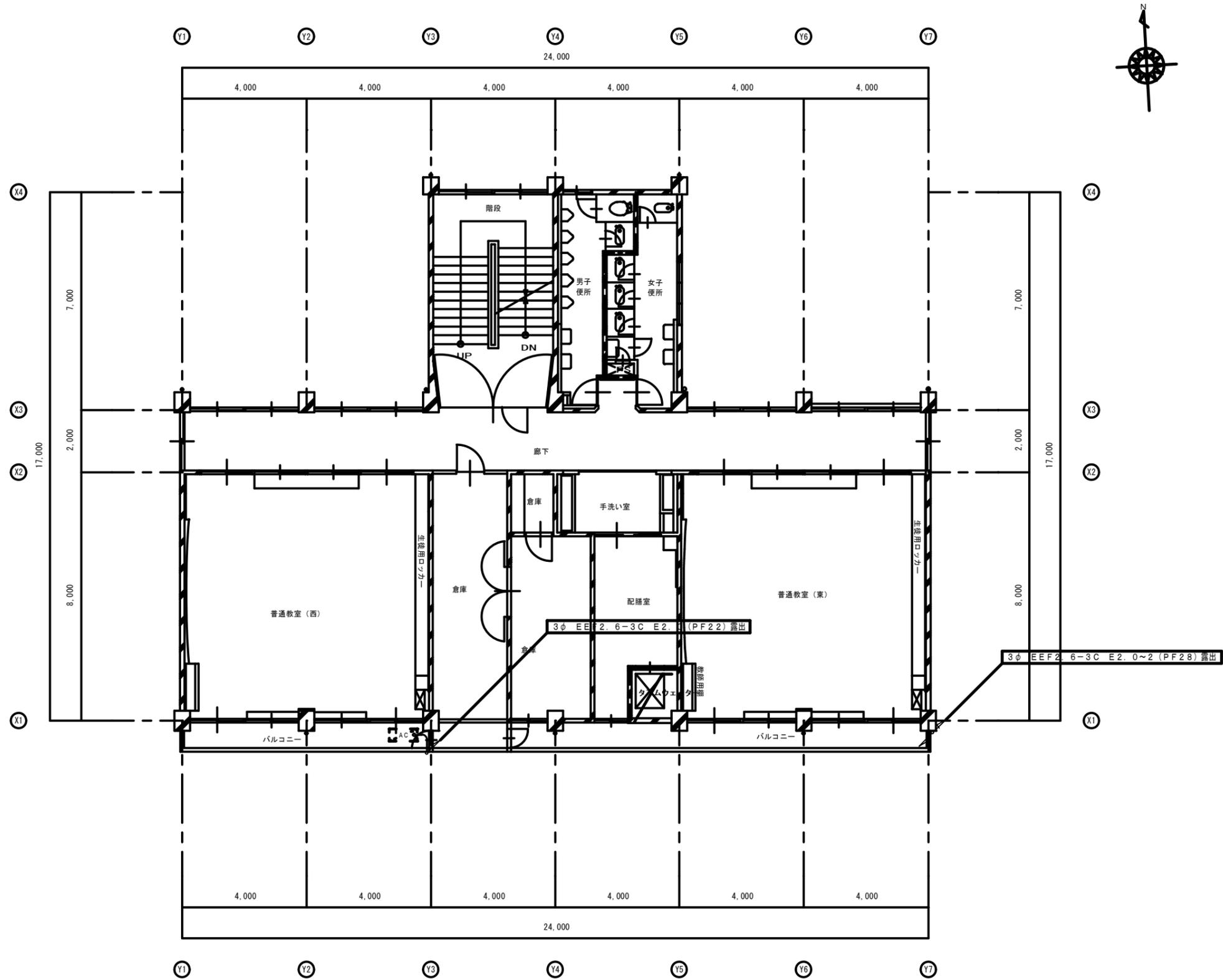


配置図 S=1/200

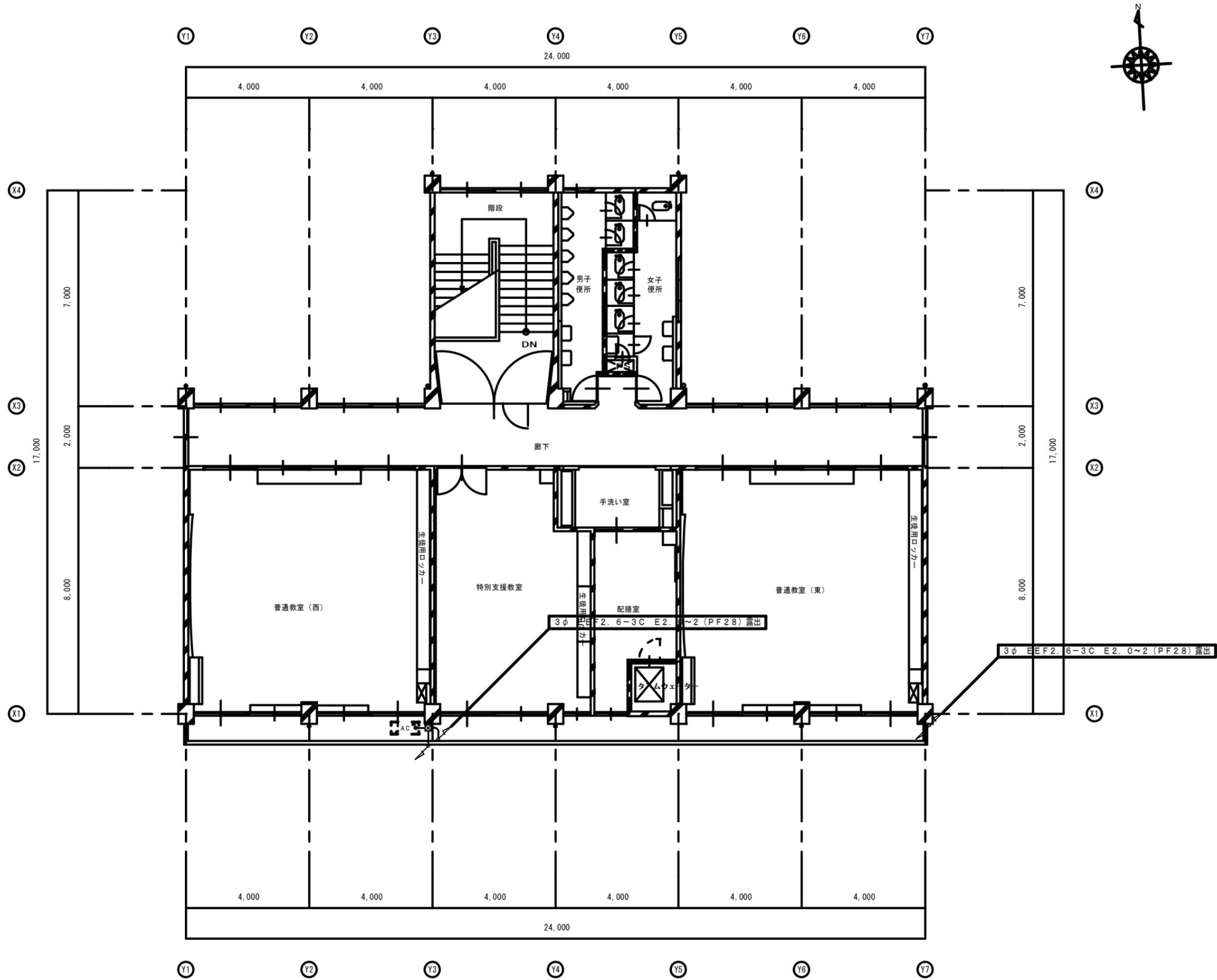


注1. 図中に実線 (太線) で示す既設配管・配線の撤去を行うこと。
(点線で示す器具・配管・配線等は流用とする)

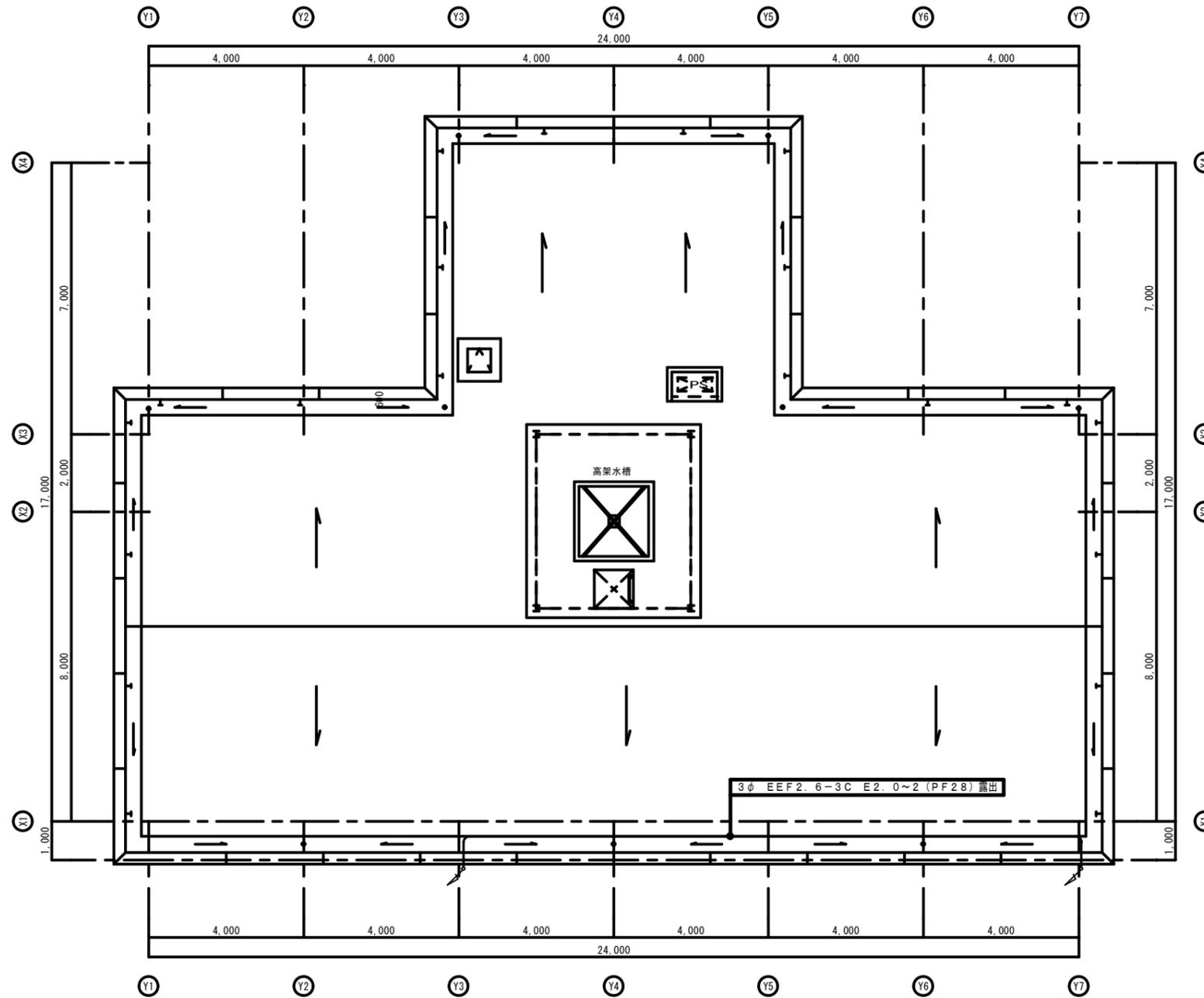
1階 平面図 (現況) S=1/100



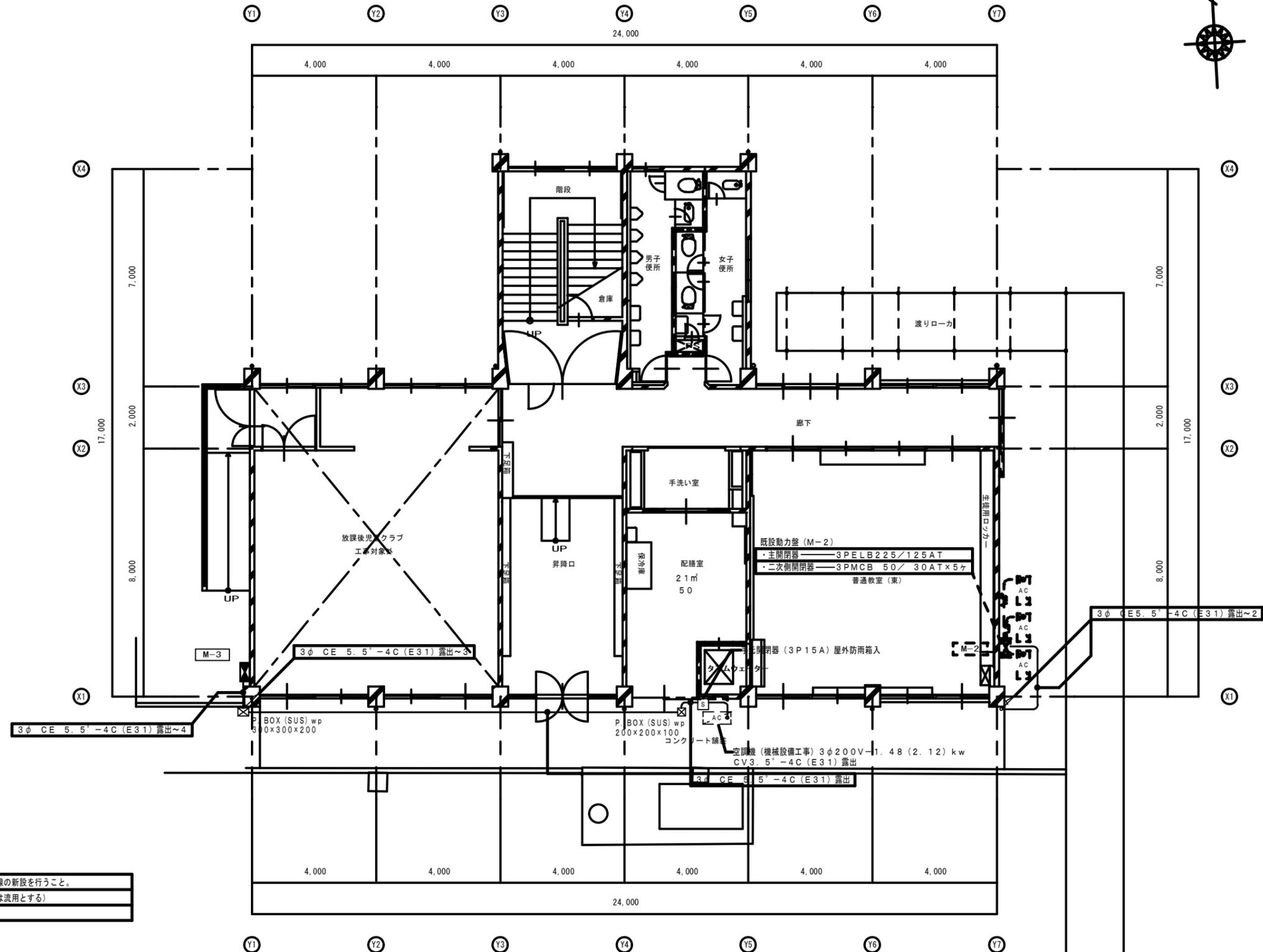
2階 平面図 (現況) S=1/100



3階 平面図 (現況) S=1/100

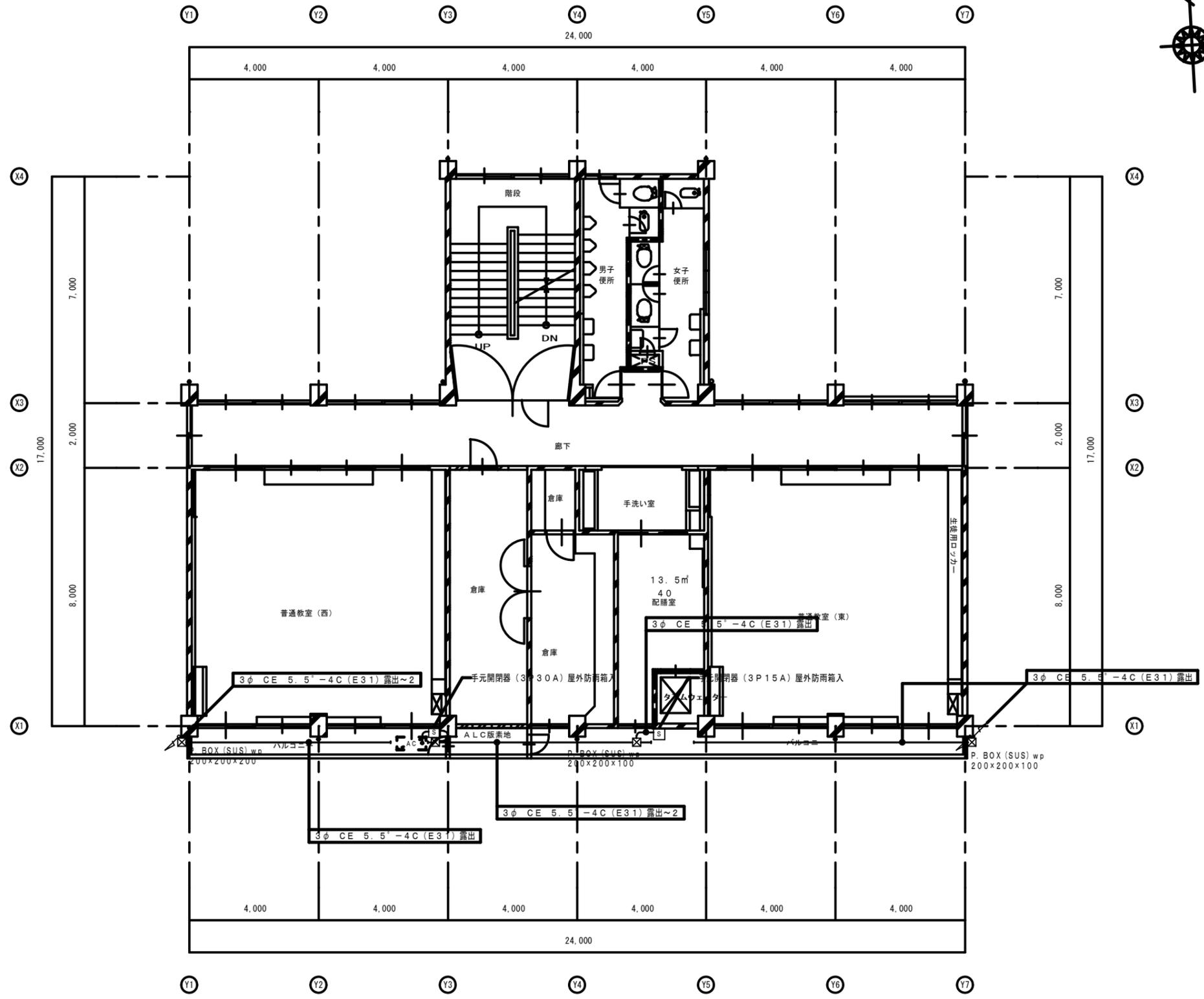


屋根伏 平面図 (現況) S=1/100



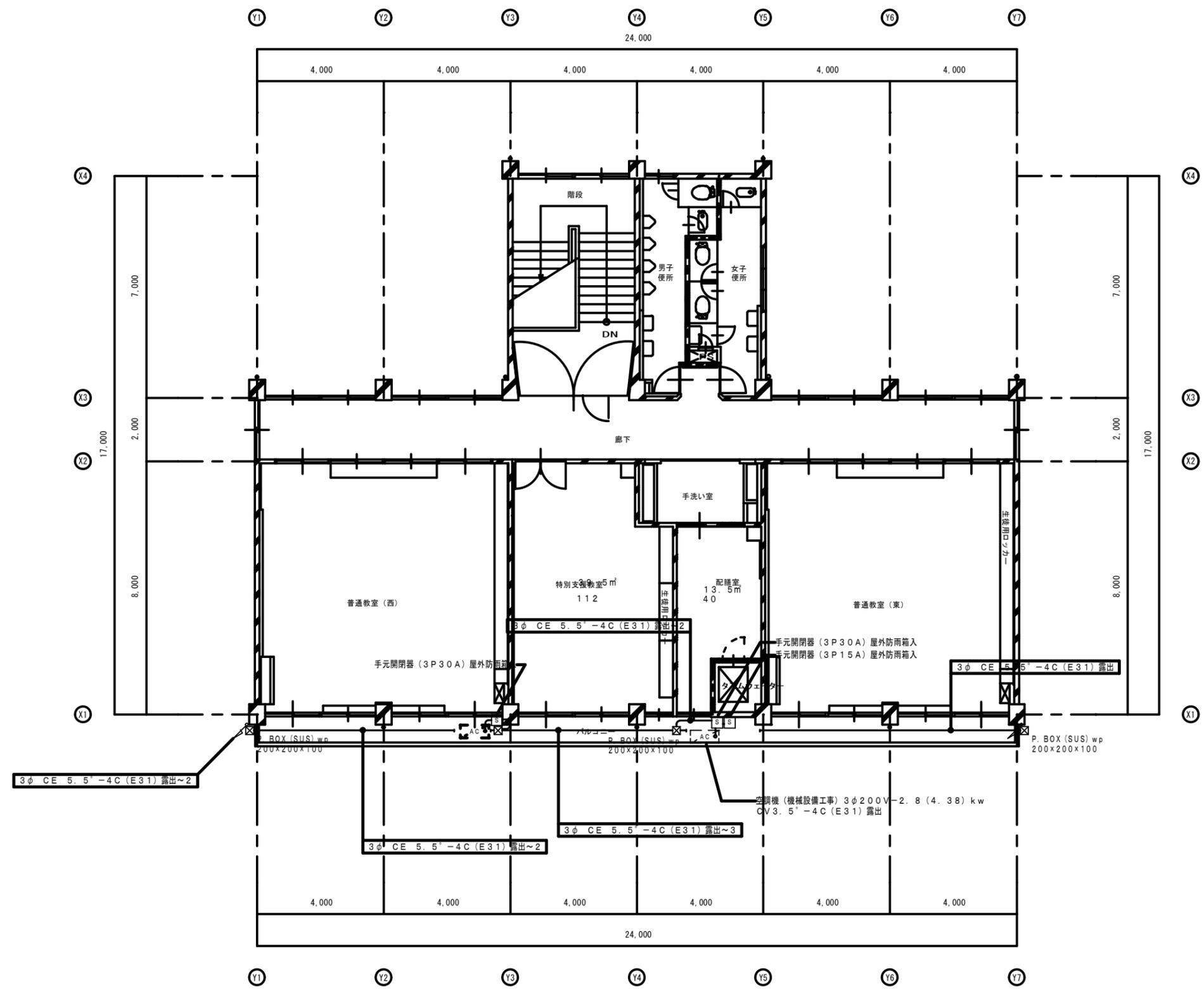
注1. 図中に実線(太線)で示す配管・配線の新設を行うこと。
 (点線で示す器具・配管・配線等は流用とする)

1階 平面図 (改修後) S=1/100

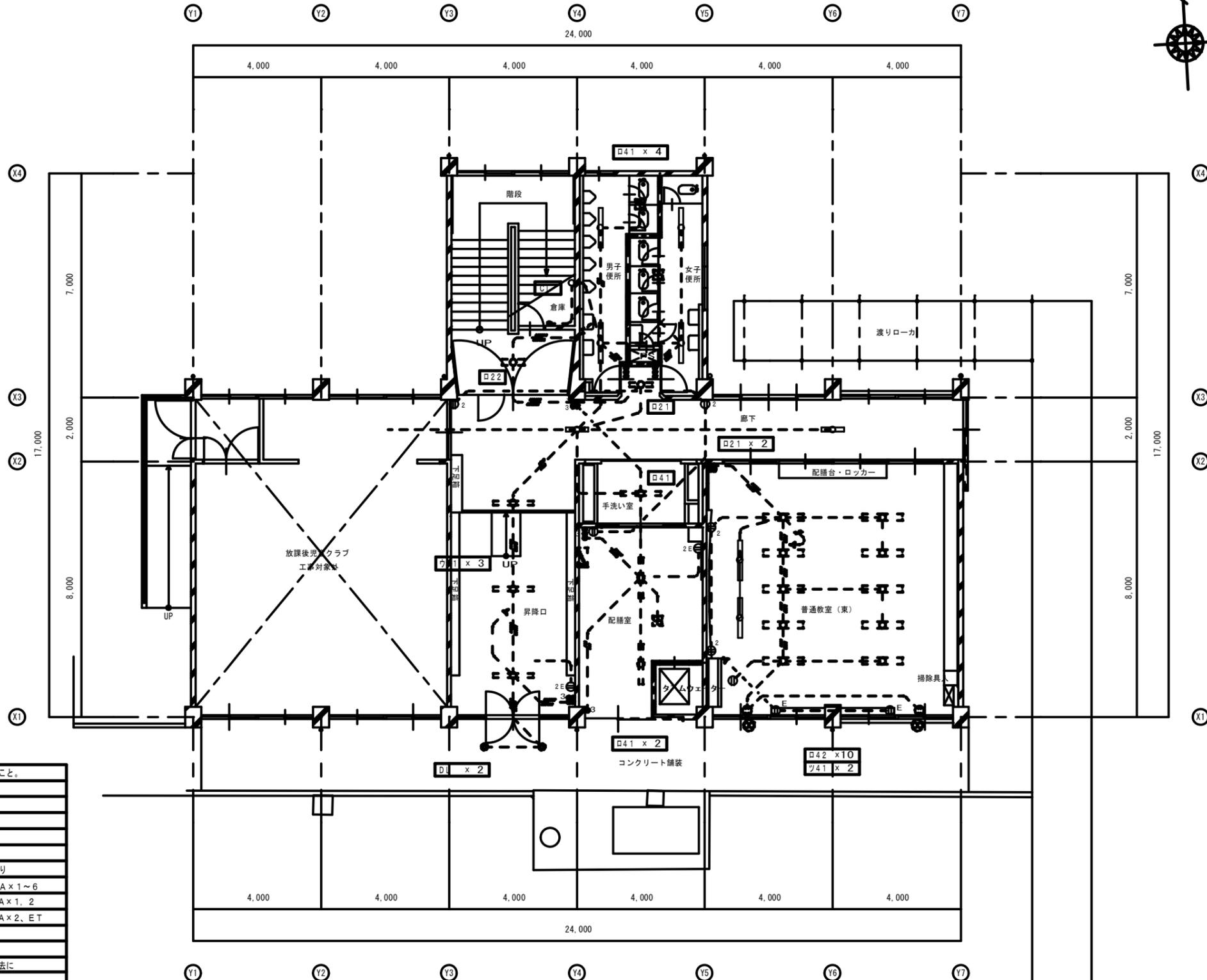


2階 平面図 (改修後) S=1/100

阿山小学校北校舎大規模改修工事
 電気設備 (改修後)
 2階 動力設備図 A2=1/100
 A3=1/141



3階 平面図 (改修後) S=1/100



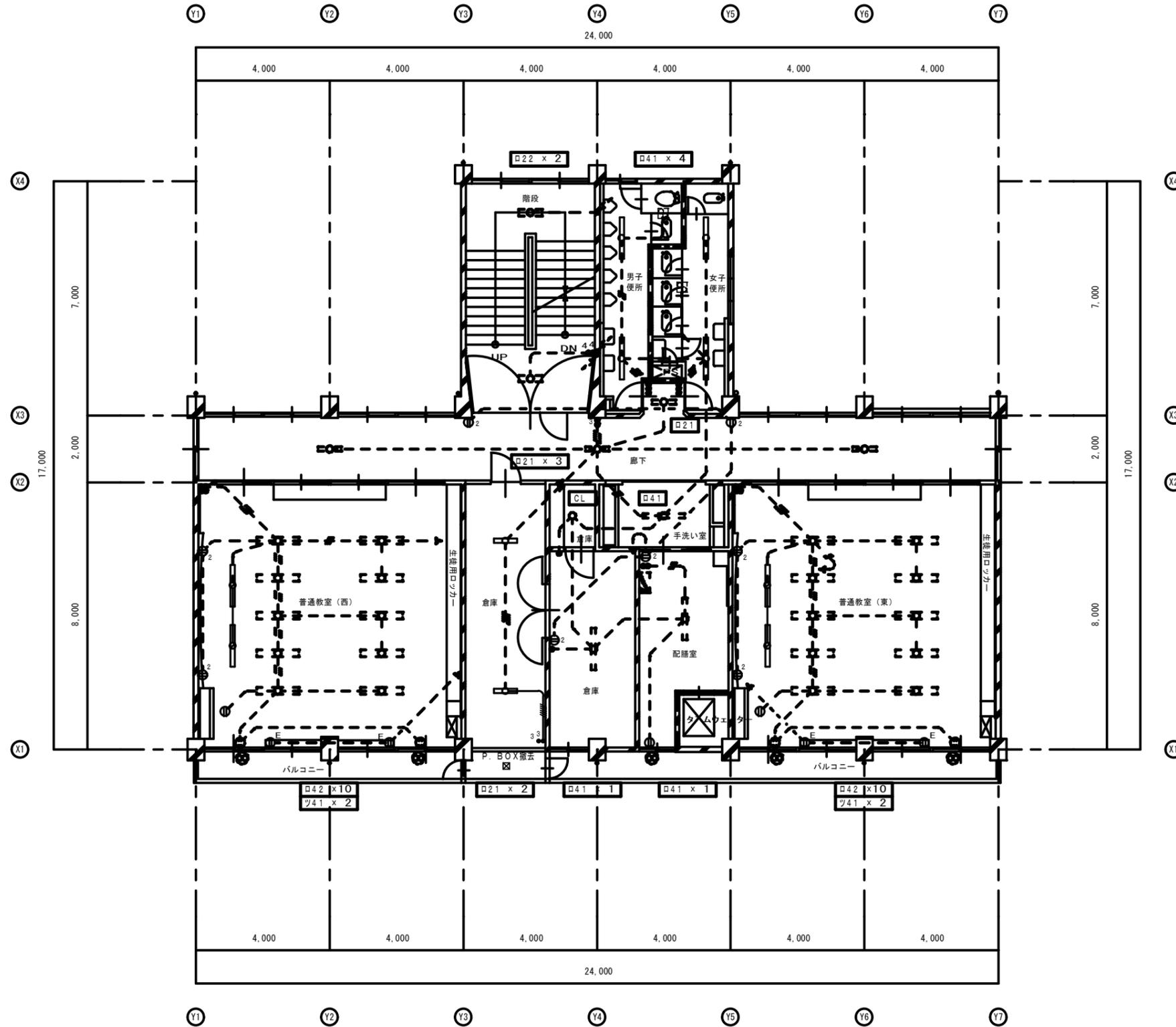
注1. 図中に実線(太線)で示す既設配管・配線の撤去を行うこと。
(点線で示す器具・配管・配線等は流用とする)

□P	カバープレート(新金属)	
□21	照明器具 FL-20Wx1	露出型
□41	" FL-40Wx1	"
ウ41	" FL-40Wx1	埋込型
ツ41	" FL-40Wx1	パイプ吊り
● ~ ■	スイッチ	1P15A×1~6
⊖ ⊕	コンセント	2P15A×1, 2
⊖ ⊕ E	"	2P15A×2, ET

注2. 配線図中実線で示す露出配管・配線及び、既設器具撤去に伴い不要になった露出配管・配線の撤去を行うこと。

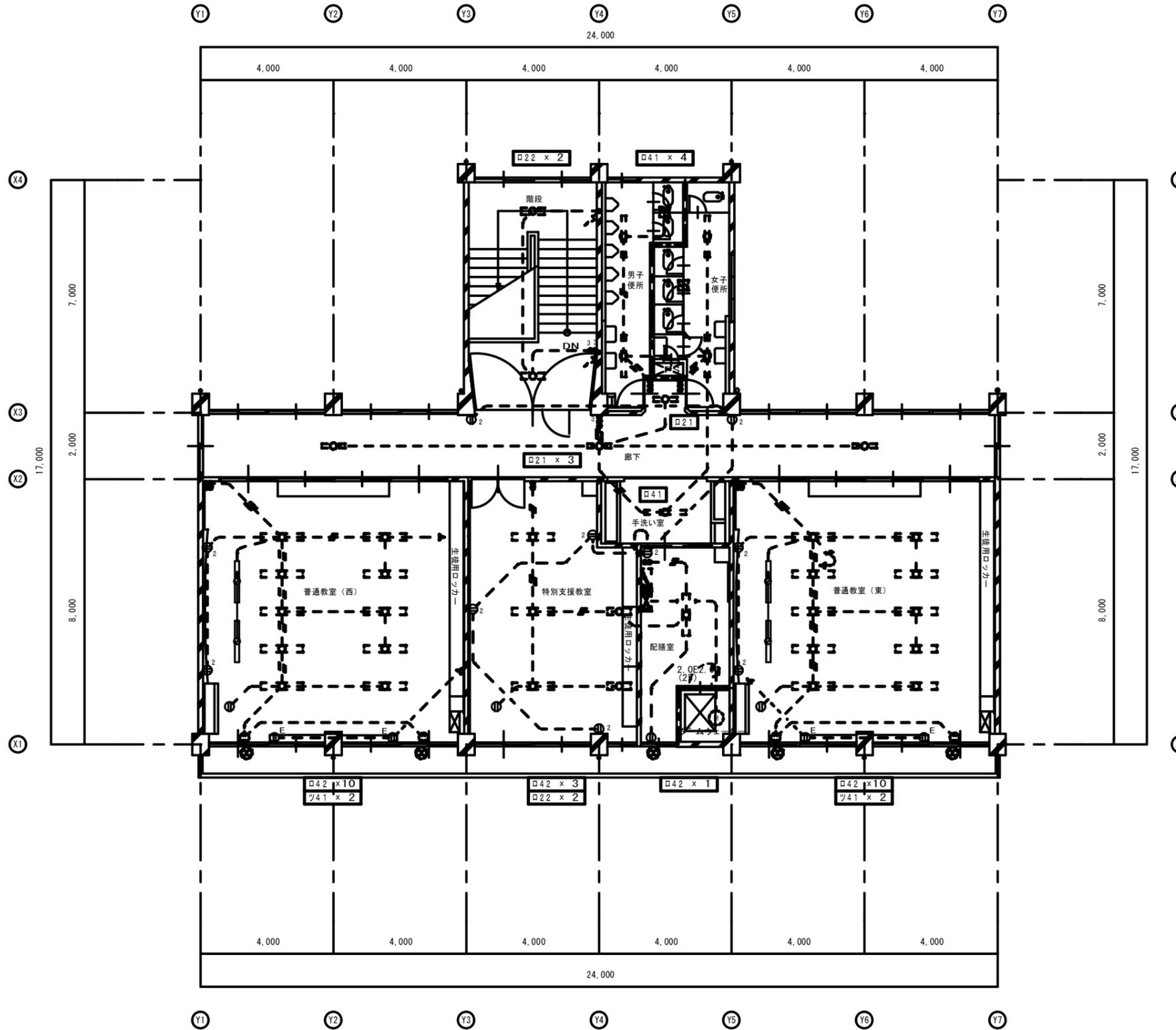
—	IV 2.0x2	(19)
—	IV 1.6x2	(19)
—	IV 1.6x3	(19)
—	IV 1.6x4	(25)
—	IV 1.6x5	(25)

1階 平面図(現況) S=1/100



2階 平面図 (現況) S=1/100

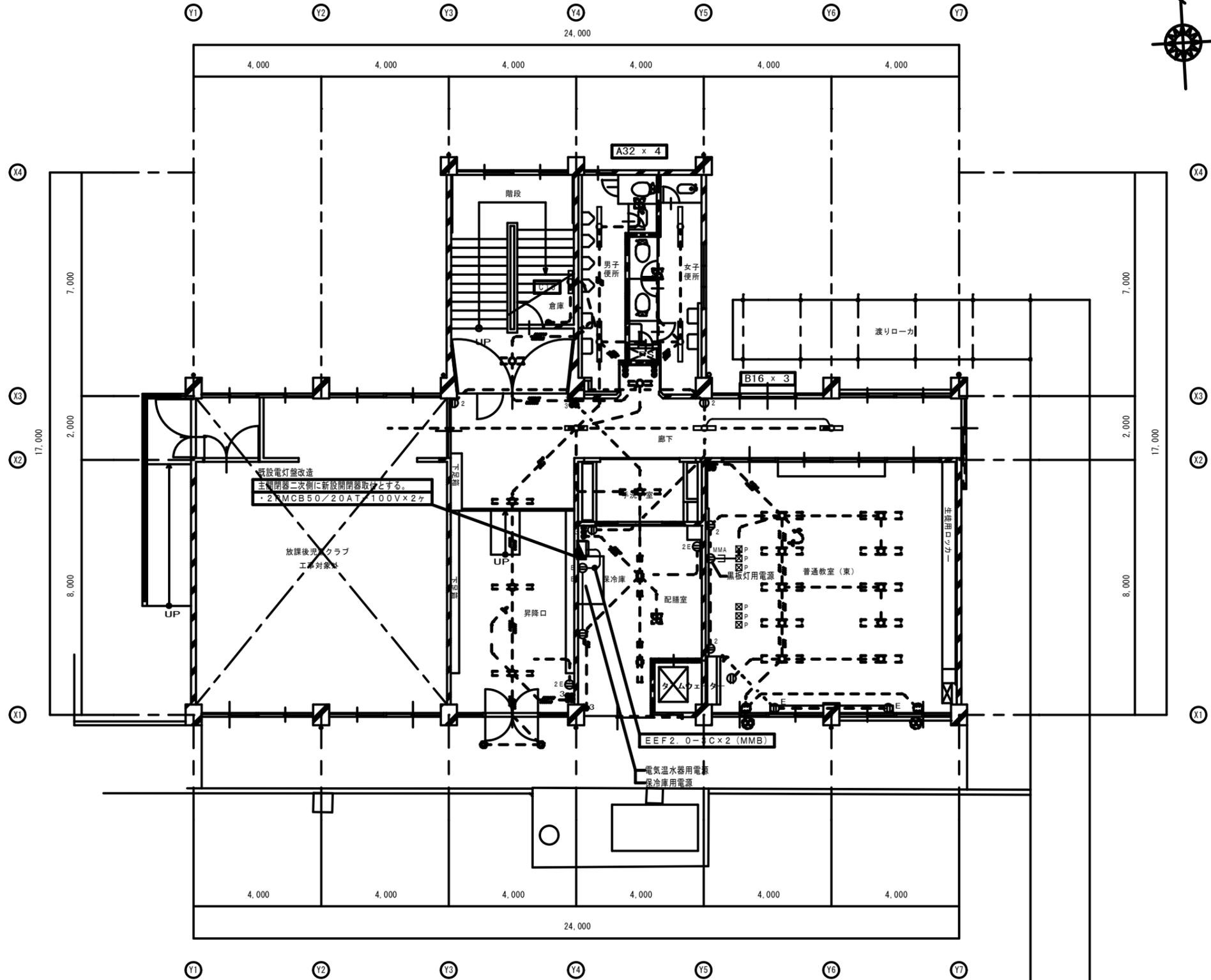
阿山小学校北校舎大規模改造工事
 電気設備 (現況)
 2階 電灯設備図 A2=1/100
 A3=1/141



3階 平面図 (現況) S=1/100



A32	LEDベースライト 直付形 3200lm-19.5W 固有エネルギー消費効率：164.1 lm/W
 <ul style="list-style-type: none"> ●LED (昼白色) ●寸法：幅120×1,250×高53 ●本体：鋼板 白 ●LEDバー：ポリカーボネート 乳白 ●定格電圧：AC100V~242V ●寿命：40,000時間 (光束維持率90%) ●相関色温度：5000K 平均演色評価数 (Ra) : 83 ●非調光 ●質量：1.8kg <p>東芝 LEKT412323N-LS9 相当品</p>	
B16	LEDベースライト 直付形 1600lm-11.9W 固有エネルギー消費効率：134.4 lm/W
 <ul style="list-style-type: none"> ●LED (昼白色) ●寸法：幅230×632×高53 ●本体：鋼板 白 ●LEDバー：ポリカーボネート 乳白 ●寿命：40,000時間 (光束維持率85%) ●相関色温度：5000K 平均演色評価数 (Ra) : 83 ●質量：1.3kg <p>東芝 LEKT223163N-LS9 相当品</p>	
C16	LEDベースライト 直付形 1600lm-11.9W 固有エネルギー消費効率：134.4 lm/W
 <ul style="list-style-type: none"> ●LED (昼白色) ●寸法：幅70×605×高53 ●本体：鋼板 白 ●LEDバー：ポリカーボネート 乳白 ●寿命：40,000時間 (光束維持率85%) ●相関色温度：5000K 平均演色評価数 (Ra) : 83 ●質量：0.9kg <p>東芝 LEKT207163N-LS9 相当品</p>	



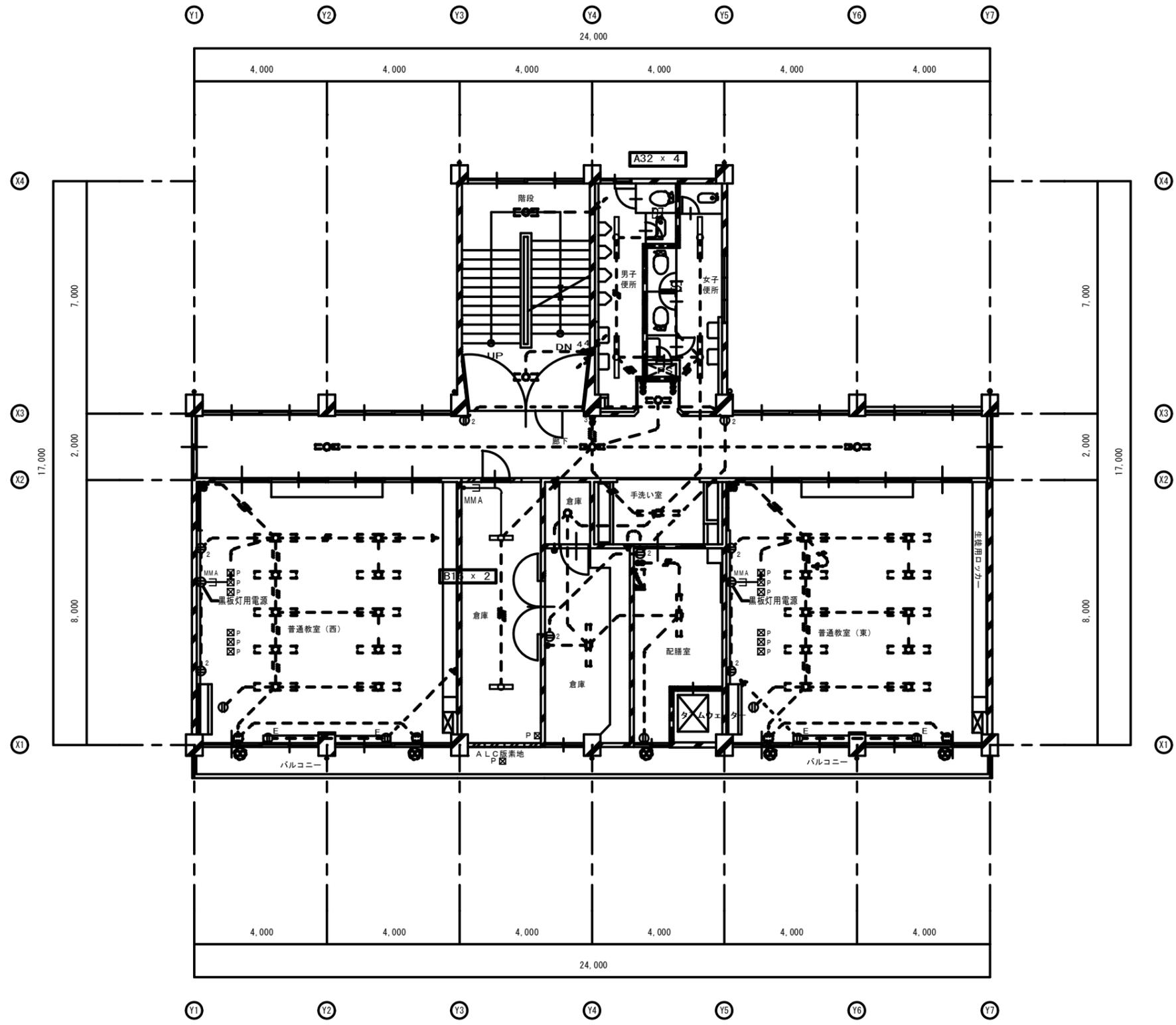
注1. 図中に実線(太線)で示す配管・配線の新設を行うこと。
(点線で示す器具・配管・配線等は流用とする)

注2. 配線図中特記なき配管配線は下記とする。

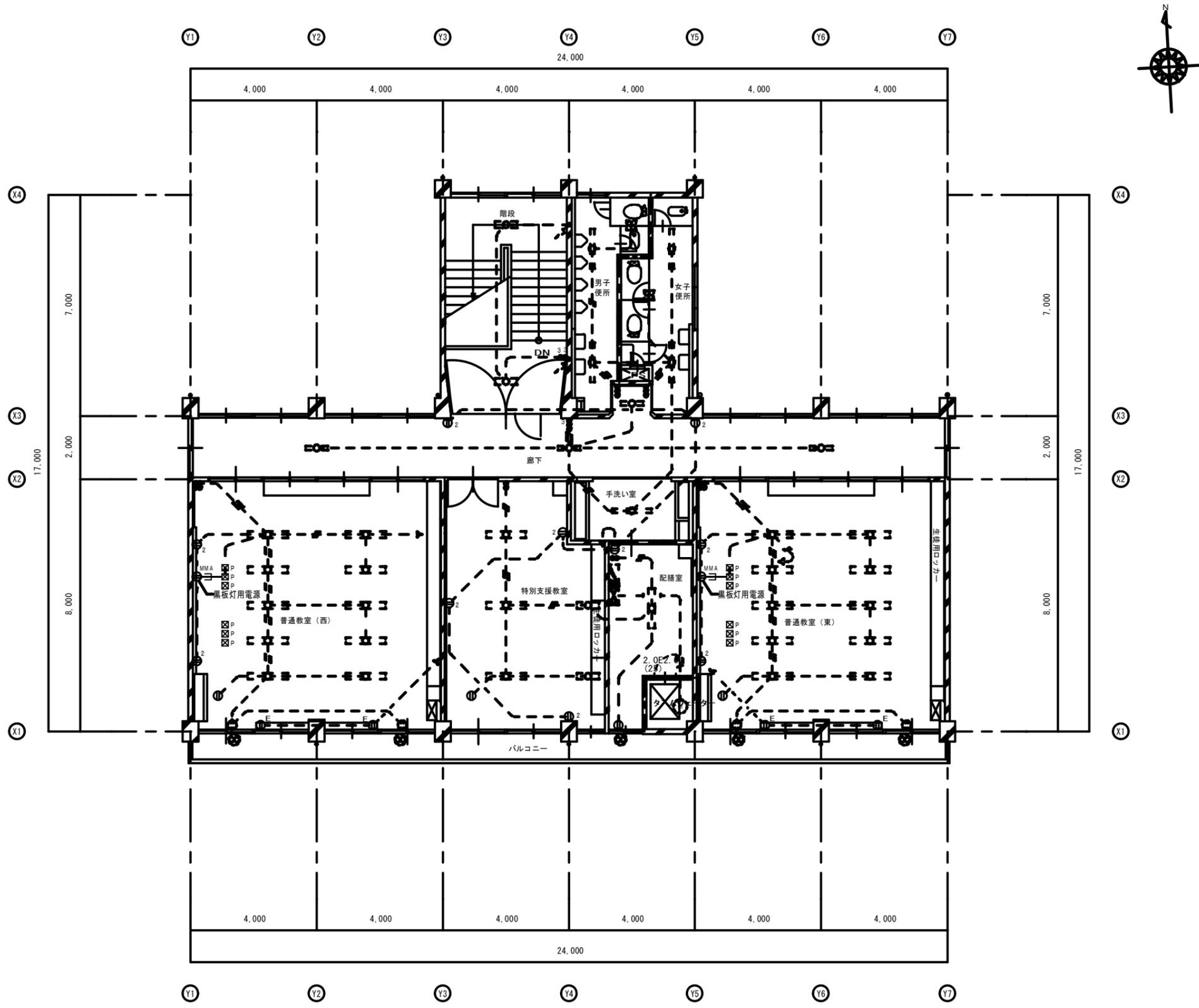
—#—	VVF 2.0-2C
—#—	" 2.0-3C (1C=E3)
—#—	" 1.6-2C
—#—	" 1.6-3C (1C=E3)
—#—	" 1.6-3C
—#—	" 1.6-4C (1C=E3)
—#—	" 1.6-4C
M	露出ケーブル部分の保護 (メタルモールジング)

但し、壁打ち込み部分は配管保護を行うこと。

1階 平面図 (改修後) S=1/100

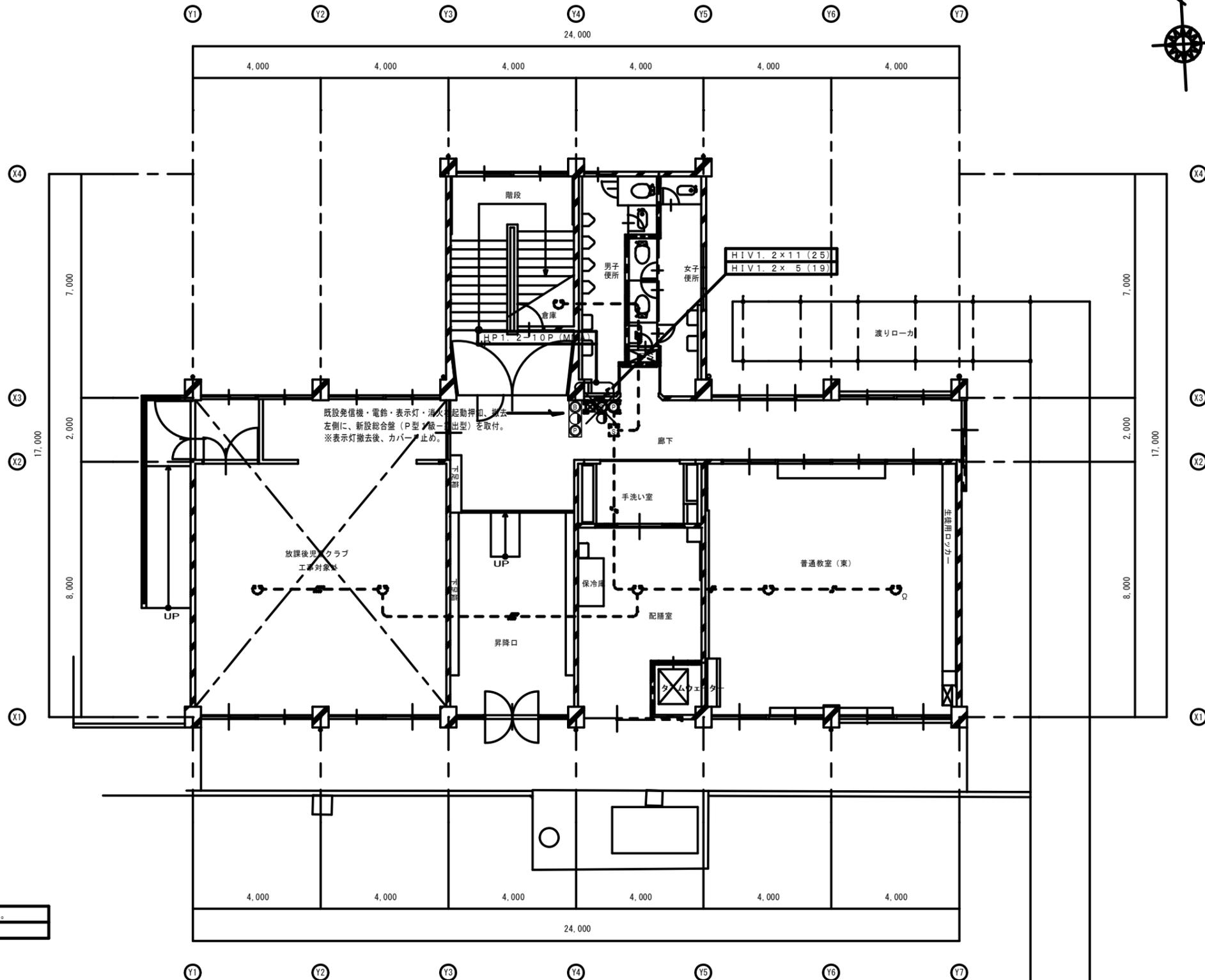


2階 平面図 (改修後) S=1/100



3階 平面図 (改修後) S=1/100

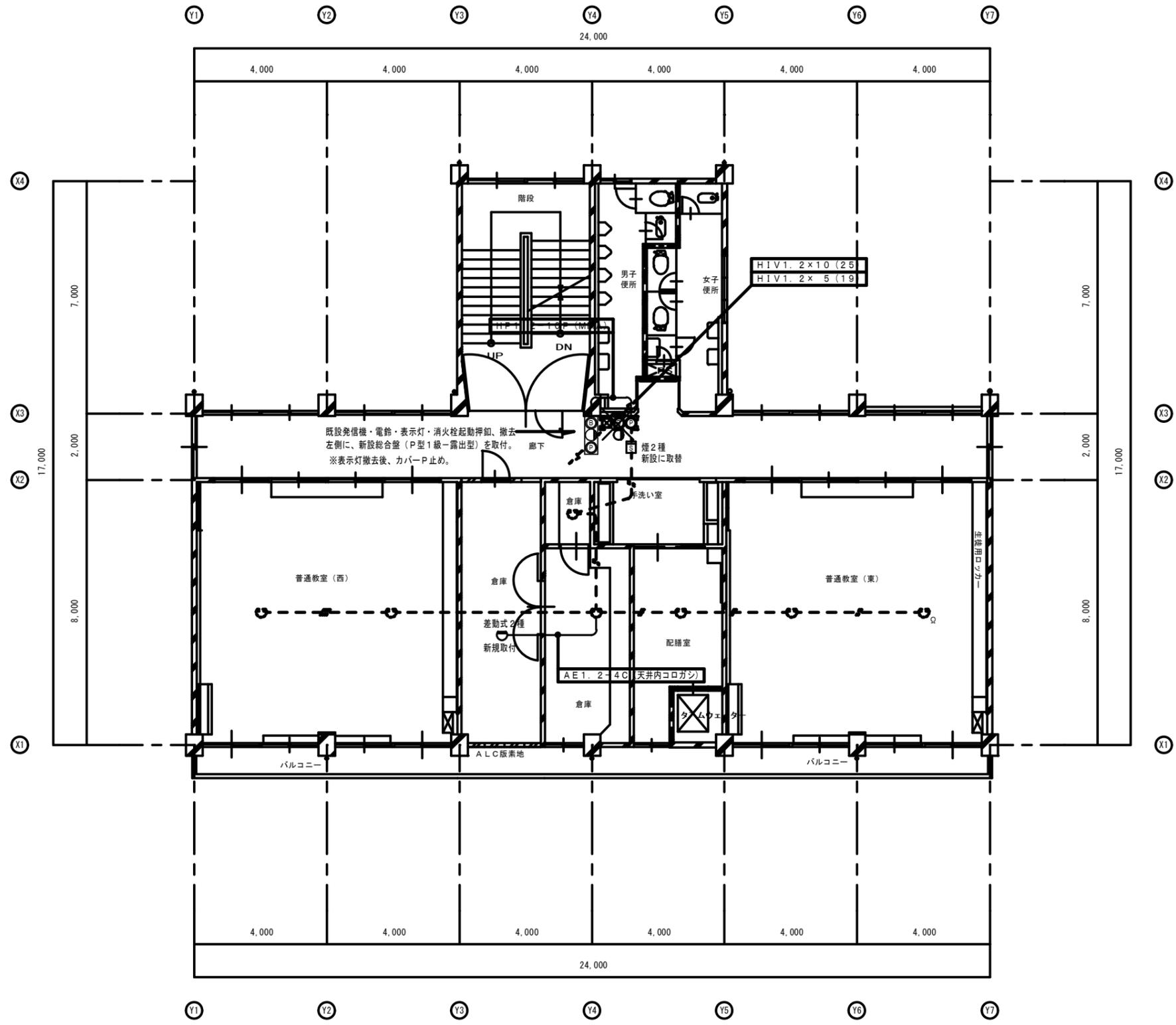
阿山小学校北校舎大規模改造工事
 電気設備 (改修後)
 3階 電灯設備図 A2=1/100
 A3=1/141



注1. 図中に実線(太線)で示す配管・配線の新設を行うこと。
(点線で示す器具・配管・配線等は流用とする)

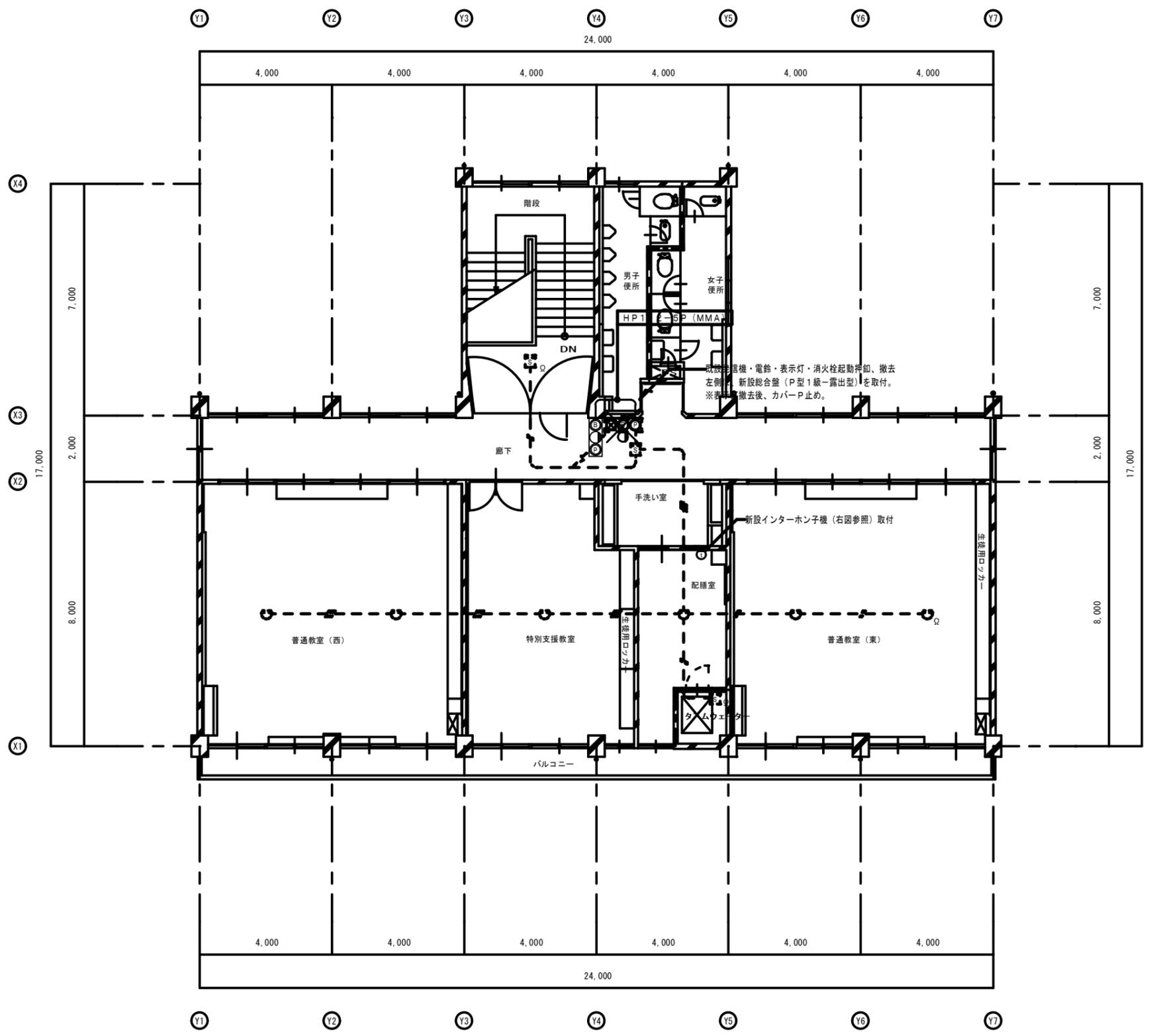
1階 平面図(改修後) S=1/100

阿山小学校北校舎大規模改修工事 電気設備(改修後) 1階 弱電設備図 A2=1/100 A3=1/141



2階 平面図 (改修後) S=1/100

阿山小学校北校舎大規模改造工事
 電気設備 (改修後)
 2階 弱電設備図 A2=1/100
 A3=1/141



① インターホン機

形 状	壁掛形 (JIS1個用スイッチボックス)
材 質	樹脂

アイホン TB-SE 相当品

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

I 工事名称	阿山小学校北校舎大規模改造工事
II 工事場所	三重県伊賀市 地内
III 建物概要	

建物名称	構 造	延面積 (㎡)	消法令の適用	備 考
北校舎棟	RC造 3階建て			

IV 工事仕様	特 記 事 項
項 目	特 記 事 項
① 施行基準	<p>図面及び特記仕様書に記載のない事項については以下による。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 <ul style="list-style-type: none"> 「公共建築工事標準仕様書 平成28年版」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編) 「公共建築設備工事標準図 平成28年版」(電気設備工事編・機械設備工事編) 「公共建築改修工事標準仕様書 平成28年版」(電気設備工事編・機械設備工事編) 「建築工事監理指針」「電気設備工事監理指針」「機械設備工事監理指針」平成28年版 * 国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修 <ul style="list-style-type: none"> 「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」 * 電気設備に関する技術基準を定める省令(電気設備技術基準) * 電力会社供給約款 * 消防関連法規(条例・所轄署指導要領を含む) * 電気工事業の業務の適正化に関する法律・電気工事士法・労働安全衛生法 * その他関連法規、関連諸基準
② 一般事項	<p>工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。</p> <p>設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおり施工することで将来不具合が発生すると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。</p> <p>なお設計図書のとおり施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。</p> <p>他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。</p>
○ 施工計画等	<p>受注者は、施工に先立ち、次の書類を提出し、監督員と打合わせを行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 総合施工計画書 <p>なお、これらの書類の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討すること。</p>
○ 工事使用材料等	<p>工事に使用する機器及び材料等については、予め、次の書類を提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 使用機材届出書(メーカーリスト) * 機器明細図 * カタログ・製作図・その他諸資料 <p>なお、機器及び材料等の選定にあたっては電気設備工事指定資材見積メーカー(参考)及び国土交通省大臣官庁営繕部監修「建設材料・設備機材等品質性能評価事業」評価名簿(最新版)又はこれらと同等以上のものとする。</p> <p>また、品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努め、「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。</p>
○ 工程表	<p>関連業者間にて十分協議し実施工程表を作成して監督員に提出すること。</p> <p>なお月間工程表には埋設・隠蔽・高所等の施工確認項目の該当時期を印すること。</p> <p>又、工程については、学校運営に支障が無いよう検討すること。</p>
○ 工事写真	<p>国土交通大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方(改訂第3版)ー建築設備編」によるほか監督員の指示により撮影し、電子納品及び以下のものを提出する。</p> <p>なおCDの提出部数は「電子納品」を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> * 代表写真(不可視部分や材料、寸法写真、拡大写真、撤去処分品、撤出状況等)を抽出しL判相当サイズで印刷。(A4版用紙に両面印刷にて3枚/ページ) 1部
○ 完成写真	<p>主たる電気設備の全景写真を黒板無しにて撮影し、L判相当サイズで印刷する。</p> <p>(A4版用紙に3枚/ページ) 1部</p> <p>撮影箇所は主要機器類、室内及び外構等の電気設備とする。詳細は監督員と協議する。</p>
○ 完成書類	<p>工事が完成した時は各種の試験及び検査を受けるものとする。</p> <p>書類については以下のもの及び上記書類を併せ、監督員の指示に従い取りまとめ提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 工事完成報告書、工事目的物引渡書、完成写真 * 製本図面(竣工図)：図面枚数が少ない場合、合冊でもよい。 <p>竣工図は、原図サイズを各2部。</p> <p>白焼き(青焼き不可)で文字潰れのないこと。表紙(可能な範囲で背表紙にも)に「年度、工事名、竣工図、受注者名」を印字(シール不可)すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 引渡目録、工事書類預り書 * 工事書類(工事写真、安全教育・訓練に関する書類、産業廃棄物処理集計表等) * 工事書類(打合記録、工事材料搬入報告) * 完成図書(試験成績表、自社検査記録、機器完成図、取扱説明書、保証書、機器銘板写し等) * 官公署手続き書類等(検査済証、着工届出書、設置届出書、電力会社届出書類等) * その他監督員の指示する書類 <p>ただし、作成しがたい場合は、監督員との協議による。</p> <p>なお、完成書類の著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。</p>
○ 完成確認、完成検査時の電源確保	<p>機器の動作確認、電圧・極性・相回転等の確認が出来るよう電源を確保すること。</p>

項 目	特 記 事 項
○ 足場	<p>設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省 平成21年4月)により、「動きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行占有足場方式により行うこと。</p>
○ 施工条件	<p>監督員及び関係部署と協議調整し決定すること。</p>
○ 事故の発生時	<p>工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。</p> <p>なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。</p>
○ 発生材の処理等	<p>引き渡しを要するもの()</p> <p>上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。</p> <p>特別管理産業廃棄物 □変圧器 □コンデンサ □その他()</p> <p>処理方法 ■現場内の監督員の指定する場所へ保管</p> <p>なお施工に際して、PCB等特別管理産業廃棄物、及び疑わしき機器等を見出した場合は監督員に報告し対応を協議するものとする。</p> <p>発注者へ引き渡すものについては「現場発生品調書」を提出すること。また再利用を図るものについても調書を作成し、監督員へ提出すること。引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。</p> <p>(マニフェスト原本の提示及び、E票の写しと集計表を監督員に提出すること)</p>
○ 残土処分	<p>凹構内敷きならし □構外搬出(片道運搬距離 約 km)</p>
○ 電子納品	<p>工事完成図書は、竣工図・施工図のCADデータ(JWW)及びPDFを格納。</p>
○ 諸手続	<p>工事に伴う関係官公署、電力会社、電気保安管理者等への諸手続きは、受注者がこれを代行し、必要経費も本工事に含む。</p>
○ 消防提出書類	<p>消火器の設置届については、電気設備にて設置届を提出する必要がある場合は、消火器についても併せて届出すること。ただし機械設備にて設置届を提出する必要がある場合は機械設備に含めるものとする。防火対象物使用開始届については書類の作成(電気設備図面の用意及び電気設備に関する部分の記述)を行うこと。</p>
○ 既設との取合い	<p>本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。</p>
○ 既設設備の調査	<p>既設設備の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響を来さないよう、現地工事着工前に十分な調査をおこなうこと。又、施工前後で比較を行うよう工事前にも絶縁抵抗測定を行っておくこと。</p>
○ 工事中の保安管理	<p>新築、増築等で自家用電気工作物の範囲が変更になった場合、その供用開始から引渡しまでの電気保安管理にかかる費用は本工事に含まれる。</p>
○ 不当介入を受けた場合の措置	<p>暴力団員等による不当介入(伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱)を受けた場合の措置について</p> <p>(1) 受注者は暴力団員等(伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱)による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。</p> <p>(2) (1)により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は文書で行うこと。</p> <p>(3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。</p>
③ 耐震基準	<p>耐震措置の計算及び施工方法は、次の事項以外は全て「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説平成8年版」(建設大臣官房官庁営繕部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針(2005年版)」(国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修)による。</p> <p>(1) 局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度(Ks)</p> <p>(2) 地域係数は1.0とする。</p> <p>(3) 自重が100kg以下の比較的軽量の機器(標準仕様書の適用を受けるものは除く)の取付については、取付下地を入念に施工し、標準メーカーの指定する方法で確実に取付を行うものとするが、監督員の承諾を受ける。</p> <p>(4) 配管配線及びダクトの支持は、標準仕様書及び標準図による。</p> <p>(5) 機器の耐震計算書を提出すること。</p> <p>重量1kN(100kg)以上のアンカー取付機器 ※盤類、変圧器類、発電設備及び補機類、燃料タンク等水槽類、その他監督員が指示するもの。</p>
④ 施工	<p>(1) 配管架台 ・ 屋外露出及び多湿箇所(トレンチビット等)の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとする。</p> <p>(2) 絶縁処理 ・ 機器・配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理をおこなう。</p> <p>(3) はつり ・ 既設のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターを使用すること。</p> <p>(4) 躯体を貫通する場合、鉄筋探査機等を使用し鉄筋を切断しないよう施工すること。</p> <p>(5) アンカーボルト ・ 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、ケミカルアンカー(ステンレス製)とする。</p> <p>(6) 塗装 ・ 指定色で2回塗りとする。 金属管、2種金属繊維、吊りボルト、支持具等鋼板製(SUS、溶融亜鉛メッキ、樹脂製は除く)は原則として塗装を施すこと。</p>

項 目	特 記 事 項
⑤ その他	<p>(7) 保護キャップ等 ・ レースウェイ等のダクタークリップが、人が容易に近づける場所、高さ(およそ2m以下)にある場合は保護キャップを取り付けること。</p> <p>(8) 防火区画部は国土交通大臣認定工法にて防火区画処理を行うこと。</p> <p>(9) 再使用機器 ・ 取外し再使用機器は、清掃、絶縁測定及び機能確認のうえ取付ける。なお施工前後で比較をおこなえるよう、工事前にも絶縁抵抗測定を行っておくこと。</p> <p>(1) 使用機械 ・ 低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。</p> <p>(2) 測定機器の校正記録 ・ 工事を使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。測定に先立ち使用する測定機器の検査済証(写し)又は校正記録(写し)を監督員に提示すること。</p> <p>(3) 設計図書上に示すメーカー型番・姿図等は参考とする。</p>

図示記号

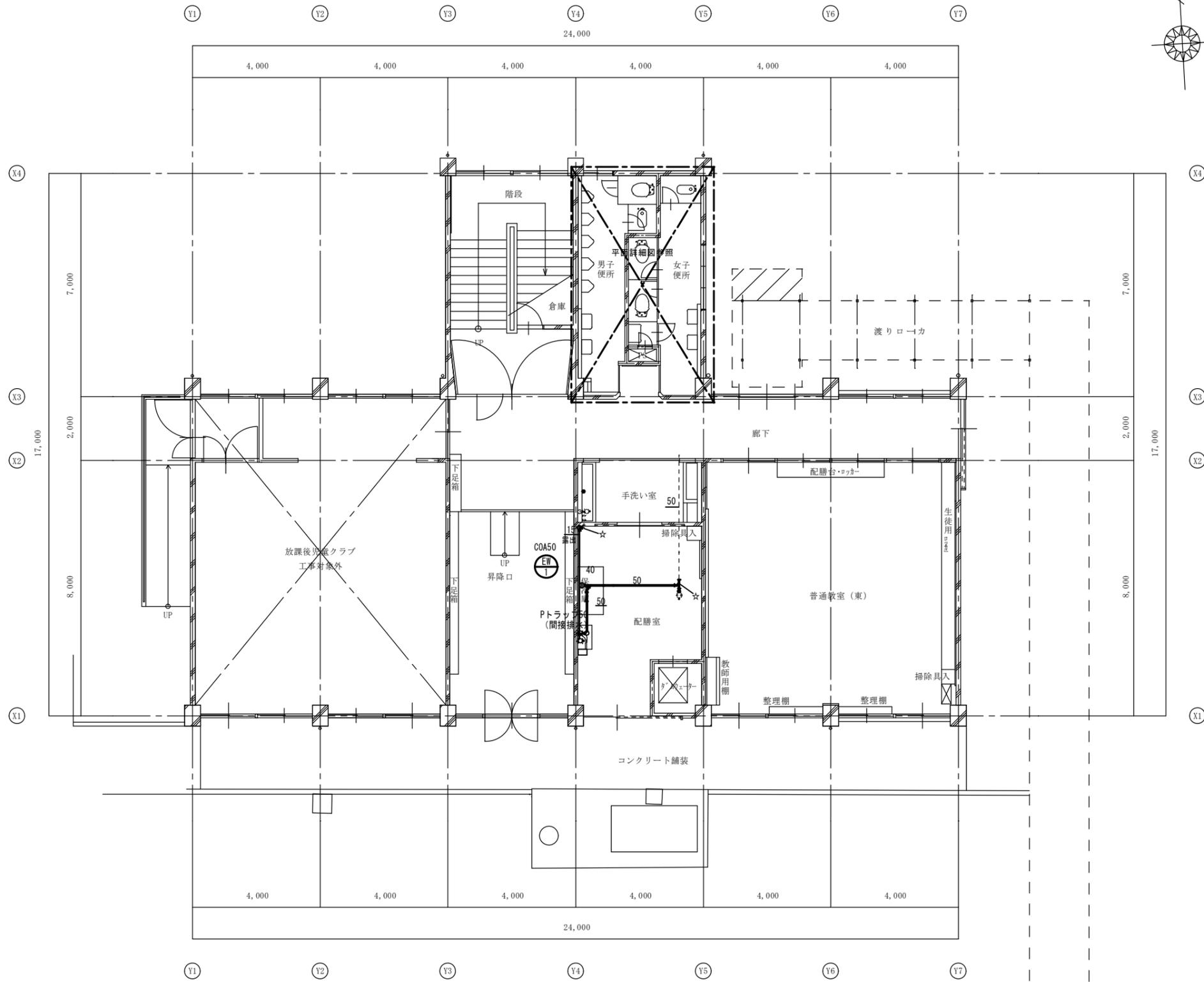
記号	名称
——	給水管
—— ┌	污水管
—— └	雑排水管
----	通気管
⊗	給水栓
⊙	フラッシュ弁

衛生機器表 新設

記号	機器名称	形式・仕様	電気容量			台数	設置場所	備考
			相 (φ)	電圧 (V)	消費電力 (kW)			
EW 1	電気湯沸器	形式 据置型 先止め式	1	100	0.7	1	配膳室	
		仕様 貯湯量 6L						
		付属品 フィルター付止水栓、排水器具、フレキ管L=500x3						
		参考品番 EHPN-CA6S5						

衛生器具表 新設

器具名称	参考品番	付属品 (他一式共)	1階		2階		3階		合計		
			男子便所	女子便所	配膳室	男子便所	女子便所	男子便所		女子便所	
洋風便器	C-P25H	CF-T7114A、CF-39AK、CF-200S (フラッシュ弁)	1	2			2		5		
洋風便器	C-P25H	CF-T7114TA、CF-39AK、CF-200S (低圧フラッシュ弁)						1	2	3	
棚付2連紙巻器	CF-AA64S		2	3			2	3	2	3	15
ステンレス流し台	KPM1-750R	SF-216F-13-RU			1						1



洗面器	L-176UEC, LF-B350SY, LF-7SAL	1
EW-1 電気温水器 (先止式) EHPN-CA6S5	据置型 過温出湯タイプ 貯湯容量6.0L 1φ100V 700W フィルター付止水栓 (床給水) 排水器具、連結管フレキ×3	1

1階平面図 (改修後) S=1/100

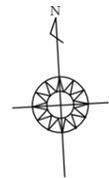
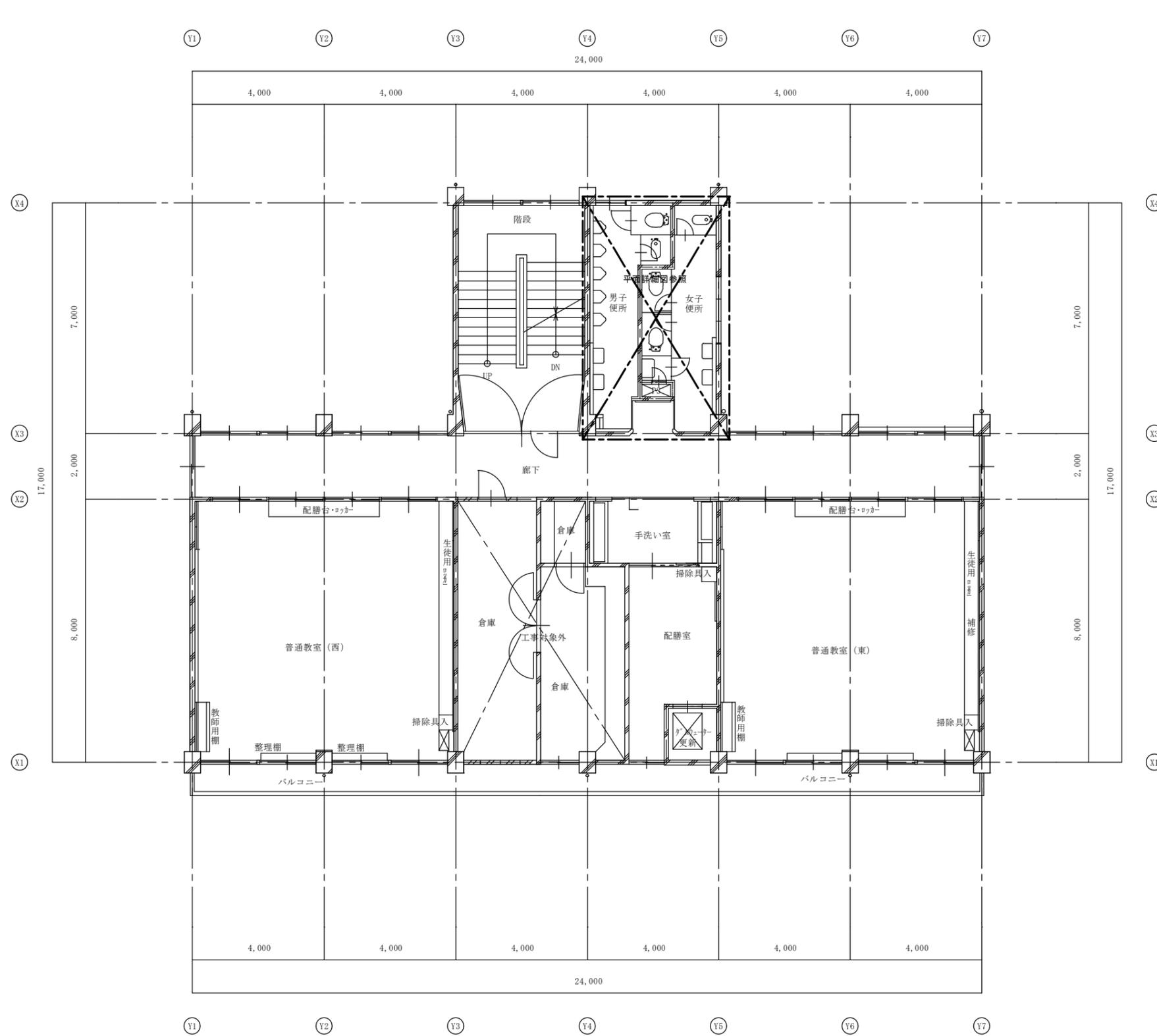
点線	既設	☆	既設管接続
実線	新設	◆	コア抜き、補修

凡例

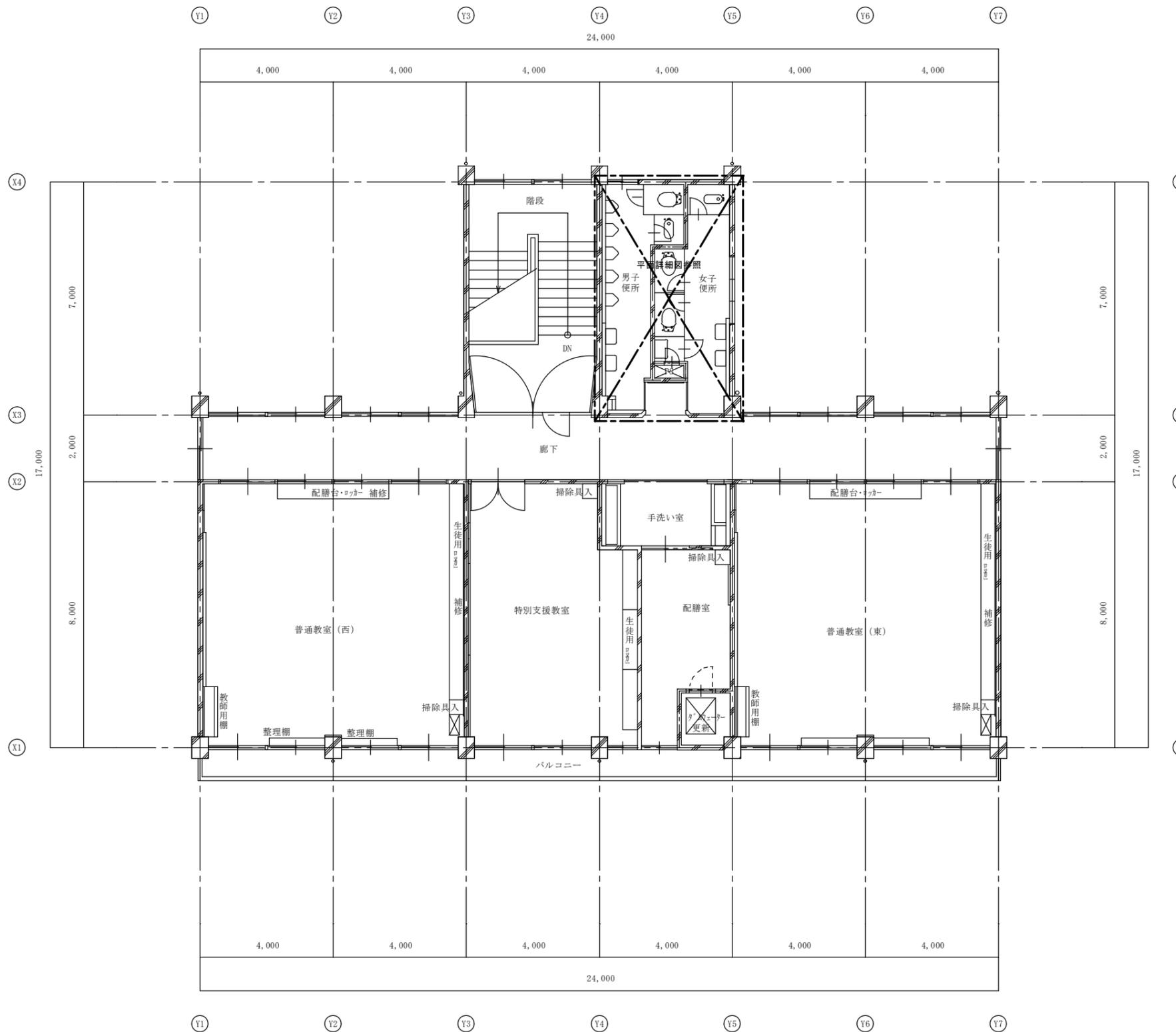
阿山小学校北校舎大規模改修工事

給排水衛生設備 A2 S=1:100
1階平面図(改修後) A3 S=1:141

図面番号
M-04

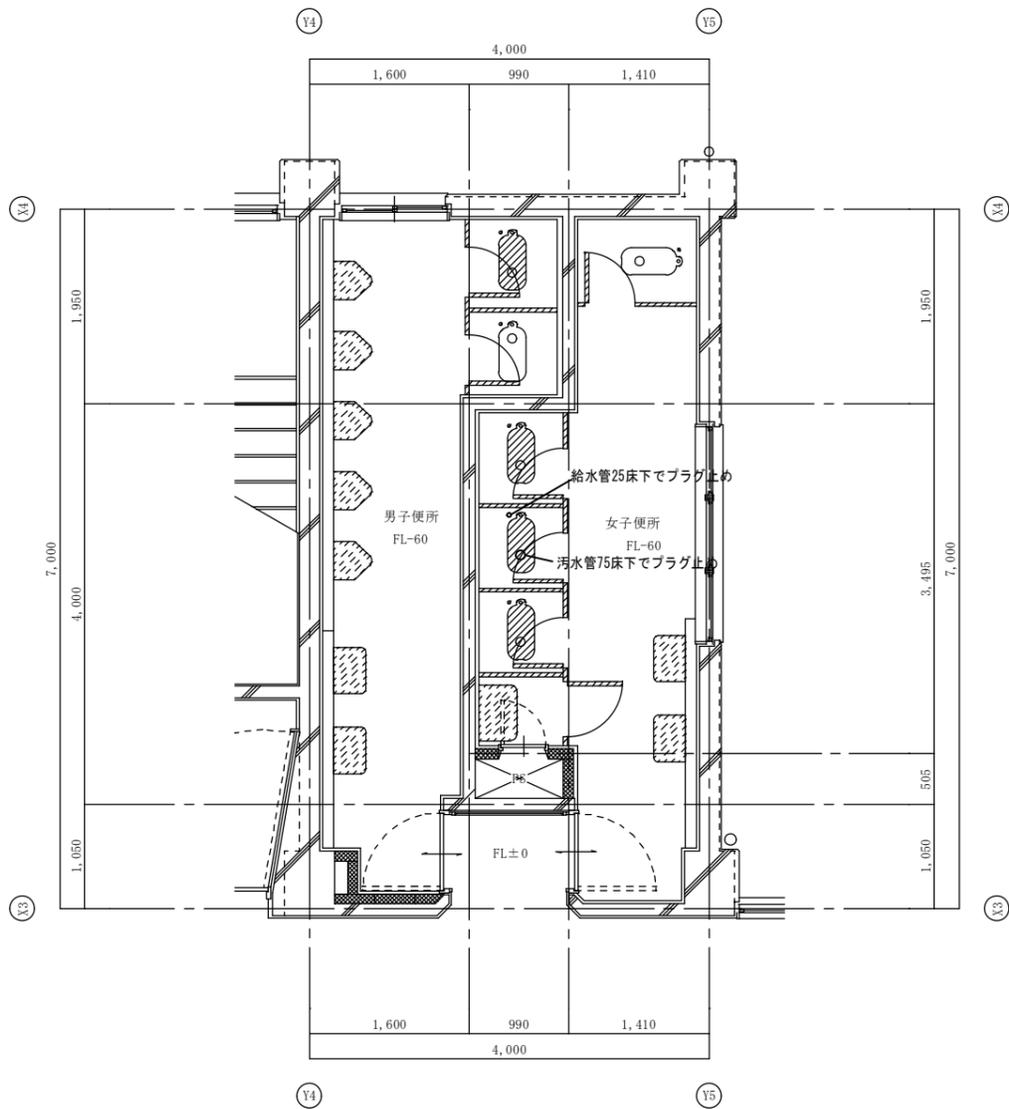


2階平面図 (改修後) S=1/100



3階平面図 (改修後) S=1/100

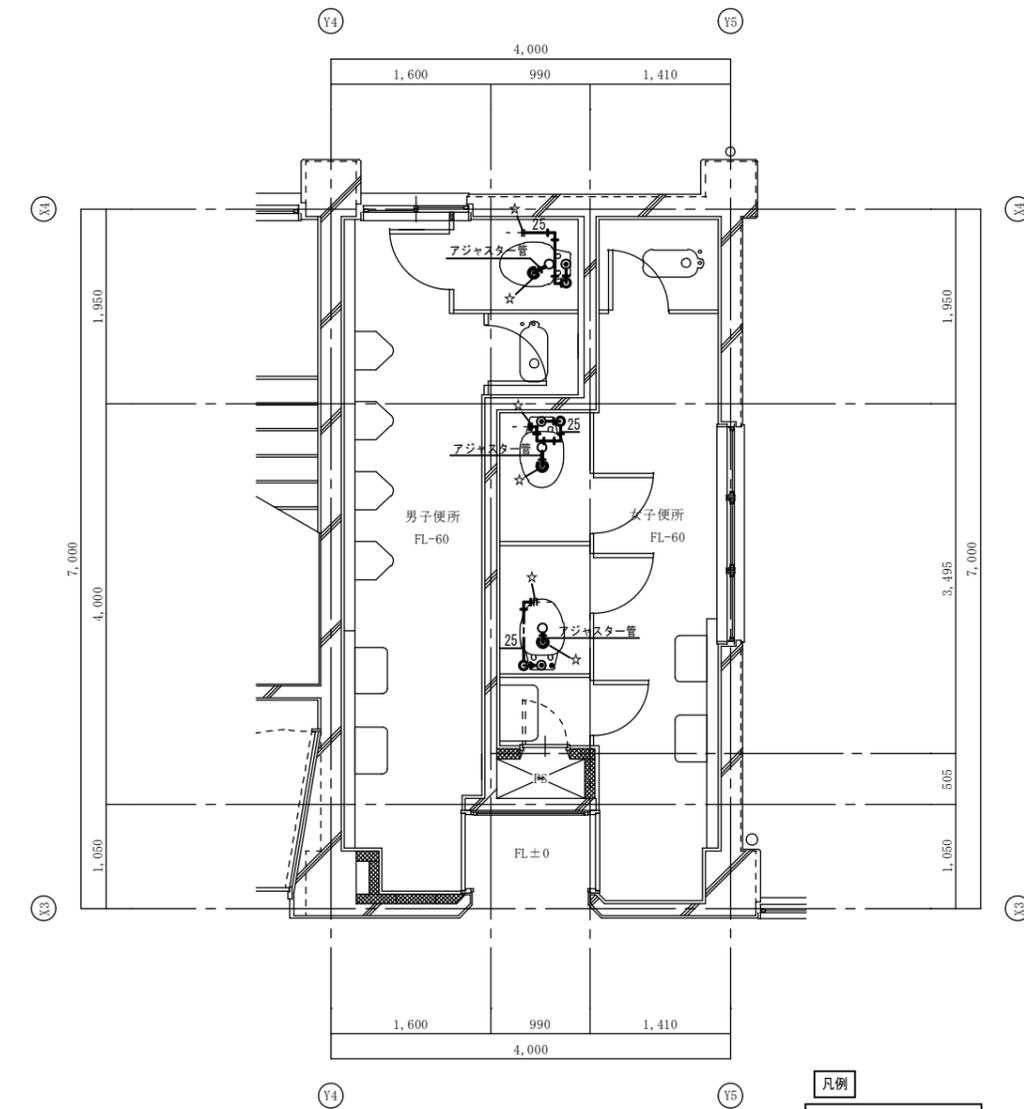
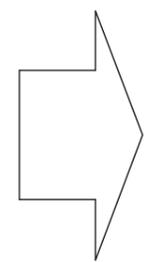




1階便所 平面詳細図 (現況) S=1/50

※和風大便器撤去跡の土間コン開口穴埋め、補修は建築工事

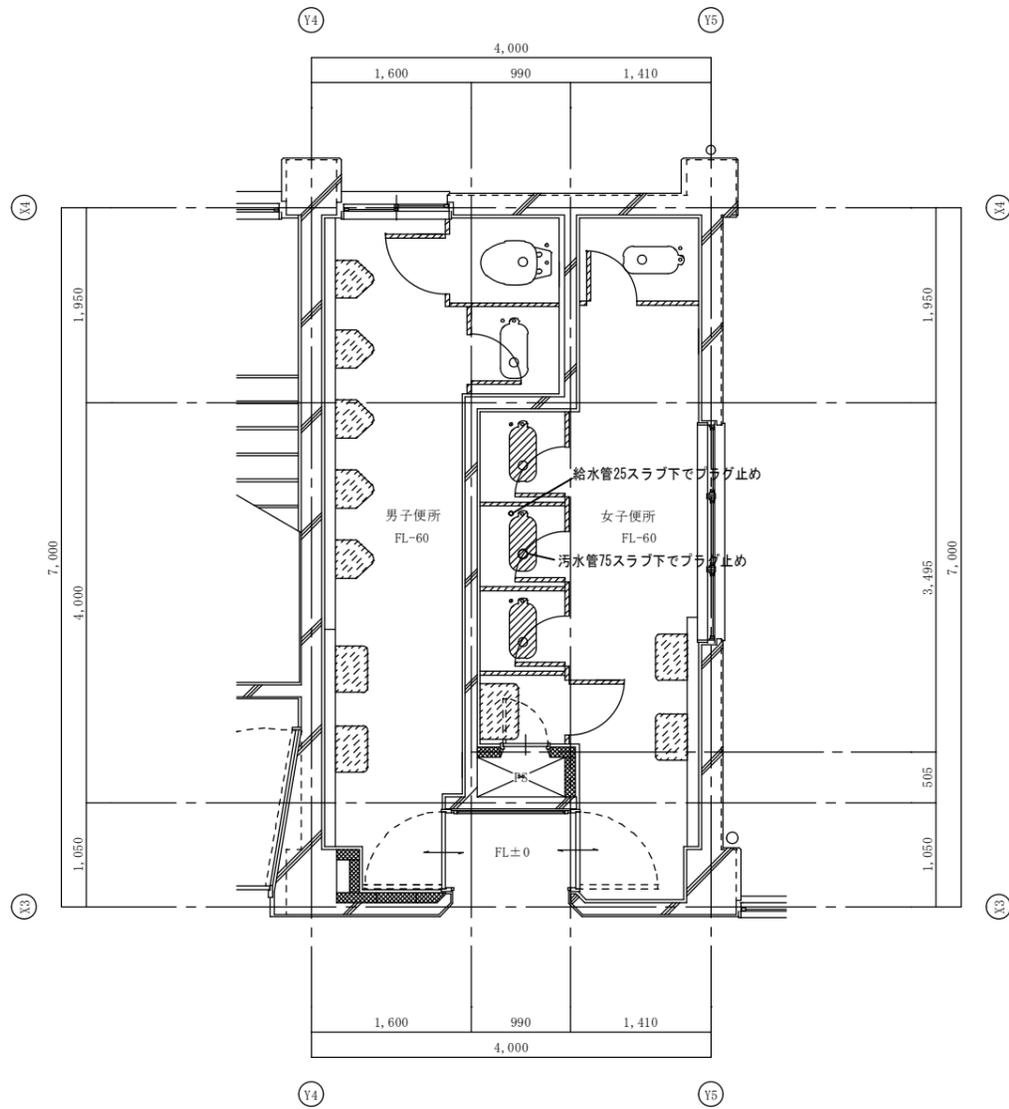
男子便所			
和風大便器	C375VF FV	1	撤去
和風大便器	C375VF FV	1	既設のまま
紙巻器		2	撤去
ストール小便器	U53 FV	5	1撤去、4既設のまま
洗面器	L230D	2	既設のまま
化粧鏡	TS119AS3	2	既設のまま
女子便所			
和風大便器	C375VF FV	3	撤去
和風大便器	C375VF FV	1	既設のまま
紙巻器		4	撤去
洗面器	L230D	2	既設のまま
化粧鏡	TS119AS3	2	既設のまま
掃除用流し	SK22A	1	既設のまま



1階便所 平面詳細図 (改修後) S=1/50

- 凡例
- ☆ — 既設管接続
 - ◆ — コアー抜き、補修

男子便所			
洋風大便器	C-P25H, CF-T7114A, CF-39AK, CF-200S	1	新設
和風大便器	C375VF FV	1	既設 床給水フラッシュ弁 (洗浄管共) 取替、スパッド取替
柵付2連紙巻器	CF-AA64S	2	新設
ストール小便器	U53 FV	4	既設のまま Pシール取替、スパッド取替
洗面器	L230D	2	既設のまま 止水栓 (連結管共) 取替、Pトラップ取替
化粧鏡	TS119AS3	2	既設のまま
女子便所			
洋風大便器	C-P25H, CF-T7114A, CF-39AK, CF-200S	2	新設
和風大便器	C375VF FV	1	既設 床給水フラッシュ弁 (洗浄管共) 取替、スパッド取替
柵付2連紙巻器	CF-AA64S	3	新設
洗面器	L230D	2	既設のまま 止水栓 (連結管共) 取替、Pトラップ取替
化粧鏡	TS119AS3	2	既設のまま
掃除用流し	SK22A	1	既設のまま Pシール取替

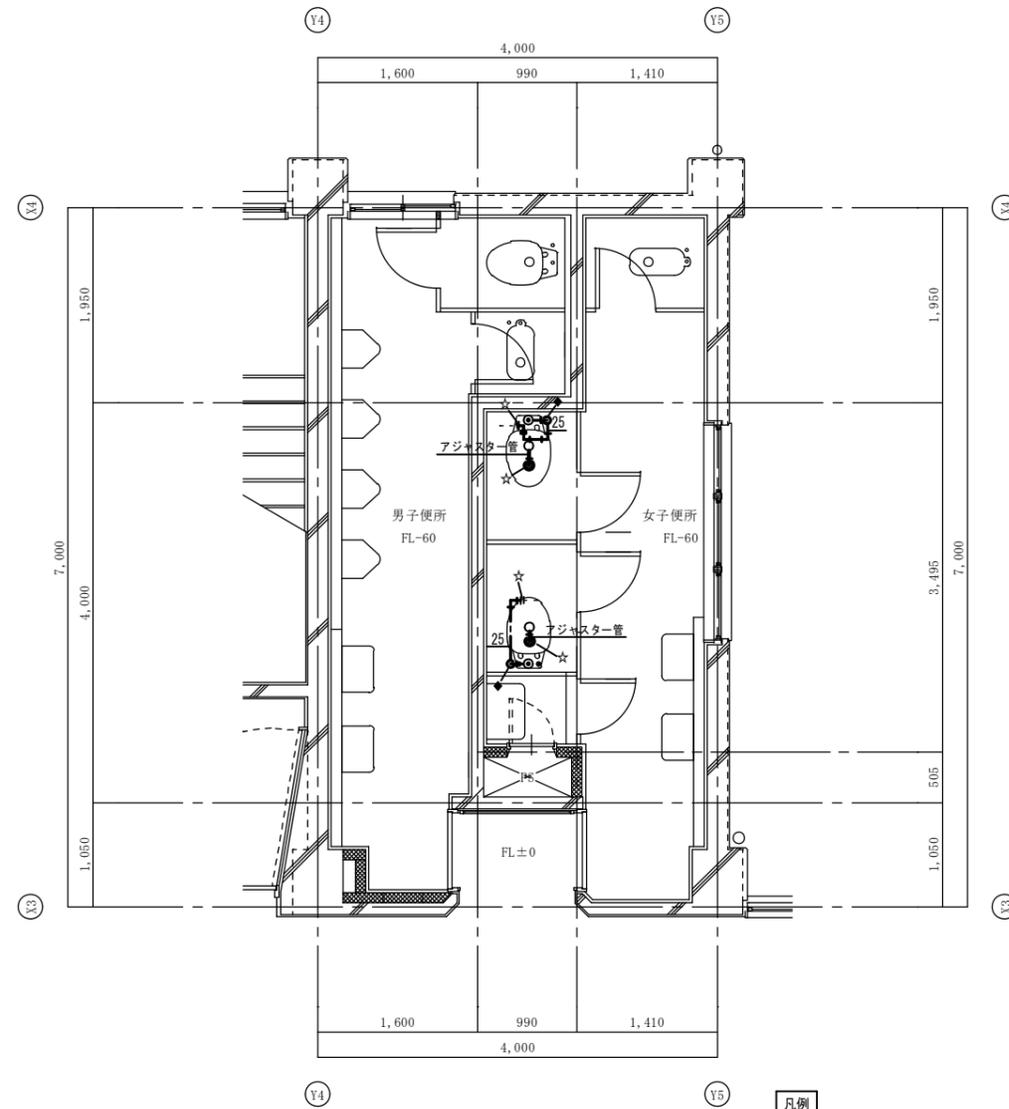
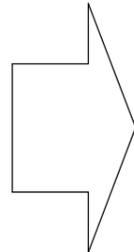


2階便所 平面詳細図 (現況) S=1/50

※和風大便器撤去跡のスラブ開口穴埋め、補修は建築工事

男子便所			
洋風大便器		1	既設のまま
和風大便器	C375VF FV	1	既設のまま
紙巻器		2	撤去
ストール小便器	U53 FV	5	1撤去、4既設のまま
洗面器	L230D	2	既設のまま
化粧鏡	TS119AS3	2	既設のまま

女子便所			
和風大便器	C375VF 低圧FV	3	撤去
和風大便器	C375VF 低圧FV	1	既設のまま
紙巻器		4	撤去
洗面器	L230D	2	既設のまま
化粧鏡	TS119AS3	2	既設のまま
掃除用流し	SK22A	1	既設のまま

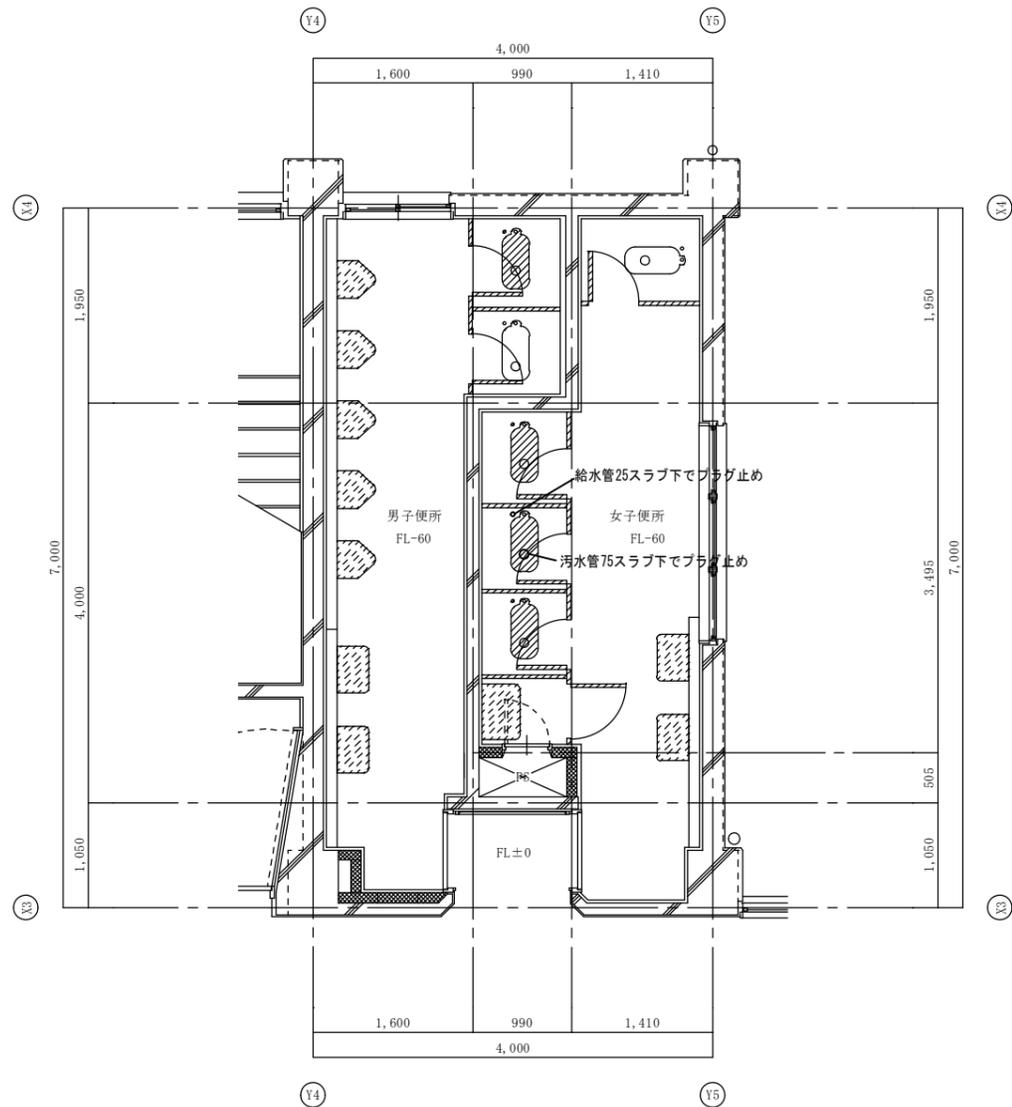


2階便所 平面詳細図 (改修後) S=1/50

- 凡例
- ☆ — 既設管接続
 - ◆ — コアー抜き、補修

男子便所			
洋風大便器		1	既設
和風大便器	C375VF FV	1	既設
棚付2連紙巻器	CF-AA64S	2	新設
ストール小便器	U53 FV	4	既設のまま
洗面器	L230D	2	既設のまま
化粧鏡	TS119AS3	2	既設のまま

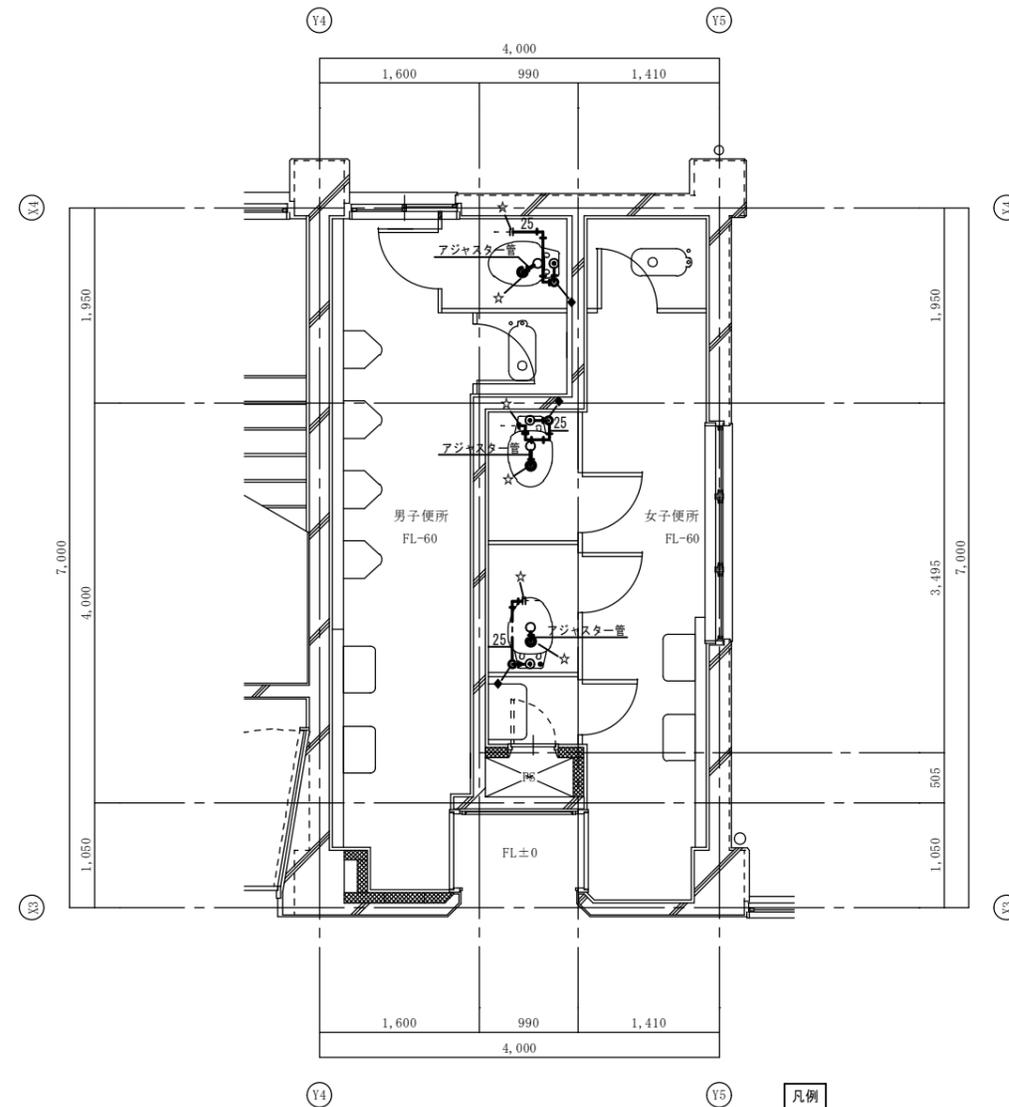
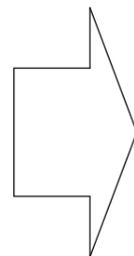
女子便所			
洋風大便器	C-P25H, CF-T7114A, CF-39AK, CF-200S	2	新設
和風大便器	C375VF FV	1	既設
棚付2連紙巻器	CF-AA64S	3	新設
洗面器	L230D	2	既設のまま
化粧鏡	TS119AS3	2	既設のまま
掃除用流し	SK22A	1	既設のまま



3階 男子便所 女子便所 平面詳細図 (現況) S=1/50

※和風大便器撤去跡のスラブ開口穴埋め、補修は建築工事

男子便所			
和風大便器	C375VF 低圧FV	1	撤去
和風大便器	C375VF 低圧FV	1	既設のまま
紙巻器		2	撤去
ストール小便器	U53 FV	5	1撤去、4既設のまま
洗面器	L230D	2	既設のまま
化粧鏡	TS119AS3	2	既設のまま
女子便所			
和風大便器	C375VF 低圧FV	3	撤去
和風大便器	C375VF 低圧FV	1	既設のまま
紙巻器		4	撤去
洗面器	L230D	2	既設のまま
化粧鏡	TS119AS3	2	既設のまま
掃除用流し	SK22A	1	既設のまま

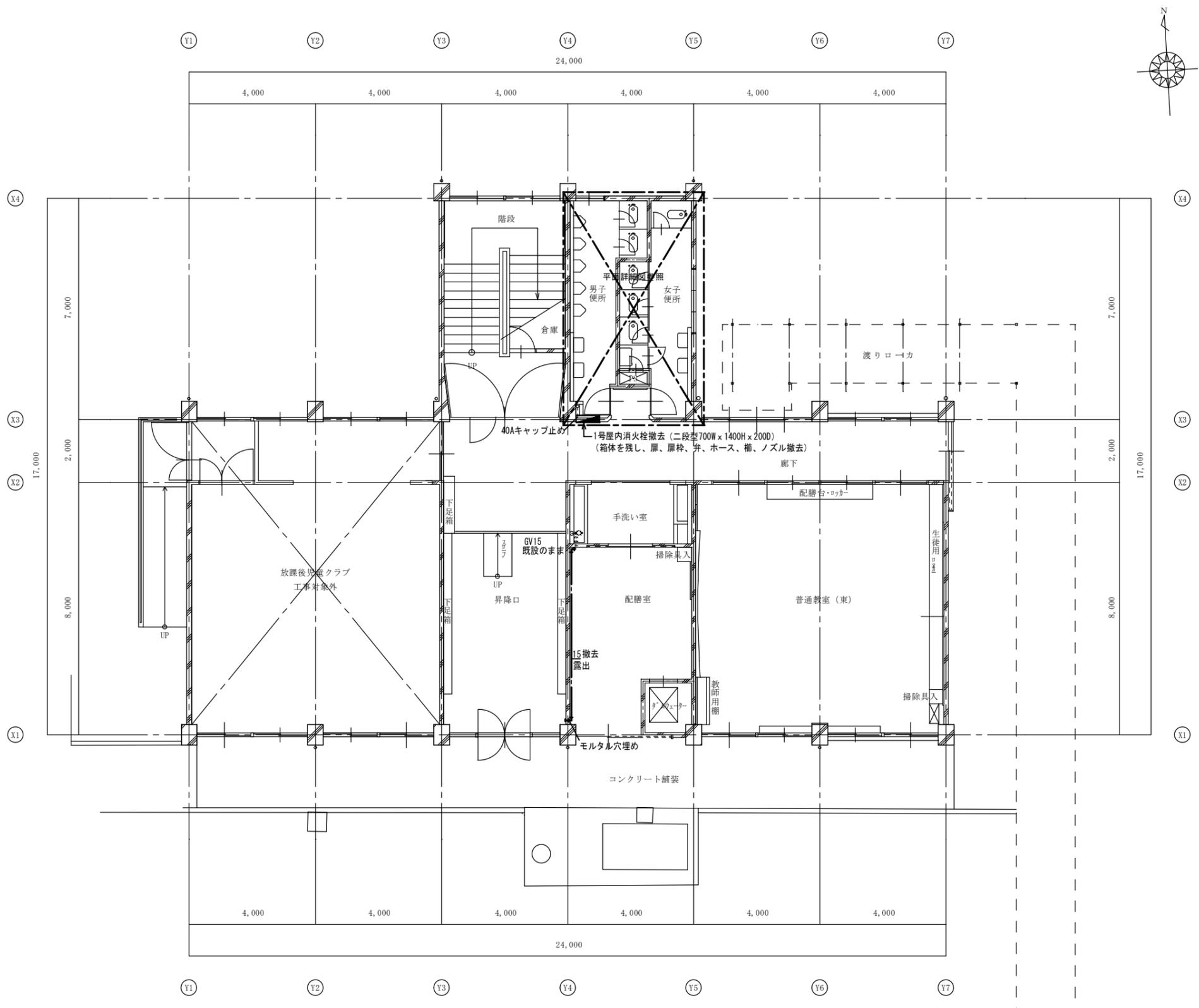


3階 男子便所 女子便所 平面詳細図 (改修後) S=1/50

凡例

- ☆ 既設管接続
- ◆ コア抜き、補修

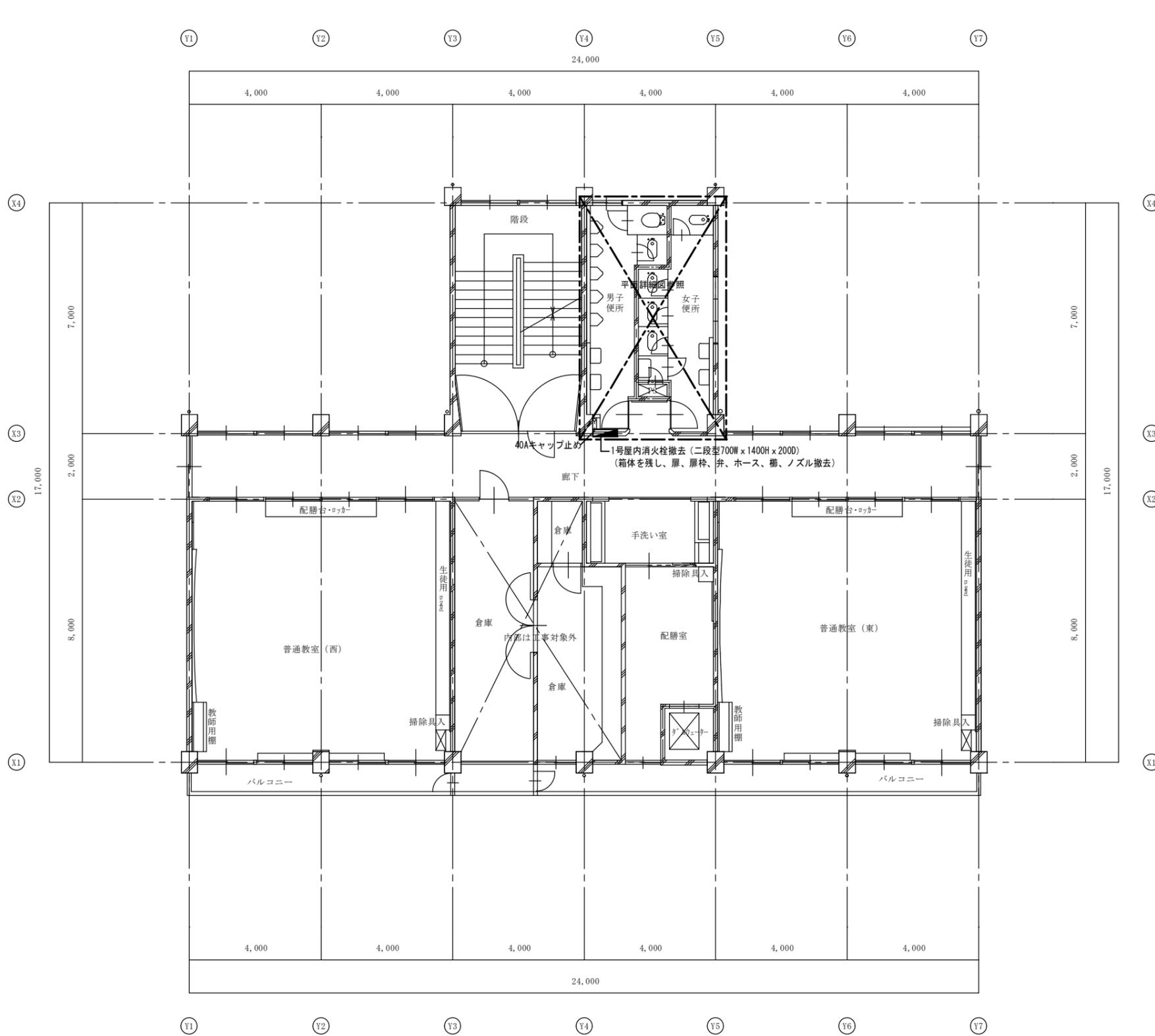
男子便所			
洋風大便器	C-P25H, CF-T7114TA, CF-39AK, CF-200S	1	新設
和風大便器	C375VF 低圧FV	1	既設 床給水フラッシュ弁 (洗浄管共) 取替、スパッド取替
棚付2連紙巻器	CF-AA64S	2	新設
ストール小便器	U53 FV	4	既設のまま Pシール取替、スパッド取替
洗面器	L230D	2	既設のまま 止水栓 (連結管共) 取替、Pトラップ取替
化粧鏡	TS119AS3	2	既設のまま
女子便所			
洋風大便器	C-P25H, CF-T7114TA, CF-39AK, CF-200S	2	新設
和風大便器	C375VF 低圧FV	1	既設 床給水フラッシュ弁 (洗浄管共) 取替、スパッド取替
棚付2連紙巻器	CF-AA64S	3	新設
洗面器	L230D	2	既設のまま 止水栓 (連結管共) 取替、Pトラップ取替
化粧鏡	TS119AS3	2	既設のまま
掃除用流し	SK22A	1	既設のまま Pシール取替



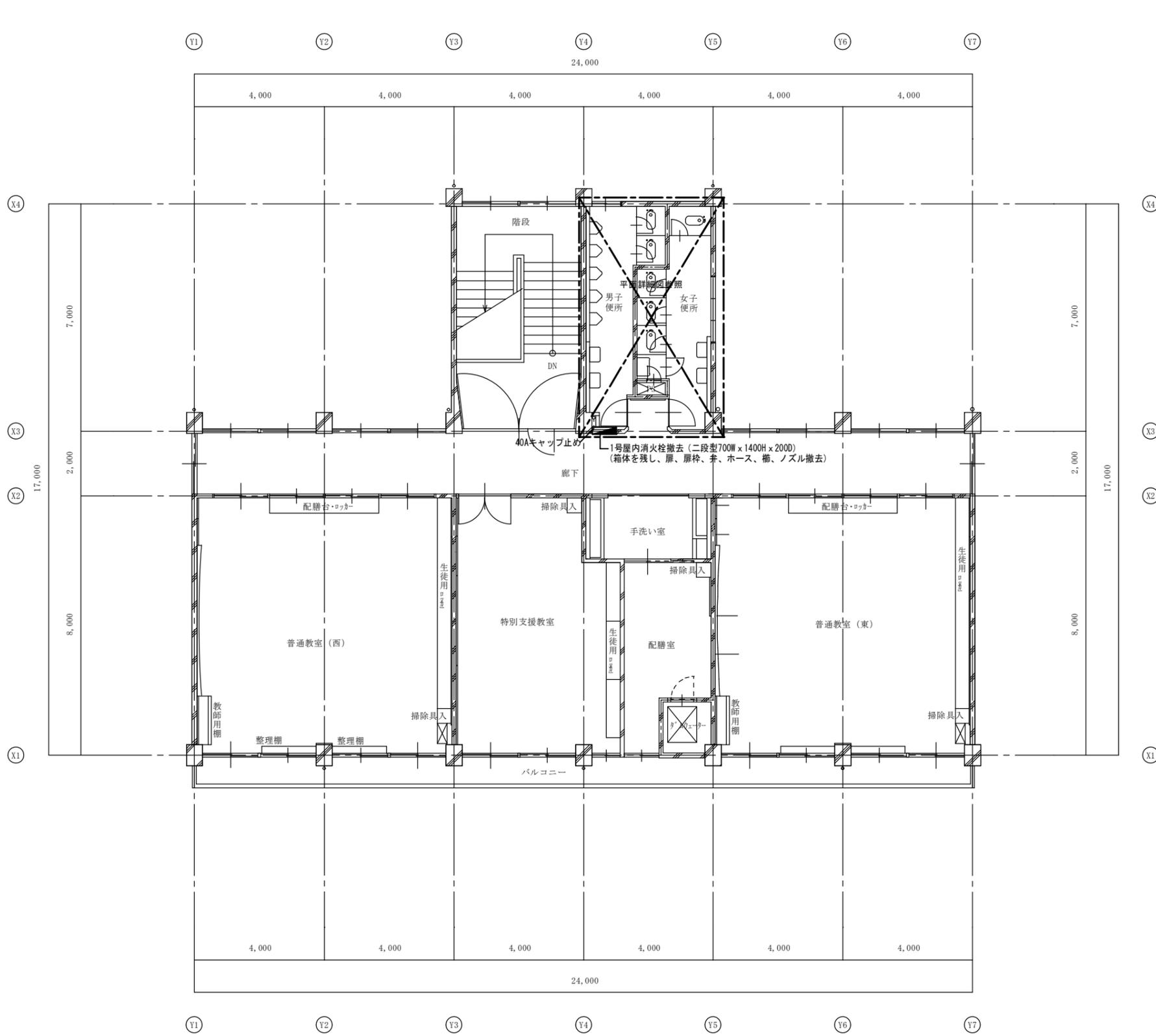
使用管材		凡例	
給水管	塩ビライニング鋼管	点線	既設のまま
排水管	硬質塩化ビニル管	実線	撤去
消火管	配管用炭素鋼管 (白)		

1 階平面図 (現況) S=1/100

阿山小学校北校舎大規模改造工事 給排水衛生設備 A2 S=1:100
1階平面図 (現況) A3 S=1:141

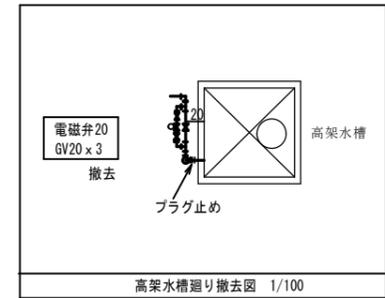
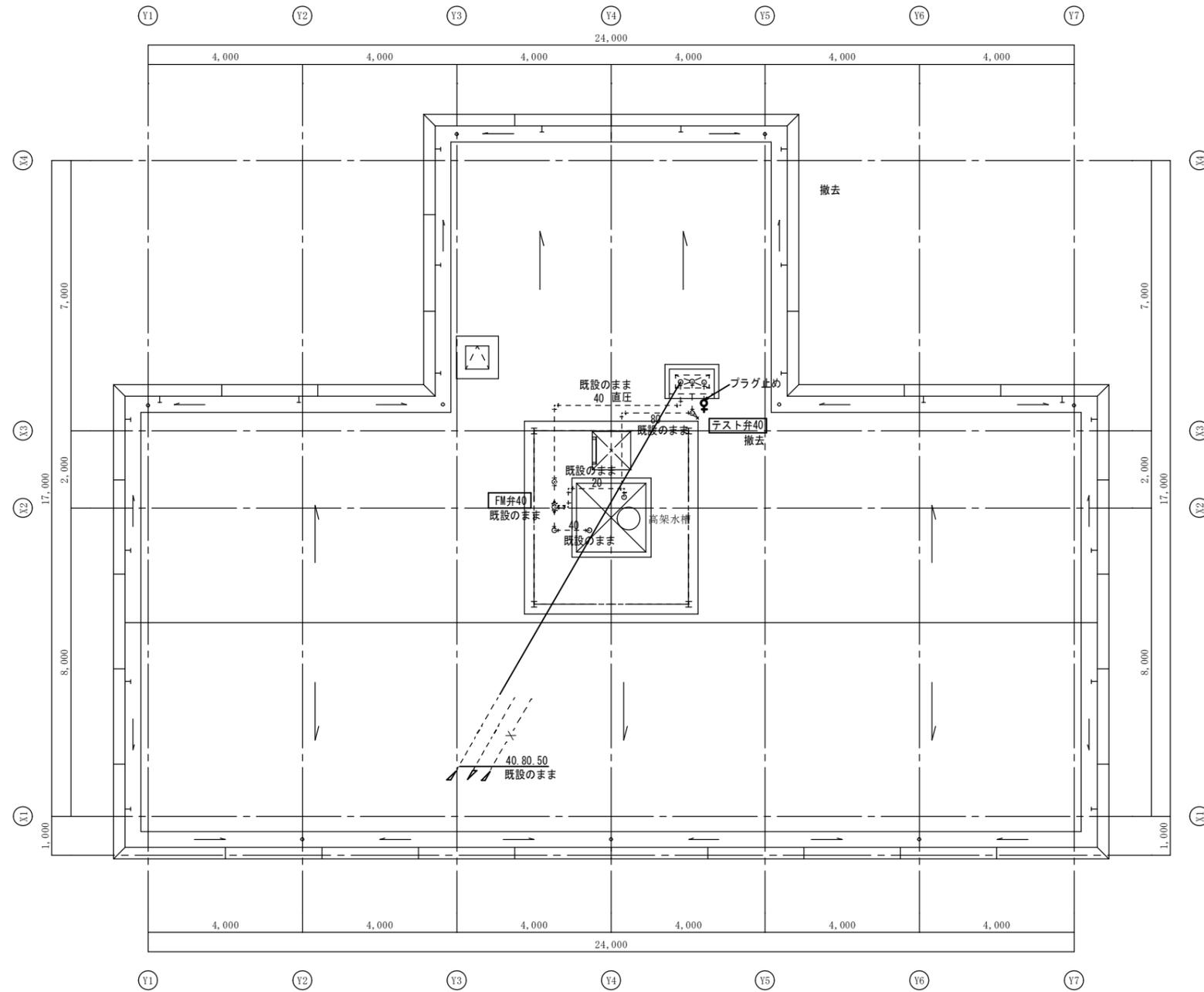


使用管材		2階平面図 (現況) S=1/100	凡例	
給水管	塩ビライニング鋼管		点線	既設のまま
排水管	硬質塩化ビニル管		実線	撤去
消火管	配管用炭素鋼管 (白)			



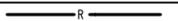
使用管材		凡例	
給水管	塩ビライニング鋼管	点線	既設のまま
排水管	硬質塩化ビニル管	実線	撤去
消火管	配管用炭素鋼管 (白)		

3階平面図 (現況) S=1/100



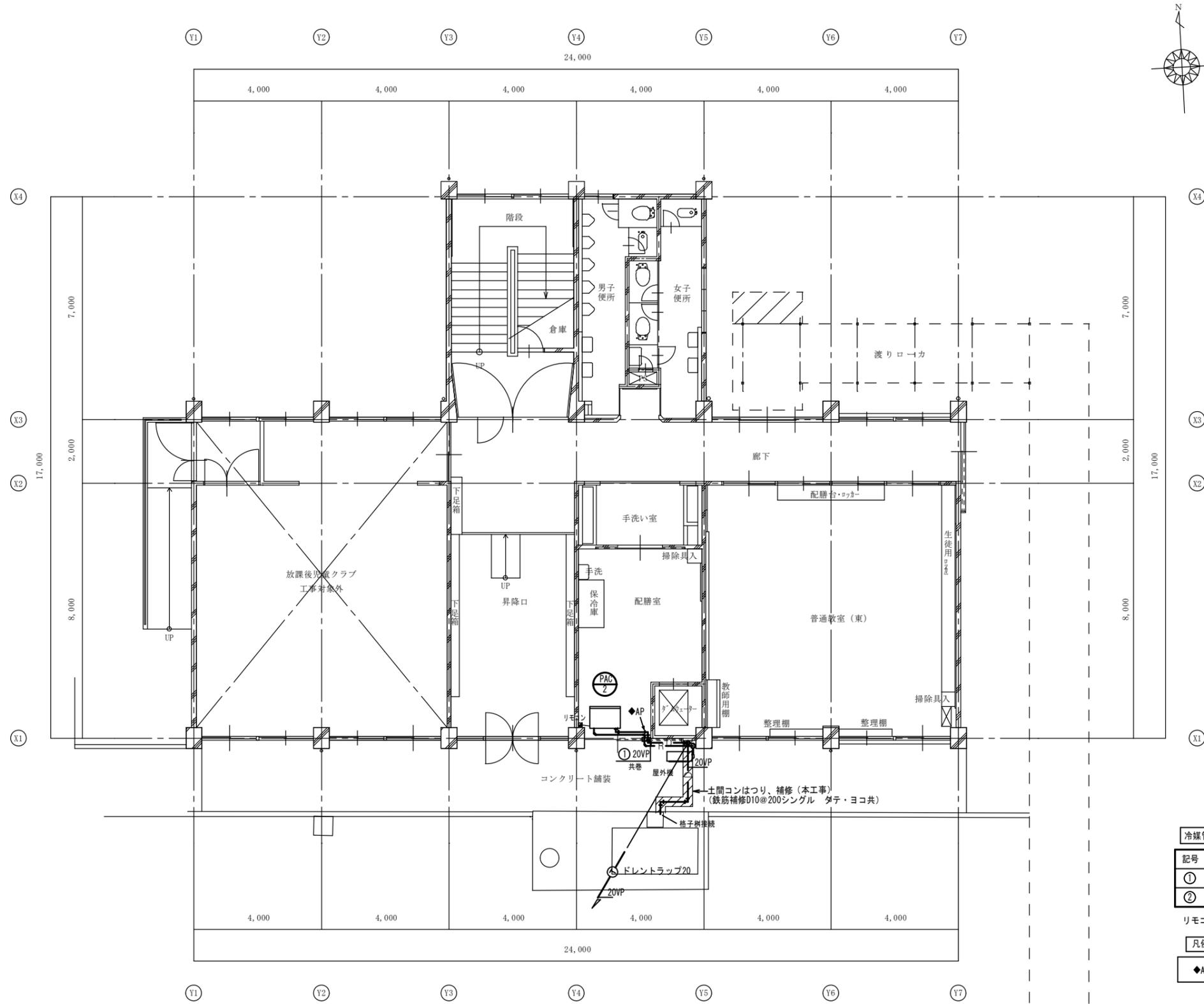
使用管材		凡例	
給水管	塩ビライニング鋼管	点線	既設のまま
消火管	配管用炭素鋼管 (白)	実線	撤去
		屋根伏図 (現況) S=1/100 (撤去図)	

図示記号

記号	名称	配管材料
	冷媒管	保温付冷媒用被覆銅管 保温厚 ガス管20mm 液管10mm
	ドレン管	保温付硬質塩化ビニル管 (VP)

空調機器表 (新設)

記号	機器名 (参考型番)	機器仕様	電気容量		台数	設置場所	配線	開閉器	備考
			電源	消費電力 (kW)					
	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン ACSA05086M	形式 天吊型 冷房能力 4.5 (1.2~5.0) kW 暖房能力 5.0 (0.9~7.2) kW 冷媒配管 内機 液側 6.4φ ガス管 12.7φ 附属品 リモコン、分岐管、他一式 転倒防止支持金物 基礎 既製コンクリート基礎150H、防振ゴム板敷 屋外機防護ガード	3φ 200V	冷房 1.48 暖房 1.25 低温暖房 2.12 最大電流 8.58A APF 5.6	1	1階配膳室	1.6	15A	
	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン ACSA11286M	形式 天吊型 冷房能力 10.0 (2.6~11.2) kW 暖房能力 11.2 (2.4~15.6) kW 冷媒配管 内機 液側 9.5φ ガス管 15.9φ 附属品 リモコン、他一式 転倒防止支持金物 基礎 既製樹脂製基礎150H、防振ゴム板敷 屋外機風向調整ガイド	3φ 200V	冷房 2.80 暖房 2.88 低温暖房 4.38 最大電流 20.9A APF 5.8	1	3階特別支援教室	2.0	30A	
特記事項	室外機-室内機間渡り配線、リモコン配線共本工事 電気容量は参考とする。								



1階平面図 (改修後) S=1/100

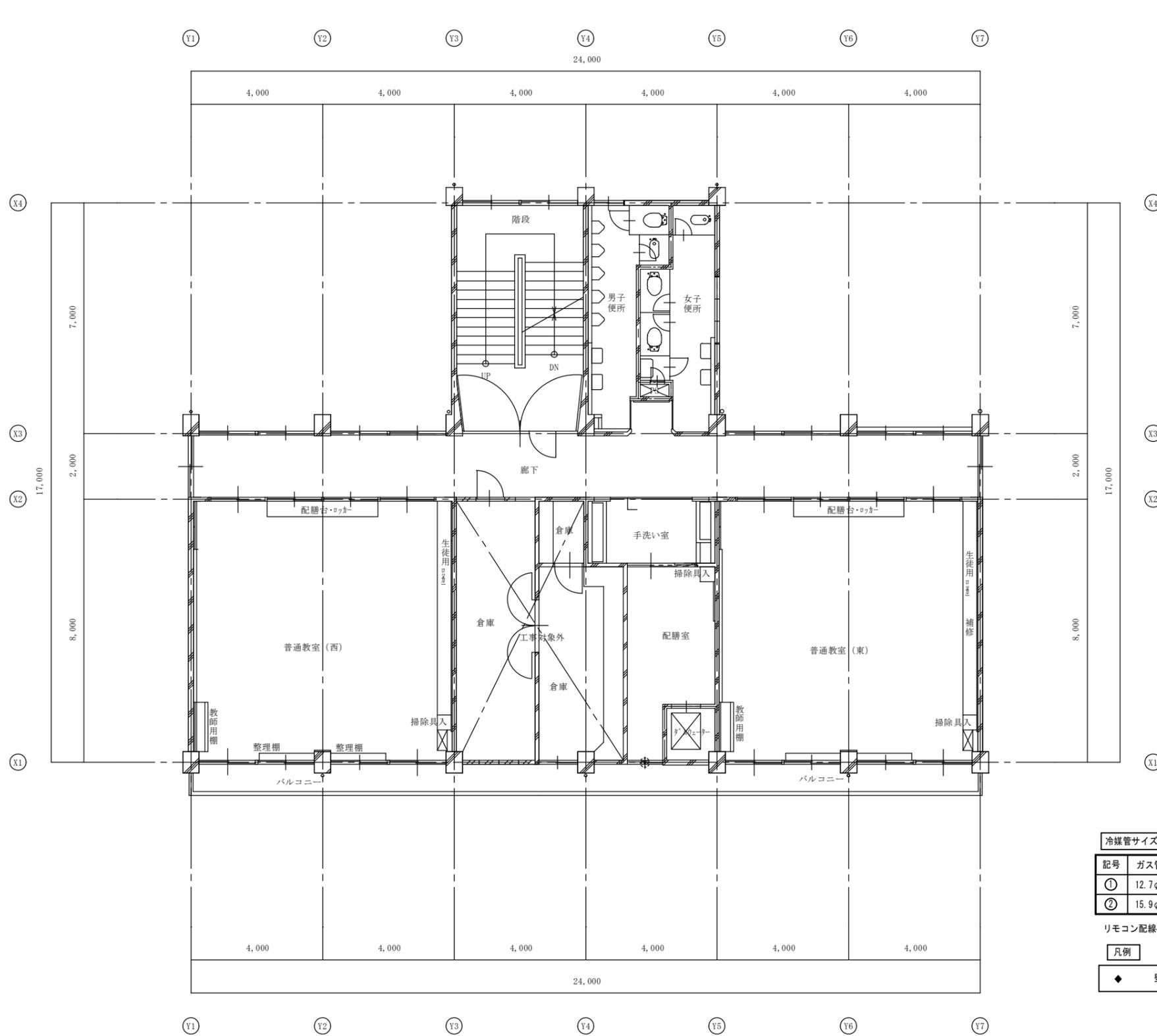
冷媒管サイズ表

記号	ガス管	液管	渡り配線
①	12.7φ	6.4φ	VVF2.0-3C E1.6
②	15.9φ	9.5φ	VVF2.0-3C E1.6

リモコン配線—VCT0.75-2C 天井内ころがし 立下り露出部はメタルモールにて保護

凡例

- ◆AP アルミパネル貫通、コーキング



冷媒管サイズ表

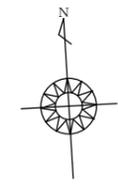
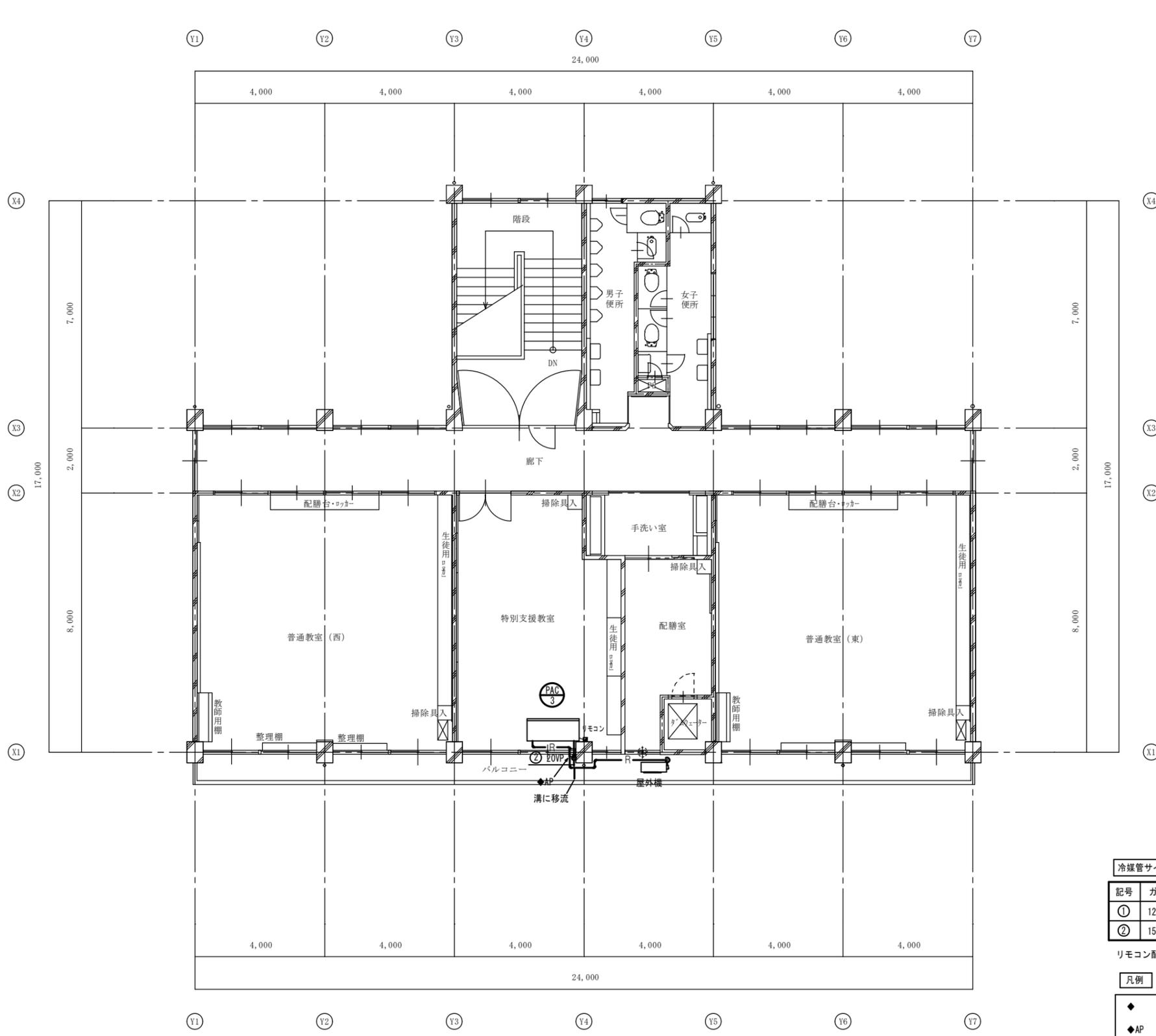
記号	ガス管	液管	渡り配線
①	12.7φ	6.4φ	VVF2.0-3C E1.6
②	15.9φ	9.5φ	VVF2.0-3C E1.6

リモコン配線—VCT0.75-2C 天井内こがし 立下り露出部はメタルモールにて保護

凡例

- ◆ 壁コア一抜き、補修

2階平面図(改修後) S=1/100



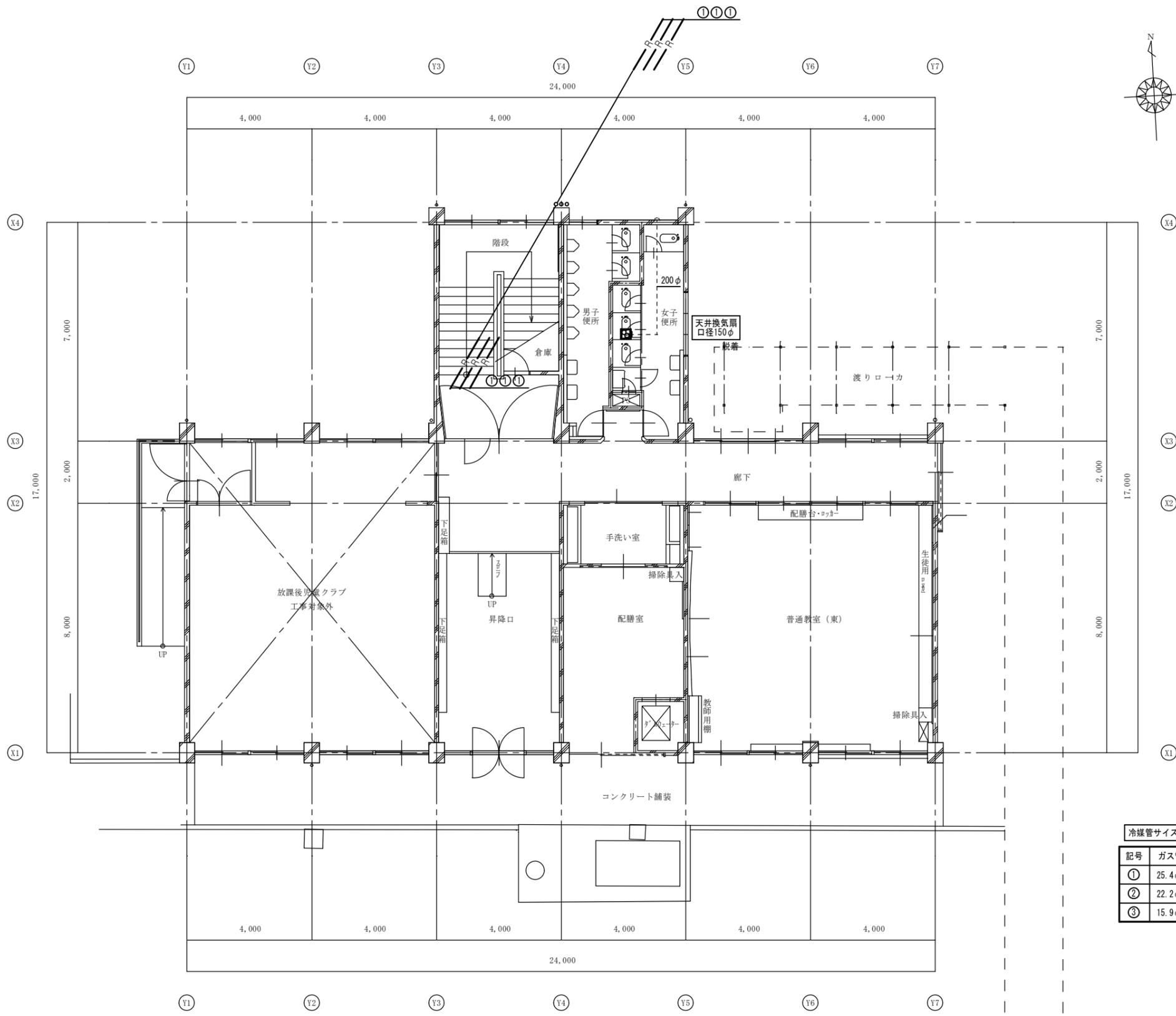
冷媒管サイズ表

記号	ガス管	液管	渡り配線
①	12.7φ	6.4φ	WF2.0-3C E1.6
②	15.9φ	9.5φ	WF2.0-3C E1.6

リモコン配線—VCT0.75-2C 天井内こがし 立下り露出部はメタルモールにて保護

- 凡例
- ◆ 壁コアー抜き、補修
 - ◆AP アルミパネル貫通、コーキング

3階平面図 (改修後) S=1/100

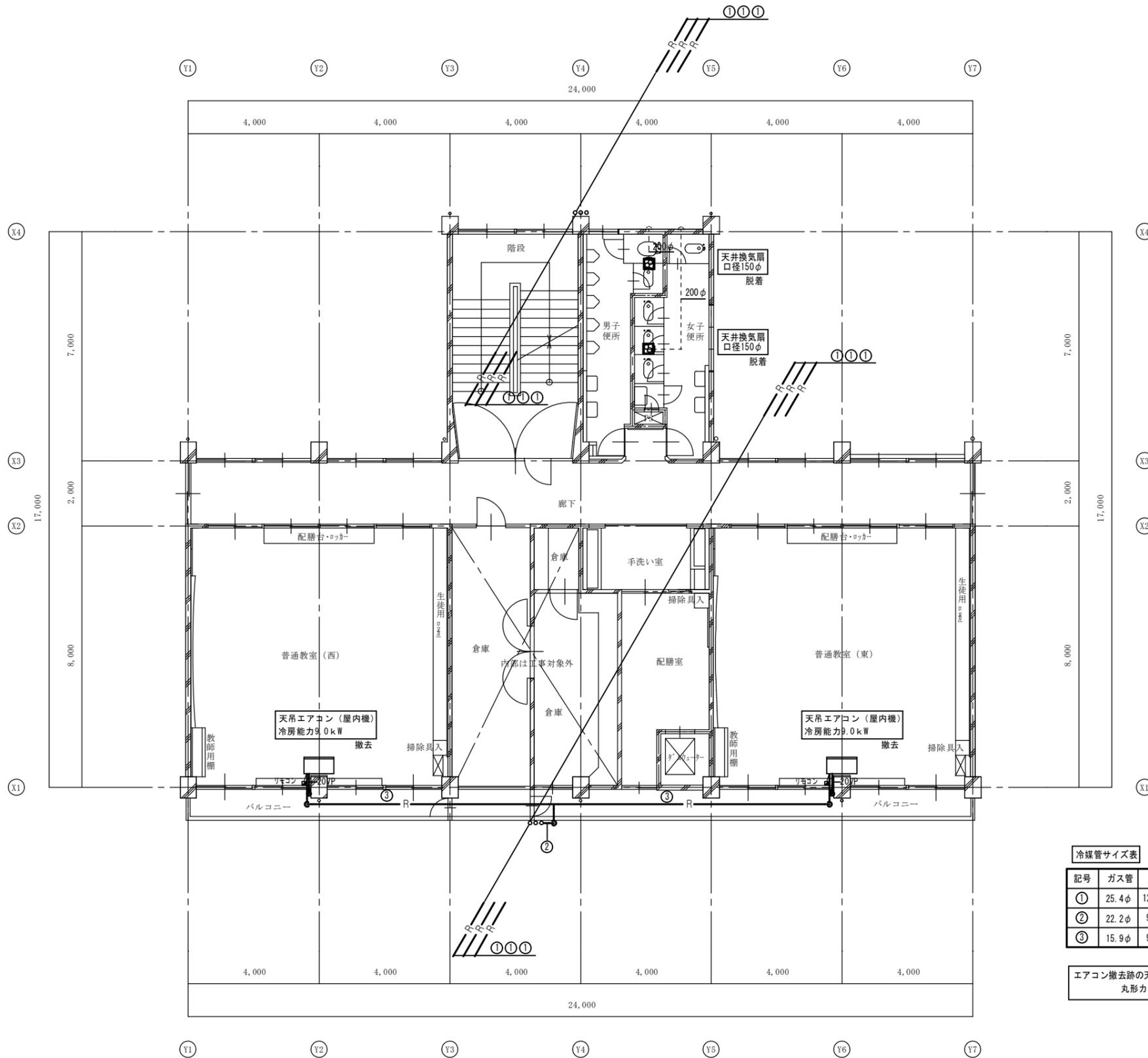


冷媒管サイズ表

記号	ガス管	液管
①	25.4φ	12.7φ
②	22.2φ	9.5φ
③	15.9φ	9.5φ

--- 点線 ---	既設のまま
— 実線 —	撤去

1階平面図 (現況) S=1/100



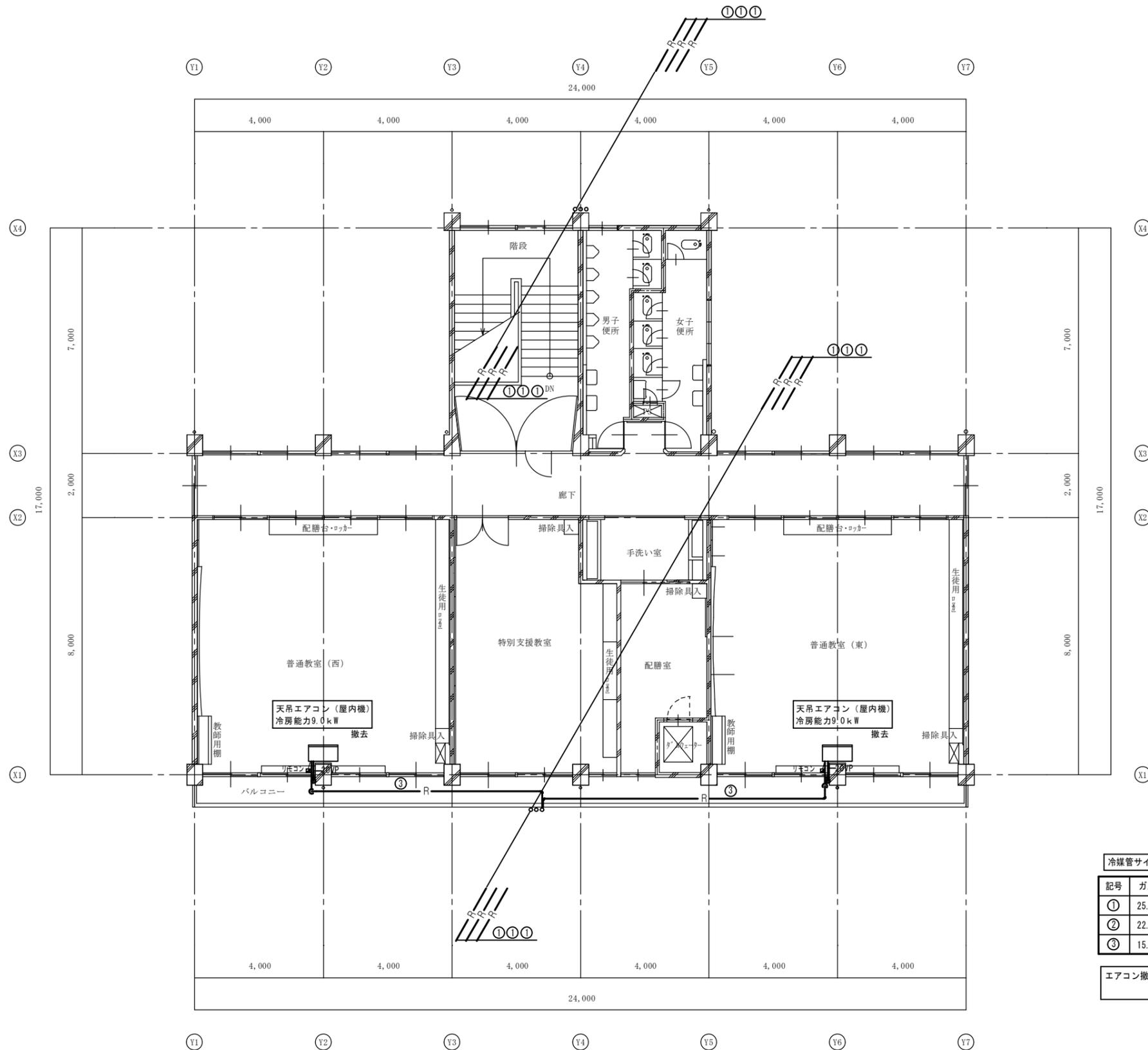
冷媒管サイズ表

記号	ガス管	液管
①	25.4φ	12.7φ
②	22.2φ	9.5φ
③	15.9φ	9.5φ

点線	既設のまま
実線	撤去

エアコン撤去跡の天井ボルト貫通穴補修は、丸形カバープレートで塞ぐ事

2階平面図（現況） S=1/100



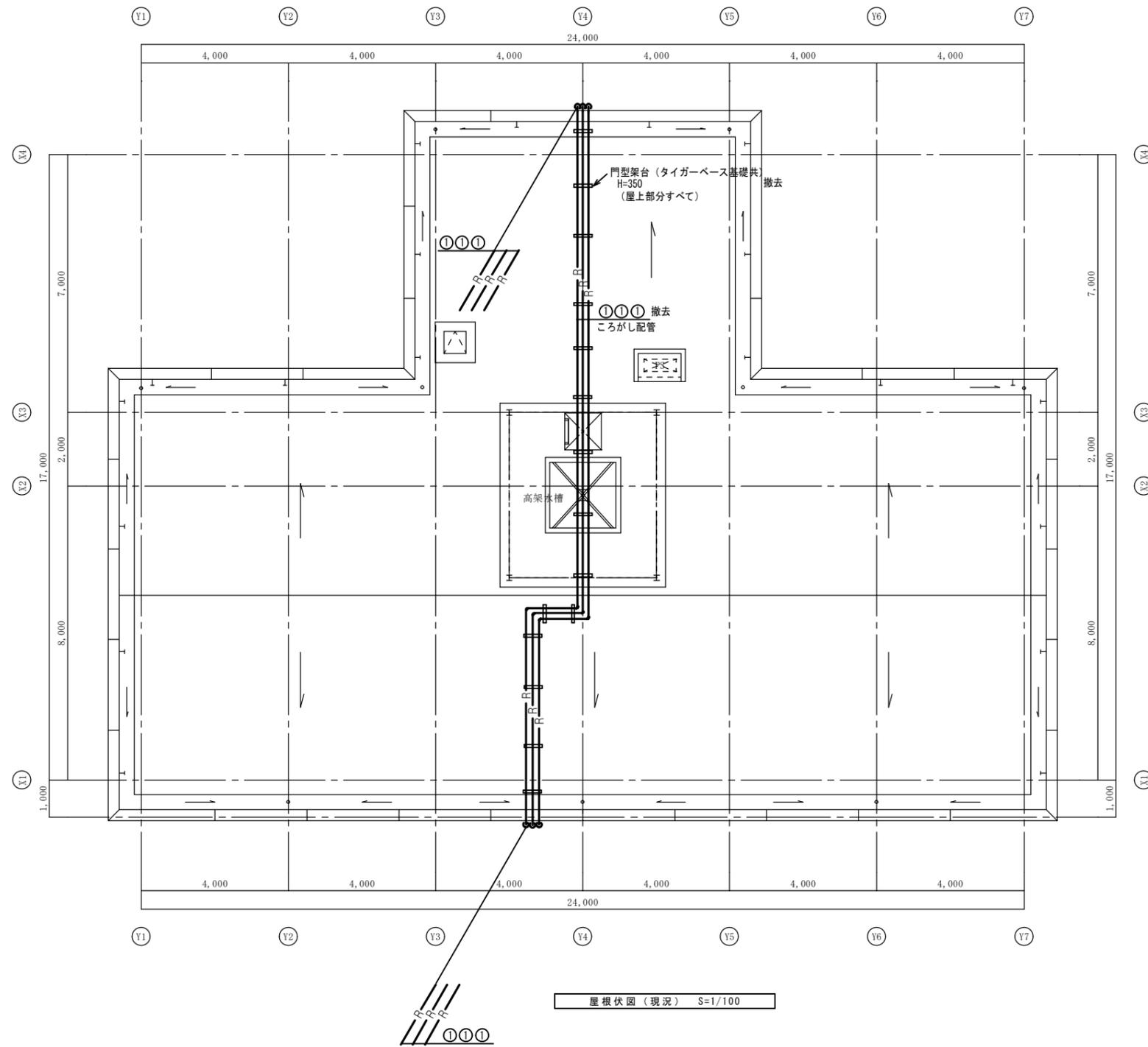
冷媒管サイズ表

記号	ガス管	液管
①	25.4φ	12.7φ
②	22.2φ	9.5φ
③	15.9φ	9.5φ

--- 点線 ---	既設のまま
— 実線 —	撤去

エアコン撤去跡の天井ボルト貫通穴補修は、丸形カバープレートで塞ぐ事

3階平面図 (現況) S=1/100



屋根伏図 (現況) S=1/100